

Film Exhibition Yearbook | 2024

映画上映活動年鑑 | 2024

一般社団法人コミュニティシネマセンター

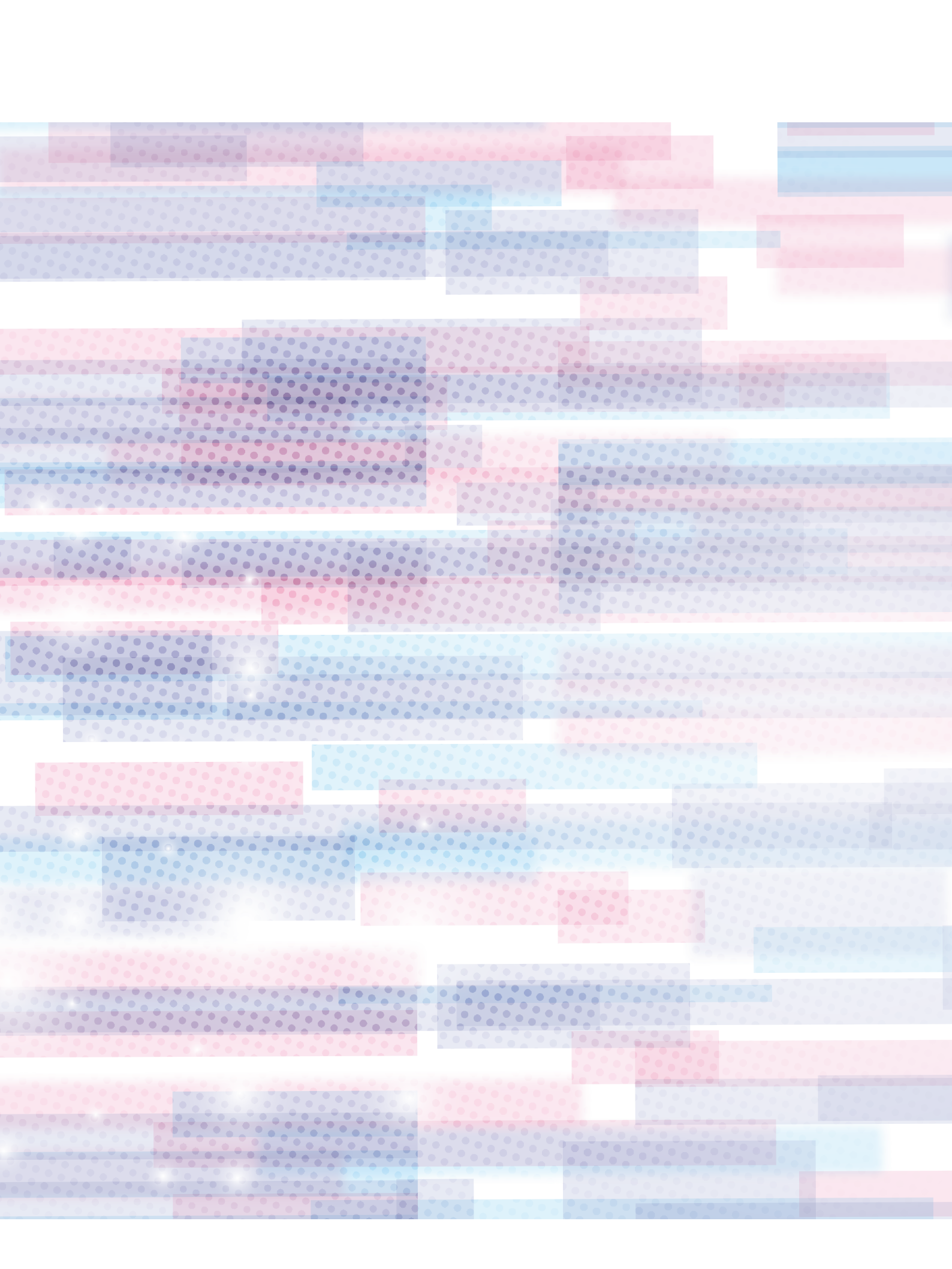


Film Exhibition Yearbook | 2024

映画上映活動年鑑 | 2024

独立行政法人日本芸術文化振興会委託事業

「令和6年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業」



映画上映活動年鑑2024

目次 | Contents

004 凡例

007 I 映画館での上映

008 1 | 概況

016 2 | 公開本数・公開作品

024 3 | 諸外国との比較

030 4 | 都道府県別概況

048 5 | 全国映画館リスト2024

055 II 公共上映

056 1 | 全国映画祭リスト2024

060 2 | 公共の映画専門施設（シネマテーク）及び映画資料館など

063 3 | 映画館以外で行われる上映活動

071 III 特集 | 映画館（上映活動）の現状に関する詳細調査

072 1 | 「映画館（上映活動）の現状に関する詳細調査」について

074 2 | 映画館（上映活動）の現状に関する詳細調査

094 3 | 課題と展望

096 全国コミュニティシネマ会議2024 採録

プレゼンテーション+ディスカッション |

“学びの場”としての映画館—映画館が「クリエイター」を育成する

109 IV 資料 | 都道府県別上映施設一覧

110 地方別上映施設地図

116 都道府県別上映施設一覧

116 北海道・東北

130 関東

148 中部

162 近畿

172 中国・四国

184 九州・沖縄

185 V 上映に関わる用語

凡例

人口

各都道府県が発表している「人口推計」を参照。（各年10月1日現在）

* 北海道のみ「人口推計」が毎月末現在のデータであるため、各年9月30日現在のデータを使用している。

スクリーン数及び映画館数

『映画上映活動年鑑』（コミュニティシネマセンター刊）

「日本映画産業統計」（日本映画製作者連盟） <http://www.eiren.org/toukei/data.html>

『映画年鑑』別冊「映画館名簿」（時事映画通信社刊 / キネマ旬報社刊）

* 各年の1月1日から12月31日まで営業があった映画館をスクリーン数及び映画館数の対象としている。

「映画館名簿」に掲載されていない映画館でも、恒常的な上映を行っている館は加え、掲載されている上映施設でも上映実績が確認できなかった館は載せていないものがある。

公開本数、公開規模

コミュニティシネマセンターが独自に調査した公開作品リストから公開本数、公開規模を算出している。

観客数、興行収入、都道府県別観客数

「日本映画産業統計」（日本映画製作者連盟） <http://www.eiren.org/toukei/data.html>

* 各都道府県の観客数は、「特定サービス産業実態調査報告書 映画館編」（2018年で終了）及び「経済センサス 活動調査」（2016年以降5年ごとに実施）における、各年の観客数計に対して各都道府県の観客数が占める割合の平均値を、「日本映画産業統計」に乗じることで概算値を算出している。

諸外国の映画館（上映）に関するデータ

“Focus 2024 - World film market trends” | <https://www.obs.coe.int/en/web/observatoire/industry/focus>

『映画年鑑2024』「統計編 世界主要各国映画諸統計」（キネマ旬報社刊）

フランス

フランス国立映画センター Centre national du cinéma et de l'image animée (CNC)

“Bilan du CNC” | <https://www.cnc.fr/creation-numerique/etudes-et-rapports/bilans>

イギリス

英国映画協会 British Film Institute (BFI)

“Statistical Yearbook” | <http://www.bfi.org.uk/education-research/film-industry-statistics-research/statistical-yearbook>

ドイツ

ドイツ映画振興協会 Filmförderungsanstalt (FFA)

“FFA Info” | <https://www.ffa.de/marktdaten.html>

オーストラリア

スクリーン・オーストラリア Screen Australia

“Fact Finders” | <https://www.screenaustralia.gov.au/fact-finders/>

韓国

韓国映画振興委員会 (KOFIC)

「韓国映画総決算」 | <http://www.kofic.or.kr/kofic/business/rsch/findPolicyList.do>

映画館の種類

本年鑑では、映画館を、その形態・上映プログラムにより、原則として下記のように分類している。

シネマコンプレックス(シネコン)

同一の運営組織が、同一の所在地に名称の統一された複数のスクリーンを設置し、かつ、出入口、入場券売場、ロビー・売店、映写室等を集約化して共有する映画館。本年鑑では原則として「5スクリーン以上」をシネマコンプレックスとしている。

ミニシアター（/名画座）

大手映画製作・配給会社の直接の影響下にはない独立した経営を行い、単館ないしは数館による公開を前提とした作品を中心に番組編成を行う小規模映画館、及び名画座と称される旧作及び封切館での上映が終了した新作で番組編成をしている映画館を合わせて「ミニシアター」としている。

さらに、「ミニシアター」を下記の3つに分類している。

- －ミニシアター
- －名画座
- －元・既存興行館：ミニシアター的な番組編成に変更した既存興行館

既存興行館

興行会社が経営する従来型の映画館。かつてはその多くが大手映画製作・配給会社の直営・系列館として経営されてきた。本年鑑では、新たに開館した映画館であっても、大手映画製作・配給会社の作品を中心に番組編成を行うものは「既存興行館」としている。さらに、「既存興行館」を下記の2つに分類している。

- －既存興行館
- －2005年以降に開館した既存興行館

成人映画館

公共上映に関する用語

映画祭

特定の場所で期間を限定してコンペティション形式ないしは特集形式で複数の映画・映像作品を集め、上映するイベントで、定期的に開催されるもの。

シネマテーク

映画を定期的に上映する映画アーカイブや美術館等の文化施設や公立映画館など、公共的な映画上映のための専門施設。

全国映画祭リスト

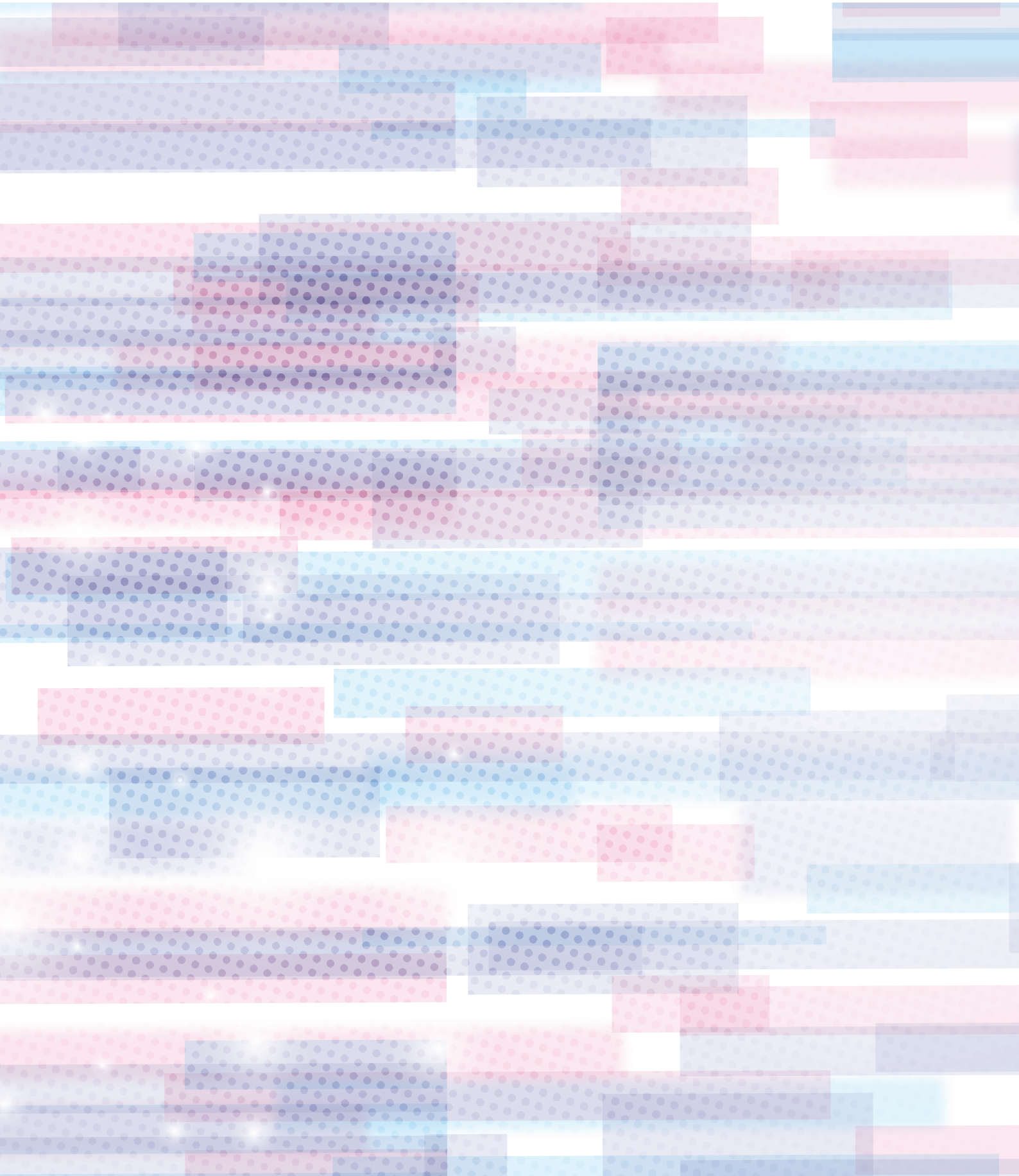
コミュニティシネマセンターが独自に調査したリストを毎年更新している。

公共の映画専門施設(シネマテーク)及び映画資料館など

コミュニティシネマセンターが独自に調査したリストに、「全国映画資料館録2020」(国立映画アーカイブ、映像産業振興機構編)をあわせて作成している。

映画館以外で行われる上映活動

コミュニティシネマセンターが独自に調査したリストに新たに確認できた定期的に活動を行う上映団体・上映活動を追加している。



I 映画館での上映

1

概況

2

公開本数・公開作品

3

諸外国との比較

4

都道府県別概況

5

全国映画館リスト2024

I | 映画館での上映

1

概況

日本映画製作者連盟(映連)の2024年「映画産業統計」(2025年1月発表)によると、2024年の観客数は1億4444万1000人で、「ほぼ新型コロナウイルス禍前の水準に戻った」とされる前年(2023年)の92.9%、興収は2069億8300万円で93.5%となった。

日本映画の興行収入は1558億円(前年比105.1%)で、歴代1位だった2016年の1486億円を大きく上回り、新記録となった。一方、外国映画は511億8300万円で前年比69.8%、コロナ前(2019年)の43%程度にとどまっている。日本映画と外国映画の興収のシェアは75.3:24.7と前年以上に差が開き、圧倒的に日本映画が強い状況が続いている。

2024年もアニメーション作品が興行収入の上位を占めた。上位4位までをアニメーションが独占した前年ほどではないが、100億円を越えた『名探偵コナン 100万ドルの五稜星(みちしるべ)』(158億円)、『劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦』(116.4億円)を初め、上位10作品中6作品がアニメーションとなっている。興収が10億円を越える作品は41本で、全興収の62.9%を占めている。(2023年66.1%)

映画館数・スクリーン数

2024年のスクリーン数は3709スクリーンで、前年から27スクリーン増加、映画館数は594館で2館増加している。2015年から2024年の10年間では、館数は15館、スクリーン数は242スクリーン増加している。シネマコンプレックス(シネコン)が22館256スクリーン増加し、シネコン以外の映画館は7館14スクリーン減少している。

シネコンは3291スクリーンで、全スクリーンの89%を占めている。館数でも、2011年以降はシネコンが「シネコン以外」の館数を上回り、2024年はシネコン363館、シネコン以外231館で、シネコンが61%となっている。

20年前、2005年の映画館数は806館であったが、その後の10年間で200館以上減少し、2015年には579館となっている。特に映画館のデジタル化が進められた2011～2013年の2年間で約80館減少した。2024年の映画館数は594館で、この10年間は映画館数に大きな変化はみられなかった。

コロナ禍による休館や観客の減少により閉館する映画館が増えるのではないかと懸念されたが、2020～2024年の4年間で閉館した映画館数はシネコンが13館、シネコン以外では約40館で、コロナの影響で特に閉館数が増えているという状況にはない。逆に、2020～2024年には23のシネコンが開館、シネコン以外でも20館が開館(再開は含まない)しており、これまでのところはコロナの影響は映画館の減少という形では現れていない。

→fig.01

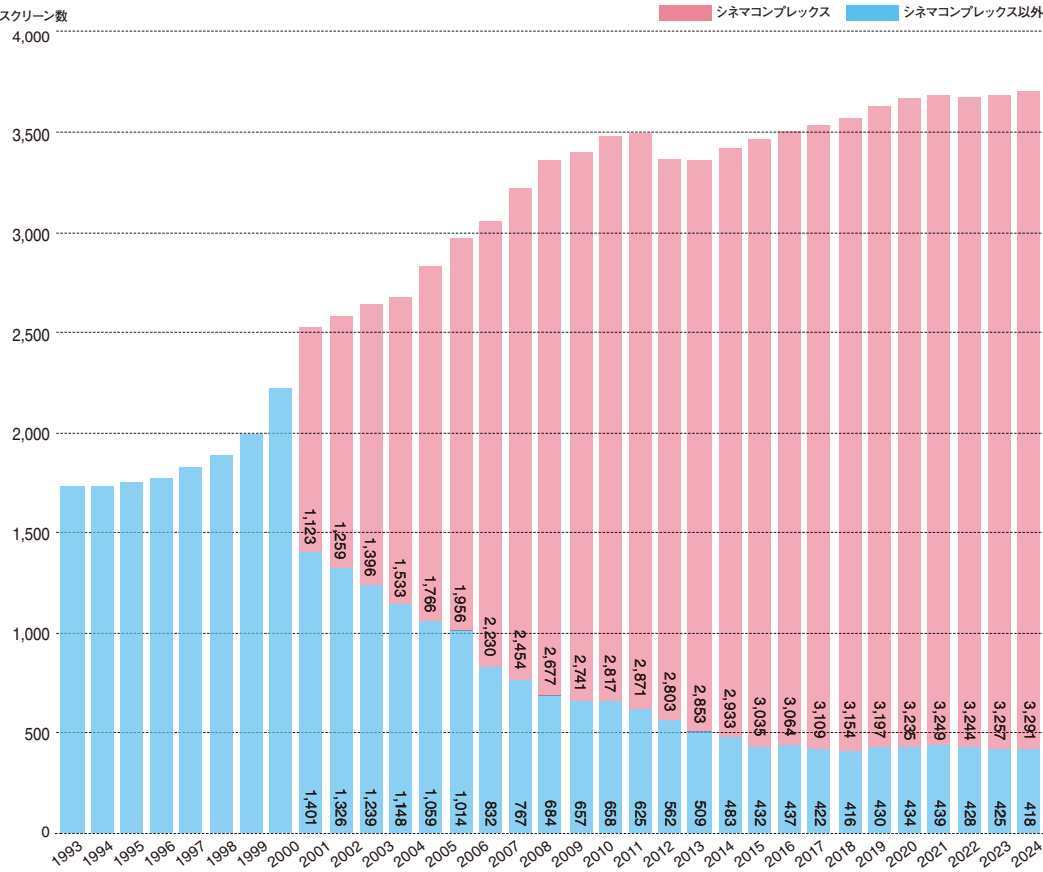
観客数・入場料金

2024年の観客数は、1億4444万1000人で前年比92.9%となったが、日本映画の興収は1558億円と歴代最高を記録している。他方、外国映画の興行収入は511億8300万円で前年を下回っている。2023年は『ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー』『アバター:ウェイ・オブ・ウォーター』『ミッション:インポッシブル/デッドレコニング PART ONE』といったハリウッド映画の大作・注目作が公開されたが、2024年は特に目立った作品がなく、興行収入10億円以上の作品をみても『インサイド・ヘッド2』(53.6億円)が第1位で、100億円を越えるような大ヒット作はなかった。(22P参照)

入場料金の平均は2020年以降、上昇を続け、2024年は1433円となった。2023年6月に大手のシネコンチェーンであるTOHOシネマズとTジョイが映画鑑賞料金を値上げ、一般料金は2000円となった。この後、他のシネコンも次々に鑑賞料金を値上げ、シネコン以外の映画館でも、他の物価や光熱費の上昇に合わせる形で入場料金の値上げに踏み切る映画館が増えている。

→fig.02

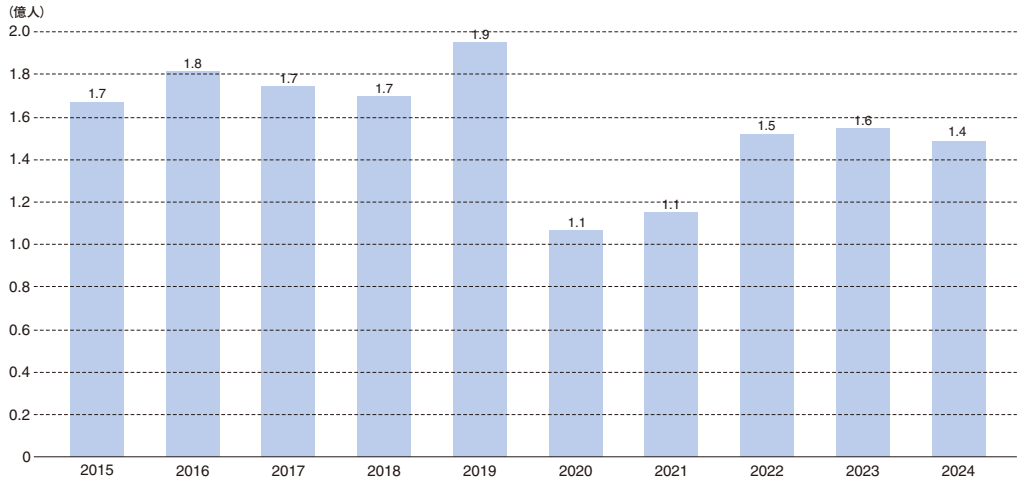
fig.01 スクリーン数の推移(1993-2024)



—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)、「映画上映活動年鑑」(コミュニティシネマセンター) 参照

	スクリーン数	シネコン	シネコン 以外
1993	1,734		
1994	1,758		
1995	1,776		
1996	1,828		
1997	1,884		
1998	1,993		
1999	2,221		
2000	2,524	1,123	1,401
2001	2,585	1,259	1,326
2002	2,635	1,396	1,239
2003	2,681	1,533	1,148
2004	2,825	1,766	1,059
2005	2,970	1,956	1,014
2006	3,062	2,230	832
2007	3,221	2,454	767
2008	3,361	2,677	684
2009	3,398	2,741	657
2010	3,475	2,817	658
2011	3,496	2,871	625
2012	3,365	2,803	562
2013	3,362	2,853	509
2014	3,416	2,933	483
2015	3,467	3,035	432
2016	3,501	3,064	437
2017	3,531	3,109	422
2018	3,570	3,154	416
2019	3,627	3,197	430
2020	3,669	3,235	434
2021	3,688	3,249	439
2022	3,672	3,244	428
2023	3,682	3,257	425
2024	3,709	3,291	418
前年比	27	34	-7

fig.02 観客数の推移(2015-2024)



—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

	入場者数 (千人)	前年比	平均入場 料金(円)
2014	161,116	5,228	1,285
2015	166,630	5,514	1,303
2016	180,189	13,559	1,307
2017	174,483	-5,706	1,310
2018	169,210	-5,273	1,315
2019	194,910	25,700	1,340
2020	106,137	-88,773	1,350
2021	114,818	8,681	1,410
2022	152,005	37,187	1,402
2023	155,535	3,530	1,424
2024	144,441	-11,094	1,433

種類別にみる映画館数・スクリーン数の変化

シネマコンプレックス(シネコン)

シネコンは363館3291スクリーンで最も多く、全スクリーン数(3709)の89%を占めている。10年間で22館256スクリーン増加している。2000年代に入ってから2008年までは、毎年20～30館のペースでシネコンがつくられてきたが、2009年以降はそのスピードは緩やかになり、2014年以降、2021年までは、年間5～10館が開館。2022年は「ユナイテッド・シネマ秩父」(埼玉)、「TOHOシネマズ ららぽーと福岡」の2館、2023年は「109シネマズプレミアム新宿」、「TOHOシネマズすすきの」、「イオンシネマとなみ」(富山)、「TOHOシネマズららぽーと門真」(大阪)、「シネマサンシャイン飯塚」(福岡)の5館、2024年は「イオンシネマ新青森」、「T・ジョイ エミテラス所沢」、「ローソン・ユナイテッドシネマSTYLE-S みなとみらい」、「109シネマズゆめが丘」(神奈川)の4館が開館している。

一方、2022年には「ディノスシネマズ旭川」(北海道)、「大津アレックスシネマ」(滋賀)、「イオンシネマ西大和」(奈良)が閉館し、2023年には「フォーラム八戸」と「佐久アムシネマ」が、2024年には「MOVIX三郷」(埼玉)が閉館している。

既存興行館

既存興行館は62館139スクリーンとなり、10年間で、映画館数23館減、スクリーン数60スクリーン減となっている。2010～2014年、映画上映のデジタル化が進み、デジタルシネマ機の導入という大規模な設備投資に耐えられない既存興行館の閉館が続き、2010年に176館あった館数は5年間でほぼ半減、2020年には67館まで減少したが、現在は落ち着いた状況となっている。

既存興行館の中には、ミニシアター的なプログラム編成に変えてシネコンのプログラムと差異化する映画館が増え、閉館した既存興行館が別の運営団体によってミニシアターとして再開される例も増えている。また、「新しい」既存興行館の開館もあり(「シネマサンライズ日立」(茨城)、「大川シネマホール」(福岡)等)、従来の「シネマコンプレックス」「既存興行館」「ミニシアター/名画座」という分類で映画館の現状を把握することが難しくなっている。

ミニシアター/名画座

ミニシアター/名画座は、142館246スクリーンで、この10年間で31館60スクリーン増加している。2022～2023年、「ストレンジャー」(東京・墨田区)、「シモキタ・エキマエ・シネマ K2」(世田谷区)、鳥根県益田市の開館した映画館を再開した「小野沢シネマ」、「キノシネマ神戸国際」(「神戸国際松竹」跡)、「キノシネマ新宿」(「EJアニメシアター」跡)、「扇町キネマ」(大阪)、「シネマ203」(和歌山)、「シネマポスト」(下関)といったミニシアターが開館し、2024年には「キノシネマ心斎橋」、神奈川県「小田原シネマ館」、静岡県伊東市に「金星シネマ」が開館している。いったん閉館した「鶴岡まちなかキネマ」と「豊岡劇場」は2023年3月に再開を果たし、2023年に閉館した「名古屋シネマテーク」は2024年「ナゴヤキネマ・ノイ」として生まれ変わった。

映画館とは異なる上映の場、あるいは新しい形の映画館ともよぶべき場も次々に生まれている。鳥取県湯梨浜町では元・小学校の教室をリノベーションした「ジグシアター」が2021年7月から上映を始め(月1企画10日間程度)、秋田市には古民家を改装した「アウトクroppシネマ」(2021)、岡山県真庭市には「ビクトリイシアター」(2022)、長野県伊那市には“宿泊可能な複合施設”「赤石商店」(月に1週間程度)が開館している。このような、従来の「興行」とは異なる上映の場をつくる動きは、今後も増えていくものと思われる。

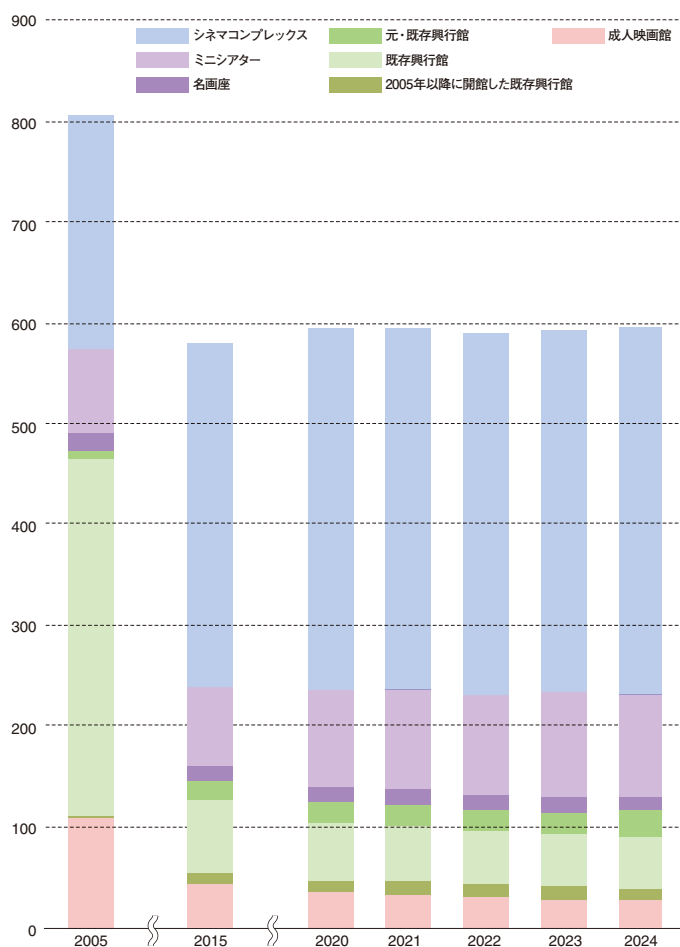
2022～2023年はミニシアター閉館のニュースも多く聞かれた。2022年7月、ミニシアターの草分けである「岩波ホール」(東京・神保町)が閉館、関西のミニシアター文化を牽引してきた「テアトル梅田」が9月に、永年親しまれてきた名画座「ギンレイホール」が11月に閉館している。2023年には名古屋の老舗ミニシアター「名古屋シネマテーク」と「名演小劇場」が相次いで閉館、京都でもリニューアル開館から4年ほどの「京都みなみ会館」が閉館した。2024年には仙台の「チネ・ラヴィータ」、福岡の老舗映画館「中洲大洋」が閉館している。

成人映画館は、27館33スクリーンとなり、10年間で半減している。

デジタルシネマ機の導入から10年を経て、映画館は新しい機材への更新、買換えの時期を迎えている。1台1000万円近い大規模な設備投資が必要であり、既存興行館やミニシアターのように小規模な映画館にとって、これをどう乗り切るのが喫緊の課題となっている。建物や設備の老朽化も進み、コロナの影響から脱したと言われる2023年以降に経営状況が深刻化している映画館も少なくない。コロナ禍においても映画館継続のための支援を求めるクラウドファンディングや募金活動を行った映画館は少なかったが、2024年には全興連によるミニシアター支援プロジェクト「#ミニシアターへ行こう!」が始まり、7館のミニシアターがクラウドファンディングに取り組んでいる(2025年1月末現在)。

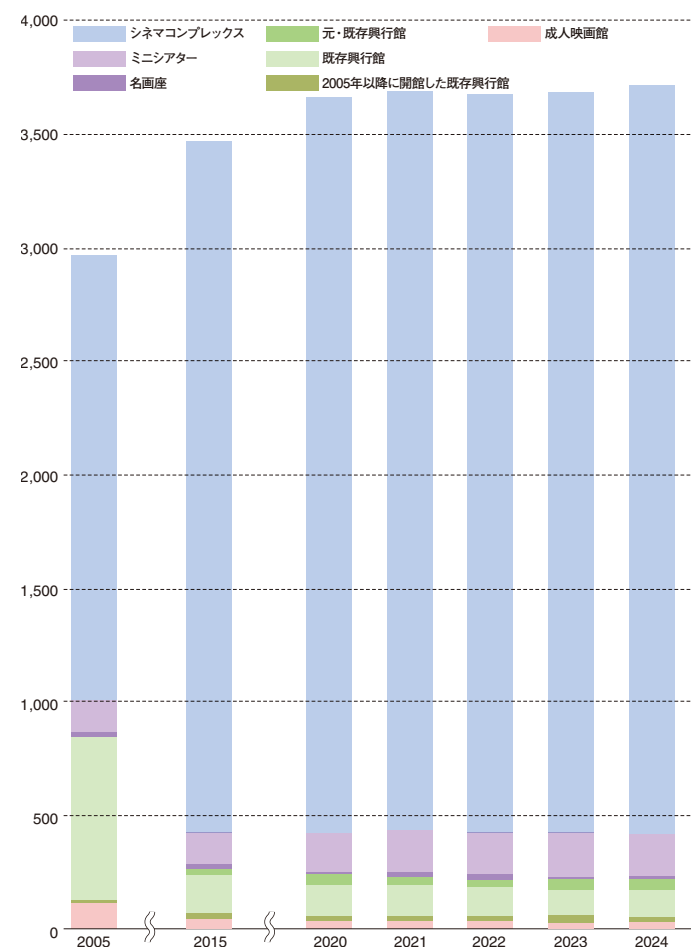
→ fig.03_04

fig.03 種類別映画館数(サイト数)の変化(2005-2024)



	2005	2015	2020	2021	2022	2023	2024		2015 ↓ 2024
シネマコンプレックス	233	341	360	360	359	360	363	61%	22
ミニシアター	107	111	132	136	136	140	142	24%	31
ミニシアター	83	78	95	99	99	104	103		25
名画座	18	15	15	15	15	14	13		-2
元・既存興行館	6	18	22	22	22	22	26		8
既存興行館	359	85	67	67	66	64	62	10%	-23
既存興行館	355	74	57	55	53	52	50		-24
2005年以降に開館した既存興行館	4	11	10	12	13	12	12		1
成人映画館	107	42	36	33	29	28	27	5%	-15
シネマコンプレックス以外	573	238	235	236	231	232	231	39%	-7
合計	806	579	595	596	590	592	594		15

fig.04 種類別スクリーン数の変化(2005-2024)



	2005	2015	2020	2021	2022	2023	2024		2015 ↓ 2024
シネマコンプレックス	1,956	3,035	3,235	3,249	3,244	3,257	3,291	89%	256
ミニシアター	167	186	233	240	241	244	246	7%	60
ミニシアター	135	140	178	183	184	189	181		41
名画座	21	18	16	17	17	15	14		-4
元・既存興行館	11	28	39	40	40	40	51		23
既存興行館	723	199	159	159	152	147	139	4%	-60
既存興行館	714	176	139	136	128	124	117		-59
2005年以降に開館した既存興行館	9	23	20	23	24	23	22		-1
成人映画館	123	47	42	40	35	34	33	1%	-14
シネマコンプレックス以外	1,013	432	434	439	428	425	418	11%	-14
合計	2,969	3,467	3,669	3,688	3,672	3,682	3,709		242

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)、「映画上映活動年鑑」(コミュニティシネマセンター) 参照

—本年鑑では、各年の1月1日から12月31日までの間に営業があった映画館を対象としている。「日本映画産業統計」では各年の12月末の時点で営業している映画館を対象としているため、両者のスクリーン数には多少の齟齬が生じている。

地方別にみる種類別映画館数・スクリーン数

2024年の全国の映画館数は594館で10年間で15館増加、スクリーン数は3709スクリーンで242スクリーン増となっている。いずれの地方でもスクリーン数は増加している。人口は関東地方を除くすべての地方で減少しているが、北海道・東北地方は7.8%減少、中国・四国地方は6.5%減少と、他の地方に比べて人口の減少率が高く、減少率上昇の速度も速い。映画館数・スクリーン数の増減は人口の増減に対応しており、スクリーン数の偏在、地域的不均衡が年ごとに進んでいる。この10年間で映画館数が増えているのは関東地方と中国・四国地方、九州・沖縄地方で、九州・沖縄地方はこの10年間で6館66スクリーン増加している。全人口、全スクリーン数に占める各地方のスクリーン数のシェアを比較すると、中部地方と九州・沖縄地方が人口シェアに比べてスクリーンシェアが1%以上高い。

シネコンは、ほとんどの地域において映画館数、スクリーン数ともに増加しているが、北海道・東北地方では館数が1館減となっている。2000～2008年までの毎年20～30館のシネコンが開館していた時期に比較すると、各地方とも増加のペースは緩やかになっている。この10年間では、関東地方が11館124スクリーン増、中部地方が3館37スクリーン増、九州・沖縄地方で7館61スクリーン増と大幅に増加している。他方、北海道・東北地方は2スクリーン増、中国・四国地方は1館14スクリーン増にとどまっている。

「シネコン以外」の数値は、ほとんどの地方で館数、スクリーン数ともに減少しているが、「ミニシアター / 名画座」はいずれも10年前よりも増加している。この10年間で約40館のミニシアター / 名画座及び既存興行館が開館しており、東京・大阪・名古屋・京都・広島といった大都市以外でも、那珂市(あまや座)、青梅市(シネマネコ)、上越市(高田世界館)、上田市(上田映劇/トラウム・ライゼ)、伊東市(金星シネマ)、丹波市(エビスシネマ)、益田市(小野沢シネマ)、下関市(シネマポスト)、唐津市(シアターエンヤ)、沖縄市(シアタードーナツ、シネマプラザハウス1954)等々、20万人以下の中小市町村でのミニシアターの開館も続いている。

「既存興行館」はこの10年で、北海道・東北地方以外のすべての地方で減少し、関東で6館16スクリーン減、中部地方9館15スクリーン減、近畿地方4館19スクリーン減となっている。2024年には、仙台市の「チネ・ラヴィータ」、所沢市の「新所沢レッツ・シネパーク」、東京「吉祥寺プラザ」、福岡「中洲大洋」といった永年地域に親しまれてきた既存館が閉館している。

fig.05 映画館がある市町村の数(2024)

人口規模	市町村数	シェア	映画館がある市町村の数	割合*	映画館数	シェア
100万人以上	12	1%	12	100%	169	28%
50万～100万人	16	1%	16	100%	52	9%
30万～50万人	45	3%	42	93%	90	15%
20万～30万人	37	2%	30	81%	53	9%
10万～20万人	152	9%	94	62%	118	20%
5万～10万人	241	14%	55	23%	58	10%
5万人未満	1216	71%	54	4%	54	9%
	1719		303	18%	594	

— *該当する人口規模の市町村のうち映画館がある市町村の割合

人口規模と映画館

全市町村1719のうち、映画館があるのは303市町村18%にとどまっている。80%以上の1416市町村には映画館が存在せず、人口5万人未満の市町村の96%、1162の市町村には映画館が1館もない。14～15ページの地図をみてもわかる通り、映画館の空白地域が拡大している。これは、当たり前のことと思われるかもしれないが、文化を享受する権利において地域格差が生じていること、取りわけ、子どもたちの映画体験に大きな格差が生じるという点では大きな問題である。一方で、前述のように、中小都市において、新たに小規模映画館や定期的な上映の場をつくらうとする動きが増えている。これは、興行収入や観客動員数といった経済原理だけでははかることのできない、地域における上映活動の重要性を示す証左であると考えられる。このような上映活動を支えるためにも映画館の実態に対応した支援プログラムの実現が求められる。

→ fig.05、06

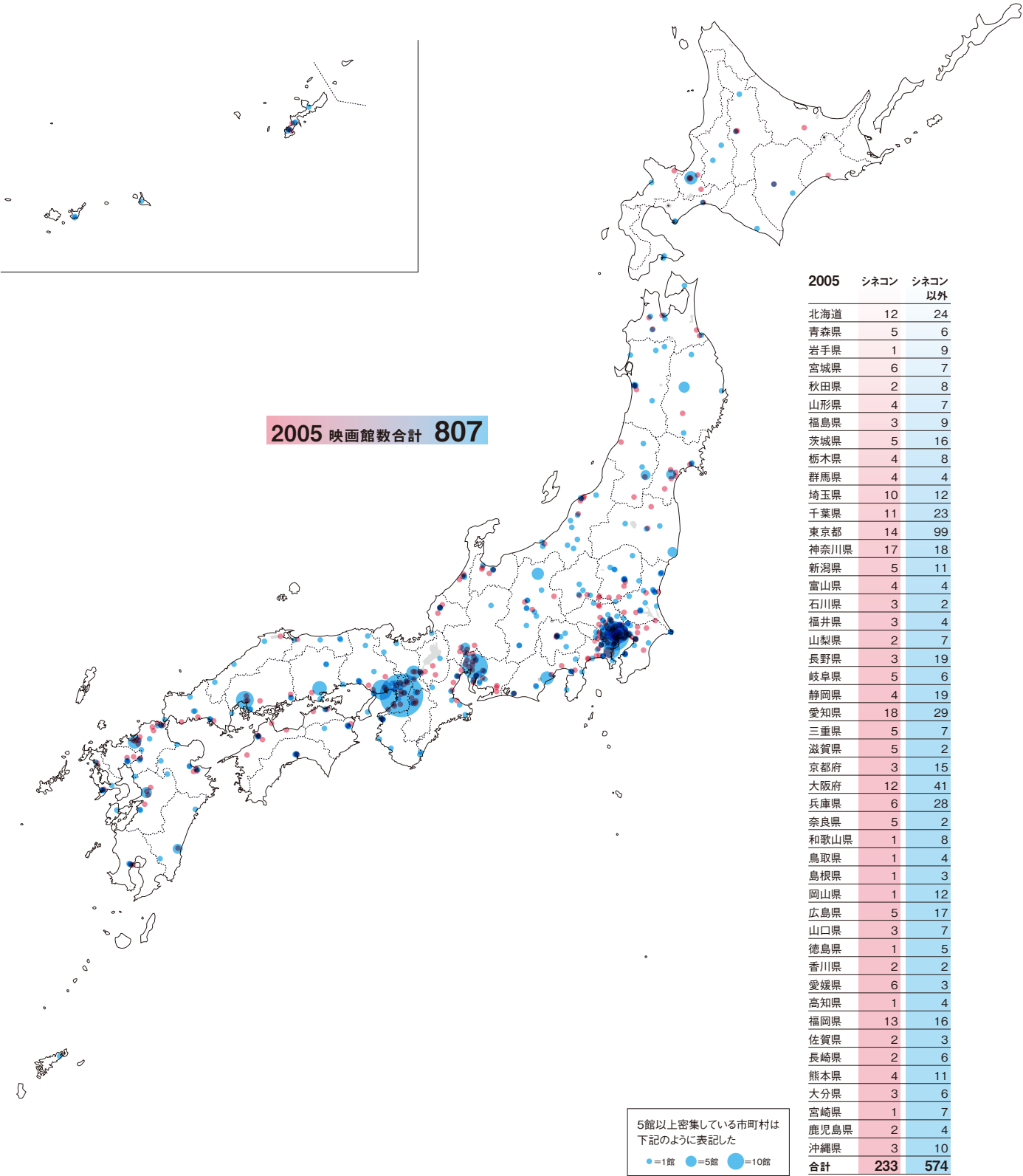
fig.06 地方別にみる種別別映画館数・スクリーン数の変化(2015-2024)

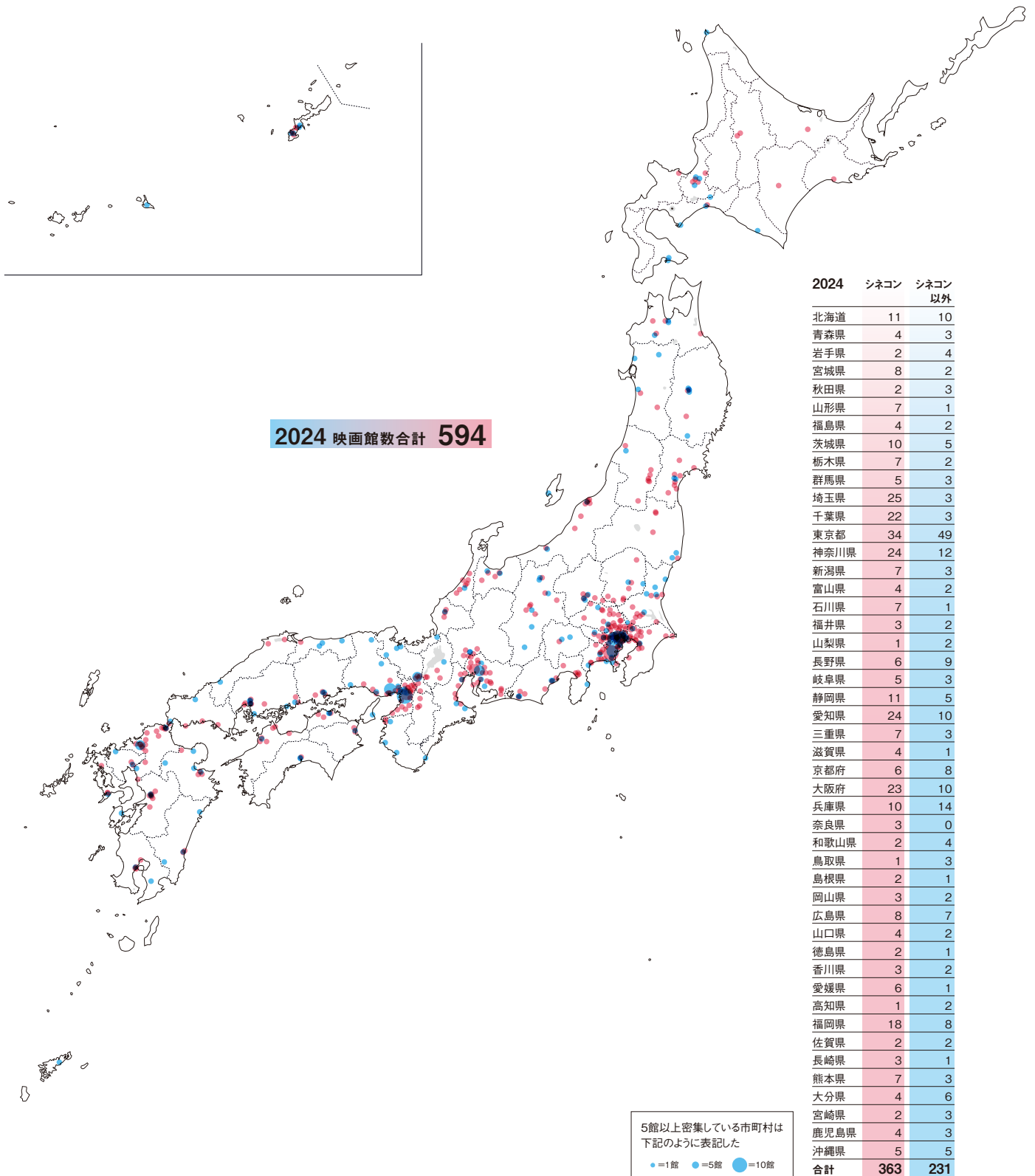
	2024		2023		2015		2015→2024		2023→2024		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
北海道・東北地方											北海道・東北地方の人口
シネマコンプレックス	38	297	38	298	39	295	-1	2	0	-1	2024 13,260,966
ミニシアター	9	21	8	21	9	19	0	2	1	0	2015 14,389,701
既存興行館	14	32	15	34	14	32	0	0	-1	-2	増減(人) -1,128,735
成人映画館	2	2	3	3	4	4	-2	-2	-1	-1	増減率(%) -7.8%
シネコン以外	25	55	26	58	27	55	-2	0	-1	-3	
北海道・東北地方合計	63	352	64	356	66	350	-3	2	-1	-4	
関東地方											関東地方の人口
シネマコンプレックス	127	1,194	124	1,160	116	1,070	11	124	3	34	2024 43,602,376
ミニシアター	57	95	56	93	46	76	11	19	1	2	2015 42,995,031
既存興行館	16	30	16	31	22	46	-6	-16	0	-1	増減(人) 607,345
成人映画館	4	7	4	7	5	7	-1	0	0	0	増減率(%) 1.4%
シネコン以外	77	132	76	131	73	129	4	3	1	1	
関東地方合計	204	1,326	200	1,291	189	1,199	15	127	4	35	
中部地方											中部地方の人口
シネマコンプレックス	68	626	69	634	65	589	3	37	-1	-8	2024 20,613,786
ミニシアター	23	33	21	33	17	24	6	9	2	0	2015 21,460,745
既存興行館	8	24	9	26	17	39	-9	-15	-1	-2	増減(人) -846,959
成人映画館	6	6	6	6	9	9	-3	-3	0	0	増減率(%) -3.9%
シネコン以外	37	63	36	65	43	72	-6	-9	1	-2	
中部地方合計	105	689	105	699	108	661	-3	28	0	-10	
近畿地方											近畿地方の人口
シネマコンプレックス	55	516	55	516	54	498	1	18	0	0	2024 21,905,135
ミニシアター	20	43	21	44	17	32	3	11	-1	-1	2015 22,541,298
既存興行館	11	28	11	30	15	47	-4	-19	0	-2	増減(人) -636,163
成人映画館	9	10	9	10	11	12	-2	-2	0	0	増減率(%) -2.8%
シネコン以外	40	81	41	84	43	91	-3	-10	-1	-3	
近畿地方合計	95	597	96	600	97	589	-2	8	-1	-3	
中国・四国地方											中国・四国地方の人口
シネマコンプレックス	30	243	30	243	29	229	1	14	0	0	2024 10,532,898
ミニシアター	14	22	14	21	10	15	4	7	0	1	2015 11,264,210
既存興行館	5	8	5	9	8	17	-3	-9	0	-1	増減(人) -731,312
成人映画館	2	2	2	2	2	3	0	-1	0	0	増減率(%) -6.5%
シネコン以外	21	32	21	32	20	35	1	-3	0	0	
中国・四国地方合計	51	275	51	275	49	264	2	11	0	0	
九州・沖縄地方											九州・沖縄地方の人口
シネマコンプレックス	45	415	44	406	38	354	7	61	1	9	2024 13,946,570
ミニシアター	19	32	19	32	12	20	7	12	0	0	2015 14,441,199
既存興行館	8	17	8	17	9	18	-1	-1	0	0	増減(人) -494,629
成人映画館	4	6	4	6	11	12	-7	-6	0	0	増減率(%) -3.4%
シネコン以外	31	55	31	55	32	50	-1	5	0	0	
九州・沖縄地方合計	76	470	75	461	70	404	6	66	1	9	
全国											全国の人口
シネマコンプレックス	363	3,291	360	3,257	341	3,035	22	256	3	34	2024 123,861,731
ミニシアター	142	246	139	244	111	186	31	60	3	2	2015 127,092,184
既存興行館	62	139	64	147	85	199	-23	-60	-2	-8	増減(人) -3,230,453
成人映画館	27	33	28	34	42	47	-15	-14	-1	-1	増減率(%) -2.5%
シネコン以外	231	418	231	425	238	432	-7	-14	0	-7	
全国合計	594	3,709	591	3,682	579	3,467	15	242	3	27	

—人口：各都道府県発表(各年10月1日現在) 参照

—映画館数・スクリーン数：『日本映画産業統計』(日本映画製作者連盟)、『映画上映活動年鑑』(コミュニティシネマセンター) 参照

fig.07
全国映画館地図(2005 / 2024)





公開本数・公開作品

公開本数

映画の公開本数は、1955年以降2004年までは大体550～650本を推移してきた。その後、デジタル化の進行とともに増加し続け、2013年には日本映画、外国映画とも500本以上が公開され、公開本数は1000本を越えた。コロナ禍にあった2020年も日本映画506本、外国映画511本の1017本が公開されている。

2024年の公開本数は、日本映画685本、外国映画505本、合計1190本であった(映連発表数値)。前年の2023年(1232本)から42本減少しているが、これは主に外国映画の公開本数が50本以上減少したことによる。

→fig.08

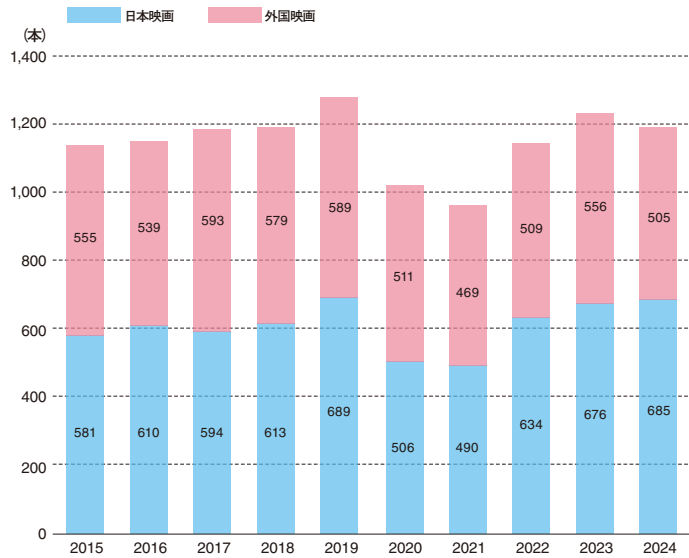
興行収入

2024年の興行収入は、日本映画が1558億円(前年比105.1%)、外国映画が511億8300万円(前年比69.8%)、合計2069億8300万円で前年を6.5%下回っている。コロナ前の2019年は非常に好調であった(2611億8000万円)こともあり、これと比較すると20.8%減となるが、10年前の2015年(2171億1900万円)とほぼ同水準を保っている。

日本映画の興行収入は前年比5.1%増、2019年(1421.92億円)と比較しても9.6%の増加となり、興収における日本映画のシェアは75.3%、外国映画は24.7%と前年以上に差が広がり、コロナ禍以降の外国映画のシェア低迷のトレンドが顕著になっている(2017-2019年の外国映画のシェアは45%以上)。

→fig.09, fig.10

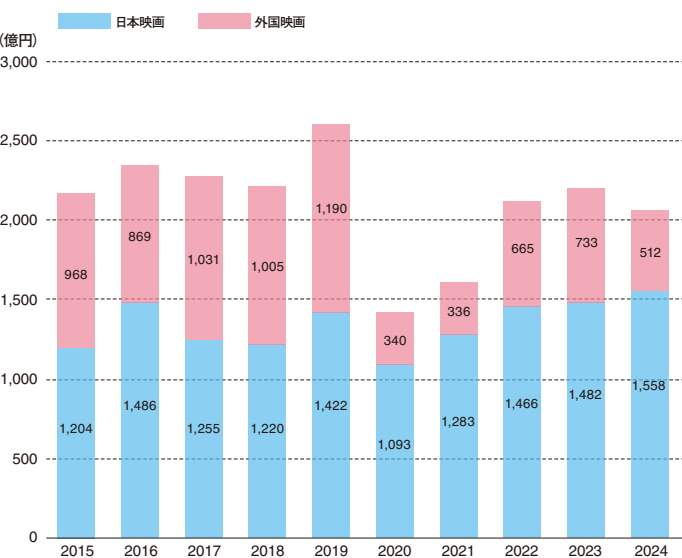
fig.08 公開本数の推移(2015-2024)



	公開本数			シェア	
	日本映画	外国映画	合計	日本映画	外国映画
2015	581	555	1,136	51.1%	48.9%
2016	610	539	1,149	53.1%	46.9%
2017	594	593	1,187	50.0%	50.0%
2018	613	579	1,192	51.4%	48.6%
2019	689	589	1,278	53.9%	46.1%
2020	506	511	1,017	49.8%	50.2%
2021	490	469	959	51.1%	48.9%
2022	634	509	1,143	55.5%	44.5%
2023	676	556	1,232	54.9%	45.1%
2024	685	505	1,190	57.6%	42.4%

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

fig.09 興行収入の推移(2015-2024)



	興行収入 (億円)			シェア	
	日本映画	外国映画	合計	日本映画	外国映画
2015	1,203.67	967.52	2,171.19	55.4%	44.6%
2016	1,486.08	869.00	2,355.08	63.1%	36.9%
2017	1,254.83	1,030.89	2,285.72	54.9%	45.1%
2018	1,220.29	1,004.82	2,225.11	54.8%	45.2%
2019	1,421.92	1,189.88	2,611.80	54.4%	45.6%
2020	1,092.76	340.09	1,432.85	76.3%	23.7%
2021	1,283.39	335.54	1,618.93	79.3%	20.7%
2022	1,465.79	665.32	2,131.11	68.8%	31.2%
2023	1,481.81	733.01	2,214.82	66.9%	33.1%
2024	1,558.00	511.83	2,069.83	75.3%	24.7%

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

公開規模

コミュニティシネマセンターではネット上に掲載された情報等を元に独自に「公開作品リスト」を作成している。2024年の公開本数は日本映画604本、外国映画711本、合計1315本（都内1-2館特集上映のみでの公開作品を含めると1452本）という数値を得ている。映連発表の数値は日本映画685本、外国映画505本、計1190本（ODSを加えると1628本）で、取り分け、外国映画の公開本数に大きな開きが出ている。この要因としては以下のことが考えられる。

近年、旧作の特集上映やデジタルリマスター版の再上映が急増しており、特集上映の中には年をまたいで巡回が続くもの、多少プログラムを変更して再上映されるものも少なくない。

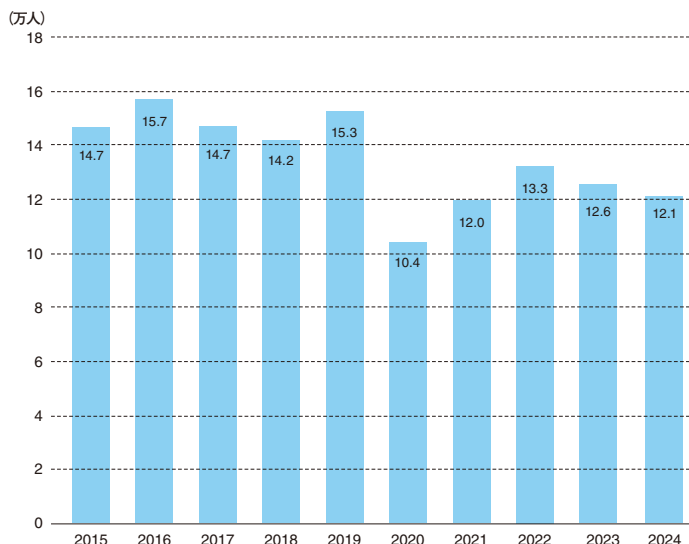
これらをどのような基準をもって公開作品にカウントするかによって、本数に大きな開きが生じることになる。コミュニティシネマセンターでは複数の映画館を巡回した特集上映についてはかなりのものをその年の公開作品としてカウントしており、2024年の外国映画の公開本数は前年を上回る711本という数値を示している。

両者の数値の違いが大きくなっている点は気になるところだが、前年からの継続性を鑑みて、以下ではこちらで得たデータを元に公開作品の中味を見てみる。

公開規模

2024年に「300館以上」で公開されたのは、日本映画67本、外国映画34本であった。日本映画で370館以上で公開された作品は、興行収入が100億円を越えた『名探偵コナン 100万ドルの五稜星』（4月）や『劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦』（2月）に加え、『映画ドラえもん のび太の地球交響楽』（3月）、『「鬼滅の刃」絆の奇跡、そして柱稽古へ』（2月）、『劇場版 SPY×FAMILY CODE: White』（12月）といった定番のアニメーションや、『キングダム 大將軍の帰還』（7月）、久しぶりのコンビ復活が話題となった『帰ってきた あぶない刑事』（5月）、「踊る大捜査線シリーズ」の最新作『室井慎次』の2作品（10-11月）、人気テレビシリーズの映画化『劇場版ドクター X』（12月）、『グ

fig.10 1 作品当たりの観客数の推移(2015-2024)



	公開本数(本)	観客者数(千人)	1作品当たりの観客数	前年比
2015	1,136	166,630	146,681	10,604
2016	1,149	180,189	156,822	10,141
2017	1,187	174,483	146,995	-9,828
2018	1,192	169,210	141,955	-5,040
2019	1,278	194,910	152,512	10,557
2020	1,017	106,137	104,363	-48,149
2021	959	114,818	119,727	15,364
2022	1,143	152,005	132,988	13,261
2023	1,232	155,535	126,246	-6,742
2024	1,190	144,441	121,379	-4,867

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

ランメゾン・パリ』(12月)など14作品に上る。外国映画では、『怪盗グルーのミニオン超変身』(7月)、『インサイド・ヘッド2』(8月)、『モアナと伝説の海2』(12月)、『ウィッシュ』(2023年12月)、『ライオン・キング ムファサ』(12月)、『エイリアン ロムルス』(9月)、『猿の惑星 キングダム』(5月)、『FLY! フライ!』(3月)の8本が370館以上で公開された。興収を見ると最もヒットした『インサイド・ヘッド2』も53.6億円にとどまっており、10億円に届かない作品も少なくない。コロナ禍前の2019年には133億円の興収を得た『アナと雪の女王2』を筆頭に、25本の作品が10億円以上の興収を上げていたことを考えると、現状は非常に厳しいものがある。

そんな中、本国では2023年に公開され、第96回アカデミー賞作品賞等を受賞した『オッペンハイマー』がようやく3月に公開されたことが大きな話題となった。35ミリフィルムでの上映も行われ、同作品公開時にはC.ノーラン監督の旧作2作品も上映されて多くの映画ファンを集めた。

2020年以降、シネコンはそれまで上映しなかった多様な作品を上映するようになった。また、コロナ以前の2019年までは150館以上で大規模公開される作品のほとんどは「シネコンのみ」で上映されていたが、2021年以降はシネコン以外の映画館、ミニシアターでも上映されることが増えている。シネコンとミニシアターの両方で公開される作品は、2019年は日本映画で104本(18%)、外国映画では125本(24%)であったが、2024年は日本映画で227本(38%)、外国映画では343本(48%)と倍増している。シネコンとミニシアターでの上映作品の明確な線引きはなくなりつつある。

そのような状況でも、ミニシアターでしか上映されない作品の割合はあまり変化していない。ミニシアターのみで上映される作品は日本映画では205本(34%)と前年比で7%減少しているが、外国映画では312本(44%)で、前年より9%も増加している。日本映画、外国映画を合わせると517本(39%)がミニシアターでの公開となっている。

ミニシアターでしか上映されない小規模作品の中には、国際映画祭等で高い評価を得た作品や、世界的巨匠の作品、重要なドキュメンタリー映画、多くの若い作り手たちの野心的な作品が含まれている。旧作のデジタルリマスター版のリバイバル上映や監督の特集上映なども、その多くがミニシアターのみで行われている。

公開作品の種類

日本映画

2024年の日本映画の公開本数は604本と、前年より52本減少している。

その内訳は劇映画344本(40減)、アニメーション63本(30減)、ドキュメンタリー89本(5増)、公演やライブ等のODSが53本(30増)、特集上映(旧作のデジタルリマスター版含む)が55本(17減)となっている。

上位3位までをアニメーションが占めて圧倒的な集客力を見せた2023年ほどではないが、2024年も『名探偵コナン 100万ドルの五稜星』が158億円、『劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦』が116.4億円と100億円を越えたのをはじめ、『劇場版SPY x FAMILY CODE: White』、『機動戦士ガンダム SEED FREEDOM』といったアニメーション作品6本が興行収入のトップ10に入る強さを見せている。人気漫画のアニメ化作品『ルックバック』(6月)は、上映時間が58分と短いにも関わらず、徐々に館数を広げ最終的には300館を越える映画館で公開され、興行収入20.4億円の大ヒットとなった。実写映画化もされた『がんばっていきまっしょい』のCGアニメ化作品が公開され、幅広い層の関心を集め、山下敦弘監督がアニメーション作家の久野遥子とともに監督を務め、ロトスコープという手法でつくられたアニメーション『化け猫あんずちゃん』も話題を集めた。

劇映画では前述の大規模公開作品に加え、ヴィム・ヴェンダース監督の『PERFECT DAYS』(2023年12月)がシネコンとミニシアターの両方で公開され、公開館数は270館を越え、興収も13.3億円の大ヒットを記録して

いる。

内外で高い評価を受けている濱口竜介監督(『悪は存在しない』4月)、三宅唱監督(『夜明けのすべて』2月)、黒沢清監督らの新作が公開され、特に黒沢監督は『蛇の道』(6月)、『Cloud クラウド』(9月)、『Chime』(8月)の三作品が公開され、ゆるぎない存在感を示している。国際映画祭では多くの若い監督の作品が注目を集めた。山中瑤子監督『ナミビアの砂漠』(9月)をはじめ、奥山大史監督『ぼくのお日さま』(9月)、空音央監督『HAPPYEND』(10月)、五十嵐耕平監督『SUPER HAPPY FOREVER』(9月)、呉美保監督の『ぼくが生きてる、ふたつの世界』(9月)といった作品は多くの若い観客を集めた。また、清原惟監督『すべての夜を思いだす』(3月)、杉田協士監督『彼方のうた』(1月)、太田達成監督『石がある』(9月)などは映画館だけではなく、多くの映画祭や自主上映会でも上映された。東京国際映画祭で『敵』(吉田大八監督)が、日本映画として19年ぶりにグランプリを受賞したことも話題を集めた。

また、池袋シネマ・ロサで上映がスタートしたインディペンデント映画『侍タイムスリッパー』(8月)がロングランヒット、公開館数が252まで広がったことも大きな注目を集めた。

2024年も多くのドキュメンタリー映画が公開された。公開された89本のうち、69本がミニシアターのみで上映されている。2024年のドキュメンタリー映画で最も注目されるのは藤野知明監督の『どうすればよかったか?』である。山形国際ドキュメンタリー映画祭で上映された同作は公開前から話題となり、公開されるや多くのミニシアターで満席が続き、シネコンにまで拡大公開される事態となった。また、死刑囚として47年間獄中生活を送り、2024年10月に無罪が確定した袴田巖さんを追ったドキュメンタリー『拳と折り 袴田巖の生涯』(10月)、1992年に起きた「飯塚事件」を30年にわたって追いつけたNHK制作のドキュメンタリーの劇場版『正義の行方』(4月)、1998年に起きた和歌山毒物カレー事件のドキュメンタリー『Mommy』

fig.11 2024年に映画館で公開された作品の公開規模

日本映画																				
公開館数	2024		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ	2023		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ	2022		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ	2019		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ
300館以上	67	11%	59	8	0	59	9%	54	5	0	63	12%	57	6	0	43	7%	43	0	0
150～299館	50	8%	23	27	0	42	6%	27	15	0	45	8%	28	17	0	39	7%	38	1	0
100～149館	41	7%	14	27	0	34	5%	14	20	0	35	7%	13	22	0	47	8%	28	19	0
70～99館	46	8%	18	28	0	39	6%	20	19	0	39	7%	18	21	0	32	6%	16	14	2
50～69館	48	8%	11	37	0	51	8%	20	29	2	42	8%	12	26	4	42	7%	22	16	4
30～49館	65	11%	23	29	13	64	10%	10	47	7	73	14%	18	38	17	55	10%	28	15	12
10～29館	117	19%	11	43	63	169	26%	19	45	105	118	22%	18	24	76	125	22%	42	21	62
2～9館	170	28%	13	28	129	198	30%	14	28	156	123	23%	7	15	101	194	34%	13	18	163
公開本数合計①	604		172	227	205	656		178	208	270	538		171	169	198	577		230	104	243
			28%	38%	34%			27%	32%	41%			32%	31%	37%			40%	18%	42%
49館以下で公開された作品本数	352					431					314					374				
うちミニシアターのみでの上映作品	205		58%			268		62%			194		62%			237		63%		
その他（東京1館のみでの公開など）	84					86					101					73				
日本映画公開本数合計②	688					742					639					650				

外国映画																				
公開館数	2024		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ	2023		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ	2022		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ	2019		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ
300館以上	34	5%	31	3	0	30	5%	29	1	0	29	5%	27	2	0	32	6%	32	0	0
150～299館	39	5%	26	13	0	26	4%	21	5	0	23	4%	13	10	0	18	4%	16	2	0
70～149館	78	11%	15	63	0	66	10%	13	53	0	50	8%	5	45	0	42	8%	17	23	2
50～69館	84	12%	7	75	2	81	13%	6	73	2	61	10%	1	53	7	33	6%	3	20	10
30～49館	112	16%	1	83	28	123	19%	5	84	34	135	21%	6	74	55	97	19%	4	44	49
10～29館	206	29%	10	90	106	243	38%	30	72	141	247	39%	26	38	183	174	34%	25	27	122
2～9館	158	22%	2	16	176	65	10%	4	14	47	90	14%	6	11	73	118	23%	17	9	92
公開本数合計①	711		92	343	312	634		108	302	224	635		84	233	318	514		114	125	275
			13%	48%	44%			17%	48%	35%			13%	37%	50%			22%	24%	54%
49館以下で公開された作品本数	476					431					472					389				
うちミニシアターのみでの上映作品	310		65%			222		52%			311		66%			263		68%		
その他（都内1～2館での上映など）	53					89					74					128				
外国映画公開本数合計②	764					723					709					642				
日本映画①+外国映画①	1315		264	570	517	1290		286	510	494	1173					1091				
			20%	43%	39%			22%	40%	38%										

(8月)といった事件を検証する作品が話題を集めた。

日本の公立小学校の子どもたちの生活を描き、海外で大きな注目を集めたドキュメンタリー『小学校 それは小さな社会』(12月)、児童養護施設で暮らす子どもたちの日常に密着した『大きな家』(12月)といった作品は、映画ファンに止まらない幅広い層の観客を得ている。

東日本大震災の被災地で作品を撮り続ける小森はるか監督『ラジオ下神白 あのと きあのまちの音楽から いまここへ』や土井敏邦監督の『津島 福島は語る・第二章』、沖縄を撮り続ける三上智恵監督『戦雲(いくさふむ)』、国際的に活躍する想田和弘監督『五香宮の猫』、自身の姉とその娘を撮り続ける伊勢真一監督の『大好き 奈緒ちゃんとお母さんの50年』なども公開され、多くの観客を集めている。

外国映画

外国映画は、2024年は711本が公開された。ジャンル別では、劇映画の新作が333本(29増)、アニメーション32本(7増)、ドキュメンタリー 53本(2減)、ODS43本(10減)、特集上映(旧作のデジタルリマスター版含む)は250本(53増)となり公開作品全体の35%を占めている。前述のように、2024年、外国映画で最もヒットしたのは『インサイド・ヘッド2』(53.6億円)で目立ったヒット作品はなかった。興収10億円以上の作品は10作品に留まっている。そのような中でも『シビル・ウォー アメリカ最後の日』(10月)や、ヨルゴス・ランティモスの『哀れなるものたち』(1月)と、『憐れみの3章』(9月)といった作品がシネコン+ミニシアターで大規模公開され、多くの映画ファンを集めた。大作以外のアニメーションでは、ミニシアターを中心に公開された『ロボット・ドリームス』(11月)がヒット、新潟国際アニメーション映画祭でグランプリを受賞した村上春樹の小説を映画化したフランスのアニメーション『めくらやなぎと寝る女』も、深田晃司監督による日本語

fig.12 2024年に公開された映画の分類

日本映画	2024	2023	2022	2021	2019
一般映画新作(劇映画)	344	384	358	321	380
一般映画新作(アニメーション)	63	93	85	95	94
ドキュメンタリー	89	84	77	68	71
ODS	53	23	18	20	32
旧作デジタルリマスター版	19				
特集上映(旧作デジタルリマスター版含む)	36	72			
日本映画合計①	604	656	538	504	577
上記の他、公開館数1館(短篇・若手・その他)	84	86	101	40	73
日本映画合計②	688	742	639	544	650

外国映画	2024	2023	2022	2021	2019
一般映画新作(劇映画)	333	304	307	279	330
一般映画新作(アニメーション)	32	25	18	20	16
ドキュメンタリー	53	55	62	69	55
ODS	43	53	37	16	47
旧作デジタルリマスター版(劇映画)	66	43	51	31	35
特集上映(旧作デジタルリバイバル)26企画(2023)	184	154	160	79	31
外国映画合計①	711	634	635	494	514
上記の他、1館(あるいは2、3館)のみでの上映	53	89	74	74	128
外国映画合計②	764	723	709	568	642
日本映画①+外国映画①	1315	1290	1173	998	1091

吹き替え版がつくられたことなども話題を集め、堅調な興行となった。アキ・カウリスマキ監督(『枯れ葉』2023年12月)、ビクトル・エリセ監督(『瞳を閉じて』2月)、といった巨匠たちの新作の公開も大きな話題となった。イタリアの巨匠マルコ・ヴェロッキオ監督が「アルド・モーロ誘拐事件」を映画化した大作『夜の外側 イタリアを震撼させた55日間』(8月)が話題を集め、同監督の『エドガルド・モルターラ ある少年の数奇な運命』(4月)もミニシアターを中心に上映されている。ドキュメンタリーは53本が公開された。『ジョン・レノン 失われた週末』(5月)が100館以上で公開されたのをはじめ、音楽系のドキュメンタリーが多いが、ウクライナでの戦争を撮った『マリウポリの20日間』(8月)や、悪化の一途を辿るパレスチナ・イスラエル状況をうけて『ガザ・サーフ・クラブ』(2023年12月)、『私は憎まない』(10月)、『ガザからの報告』(日本映画/10月)といった作品が公開されている。イランの名匠モフセン・マフマルバフ監督とハナ・マフマルバフ監督がアフガニスタン

とイスラエルで撮った2作品(『子どもたちはもう遊ばない』『苦悩のリスト』12月)も公開された。また、ドキュメンタリー映画の巨匠フレデリック・ワイズマン監督の『至福のレストラン 三つ星トワグロ』(8月)、ワン・ビン監督の『青春』(4月)といった重要な作品もミニシアターを中心に上映されている。外国映画が不調と言われる中でも多くの配給会社によって様々な国の作品が配給され、上映環境の多様性が保たれている。ブラッド・ピットとジョージ・クルーニーがW主演を務める『ウルフズ』(Apple製作)は9月に日本で配信前の限定公開が予定されていたが、直前に公開中止が決定、Apple TV+での配信のみとなり、クリント・イーストウッド監督の最新作『陪審員2番』も12月にU-NEXTでの配信が始まり、劇場公開の見込みは立っていない。コロナ禍の2020年以降に顕著な傾向として旧作のリバイバル公開、特集上映が非常に増えているということがある。2024年も多くの旧作のデジタルリマスター版が公開され、

30を越える特集上映が行われている。
デジタルリマスター版のリバイバル公開では、『グラディエーター』（2000）、デヴィッド・リンチ版『デューン/砂の惑星』（1984）、『ロード・オブ・ザ・リング』3部作のスペシャル・エクステッド・エディションといった大作のデジタルリマスター版が、シリーズ最新作の公開に合わせて上映されたほか、1980～2000年代初頭にミニシアターを中心に大ヒットした『リトル・ダンサー』『ラブ・アクチュアリー』『シュリ』『レザボア・ドッグス』『ピアノ・レッスン』『バグダッド・カフェ』『テルマ&ルイーズ』『ラスト・エ

ンペラー』といった作品が次々に公開され、新旧の映画ファンを喜ばせている。『風が吹くとき』や『ウォーターシップダウンのうさぎたち』といったアニメーションも含め、旧作のデジタルリマスター版は70本近く公開された。また、特集上映も非常に多く行われている。2022年は22企画、2023年26企画、2024年は30企画を越える特集上映が生まれ、180本を越える映画が上映されている。（特集の再上映を含む）
以下に主な特集を挙げてみる。

旧作の特集上映が盛んに行われるという現象は、日本特有のものではなく、ヨーロッパでも同様であり、コロナ後の映画館で若い観客を拡大する一助ともなっているようである。

2024年の主な特集上映

〈外国映画〉

午前十時の映画祭13 『リバー・ランズ・スルー・イット 4K』ほか

12ヶ月のシネマリレー 『トランボ ハリウッドに最も嫌われた男』ほか

ランボー 4Kトリロジー

クリストファー・ノーラン特集

マカロニ・ウエスタン誕生60周年 『ドル3部作 4K』

ウォン・カーウァイ ザ・ビギニング

ニナ・メンケスの世界

永遠のフィルム・マエストロ エンニオ・モリコーネ特選上映

BB生誕90年祭 ブリジット・バルドー レトロスペクティヴ

映画作家ジャンヌ・モロー

ピーター・グリーナウェイ レトロスペクティヴ 美を患った魔術師

ダリオ・アルジェント 動物三部作

張芸謀 チャン・イーモウ 艶やかなる紅の世界

シュルレアリスム100年映画祭

鬼オジョニー・トー監督 “男の絆” セレクション

ベット・ゴードン エンプティ ニューヨーク

グレッタ・ガーウィグ特集

70/80年代 フランシス・F・コッポラ 特集上映 一終わりなき再編集—

ありがとうブルース! 不死身の男フェス

興行収入10億円を超える映画／
10億円以下の映画

2024年、興行収入10億円を越えた映画は日本映画31本、外国映画10本の41本(2023年49本、2019年65本)であった。本数では全公開本数1190本の3.4%、興行収入では、日本映画約1050.1億円、外国映画252.6億円で合計1302.7億円となり、全興行収入の62.9%（2023年66.1%、2022年72%）を占めている。

→fig.13, 14, 15, 16, 17

fig.13 2024年興行収入10億円以上作品〔日本映画〕

順位	公開月	作品名	興行収入 (億円)	ジャンル	配給会社
1	4月	名探偵コナン 100万ドルの五稜星(みちしるべ)	158	アニメーション	東宝
2	2月	劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦	116.4	アニメーション	東宝
3	7月	キングダム 大將軍の帰還	80.3	劇映画	東宝/SPE
4	23/12月	劇場版 SPY×FAMILY CODE: White	63.2	アニメーション	東宝
5	8月	ラストマイル	59.6	劇映画	東宝
6	1月	機動戦士ガンダムSEED FREEDOM	53.8	アニメーション	バンダイナムコフィルムワークス/松竹
7	3月	変な家	50.7	劇映画	東宝
8	23/12月	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	45.4	劇映画	松竹
9	3月	映画ドラえもん のび太の地球交響楽	43.1	アニメーション	東宝
10	8月	僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ユアネクスト	36	アニメーション	東宝
11	1月	ゴールデンカムイ	29.9	劇映画	東宝
12	8月	映画クレヨンしんちゃん オラたちの恐竜日記	26.9	アニメーション	東宝
13	2月	「鬼滅の刃」絆の奇跡、そして柱稽古へ	23.1	アニメーション	東宝/アニプレックス
14	6月	ルックバック	20.4	アニメーション	エイベックス・ピクチャーズ
15	9月	Mrs. GREEN APPLE // The White Lounge in CINEMA	19	ODS	松竹 ODS 事業室
16	10月	室井慎次 敗れざる者	18.9	劇映画	東宝
17	4月	劇場版ブルーロック -EPISODE 凜-	18.1	アニメーション	バンダイナムコフィルムワークス
18	9月	スオミの話をしよう	17.7	劇映画	東宝
19	11月	室井慎次 生き続ける者	17	劇映画	東宝
20	5月	帰ってきた あぶない刑事	16.4	劇映画	東映
21	6月	ディア・ファミリー	14.7	劇映画	東宝
22	11月	劇場版「進撃の巨人」完結編 THE LAST ATTACK	14.5	アニメーション	ポニーキャニオン
23	5月	劇場版『ウマ娘 プリティーダービー 新時代の扉』	14.1	アニメーション	東宝
24	23/12月	PERFECT DAYS	13.3	劇映画	ビターズ・エンド
25	9月	わんだふるぷりきゅあ!ざ・むービー! ドキドキ・ゲームの世界で大冒険!	12.4	アニメーション	東映
26	7月	もしも徳川家康が総理大臣になったら	12	劇映画	東宝
27	3月	四月になれば彼女は	11.9	劇映画	東宝
28	7月	あのコはだあれ?	11.6	劇映画	松竹
29	4月	陰陽師0	11	劇映画	WB
30	6月	九十歳。何がめでたい	10.4	劇映画	松竹
31	9月	劇場版「オーバーロード」聖王国編	10.3	アニメーション	KADOKAWA
合計			1050.1		

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

fig.14 2024年興行収入10億円以上作品〔外国映画〕

順位	公開月	作品名	興行収入 (億円)	ジャンル	配給会社
1	8月	インサイド・ヘッド2	53.6	アニメーション	WDS
2	7月	怪盗グルーのミニオン超変身	45.3	アニメーション	東宝東和
3	23/12月	ウィッシュ	36.1	アニメーション	WDS
4	23/12月	ウォンカとチョコレート工場のはじまり	23.7	劇映画	WB
5	7月	デッドプール&ウルヴァリン	21.1	劇映画	WDS
6	3月	オッペンハイマー	18.7	劇映画	ビターズ・エンド
7	4月	ゴジラxコング 新たなる帝国	17.4	劇映画	東宝
8	11月	ヴェノム：ザ・ラストダンス	15.1	劇映画	SPE
9	10月	ジョーカー：フォリ・ア・ドゥ	11.6	劇映画	WB
10	5月	マッドマックス：フュリオサ	10	劇映画	WB
合計			252.6		

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

fig.15 2024年興行収入上位20作品

順位	公開月	作品名	興行収入 (億円)	ジャンル	日本映画 / 外国映画	配給会社
1	4月	名探偵コナン 100万ドルの五稜星(みちしるべ)	158	アニメーション	日本映画	東宝
2	2月	劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦	116.4	アニメーション	日本映画	東宝
3	7月	キングダム 大將軍の帰還	80.3	劇映画	日本映画	東宝/SPE
4	23/12月	劇場版 SPY×FAMILY CODE：White	63.2	アニメーション	日本映画	東宝
5	8月	ラストマイル	59.6	劇映画	日本映画	東宝
6	1月	機動戦士ガンダムSEED FREEDOM	53.8	アニメーション	日本映画	バンダイナムコフィルムワークス / 松竹
7	8月	インサイド・ヘッド2	53.6	アニメーション	外国映画	WDS
8	3月	変な家	50.7	劇映画	日本映画	東宝
9	23/12月	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	45.4	劇映画	日本映画	松竹
10	7月	怪盗グルーのミニオン超変身	45.3	アニメーション	外国映画	東宝東和
11	3月	映画ドラえもん のび太の地球交響楽	43.1	アニメーション	日本映画	東宝
12	23/12月	ウィッシュ	36.1	アニメーション	外国映画	WDS
13	8月	僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ユアネクスト	36	アニメーション	日本映画	東宝
14	1月	ゴールデンカムイ	29.9	劇映画	日本映画	東宝
15	8月	映画クレヨンしんちゃん オラたちの恐竜日記	26.9	アニメーション	日本映画	東宝
16	23/12月	ウォンカとチョコレート工場のはじまり	23.7	劇映画	外国映画	WB
17	2月	「鬼滅の刃」絆の奇跡、そして柱稽古へ	23.1	アニメーション	日本映画	東宝 / アニプレックス
18	7月	デッドプール&ウルヴァリン	21.1	劇映画	外国映画	WDS
19	6月	ルックバック	20.4	アニメーション	日本映画	エイベックス・ピクチャーズ
20	9月	Mrs. GREEN APPLE//The White Lounge in CINEMA	19	ODS	日本映画	松竹 ODS 事業室
合計			1005.6			
2024年興行収入			2069.8			2023…2214.8 2022…2131.1
2024年興行収入10億円以上作品			1302.7			2023…1463.3 2022…1531.7
興行収入10億円以上作品の割合			62.9%			

fig.16 興行収入10億円以上の作品 / 興行収入10億円未満(2024)

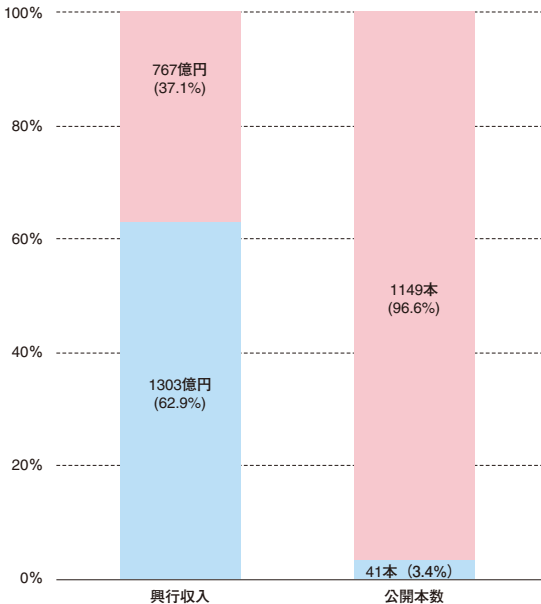


fig.17 興行収入10億円以上の映画 / 興行収入10億円未満の映画(2015-2024)

興行収入(億円)					
	全体	10億円以上		10億円未満	
		興収	割合	興収	割合
2015	2,171	1,595	73.5%	576	26.5%
2016	2,355	1,763	74.9%	592	25.1%
2017	2,286	1,618	70.8%	667	29.2%
2018	2,225	1,563	70.2%	662	29.8%
2019	2,611	2,009	76.9%	602	23.1%
2020	1,433	912	63.7%	521	36.3%
2021	1,619	1,006	62.2%	613	37.8%
2022	2,131	1,532	71.9%	599	28.1%
2023	2,215	1,463	66.1%	752	33.9%
2024	2,070	1,303	62.9%	767	37.1%

公開本数					
	全体	10億円以上		10億円未満	
		本数	割合	本数	割合
2015	1136	61	5.4%	1075	94.6%
2016	1149	61	5.3%	1088	94.7%
2017	1187	62	5.2%	1125	94.8%
2018	1192	54	4.5%	1138	95.5%
2019	1278	65	5.1%	1213	94.9%
2020	1017	25	2.5%	992	97.5%
2021	959	37	3.9%	922	96.1%
2022	1143	41	3.6%	1102	96.4%
2023	1232	49	4.0%	1183	96.0%
2024	1190	41	3.4%	1149	96.6%

— fig. 16, 17とも「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

諸外国との比較〔2023〕

※各国のデータについては、以下を参照した。

“Focus 2024 – World film market trends”

『映画年鑑2024』『統計編 世界主要各国映画諸統計』
(キネマ旬報社刊)

フランス

フランス国立映画センター Centre National du Cinema et de
l'Image Animée (CNC)

“Bilan du CNC”

[https://www.cnc.fr/creation-numerique/etudes-et-rapports/
bilans](https://www.cnc.fr/creation-numerique/etudes-et-rapports/bilans)

イギリス

英国映画協会

British Film Institute (BFI) “Statistical Yearbook”

[http://www.bfi.org.uk/education-research/film-industry-
statistics-research/statistical-yearbook](http://www.bfi.org.uk/education-research/film-industry-statistics-research/statistical-yearbook)

ドイツ

ドイツ映画振興協会

Filmförderungsanstalt (FFA) “FFA Info”

<http://www.ffa.de/marktdaten.html>

オーストラリア

スクリーン・オーストラリア

Screen Australia “Fact Finders”

<https://www.screenaustralia.gov.au/fact-finders/>

韓国

韓国映画振興委員会 영화진흥위원회 (KOFIC)

「韓国映画産業決算」

[http://www.kofic.or.kr/kofic/business/rsch/findPolicyList.
do](http://www.kofic.or.kr/kofic/business/rsch/findPolicyList.do)

に、韓国では約1.5倍、中国では3倍以上に増えている。コロナ禍以後、すべての国において、様々な形で映画館を守るための支援策がこじられたことなどにより、コロナ禍による閉館は小規模なものにとどまったと考えられる。

2023年のスクリーン数は、中国が8万6310スクリーンと群を抜いている。また、アメリカ・カナダが4万1077スクリーンと他の国に比べて圧倒的に多く、次いでフランスが6320、ドイツ4901、イギリス4749スクリーンと続く。

人口をスクリーン数で割った「1スクリーン当たりの人口」は、その数値が低いほどスクリーンが多い、身近にスクリーンが存在しているとみることができる。この数値をみると、日本は33,778人に1スクリーンと、他の国に比べてスクリーンが極端に少ない。アメリカ・カナダは9,319人に1スクリーン、フランスは10,512人に1スクリーンで、日本以外の7ヶ国はいずれも1スクリーン当たりの人口が1万人台におさまっており、日本のスクリーン数は、アメリカ・カナダの4分の1、フランスやオーストラリアの3分の1、韓国、ドイツ、イギリス、中国の2分の1程度しかない状態が続いている。

→ [fig.20](#), [21](#), [22](#)

興行収入・入場料金

コロナ禍の2020年、2021年と興行収入第1位となった中国は、2022年に失速したが、2023年には前年を40%近く上回る回復ぶりを見せ、アメリカ・カナダに迫りつつある。日本は、アメリカ・カナダ、中国について第3位の位置を保持し続けている。フランス、ドイツ、イギリスというヨーロッパの三ヶ国が順調な回復ぶりをみせている。

いずれの国においても平均入場料金が2020年以降、かなり上がっている。物価の上昇が入場料金にも反映していると見ることができるが、コロナ禍で、それまで観客層の中心であった高齢者層の観客が減少し、シニア割引の割合が減っていることもその一因となっているかもしれない。日本の入場料金は平均1,424円で、前年と比較すると20円以上上昇してい

2025年1月末現在、まだ、諸外国の2024年のデータはインターネット上に公開されていないため、以下では、2023年の日本と諸外国のデータを比較している。

観客数

2020～2022年、世界中の映画産業がコロナ禍で大きな打撃を受けた。2023年には各国ともコロナ前の状況に戻りつつあるが、その度合いにはかなり差があるようだ。2023年、日本の観客数は1億5553万5000人となり、10年前(2014年)の97%、ほぼコロナ前の水準にまで回復している。日本以外ではフランスが2014年比86%、イギリス78%、オーストラリア74%と、70%以上まで回復しているが、アメリカ・カナダは65%、韓国は58%に留まっている。そのような中、やや異常な変化を見せているのが中国である。中国の観客数は、2021年に急速な回復を見せた後、2022年にコロナ禍と同じ水準にまで落ち込み、2023年には一

気に2015年の水準まで回復している。

観客数を人口で割った国民1人当たりの年間鑑賞本数は、韓国が2.4本(←4.2)、アメリカ・カナダ2.2本(←3.6)、フランス2.7本(←3.3)、オーストラリア2.2本(←3.4)、イギリスは1.8本(←2.4)となっている。日本人の年間鑑賞本数は2020年以降、着実に回復し、2021年0.9本、2022年1.2本、2023年1.3本となったが、他国に比べると元々鑑賞本数が少なく、ドイツ、中国と最下位を争っている。

→ [fig.18](#), [19](#)

映画館数・スクリーン数

シネマコンプレックスの増加を背景にいずれの国も、2019年までスクリーン数は増加を続けていたが、2020年は減少に転じ(フランスと日本のみ微増)、コロナ禍の影響が懸念されたが、2021年以降は多くの国が微増となり、2023年も極端な変化はみられない。10年前と比較するとすべての国で増加しており、特

fig.18 諸外国との比較「観客数」(2014-2023)

単位:千人

	アメリカ・カナダ*	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	中国	オーストラリア	日本
人口(2023)	382,776	66,439	84,548	68,683	51,749	1,422,585	26,451	124,371
2014	1,270,000	209,100	121,700	157,500	215,060	830,000	78,600	161,116
2015	1,320,000	205,400	139,200	171,900	217,290	1,260,000	90,300	166,630
2016	1,320,000	213,200	121,100	168,300	217,020	1,370,000	91,300	180,189
2017	1,240,000	209,400	122,300	170,600	219,870	1,620,000	85,000	174,483
2018	1,300,000	201,200	105,400	177,000	216,390	1,720,000	89,800	169,210
2019	1,240,000	213,200	118,600	176,100	226,680	1,730,000	84,700	194,910
2020	240,000	65,300	38,100	44,000	59,520	548,000	28,200	106,137
2021	470,000	95,500	42,100	74,000	60,528	1,170,000	39,700	114,818
2022	715,100	152,000	78,000	117,300	112,805	712,000	57,900	152,005
2023	831,300	180,400	95,700	123,600	125,140	1,299,000	58,100	155,535
2014→2023の変化	65%	86%	79%	78%	58%	157%	74%	97%
2019→2023の変化	67%	85%	81%	70%	55%	75%	69%	80%

fig.19 諸外国との比較「年間鑑賞本数」(2014-2023)

	アメリカ・カナダ*	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	中国	オーストラリア	日本
2014	3.6	3.3	1.5	2.4	4.2	0.6	3.4	1.3
2015	3.7	3.2	1.7	2.6	4.3	0.9	3.8	1.3
2016	3.7	3.3	1.5	2.6	4.2	1.0	3.7	1.4
2017	3.4	3.2	1.5	2.6	4.3	1.1	3.4	1.4
2018	3.6	3.1	1.3	2.7	4.2	1.2	3.6	1.3
2019	3.4	3.3	1.4	2.6	4.4	1.2	3.3	1.5
2020	0.6	1.0	0.5	0.7	1.1	0.4	1.1	0.8
2021	1.3	1.5	0.5	1.1	1.2	0.8	1.6	0.9
2022	1.9	2.3	0.9	1.9	2.2	0.5	2.2	1.2
2023	2.2	2.7	1.1	1.8	2.4	0.9	2.2	1.3

—*アメリカ映画協会(Motion Picture Association of America, MPAA)は、観客数について、アメリカとカナダをあわせた数値を公表している。

fig.20 諸外国との比較「スクリーン数」(2014-2023)

	アメリカ・カナダ	フランス	ドイツ	イギリス*	韓国	中国	オーストラリア	日本
2014	39,956	5,647	4,637	—	2,281	24,607	2,041	3,364
2015	40,006	5,741	4,692	—	2,424	31,627	2,080	3,437
2016	40,174	5,842	4,739	4,327	2,575	41,179	2,121	3,476
2017	40,393	5,913	4,803	4,512	2,766	50,776	2,210	3,530
2018	40,837	5,983	4,849	4,640	2,937	60,079	2,278	3,591
2019	41,172	6,114	4,961	4,782	3,079	69,787	2,310	3,627
2020	40,998	6,127	4,926	4,682	3,015	75,581	2,229	3,669
2021	40,578	6,193	4,931	4,610	3,254	82,248	2,290	3,687
2022	42,063	6,298	4,911	4,720	3,322	83,998	2,189	3,672
2023	41,077	6,320	4,901	4,749	3,371	86,310	2,272	3,682
2014→2023の変化	102.8%	111.9%	105.7%	—	147.8%	350.8%	111.3%	109.5%
2019→2023の変化	99.8%	103.4%	98.8%	99.3%	109.5%	123.7%	98.4%	101.5%

—*イギリスは、2020年よりスクリーン数及び映画館数の算出方法を変更、新しい算出方法では2016年以降の数値のみ公表している。

fig.21 諸外国との比較「映画館数」(2019-2023)

	フランス	ドイツ	韓国	オーストラリア	日本
2019	2,045	1,734	513	524	593
2020	2,041	1,728	474	472	595
2021	2,028	1,723	542	501	596
2022	2,061	1,730	561	406	590
2023	2,054	1,744	573	460	592
2019→2023の変化	100.4%	100.6%	111.7%	87.8%	99.8%

る。

諸外国の興行収入、入場料金は、日本の興行収入のUSドルで発表された数値と円で発表された数値からレートを出し、円で表示している。(2023年当時1\$=約140円)この数年、円安が急速に進んでおり、現在では日本と欧米の映画館の入場料金はさほど変わりがない。アメリカ・カナダやドイツ、オーストラリアは日本よりも高い。他国に比較して「高い」と言われ続けてきた日本の入場料金は他国より安いものとなりつつある。

2023年、欧米各国の興行収入の上位を占めているのは『バービー』、『ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー』『アバター：ウェイ・オブ・

ウォーター』『オープンハイマー』といった日本でも大ヒットしたハリウッド映画の大作、話題作である。このような作品が非常に限られていた2024年の数値がどのようなものになるのかが懸念される。

→ [fig.24](#)

1スクリーン当たりの観客数・興行収入

1年間の観客数をスクリーン数で割った1スクリーン当たりの観客数をみると、いずれの国も10年前と比較するとかなり低くなっている。日本は、2020年には28,928人と前年2019年の54%まで下がったが2023年には42,242人

にまで回復、2014年の47,894人にかなり近い数値となっている。

2023年の1スクリーン当たりの1年間の興行収入をみると、日本は約6,015万円とトップの数値を示している。他の国に比較してスクリーン数が少なく、入場料金が低いことが1スクリーン当たりの観客数や興行収入の高さの背景にある。2023年、欧米の映画館の1スクリーン当たりの興収は、アメリカ・カナダが2,945万円、フランスは3,194万円、ドイツは2,889万円と日本の約半分となっている。

→ [fig.23, 24](#)

fig.22 諸外国との比較[1スクリーン当たりの人口](2023)

	アメリカ・カナダ	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	中国	オーストラリア	日本
人口(千人)	382,776	66,439	84,548	68,683	51,749	1,422,585	26,451	124,371
スクリーン数	41,077	6,320	4,901	4,749	3,371	86,310	2,272	3,682
人口/スクリーン	9,319	10,512	17,251	14,463	15,351	16,482	11,642	33,778

fig.23 諸外国との比較 [1スクリーン当たりの観客数](2014-2023)

	アメリカ・カナダ	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	中国	オーストラリア	日本
2014	31,785	37,029	26,245	—	94,283	33,730	38,511	47,894
2015	32,995	35,778	29,668	—	89,641	39,839	43,413	48,481
2016	32,857	36,494	25,554	38,895	84,280	33,269	43,046	51,838
2017	30,698	35,413	25,463	37,810	79,490	31,905	38,462	49,429
2018	31,834	33,629	21,736	38,147	73,677	28,629	39,421	47,121
2019	30,118	34,871	23,906	36,826	73,621	24,790	36,667	53,739
2020	5,854	10,658	7,734	9,398	19,741	7,250	12,651	28,928
2021	11,583	15,421	8,538	16,052	18,601	14,225	17,336	31,141
2022	17,001	24,135	15,883	24,852	33,957	8,476	26,450	41,396
2023	20,238	28,544	19,527	26,027	37,123	15,050	25,572	42,242

fig.24 諸外国との比較[入場料金・興行収入](2023)

	平均入場料金(円)		興行収入(百万円)		観客数(百万人)		スクリーン数		1スクリーン当たり興行収入(万円)	
	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023
アメリカ・カナダ	1,376	1,455	986,430	1,209,740	715.1	831.3	39,007	41,077	2,529	2,945
中国	825	836	585,570	1,086,383	712.0	1,299.0	82,248	86,310	712	1,259
イギリス	1,245	1,384	146,432	171,018	117.3	123.6	4,720	4,749	3,102	3,601
フランス	1,022	1,119	150,650	201,857	152.0	180.4	6,298	6,320	2,392	3,194
インド	197	231	176,850	207,464	892.0	900.0	9,423	9,742	1,877	2,130
韓国	1,048	1,082	117,926	135,426	112.8	125.1	3,322	3,371	3,550	4,017
ドイツ	1,321	1,479	99,599	141,580	78.0	95.7	4,911	4,901	2,028	2,889
オーストラリア	1,585	1,579	92,106	91,747	57.9	58.1	2,278	2,272	4,043	4,038
日本	1,402	1,424	213,111	221,482	152.0	155.5	3,634	3,682	5,864	6,015

観客数及びスクリーン数：世界主要各国映画諸統計（「映画年鑑2024」）、「Focus 2024」参照

興行収入：興行収入：「世界主要各国映画諸統計」および「Focus 2024」において、興行収入は米ドルで記載されている。

2023年の日本の興行収入2214.82億円(=15800万USD)から米ドルとの為替レートを計算、そのレート(1USD=約140円)で各国の興行収入(円)を計算している。

平均入場料金：興行収入を観客数で割った数値

1スクリーン当たり興行収入：平均入場料金：興行収入を観客数で割った数値

シネマコンプレックスの割合

フランス、韓国とも、映画館数やスクリーン数に大きな変化はみられなかった。

シネコンの割合が高いのは韓国で、全3371スクリーン中3151スクリーン、93.5%をシネコンが占めている。日本のシネコンのシェアも3682スクリーン中3257スクリーン、88.5%と高い数値を示している。フランスは、シネコンの比率は44.8%にとどまっており、映画館数では、シネコン249館に対し、シネコン以外の映画館が1805館と、シネコンを大きく上回っている。(フランスはシネコンの定義を「8スクリーン以上」としており、他国が「5〜7スクリーン以上」としていることと異なる)また、約1300館が多様な映画を上映する「アー・エ・エセイ映画館」(アートハウス、日本のミニシアターに近い)に認定されており、国や自治体から助成金を得ている。フランスの映画館数は2054館と日本の592館の3倍以上であり、人口1〜2万人の中小の市町村の73%に映画館がある。身近な場所で多様な映画を見ることができる環境が保持されている。

→ fig.25, 26

fig.25
諸外国との比較[シネマコンプレックスの割合 スクリーン数](2019-2023)

		2019	2020	2021	2022	2023
フランス	スクリーン数	6,114	6,127	6,193	6,298	6,320
	うちシネコン	2,666	2,677	2,752	2,812	2,830
	割合	43.6%	43.7%	44.4%	44.6%	44.8%
韓国	スクリーン数	3,079	3,015	3,254	3,322	3,371
	うちシネコン	2,885	2,908	3,060	3,120	3,151
	割合	93.7%	96.5%	94.0%	93.9%	93.5%
日本	スクリーン数	3,627	3,672	3,688	3,672	3,682
	うちシネコン	3,197	3,238	3,249	3,244	3,257
	割合	88.1%	88.2%	88.1%	88.3%	88.5%

fig.26
諸外国との比較[シネマコンプレックスの割合 映画館数](2022, 2023)

	2022			2023		
	シネコン	シネコン以外	合計	シネコン	シネコン以外	合計
フランス	247	1,814	2,061	249	1,805	2,054
韓国	452	109	561	459	114	573
日本	359	231	590	360	232	592

シネマコンプレックスの定義…
フランス 8スクリーン以上の劇場
日本 5スクリーン以上の映画上映専門施設
韓国 CJ CGV、ロッテシネマ、メガボックス、シネQのチェーンによる映画館に加え、7スクリーン以上を持つ映画館

公開本数

コロナ禍で欧米各国の公開本数は激減したが、2023年には各国ともコロナ前の2018年とほぼ変わらない数の作品を公開している。1本当たりの観客数は10年前と比較すると低い数値に留まっている。特に、公開本数が1410本と非常に多い韓国では1本当たりの観客数が88,752人と厳しい数値を示している。

日本では、2019年、自国映画/外国映画の割合は、公開本数、興行収入とも5.4:4.6と、他国に比べて非常にバランスの取れた状態となっていた。しかし、興行収入のバランスは大きく崩れ、2020年は日本映画76%、外国映画24%となり、2023年においても日本67%、33%とその差が広がり続けている。

→ fig.27

映画館に対する恒常的な支援制度

日本以外のいずれの国にも、映画産業と映画文化を統括し振興する組織(フランスのCNC、イギリスのBFI、ドイツのFFA、韓国のKOFICなど)があり、製作・配給・興行(上映)・教育・保存、放映や配信にいたるまで、映画に関わるあらゆることに関与している。上映活動についても、シネコンのような商業的な大規模映画館での上映から、多様な映画を上映するミニシアターやシネマテーク、自主上映まで、様々なレベル、種類の上映活動を支援する制度が確立している。

公的な支援、振興策には、単に金銭的な支援という以上の意味がある。公的な支援を受ける映画館には、公共的な文化施設として、地域コミュニティや文化団体との連携を重視したプログラム作りや若年層の観客開拓、映

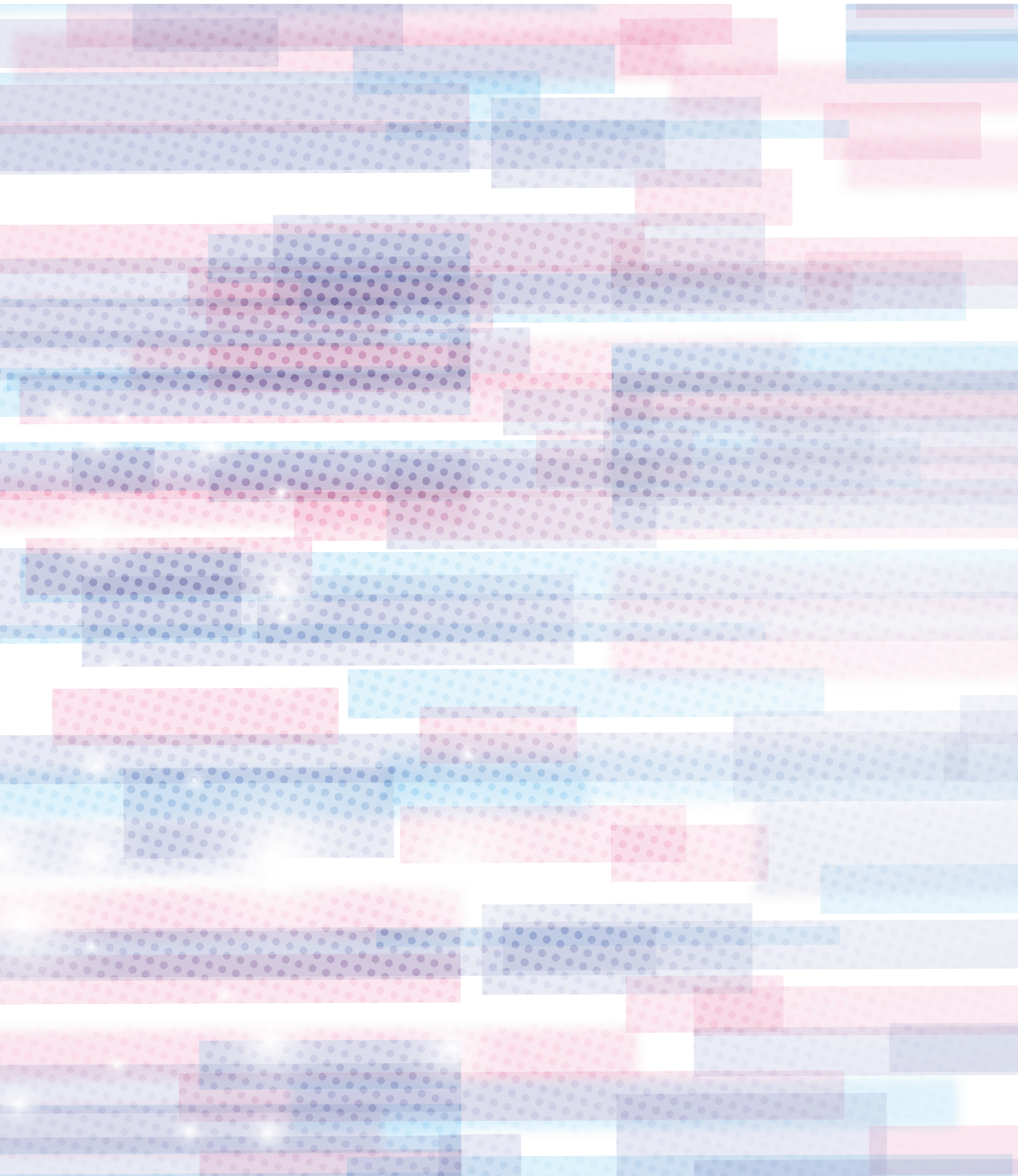
画教育プログラムなど多様な活動を行うこと、そのような活動を行うスタッフを育成することも求められる。そのことにより、地域における文化的な存在感、持続可能性も高くなる。

ほとんど公的な支援を受けずに、140館をこえるミニシアターが、大都市のみならず中小都市にも存在し、運営されている日本の状況は、諸外国から見ると「miracle (奇跡)」なのである。しかし、奇跡は永遠に続くものではない。この20年間で映画館は200館以上も減っており、映画館のない市町村、映画館空白地域が広がり続けている。関係者の献身と犠牲によって成立してきた小規模な映画館の運営は限界に近づいていると言わざるを得ない。映画振興策の見直し、映画館支援、上映者の実態に対応した助成プログラムの実現が待望されている。

fig.27 諸外国との比較「公開本数」(2014-2023)

		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023		
												自国映画	外国映画
フランス	公開本数	663	652	716	693	683	746	365	455	681	716	406	310
												57%	43%
	観客数(千人)	209,100	205,400	213,200	209,400	201,200	213,200	65,300	95,500	152,000	180,400	40%	60%
	1本あたり入場者数	315,385	315,031	297,765	302,165	294,583	285,791	178,904	209,890	223,201	251,955		
ドイツ	公開本数	570	596	610	587	576	606	339	429	554	598	223	375
												37%	63%
	観客数(千人)	121,700	139,200	121,100	122,300	105,400	118,600	38,100	42,100	78,000	95,700	24%	76%
	1本あたり入場者数	213,509	233,557	198,525	208,348	182,986	195,710	112,389	98,135	140,794	160,033		
イギリス	公開本数	712	759	821	760	787	754	381	498	703	824	365	459
												44%	56%
	観客数(千人)	157,500	171,900	168,300	170,600	177,000	176,100	44,000	74,000	117,300	123,600	41%*	59%*
	1本あたり入場者数	221,208	226,482	204,994	224,474	224,905	233,554	115,486	148,594	166,856	150,000		
韓国	公開本数	1,095	1,176	1,520	1,621	1,646	1,740	1,693	1,637	1,643	1,410	608	802
												43%	57%
	観客数(千人)	215,060	217,290	217,020	219,870	216,390	226,680	59,520	60,530	112,805	125,140	49%	51%
	1本あたり入場者数	196,402	184,770	142,776	135,638	131,464	130,276	35,157	36,976	68,658	88,752		
オーストラリア	公開本数	508	540	611	697	758	754	401	457	715	743	86	657
												12%	88%
	観客数(千人)	78,600	90,300	91,300	85,000	89,800	84,700	28,200	39,700	57,900	58,100	2%*	98%*
	1本あたり入場者数	154,724	167,222	149,427	121,951	118,470	112,334	70,324	86,871	80,979	78,197		
日本	公開本数	1,184	1,136	1,149	1,187	1,192	1,278	1,017	959	1,143	1,232	676	556
												55%	45%
	観客数(千人)	161,116	166,630	180,189	174,483	169,210	194,910	106,137	114,818	152,005	155,535	67%*	33%*
	1本あたり入場者数	136,078	146,681	156,822	146,995	141,955	152,512	104,363	119,727	132,988	126,246		

*観客数のシェアではなく興行収入のシェア



都道府県別概況

都道府県別概況

「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)には観客数の都道府県別の内訳は示されていないが、「特定サービス産業実態調査報告書 映画館編」(2018年終了)及び「経済センサス 活動調査」の「サービス関連産業に関する集計」には、都道府県別観客数が記載されている。

本年鑑では、2015～2021年の「特定サービス産業実態調査報告書」及び「経済センサス 活動調査」における各都道府県の観客数が全都道府県の観客総数に占める割合の平均値を計算し、これを2024年の「日本映画産業統計」における入場人員(1億4444万1000人)に乗じることで各都道府県の観客数の概算値を算出した。

1人当たり年間鑑賞回数は、都道府県民1人が1年間に映画館で映画を見る回数を示したものである。2024年の観客数は1億4444万1000人で、2023年と比較すると7.1%減少しており、コロナ前の2019年の1億9491万人を下回る状態が継続しているが、10年前(2015)の1億6663万人という数値にはかなり近い水準にある。1人当たりの年間鑑賞本数の全国平均は1.2回で、2023年より0.1回減少した。

全国平均(1.2)を上回っているのは、東京(1.9)、山形(1.8)、京都(1.5)、大阪(1.4)、神奈川(1.4)、福岡(1.3)、千葉(1.3)の7都府県である。

スクリーン数は、当然ながら、人口の多い大都市を擁する都道府県が上位を占めている。全体としては2023年から2024年にかけてスクリーン数は27スクリーン増加、2022から2023年にかけての10スクリーンの増加を大きく上回っている。

1スクリーン当たり人口は、全国平均33,395人となり、前年からほとんど変化していない。この数値が少ないほど、スクリーンが多いとみることができ、少ない地域ほど住民にとって映画館が身近に存在していると考えられる。この数値が1万人台の「映画館が多い」県は石川(17,718)、山形(18,718)で、山形県は年間鑑賞回数も全国平均を大きく上回っている。それに続き、過去5年でスクリーン数が増加傾向にある大分(24,664)、熊本(24,943)、福岡(26,277)の九州3県が上位を占めている。

スクリーン当たり人口が5万人を超える「映画館が少ない」県は、山梨(65,851)、高知(59,609)、岩手(54,496)、岡山(53,842)、福島(52,824)、長崎(50,028)の合計6県である。これらの県では年間鑑賞回数も平均以下の低い数値に止まっている。しかし、63～69ページの「映画館以外で行われる上映が活動一覧」を見ると、映画館がない地域では、公共ホールでの移動興行や自主上映、新たに生まれた上映の場で盛んに行われていることが多く、興行の数値には現れない上映活動も多く存在している。映画館の館数のみで上映環境の豊かさを測ることはできないことも念頭におく必要がある。

→ [fig.28](#)

fig.28
都道府県別概況(2024)

	人口		映画館数	スクリーン数		年間観客数(概算)		1スクリーン 当たり人口	1スクリーン 当たり観客数	一人当たり 年間映画 鑑賞回数	
	全国合計	123,861,731	594	3709		144,441,000	※1	33,395	38,943	1.2	
1	北海道	5,054,468	4.1%	21	114	3.1%	3,670,000	2.5%	44,337	32,193	0.7
2	青森	1,164,752	0.9%	7	35	0.9%	780,000	0.5%	33,279	22,286	0.7
3	岩手	1,144,407	0.9%	6	21	0.6%	480,000	0.3%	54,496	22,857	0.4
4	宮城	2,247,139	1.8%	10	77	2.1%	2,390,000	1.7%	29,184	31,039	1.1
5	秋田	896,225	0.7%	5	18	0.5%	590,000	0.4%	49,790	32,778	0.7
6	山形	1,010,776	0.8%	8	54	1.5%	1,850,000	1.3%	18,718	34,259	1.8
7	福島	1,743,199	1.4%	6	33	0.9%	930,000	0.6%	52,824	28,182	0.5
8	茨城	2,810,049	2.3%	15	91	2.5%	2,770,000	1.9%	30,880	30,440	1.0
9	栃木	1,882,342	1.5%	9	64	1.7%	2,010,000	1.4%	29,412	31,406	1.1
10	群馬	1,889,425	1.5%	8	52	1.4%	1,980,000	1.4%	36,335	38,077	1.0
11	埼玉	7,329,258	5.9%	28	238	6.4%	9,010,000	6.2%	30,795	37,857	1.2
12	千葉	6,275,423	5.1%	25	220	5.9%	8,140,000	5.6%	28,525	37,000	1.3
13	東京	14,192,184	11.5%	83	415	11.2%	26,710,000	18.5%	34,198	64,361	1.9
14	神奈川	9,223,695	7.4%	36	246	6.6%	12,530,000	8.7%	37,495	50,935	1.4
15	新潟	2,098,804	1.7%	10	64	1.7%	2,220,000	1.5%	32,794	34,688	1.1
16	富山	995,955	0.8%	6	33	0.9%	1,040,000	0.7%	30,180	31,515	1.0
17	石川	1,098,531	0.9%	8	62	1.7%	1,210,000	0.8%	17,718	19,516	1.1
18	福井	738,691	0.6%	5	27	0.7%	590,000	0.4%	27,359	21,852	0.8
19	山梨	790,215	0.6%	3	12	0.3%	500,000	0.3%	65,851	41,667	0.6
20	長野	1,989,104	1.6%	15	64	1.7%	1,390,000	1.0%	31,080	21,719	0.7
21	岐阜	1,913,076	1.5%	8	55	1.5%	1,720,000	1.2%	34,783	31,273	0.9
22	静岡	3,524,160	2.8%	16	106	2.9%	3,820,000	2.6%	33,247	36,038	1.1
23	愛知	7,465,250	6.0%	34	266	7.2%	9,130,000	6.3%	28,065	34,323	1.2
24	三重	1,711,370	1.4%	10	63	1.7%	1,840,000	1.3%	27,165	29,206	1.1
25	滋賀	1,400,812	1.1%	5	33	0.9%	1,230,000	0.9%	42,449	37,273	0.9
26	京都	2,521,262	2.0%	14	82	2.2%	3,680,000	2.5%	30,747	44,878	1.5
27	大阪	8,770,315	7.1%	33	241	6.5%	11,990,000	8.3%	36,391	49,751	1.4
28	兵庫	5,336,665	4.3%	24	120	3.2%	4,230,000	2.9%	44,472	35,250	0.8
29	奈良	1,285,094	1.0%	3	27	0.7%	1,330,000	0.9%	47,596	49,259	1.0
30	和歌山	879,617	0.7%	6	31	0.8%	830,000	0.6%	28,375	26,774	0.9
31	鳥取	531,085	0.4%	4	12	0.3%	490,000	0.3%	44,257	40,833	0.9
32	島根	641,396	0.5%	3	16	0.4%	490,000	0.3%	40,087	30,625	0.8
33	岡山	1,830,621	1.5%	5	34	0.9%	1,700,000	1.2%	53,842	50,000	0.9
34	広島	2,716,733	2.2%	15	79	2.1%	3,160,000	2.2%	34,389	40,000	1.2
35	山口	1,279,601	1.0%	6	32	0.9%	1,020,000	0.7%	39,988	31,875	0.8
36	徳島	685,357	0.6%	3	19	0.5%	350,000	0.2%	36,071	18,421	0.5
37	香川	917,058	0.7%	5	26	0.7%	940,000	0.7%	35,271	36,154	1.0
38	愛媛	1,275,349	1.0%	7	46	1.2%	1,150,000	0.8%	27,725	25,000	0.9
39	高知	655,698	0.5%	3	11	0.3%	370,000	0.3%	59,609	33,636	0.6
40	福岡	5,097,710	4.1%	26	194	5.2%	6,680,000	4.6%	26,277	34,433	1.3
41	佐賀	787,675	0.6%	4	21	0.6%	660,000	0.5%	37,508	31,429	0.8
42	長崎	1,250,705	1.0%	4	25	0.7%	980,000	0.7%	50,028	39,200	0.8
43	熊本	1,696,144	1.4%	10	68	1.8%	1,330,000	0.9%	24,943	19,559	0.8
44	大分	1,085,198	0.9%	10	44	1.2%	1,120,000	0.8%	24,664	25,455	1.0
45	宮崎	1,030,361	0.8%	5	26	0.7%	680,000	0.5%	39,629	26,154	0.7
46	鹿児島	1,531,712	1.2%	7	39	1.1%	1,220,000	0.8%	39,275	31,282	0.8
47	沖縄	1,467,065	1.2%	10	53	1.4%	1,540,000	1.1%	27,680	29,057	1.0

人口：各都道府県発表「人口推計」（2024年10月1日現在）参照
映画館数・スクリーン数：『映画年鑑2024』別冊「映画館名簿」（キネマ旬報社刊）及びコミュニティシネマセンター調査より作成
年間観客数：「日本映画産業統計」（日本映画製作者連盟）では都道府県別の観客数を公開していないため、全国の観客数に都道府県ごとの観客数平均シェア率※1を乗じて算出
※1
2015～2021年の「特定サービス産業実態調査報告書」及び「経済センサス 活動調査」における各都道府県の観客数が全都道府県の観客総数に占める割合の平均値を計算し、これを2024年の「日本映画産業統計」における入場人員（1億4444万1000人）に乗じること各都道府県の観客数の概算値を算出した。

都道府県別 [スクリーン数]

2015年から2024年の10年間で、全国のスクリーン数は3467から3709となり、242スクリーン増加している。2011年3月の東日本大震災、同時期に行われた映画館のデジタル化(フィルムからDCPへの移行)の影響から、2011年から2012年にかけて約150スクリーンが減少し、映画館数は、2011年から2013年にかけて789館から609館と、2年間で全体の約25%にあたる180館減少している。コロナ禍にあった2020年から2023年においては、3669スクリーンから3682スクリーンと増加のペースは抑制的であったが、2024年には前年比27スクリーンの増加となっている。コロナ禍から十分には回復しきれていない中で、導入から10年以上を経過したデジタルシネマ機の更新時期を迎えている。コロナ禍で疲弊した映画館がどのようにしてこの大規模な設備投資を乗り切るかが大きな課題である。

この10年間で大幅にスクリーン数が増えている都道府県は、東京(56増)、埼玉(29増)、神奈川(28増)、熊本(18増)、大阪(15増)である。シネコンはこの10年間で60館563スクリーン新設されている。このうち、21館が東京、千葉、埼玉、神奈川の4都県に、5館が大阪、4館が愛知と、半数が大都市圏に作られている。

この10年間でスクリーン数が8以上減少したのは、群馬(9減)、青森(9減)、兵庫(8減)で、青森と群馬ではシネコン(「青森コロナワールド」「フォーラム八戸」「プレビ劇場ISESAKI」)が閉館、兵庫では、既存興行館(「神戸国際松竹」「シネパレス山陽座」「姫路・大劇シネマ」「姫路OS」)が相次いで閉館した。シネコン以外では、この10年で82館が閉館している。

→ [fig.29](#)

fig.29

都道府県別

スクリーン数の推移
(2015-2024)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024		2015→2024	2023→2024
全国	3,467	3,501	3,531	3,570	3,627	3,669	3,687	3,672	3,682	3,709		242	27
1 北海道	113	114	114	114	114	112	112	112	115	114	3.1%	1	-1
2 青森	44	44	44	44	44	44	44	36	36	35	0.9%	-9	-1
3 岩手	25	25	23	23	23	23	23	23	23	21	0.6%	-4	-2
4 宮城	64	73	72	78	78	78	77	77	77	77	2.1%	13	0
5 秋田	22	22	20	20	20	20	18	18	18	18	0.5%	-4	0
6 山形	56	56	56	56	56	56	54	54	54	54	1.5%	-2	0
7 福島	26	26	26	35	32	32	32	32	33	33	0.9%	7	0
8 茨城	89	89	90	90	90	91	91	91	91	91	2.5%	2	0
9 栃木	55	64	64	64	64	64	64	64	64	64	1.7%	9	0
10 群馬	61	61	61	63	52	52	52	52	52	52	1.4%	-9	0
11 埼玉	209	209	209	209	209	209	219	226	226	238	6.4%	29	12
12 千葉	208	208	209	209	220	220	220	220	220	220	5.9%	12	0
13 東京	359	362	365	378	398	413	414	412	415	415	11.2%	56	0
14 神奈川	218	209	210	199	202	223	223	223	223	246	6.6%	28	23
15 新潟	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	1.7%	0	0
16 富山	24	32	26	27	27	27	28	28	33	33	0.9%	9	0
17 石川	54	54	61	61	61	61	70	62	62	62	1.7%	8	0
18 福井	31	31	31	27	27	27	27	27	27	27	0.7%	-4	0
19 山梨	14	14	14	13	13	13	13	12	12	12	0.3%	-2	0
20 長野	63	63	72	72	72	72	72	72	72	64	1.7%	1	-8
21 岐阜	56	56	56	56	56	56	56	56	56	55	1.5%	-1	-1
22 静岡	97	96	96	96	106	106	106	105	105	106	2.9%	9	1
23 愛知	258	275	293	292	295	281	269	268	268	266	7.2%	8	-2
24 三重	58	58	58	63	63	63	63	63	63	63	1.7%	5	0
25 滋賀	38	38	38	38	38	38	38	38	33	33	0.9%	-5	0
26 京都	75	75	78	78	80	85	85	85	85	82	2.2%	7	-3
27 大阪	226	224	224	224	224	224	234	233	241	241	6.5%	15	0
28 兵庫	128	124	121	119	120	120	120	120	120	120	3.2%	-8	0
29 奈良	34	34	34	34	34	34	34	34	27	27	0.7%	-7	0
30 和歌山	30	30	30	30	30	30	30	30	31	31	0.8%	1	0
31 鳥取	11	11	11	11	11	11	11	11	12	12	0.3%	1	0
32 島根	15	15	15	15	15	15	16	16	16	16	0.4%	1	0
33 岡山	39	39	39	39	39	38	38	34	34	34	0.9%	-5	0
34 広島	72	72	71	80	79	79	79	79	79	79	2.1%	7	0
35 山口	30	30	30	30	30	30	31	31	32	32	0.9%	2	0
36 徳島	10	10	19	19	19	19	19	19	19	19	0.5%	9	0
37 香川	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26	0.7%	1	0
38 愛媛	52	59	59	59	59	59	51	46	46	46	1.2%	-6	0
39 高知	10	10	11	11	11	10	10	10	11	11	0.3%	1	0
40 福岡	185	179	164	175	175	177	177	186	185	194	5.2%	9	9
41 佐賀	20	20	20	20	21	21	21	21	21	21	0.6%	1	0
42 長崎	26	25	25	25	25	25	25	25	25	25	0.7%	-1	0
43 熊本	50	49	49	49	58	58	68	68	68	68	1.8%	18	0
44 大分	35	35	35	36	35	44	44	44	44	44	1.2%	9	0
45 宮崎	18	18	18	18	18	25	26	26	26	26	0.7%	8	0
46 鹿児島	30	31	39	39	39	39	39	39	39	39	1.1%	9	0
47 沖縄	40	42	41	42	55	55	54	54	53	53	1.4%	13	0

『映画年鑑』別冊「映画館名簿」(時事映画通信社刊/キネマ旬報社刊)、『映画上映活動年鑑』(コミュニティシネマセンター刊)参照

都道府県別にみる
種類別映画館数・スクリーン数の変化
(2015-2024)

北海道・東北地方
[北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島]

2015-2024年に開館した映画館(10館)
シネマコンプレックス

北海道(札幌市)
TOHOシネマズすすきの 2023年11月

北海道(旭川市)
イオンシネマ旭川駅前 2015年3月

青森県(青森市)
イオンシネマ新青森 2024年3月
(←青森コロナワールド)

宮城県(仙台市)
TOHOシネマズ仙台 2016年7月

宮城県(大河原町)
ユナイテッド・シネマ フォルテ宮城大河原
2011年休館/2018年7月再開
宮城県(利府町)
イオンシネマ新利府 2021年3月

福島県(いわき市)
ポレポレシネマズいわき小名浜 2018年6月

シネマコンプレックス以外

北海道(札幌市)
サツゲキ 2020年7月

秋田県(秋田市)
アルヴェシアター 2020年12月

山形県(鶴岡市)
鶴岡まちなかキネマ
2020年5月閉館/2022年再開

福島県(いわき市)
湯本駅前ミニシアター Kuramoto 2019年4月

福島県(いわき市)
まちポレいわき 2018年6月(←ポレポレいわき)

2015-2024年に閉館した映画館(18館)
シネマコンプレックス

北海道(札幌市)
ディノスシネマズ札幌劇場 2019年6月

fig.30 北海道・東北地方		北海道・東北地方の人口		全国シェア	映画館数		全国シェア
2024		13,260,966		10.7%	2024	63	10.6%
2015		14,389,701		11.3%	2015	66	11.4%
増減(人)		-1,128,735					
増減率(%)		-7.8%					

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
北海道・東北地方								
シネマコンプレックス	38	297	39	295	-1	2	0	-1
ミニシアター	9	21	9	19	0	2	1	0
既存興行館	14	32	14	32	0	0	-1	-2
成人映画館	2	2	4	4	-2	-2	-1	-1
シネコン以外	25	55	27	55	-2	0	-1	-3
北海道・東北地方合計	63	352	66	350	-3	2	-1	-4
全国シェア	10.6%	9.5%	11.4%	10.1%				

北海道								
シネマコンプレックス	11	90	12	92	-1	-2	0	0
ミニシアター	5	9	3	4	2	5	1	1
既存興行館	4	14	5	15	-1	-1	-1	-1
成人映画館	1	1	2	2	-1	-1	-1	-1
シネコン以外	10	24	10	21	0	3	-1	-1
北海道合計	21	114	22	113	-1	1	-1	-1

青森県								
シネマコンプレックス	4	29	5	38	-1	-9	0	-1
ミニシアター	1	2	1	2	0	0	0	0
既存興行館	1	3	1	3	0	0	0	0
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	3	6	3	6	0	0	0	0
青森県合計	7	35	8	44	-1	-9	0	-1

岩手県								
シネマコンプレックス	2	14	2	14	0	0	0	0
ミニシアター	0	2	1	3	-1	-1	-1	-1
既存興行館	4	5	5	8	-1	-3	0	-1
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	4	7	6	11	-2	-4	-1	-2
岩手県合計	6	21	8	25	-2	-4	-1	-2

宮城県								
シネマコンプレックス	8	71	6	56	2	15	0	0
ミニシアター	1	3	2	4	-1	-1	0	0
既存興行館	1	3	1	3	0	0	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	2	6	4	8	-2	-2	0	0
宮城県合計	10	77	10	64	0	13	0	0

秋田県								
シネマコンプレックス	2	13	3	18	-1	-5	0	0
ミニシアター	1	1	2	3	-1	-2	0	0
既存興行館	2	4	1	1	1	3	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	5	3	4	0	1	0	0
秋田県合計	5	18	6	22	-1	-4	0	0

北海道(旭川市)

ディノスシネマズ旭川 2022年9月

北海道(恵庭市)

恵庭・東宝シネマ8 2015年5月

青森県(青森市)

青森コロナワールド 2021年8月

(→イオンシネマ新青森)

青森県(八戸市)

フォーラム八戸 2023年1月

宮城県(利府町)

MOVIX利府 2020年10月

秋田県(秋田市)

ルミエール秋田 2020年5月

福島県(いわき市)

ボレボレいわき 2018年6月(→まちボレいわき)

シネマコンプレックス以外

北海道(夕張市)

アディーレ会館ゆうばり 2015年5月

北海道(札幌市)

札東劇場 2023年3月

北海道(札幌市)

マッシュシアター 2024年3月

青森県(弘前市)

テアトル弘前 2024年3月

岩手県(盛岡市)

アート・フォーラム 2023年4月

岩手県(宮古市)

みやこシネマリーン 2016年9月

宮城県(仙台市)

桜井薬局セントラルホール 2018年6月

宮城県(仙台市)

チネ・ラヴィータ 2024年3月

宮城県(石巻市)

石巻日活パールシネマ 2017年6月

秋田県(秋田市)

秋田フォーラス・シネマパレ 2017年2月

山形県(鶴岡市)

鶴岡まちなかキネマ

2020年5月閉館/2022年再開

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
山形県								
シネマコンプレックス	7	51	7	51	0	0	0	0
ミニシアター	0	2	0	3	0	-1	0	0
既存興行館	1	1	1	2	0	-1	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	3	1	5	0	-2	0	0
山形県合計	8	54	8	56	0	-2	0	0
福島県								
シネマコンプレックス	4	29	4	26	0	3	0	0
ミニシアター	1	2	0	0	0	2	0	0
既存興行館	1	2	0	0	1	2	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	4	0	0	1	4	0	0
福島県合計	6	33	4	26	1	7	0	0

→ fig.30

関東地方

[茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川]

2015-2024 年に開館した映画館 (43 館)

シネマコンプレックス

栃木県 (足利市)

ユナイテッド・シネマ アシコタウンあしかが

2016 年 3 月

埼玉県 (川口市)

イオンシネマ川口 2021 年 6 月

埼玉県 (秩父市)

ユナイテッド・シネマ ウニクス秩父 2022 年 7 月

埼玉県 (所沢市)

T・ジョイ エミテラス所沢 2024 年 9 月

埼玉県 (富士見市)

TOHO シネマズ ららばーと富士見 2015 年 4 月

千葉県 (松戸市)

ユナイテッド・シネマ テラスモール松戸

2019 年 10 月

千葉県 (佐倉市)

シネマサンシャインユーカリが丘 2018 年 6 月

(←イオンシネマユーカリが丘)

千葉県 (柏市)

TOHO シネマズ柏 2016 年 4 月

東京都 (千代田区)

TOHO シネマズ日比谷 2018 年 3 月

東京都 (港区)

ユナイテッド・シネマ アクアシティお台場

2017 年 4 月 (←お台場シネマメディアージュ)

東京都 (新宿区)

TOHO シネマズ新宿 2015 年 7 月

東京都 (新宿区)

109 シネマズプレミアム新宿 2023 年 4 月

東京都 (台東区)

TOHO シネマズ上野 2017 年 11 月

東京都 (世田谷区)

109 シネマズ二子玉川 2015 年 4 月

東京都 (豊島区)

グランドシネマサンシャイン池袋 2019 年 7 月

東京都 (豊島区)

TOHO シネマズ池袋 2020 年 7 月

東京都 (立川市)

TOHO シネマズ立川立飛 2020 年 9 月

fig.31
関東地方

関東地方の人口		全国シェア	映画館数		全国シェア
2024	43,602,376	35.2%	2024	204	34.3%
2015	42,995,031	33.8%	2015	189	32.6%
増減 (人)	607,345				
増減率 (%)	1.4%				

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
関東地方								
シネマコンプレックス	127	1,194	116	1,070	11	124	3	34
ミニシアター	57	95	46	76	11	19	1	2
既存興行館	16	30	22	46	-6	-16	0	-1
成人映画館	4	7	5	7	-1	0	0	0
シネコン以外	77	132	73	129	4	3	1	1
関東地方合計	204	1,326	189	1,199	15	127	4	35
全国シェア	34.3%	35.8%	32.6%	34.6%				

茨城県								
シネマコンプレックス	10	84	10	84	0	0	0	0
ミニシアター	1	2	0	0	1	2	0	1
既存興行館	3	4	2	4	1	0	0	-1
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	5	7	3	5	2	2	0	0
茨城県合計	15	91	13	89	2	2	0	0

栃木県								
シネマコンプレックス	7	60	6	52	1	8	0	0
ミニシアター	1	3	1	3	0	0	0	0
既存興行館	1	1	0	0	1	1	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	4	1	3	1	1	0	0
栃木県合計	9	64	7	55	2	9	0	0

群馬県								
シネマコンプレックス	5	47	6	58	-1	-11	0	0
ミニシアター	3	5	2	3	1	2	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	5	2	3	1	2	0	0
群馬県合計	8	52	8	61	0	-9	0	0

埼玉県								
シネマコンプレックス	25	233	22	204	3	29	1	12
ミニシアター	2	2	2	2	0	0	0	0
既存興行館	1	3	1	3	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	5	3	5	0	0	0	0
埼玉県合計	28	238	25	209	3	29	1	12

千葉県								
シネマコンプレックス	22	214	21	202	1	12	0	0
ミニシアター	2	4	2	4	0	0	0	0
既存興行館	1	2	1	2	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	6	3	6	0	0	0	0
千葉県合計	25	220	24	208	1	12	0	0

東京都(調布市)
イオンシネマ シアタス調布 2017年9月

神奈川県(横浜市)
T・ジョイ横浜 2020年9月

神奈川県(横浜市)
ローソン・ユナイテッドシネマSTYLE-S みなと
みらい 2024年4月

神奈川県(横浜市)
109シネマズゆめが丘 2024年7月

神奈川県(座間市)
イオンシネマ座間 2020年3月

シネマコンプレックス以外

茨城県(那珂市)
あまや座 2017年10月

茨城県(日立市)
シネマサンライズ 2020年3月

群馬県(前橋市)
前橋シネマハウス 2018年3月

東京都(新宿区)
EJアニメシアター 新宿 2018年12月開館
/2023年8月閉館

東京都(新宿区)
キノシネマ新宿 2023年11月
(←EJアニメシアター新宿)

東京都(墨田区)
ストレンジャー 2022年9月

東京都(世田谷区)
シモキターエキマエーシネマ K2 2022年1月

東京都(渋谷区)
ユーロライブ 2015年11月

東京都(渋谷区)
恵比寿ガーデンシネマ 2015年3月再開
/2021年2月休館/2022年11月再開

東京都(渋谷区)
ル・シネマ 渋谷宮下(移転) 2023年6月
(←渋谷TOEI)

東京都(渋谷区)
ホワイト シネクイント 2019年11月

東京都(杉並区)
モーク阿佐ヶ谷 2021年7月(←ユジク阿佐ヶ谷)

東京都(北区)
シネマ・チュプキ・タバタ 2016年9月

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
東京都								
シネマコンプレックス	34	329	29	266	5	63	0	0
ミニシアター	39	65	33	56	6	9	0	0
既存興行館	8	17	15	33	-7	-16	0	0
成人映画館	2	4	3	4	-1	0	0	0
シネコン以外	49	86	51	93	-2	-7	0	0
東京都合計	83	415	80	359	3	56	0	0
神奈川県								
シネマコンプレックス	24	227	22	204	2	23	2	22
ミニシアター	9	14	6	8	3	6	1	1
既存興行館	2	3	3	4	-1	-1	0	0
成人映画館	1	2	1	2	0	0	0	0
シネコン以外	12	19	10	14	2	5	1	1
神奈川県合計	36	246	32	218	4	28	3	23

東京都(立川市)
キノシネマ立川高島屋S.C. 館 2019年6月

東京都(武蔵野市)
ココロラ・動かす・映画館○
2017年10月開館/2019年9月閉館

東京都(武蔵野市)
アップリンク吉祥寺 2018年12月

東京都(青梅市)
シネマネコ 2021年6月

神奈川県(横浜市)
シネマノヴェチェント 2015年2月

神奈川県(横浜市)
キノシネマ横浜みなとみらい 2019年4月

神奈川県(藤沢市)
シネコヤ 2017年4月

神奈川県(小田原市)
小田原シネマ館 2024年3月

神奈川県(厚木市)
あつぎのえいがかん kiki 2018年12月
(→アミューあつぎ映画 .com シネマ)

2015-2024年に閉館した映画館(28館)
シネマコンプレックス

群馬県(伊勢崎市)
プレビ劇場 ISESAKI 2019年1月
(→MOVIX伊勢崎)

埼玉県(三郷市)
MOVIX三郷 2024年9月

千葉県(佐倉市)
イオンシネマユーカリが丘 2018年5月
(→シネマサンシャインユーカリが丘)

東京都(港区)
お台場シネマメディアージュ 2017年2月
(→ユナイテッド・シネマ アクアシティお台場)

東京都(豊島区)
シネマサンシャイン池袋 2019年7月

神奈川県(横浜市)
109シネマズMM横浜 2015年1月

神奈川県(大和市)
イオンシネマつきみ野 2018年2月

シネマコンプレックス以外

東京都(千代田区)
岩波ホール 2022年7月

東京都(港区)
シネマート六本木 2015年6月

東京都(新宿区)
角川シネマ新宿 2018年12月

東京都(新宿区)
ギンレイホール 2022年11月

東京都(渋谷区)
アップリンク渋谷 2021年5月

東京都(渋谷区)
渋谷シネパレス 2018年5月

東京都(渋谷区)
シネマライズ 2016年7月

東京都(杉並区)
ユジク阿佐ヶ谷 2020年12月(→モーク阿佐ヶ谷)

東京都(武蔵野市)

ココロヲ・動かす・映画館○

2017年10月開館/2019年9月閉館

東京都(千代田区)

TOHOシネマズ スカラ座/みゆき座

2018年2月(→TOHOシネマズ田比谷)

東京都(千代田区)

TOHOシネマズ有楽座 2015年2月

東京都(千代田区)

TOHOシネマズ日劇 2018年2月

東京都(千代田区)

有楽町スバル座 2019年10月

東京都(墨田区)

楽天地シネマズ錦糸町 2018年11月

東京都(大田区)

テアトル蒲田/蒲田宝塚 2019年9月

東京都(渋谷区)

渋谷TOEI 2022年12月

東京都(八王子市)

ニュー八王子シネマ 2017年1月

東京都(武蔵野市)

吉祥寺プラザ **2024年1月**

東京都(新宿区)

飯田橋くらら劇場 2016年5月

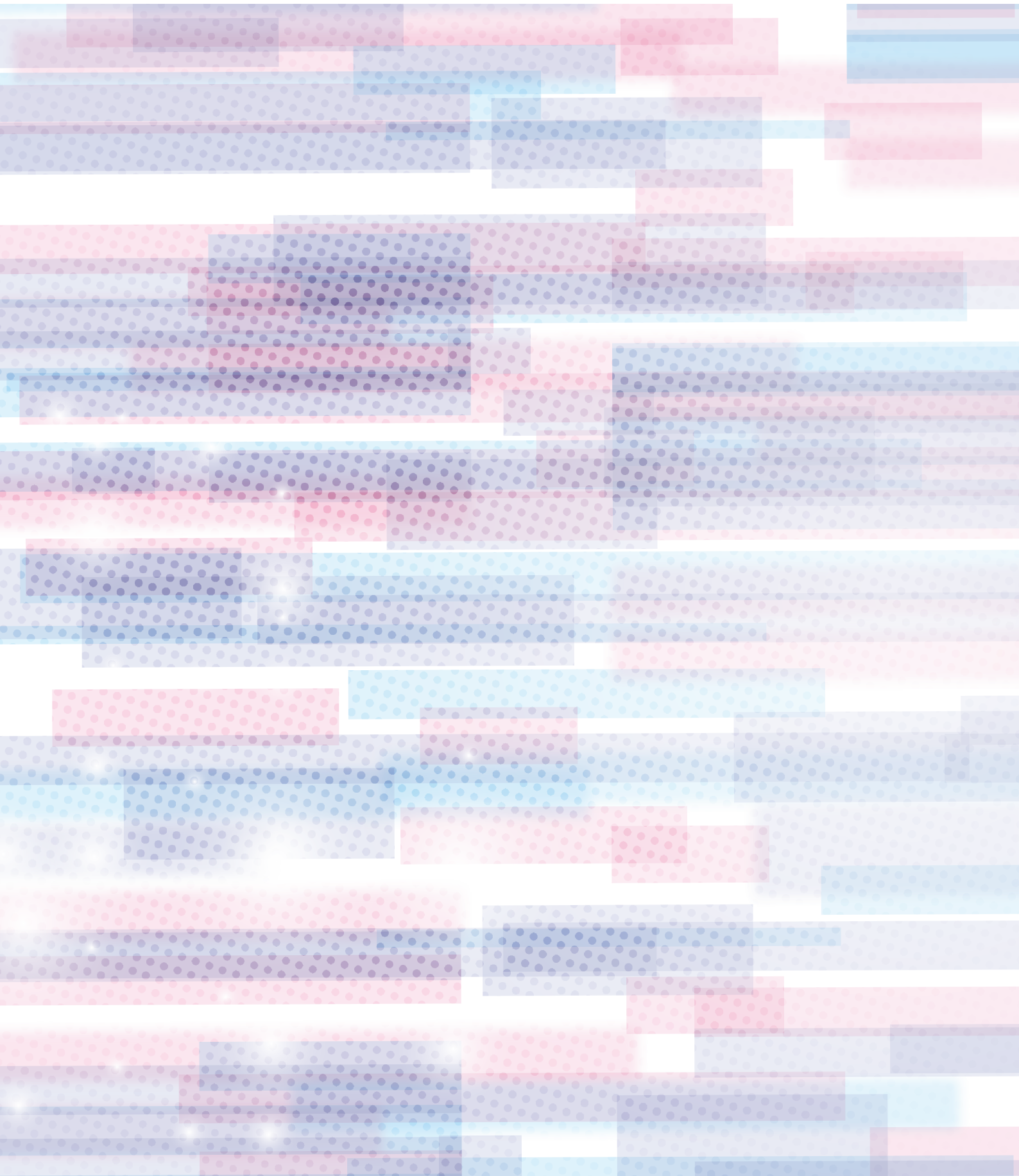
神奈川県(横浜市)

ブリリアショートショートシアター 2017年2月

神奈川県(横浜市)

横浜ニューテアトル 2018年6月

→ **fig.31**



中部地方

[新潟・富山・石川・福井・山梨・長野・岐阜・静岡・愛知]

2015-2024年に開館した映画館(18館)

シネマコンプレックス

富山県(富山市)

J-MAXシアターとやま 2016年6月

富山県(砺波市)

イオンシネマとなみ 2023年7月

石川県(小松市)

イオンシネマ新小松 2017年3月

石川県(白山市)

イオンシネマ白山 2021年7月

長野県(松本市)

イオンシネマ松本 2017年9月

静岡県(沼津市)

シネマサンシャインららぽーと沼津 2019年6月

愛知県(豊田市)

イオンシネマ豊田KiTARA 2017年11月

愛知県(常滑市)

イオンシネマ常滑 2017年7月

愛知県(日進市)

TOHOシネマズ赤池 2017年11月

愛知県(長久手市)

イオンシネマ長久手 2016年12月

シネマコンプレックス以外

新潟県(佐渡市)

ガシマシネマ 2017年4月

富山県(富山市)

ほとり座 2020年6月

富山県(高岡市)

御旅屋座(ダフレンズ) 2020年7月

長野県(上田市)

上田映劇 2017年4月(ミニシアターとして再開)

長野県(上田市)

トラウム・ライゼ 2020年7月

静岡県(伊東市)

金星シネマ 2024年9月

愛知県(名古屋市)

ナゴヤキネマ・ノイ 2024年3月

(←名古屋シネマテーク)

愛知県(名古屋市)

大須シネマ 2019年4月

fig.32
中部地方

中部地方の人口		全国シェア	映画館数		全国シェア
2024	20,613,786	16.6%	2024	105	17.7%
2015	21,460,745	16.9%	2015	108	18.7%
増減(人)	-846,959				
増減率(%)	-3.9%				

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
中部地方								
シネマコンプレックス	68	626	65	589	3	37	-1	-8
ミニシアター	23	33	17	24	6	9	2	0
既存興行館	8	24	17	39	-9	-15	-1	-2
成人映画館	6	6	9	9	-3	-3	0	0
シネコン以外	37	63	43	72	-6	-9	1	-2
中部地方合計	105	689	108	661	-3	28	0	-10
全国シェア	17.7%	18.6%	18.7%	19.1%				

新潟県								
シネマコンプレックス	7	61	7	61	0	0	0	0
ミニシアター	3	3	3	3	0	0	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	3	3	3	0	0	0	0
新潟県合計	10	64	10	64	0	0	0	0

富山県								
シネマコンプレックス	4	31	3	23	1	8	0	0
ミニシアター	2	2	1	1	1	1	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	2	1	1	1	1	0	0
富山県合計	6	33	4	24	2	9	0	0

石川県								
シネマコンプレックス	7	61	6	52	1	9	0	0
ミニシアター	1	1	1	1	0	0	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	1	1	2	2	-1	-1	0	0
石川県合計	8	62	8	54	0	8	0	0

福井県								
シネマコンプレックス	3	22	3	22	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	1	1	0	0	0	0
既存興行館	1	4	2	8	-1	-4	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	5	3	9	-1	-4	0	0
福井県合計	5	27	6	31	-1	-4	0	0

山梨県								
シネマコンプレックス	1	9	1	9	0	0	0	0
ミニシアター	0	0	0	0	0	0	0	0
既存興行館	2	3	3	4	-1	-1	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	2	3	4	5	-2	-2	0	0
山梨県合計	3	12	5	14	-2	-2	0	0

2015-2024年に閉館した映画館(22館)

シネマコンプレックス

富山県(富山市)

富山シアター大都会 2018年9月

石川県(野々市市)

イオンシネマ御経塚 2021年5月

長野県(佐久市)

佐久アムシネマ 2023年9月

愛知県(名古屋市)

TOHOシネマズ名古屋ベシティ 2020年11月

愛知県(半田市)

半田コロナシネマワールド 2019年5月

愛知県(春日井市)

春日井コロナシネマワールド 2017年2月

シネマコンプレックス以外

新潟県(十日町市)

十日町シネマパラダイス 2018年3月

新潟県(新潟市)

映劇大要 2019年8月

富山県(富山市)

フォルツァ総曲輪 2016年9月(→ほとり座)

石川県(金沢市)

金沢駅前シネマ 2020年3月

福井県(福井市)

福井シネマ 2018年9月

山梨県(甲府市)

シアターセントラル Be 館 2023年12月休館

山梨県(笛吹市)

テアトル石和 2018年2月

山梨県(甲府市)

甲南劇場 2021年11月

長野県(長野市)

シネマポイント 2020年6月

静岡県(沼津市)

ジョイランドシネマ沼津 2015年2月

静岡県(沼津市)

沼津シネマ10 2020年12月

愛知県(名古屋市)

名古屋シネマテーク 2023年7月

(→ナゴヤキネマ・ノイ)

愛知県(名古屋市)

名演小劇場 2023年11月

愛知県(名古屋市)

キノシタホール 2019年4月

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
長野県								
シネマコンプレックス	6	45	6	45	0	0	-1	-8
ミニシアター	4	6	2	4	2	2	1	0
既存興行館	4	12	5	13	-1	-1	0	0
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	9	19	8	18	1	1	1	0
長野県合計	15	64	14	63	1	1	0	-8
岐阜県								
シネマコンプレックス	5	50	5	50	0	0	0	0
ミニシアター	2	4	0	0	2	4	1	1
既存興行館	0	0	2	5	-2	-5	-1	-2
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	3	5	3	6	0	-1	0	-1
岐阜県合計	8	55	8	56	0	-1	0	-1
静岡県								
シネマコンプレックス	11	96	11	90	0	6	0	0
ミニシアター	3	4	2	3	1	1	1	1
既存興行館	1	5	2	3	-1	2	0	0
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	5	10	5	7	0	3	1	1
静岡県合計	16	106	16	97	0	9	1	1
愛知県								
シネマコンプレックス	24	251	23	237	1	14	0	0
ミニシアター	7	12	7	11	0	1	-1	-2
既存興行館	0	0	3	6	-3	-6	0	0
成人映画館	3	3	4	4	-1	-1	0	0
シネコン以外	10	15	14	21	-4	-6	-1	-2
愛知県合計	34	266	37	258	-3	8	-1	-2

愛知県(名古屋市)

ピカデリー 2016年6月

愛知県(豊田市)

トヨタグランド 2019年4月

愛知県(一宮市)

尾西シネラマパワー 2020年12月

→ fig.32

近畿地方

[三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山]

2015-2024 年に開館した映画館(17 館)

シネマコンプレックス

三重県(津市)

イオンシネマ津南 2018 年 11 月

大阪府(大阪市)

イオンシネマシアタス心斎橋 2021 年 3 月

大阪府(吹田市)

109シネマズ大阪エキスポシティ 2015 年 11 月

大阪府(四條畷市)

イオンシネマ四条畷 2015 年 10 月

大阪府(松原市)

TOHOシネマズ セブンパーク天美 2021 年 11 月

大阪府(門真市)

TOHOシネマズららぽーと門真 2023 年 4 月

兵庫県(姫路市)

アースシネマズ姫路 2015 年 7 月

奈良県(橿原市)

ユナイテッド・シネマ橿原 2015 年 12 月

シネマコンプレックス以外

京都府(京都市)

出町座 2017 年 12 月

京都府(京都市)

京都みなみ会館 2019 年 8 月

リニューアルオープン 2023 年閉館

京都府(京都市)

アップリンク京都 2020 年 6 月

京都府(舞鶴市)

シネ・グルージャ 2019 年 7 月

大阪府(大阪市)

キノシネマ心斎橋 2024 年 12 月

大阪府(大阪市)

扇町キネマ 2023 年 10 月

兵庫県(神戸市)

キノシネマ神戸国際 2022 年 4 月

兵庫県(豊岡市)

豊岡劇場 2022 年閉館/2023 年 3 月再開

兵庫県(丹波市)

エビスシネマ 2021 年 7 月

和歌山県(和歌山市)

シネマ 203 2023 年 10 月

fig.33
近畿地方

近畿地方の人口		全国シェア	映画館数		全国シェア
2024	21,905,135	17.7%	2024	95	16.0%
2015	22,541,298	17.7%	2015	97	16.8%
増減(人)		-636,163			
増減率(%)		-2.8%			

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
近畿地方								
シネマコンプレックス	55	516	54	498	1	18	0	0
ミニシアター	20	43	17	32	3	11	-1	-1
既存興行館	11	28	15	47	-4	-19	0	-2
成人映画館	9	10	11	12	-2	-2	0	0
シネコン以外	40	81	43	91	-3	-10	-1	-3
近畿地方合計	95	597	97	589	-2	8	-1	-3
全国シェア	16.0%	16.1%	16.8%	17.0%				
三重県								
シネマコンプレックス	7	59	6	50	1	9	0	0
ミニシアター	1	2	1	2	0	0	0	0
既存興行館	0	0	1	4	-1	-4	0	0
成人映画館	2	2	2	2	0	0	0	0
シネコン以外	3	4	4	8	-1	-4	0	0
三重県合計	10	63	10	58	0	5	0	0
滋賀県								
シネマコンプレックス	4	29	5	34	-1	-5	0	0
ミニシアター	0	0	0	0	0	0	0	0
既存興行館	1	4	1	4	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	4	1	4	0	0	0	0
滋賀県合計	5	33	6	38	-1	-5	0	0
京都府								
シネマコンプレックス	6	64	6	64	0	0	0	0
ミニシアター	4	10	2	4	2	6	-1	-3
既存興行館	2	6	2	5	0	1	0	0
成人映画館	2	2	2	2	0	0	0	0
シネコン以外	8	18	6	11	2	7	-1	-3
京都府合計	14	82	12	75	2	7	-1	-3
大阪府								
シネマコンプレックス	23	224	21	204	2	20	0	0
ミニシアター	7	13	8	15	-1	-2	0	0
既存興行館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
成人映画館	3	4	5	6	-2	-2	0	0
シネコン以外	10	17	14	22	-4	-5	0	0
大阪府合計	33	241	35	226	-2	15	0	0
兵庫県								
シネマコンプレックス	10	93	10	92	0	1	0	0
ミニシアター	7	17	6	11	1	6	0	2
既存興行館	5	8	7	23	-2	-15	0	-2
成人映画館	2	2	2	2	0	0	0	0
シネコン以外	14	27	15	36	-1	-9	0	0
兵庫県合計	24	120	25	128	-1	-8	0	0

2015-2024年に閉館した映画館(15館)

シネマコンプレックス

滋賀県(大津市)
大津アレックスシネマ 2022年3月
大阪府(東大阪市)
布施ラインシネマ 2020年2月
奈良県(河合町)
イオンシネマ西大和 2022年8月

シネマコンプレックス以外

三重県(伊賀市)
ジストシネマ伊賀上野 2018年2月
京都府(京都市)
京都みなみ会館 2023年9月
大阪府(大阪市)
テアトル梅田 2022年9月
大阪府(大阪市)
シネ・リーブル梅田 2024年4月
(→テアトル梅田に名称変更)
大阪府(大阪市)
シネマート心斎橋 2024年10月
大阪府(大阪市)
トビタシネマ/飛田東映 2015年3月
大阪府(大阪市)
淡路東宝 2017年5月
大阪府(大阪市)
新世界日活劇場 2015年9月
大阪府(大阪市)
国名小劇 2021年12月
兵庫県(神戸市)
神戸国際松竹 2022年3月
兵庫県(姫路市)
シネパレス山陽座 2016年1月
兵庫県(姫路市)
姫路・大劇シネマ 2015年11月
兵庫県(姫路市)
姫路OS 2016年1月

→ fig.33

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
奈良県								
シネマコンプレックス	3	27	4	34	-1	-7	0	0
ミニシアター	0	0	0	0	0	0	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良県合計	3	27	4	34	-1	-7	0	0
和歌山県								
シネマコンプレックス	2	20	2	20	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	0	0	1	1	0	0
既存興行館	3	10	3	10	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	4	11	3	10	1	1	0	0
和歌山県合計	6	31	5	30	1	1	0	0

中国・四国地方

[鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知]

2015-2024年に開館した映画館(8館)

シネマコンプレックス

広島県(広島市)
イオンシネマ広島西風新都 2018年4月

徳島県(徳島市)
イオンシネマ徳島 2017年4月

愛媛県(今治市)
イオンシネマ今治新都市 2016年6月

シネマコンプレックス以外

鳥取県(湯梨浜町)
ジグシアター 2021年7月

島根県(益田市)
小野沢シネマ 2022年1月(再開)

広島県(広島市)
横川有楽座 2018年11月

山口県(下関市)
シネマポスト 2023年10月

高知県(高知市)
キネマ ミュージアム 2023年10月

fig.34 中国・四国地方	中国・四国地方の人口		全国シェア	映画館数		全国シェア
	2024	10,532,898	8.5%	2024	51	8.6%
	2015	11,264,210	8.9%	2015	49	8.5%
	増減(人)		-731,312			
	増減率(%)		-6.5%			

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
中国・四国地方								
シネマコンプレックス	30	243	29	229	1	14	0	0
ミニシアター	14	22	10	15	4	7	0	1
既存興行館	5	8	8	17	-3	-9	0	-1
成人映画館	2	2	2	3	0	-1	0	0
シネコン以外	21	32	20	35	1	-3	0	0
中国・四国地方合計	51	275	49	264	2	11	0	0
全国シェア	8.6%	7.4%	8.5%	7.6%				

鳥取県								
シネマコンプレックス	1	6	1	6	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	0	0	1	1	0	0
既存興行館	2	5	2	5	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	6	2	5	1	1	0	0
鳥取県合計	4	12	3	11	1	1	0	0

島根県								
シネマコンプレックス	2	15	2	15	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	0	0	1	1	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	1	0	0	1	1	0	0
島根県合計	3	16	2	15	1	1	0	0

岡山県								
シネマコンプレックス	3	31	3	31	0	0	0	0
ミニシアター	1	2	1	2	0	0	0	0
既存興行館	1	1	2	5	-1	-4	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	2	3	4	8	-2	-5	0	0
岡山県合計	5	34	7	39	-2	-5	0	0

広島県								
シネマコンプレックス	8	68	7	59	1	9	0	0
ミニシアター	5	9	6	9	-1	0	0	1
既存興行館	1	1	1	2	0	-1	0	-1
成人映画館	1	1	1	2	0	-1	0	0
シネコン以外	7	11	8	13	-1	-2	0	0
広島県合計	15	79	15	72	0	7	0	0

山口県								
シネマコンプレックス	4	29	4	29	0	0	0	0
ミニシアター	2	3	1	1	1	2	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	3	1	1	1	2	0	0
山口県合計	6	32	5	30	1	2	0	0

2015-2024年に閉館した映画館(9館)

シネマコンプレックス

愛媛県(松山市)

シネマサンシャイン大街道 2021年1月

愛媛県(大洲市)

シネマサンシャイン大州 2019年1月

シネマコンプレックス以外

岡山県(岡山市)

ジョリー東宝 2022年1月(→メルパ)

岡山県(岡山市)

岡山日活 2019年12月

広島県(広島市)

広島シネ・ツイン本通り 2016年10月

広島県(広島市)

広島劇場シネマ/有楽座 2018年9月閉館

(→横川有楽座)

広島県(広島市)

広島横川銀映 2018年9月

愛媛県(今治市)

アイシネマ今治 2016年10月休館

高知県(高知市)

高知あたと劇場 2024年12月休館

→ fig.34

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
徳島県								
シネマコンプレックス	2	17	1	8	1	9	0	0
ミニシアター	1	2	0	0	1	2	0	0
既存興行館	0	0	1	2	-1	-2	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	2	1	2	0	0	0	0
徳島県合計	3	19	2	10	1	9	0	0
香川県								
シネマコンプレックス	3	23	3	23	0	0	0	0
ミニシアター	1	2	1	2	0	0	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	1	1	0	0	1	1	0	0
シネコン以外	2	3	1	2	1	1	0	0
香川県合計	5	26	4	25	1	1	0	0
愛媛県								
シネマコンプレックス	6	45	7	49	-1	-4	0	0
ミニシアター	1	1	1	1	0	0	0	0
既存興行館	0	0	1	2	-1	-2	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	1	2	3	-1	-2	0	0
愛媛県合計	7	46	9	52	-2	-6	0	0
高知県								
シネマコンプレックス	1	9	1	9	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	0	0	1	1	0	0
既存興行館	1	1	1	1	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	2	1	1	1	1	0	0
高知県合計	3	11	2	10	1	1	0	0

九州・沖縄地方

[福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・
沖縄]

2015-2024 年に開館した映画館 (18 館)

シネマコンプレックス

福岡県(福岡市)
ユナイテッド・シネマ福岡もち 2018 年 11 月
リニューアルオープン

福岡県(福岡市)
TOHO シネマズ ららぽーと福岡 2022 年 4 月
福岡県(飯塚市)

シネマサンシャイン飯塚 2023 年 7 月

熊本県(熊本市)
TOHO シネマズ 熊本サクラマチ 2019 年 9 月
熊本県(熊本市)

熊本ピカデリー 2021 年 4 月

大分県(大分市)
TOHO シネマズアミュプラザおおいた
2015 年 4 月

大分県(中津市)
セントラルシネマ三光 2020 年 3 月

宮崎県(宮崎市)
ワンダーアティックシネマ 2020 年 11 月

鹿児島県(始良市)
シネマサンシャイン始良 2017 年 4 月

沖縄県(浦添市)
ユナイテッド・シネマ PARCO CITY 浦添
2019 年 6 月

沖縄県(北中城村)
シネマライカム 2015 年 4 月

シネマコンプレックス以外

福岡県(福岡市)
キノシネマ天神 2020 年 4 月

福岡県(大川市)
大川シネマホール 2015 年 10 月

佐賀県(唐津市)
シアターエンヤ 2019 年 10 月

大分県(豊後高田市)
玉津東天紅 2017 年 4 月

沖縄県(沖縄市)
シアタードーナツ 2015 年 4 月

沖縄県(沖縄市)
シネマプラザハウス 1954 2019 年 11 月

fig.35
九州・沖縄地方

九州・沖縄地方の人口		全国シェア	映画館数		全国シェア
2024	13,946,570	11.3%	2024	76	12.8%
2015	14,441,199	11.4%	2015	70	12.1%
増減(人)		-494,629			
増減率(%)		-3.4%			

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
九州・沖縄地方								
シネマコンプレックス	45	415	38	354	7	61	1	9
ミニシアター	19	32	12	20	7	12	0	0
既存興行館	8	17	9	18	-1	-1	0	0
成人映画館	4	6	11	12	-7	-6	0	0
シネコン以外	31	55	32	50	-1	5	0	0
九州・沖縄地方合計	76	470	70	404	6	66	1	9
全国シェア	12.8%	12.7%	12.1%	11.7%				

福岡県								
シネマコンプレックス	18	176	17	169	1	7	1	9
ミニシアター	3	6	2	4	1	2	0	0
既存興行館	3	8	3	7	0	1	0	0
成人映画館	2	4	4	5	-2	-1	0	0
シネコン以外	8	18	9	16	-1	2	0	0
福岡県合計	26	194	26	185	0	9	1	9

佐賀県								
シネマコンプレックス	2	18	2	18	0	0	0	0
ミニシアター	2	3	1	2	1	1	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	3	1	2	1	1	0	0
佐賀県合計	4	21	3	20	1	1	0	0

長崎県								
シネマコンプレックス	3	24	3	24	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	1	1	0	0	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	1	1	2	2	-1	-1	0	0
長崎県合計	4	25	5	26	-1	-1	0	0

熊本県								
シネマコンプレックス	7	63	5	44	2	19	0	0
ミニシアター	2	4	1	3	1	1	0	0
既存興行館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
成人映画館	1	1	2	2	-1	-1	0	0
シネコン以外	3	5	4	6	-1	-1	0	0
熊本県合計	10	68	9	50	1	18	0	0

大分県								
シネマコンプレックス	4	38	3	30	1	8	0	0
ミニシアター	5	5	4	4	1	1	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	6	6	5	5	1	1	0	0
大分県合計	10	44	8	35	2	9	0	0

沖縄県(石垣市)

ゆいロードシアター

2018年8月開館/2020年4月休館

2015-2024年に閉館した映画館(11館)

シネマコンプレックス

福岡県(福岡市)

TOHOシネマズ天神本館(天神東宝)

2017年3月

シネマコンプレックス以外

福岡県(福岡市)

福岡中洲大洋 2024年3月休館

福岡県(飯塚市)

飯塚シネマセントラル 2015年3月

福岡県(北九州市)

八幡有楽劇場 2019年6月

長崎県(長崎市)

長崎千日劇場 2015年12月

熊本県(八代市)

八代駅前東映 2015年

宮崎県(宮崎市)

宮崎ロマン 2020年7月

鹿児島県(鹿児島市)

鹿児島旭シネマ 2017年9月

沖縄県(石垣市)

ゆいロードシアター

2018年8月開館/2020年4月休館

沖縄県(沖縄市)

コザ琉映 2016年7月

沖縄県(那覇市)

首里劇場 2022年4月

→ fig.35

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
宮崎県								
シネマコンプレックス	2	16	1	9	1	7	0	0
ミニシアター	1	4	1	2	0	2	0	0
既存興行館	2	6	2	6	0	0	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	3	10	4	9	-1	1	0	0
宮崎県合計	5	26	5	18	0	8	0	0
鹿児島県								
シネマコンプレックス	4	36	3	27	1	9	0	0
ミニシアター	1	1	1	1	0	0	0	0
既存興行館	2	2	1	1	1	1	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	3	3	3	3	0	0	0	0
鹿児島県合計	7	39	6	30	1	9	0	0
沖縄県								
シネマコンプレックス	5	44	4	33	1	11	0	0
ミニシアター	4	8	1	3	3	5	0	0
既存興行館	1	1	2	3	-1	-2	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	5	9	4	7	1	2	0	0
沖縄県合計	10	53	8	40	2	13	0	0

I | 映画館での上映

5

全国映画館リスト2024

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
1	北海道	札幌市	ユナイテッド・シネマ札幌	11	シネマコンプレックス
2	北海道	札幌市	札幌シネマフロンティア	12	シネマコンプレックス
3	北海道	札幌市	TOHO シネマズすすきの	10	シネマコンプレックス
4	北海道	札幌市	シアターキノ	2	ミニシアター / 名画座
5	北海道	札幌市	サツゲキ	4	ミニシアター / 名画座
6	北海道	札幌市	マッソシアター	1	成人映画館
7	北海道	函館市	シネマアイリス	1	ミニシアター / 名画座
8	北海道	函館市	シネマ太陽函館	4	既存興行館
9	北海道	小樽市	イオンシネマ小樽	7	シネマコンプレックス
10	北海道	旭川市	シネプレックス旭川	7	シネマコンプレックス
11	北海道	旭川市	イオンシネマ旭川駅前	8	シネマコンプレックス
12	北海道	室蘭市	ディノスシネマズ室蘭	4	既存興行館
13	北海道	帯広市	シネマ太陽帯広	5	シネマコンプレックス
14	北海道	北見市	イオンシネマ北見	7	シネマコンプレックス
15	北海道	苫小牧市	ディノスシネマズ苫小牧	7	シネマコンプレックス
16	北海道	苫小牧市	シネマ・トーラス	1	ミニシアター / 名画座
17	北海道	稚内市	T・ジョイ稚内	3	既存興行館
18	北海道	江別市	イオンシネマ江別	8	シネマコンプレックス
19	北海道	千歳市	新千歳空港シアター	3	既存興行館
20	北海道	浦河町	浦河大黒座	1	ミニシアター / 名画座
21	北海道	釧路町	イオンシネマ釧路	8	シネマコンプレックス
22	青森県	青森市	イオンシネマ新青森	8	シネマコンプレックス
23	青森県	青森市	シネマディクト	2	ミニシアター / 名画座
24	青森県	青森市	青森松竹アムゼ	3	既存興行館
25	青森県	弘前市	イオンシネマ弘前	6	シネマコンプレックス
26	青森県	弘前市	テアトル弘前	1	成人映画館
27	青森県	つがる市	シネマヴィレッジ8・イオン柏	8	シネマコンプレックス
28	青森県	おいらせ町	TOHO シネマズおいらせ下田	7	シネマコンプレックス
29	岩手県	盛岡市	フォーラム盛岡	7	シネマコンプレックス
30	岩手県	盛岡市	盛岡中央映画劇場	2	既存興行館 ミニシアター / 名画座
31	岩手県	盛岡市	盛岡ルミエール	2	既存興行館 ミニシアター / 名画座
32	岩手県	盛岡市	盛岡ピカデリー	1	既存興行館
33	岩手県	北上市	イオンシネマ北上	7	シネマコンプレックス
34	岩手県	一関市	一関シネプラザ	2	既存興行館
35	宮城県	仙台市	MOVIX 仙台	10	シネマコンプレックス
36	宮城県	仙台市	TOHO シネマズ仙台	9	シネマコンプレックス
37	宮城県	仙台市	フォーラム仙台	3	ミニシアター / 名画座
38	宮城県	仙台市	チネ・ラヴィータ	3	既存興行館
39	宮城県	石巻市	イオンシネマ石巻	8	シネマコンプレックス
40	宮城県	名取市	イオンシネマ名取	10	シネマコンプレックス
41	宮城県	大崎市	シネマ・リオーネ古川	6	シネマコンプレックス
42	宮城県	富谷市	109シネマズ富谷	10	シネマコンプレックス

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
43	宮城県	大河原町	ユナイテッド・シネマ フォルテ宮城大河原	7	シネマコンプレックス
44	宮城県	利府町	イオンシネマ新利府	11	シネマコンプレックス
45	秋田県	秋田市	TOHO シネマズ秋田	8	シネマコンプレックス
46	秋田県	秋田市	アルヴェシアター	3	既存興行館
47	秋田県	能代市	イオンファミリーシアター能代	1	既存興行館
48	秋田県	大館市	御成座	1	ミニシアター / 名画座
49	秋田県	大仙市	イオンシネマ大曲	5	シネマコンプレックス
50	山形県	山形市	フォーラム山形	5	シネマコンプレックス ミニシアター / 名画座
51	山形県	山形市	ソラリス	6	シネマコンプレックス
52	山形県	山形市	MOVIE ON やまがた	10	シネマコンプレックス
53	山形県	米沢市	イオンシネマ米沢	7	シネマコンプレックス
54	山形県	鶴岡市	鶴岡まちなかキネマ	2	既存興行館 ミニシアター / 名画座
55	山形県	天童市	イオンシネマ天童	9	シネマコンプレックス
56	山形県	東根市	フォーラム東根	8	シネマコンプレックス
57	山形県	三川町	イオンシネマ三川	7	シネマコンプレックス
58	福島県	福島市	フォーラム福島	6	シネマコンプレックス ミニシアター / 名画座
59	福島県	福島市	イオンシネマ福島	9	シネマコンプレックス
60	福島県	郡山市	郡山テアトル	6	シネマコンプレックス
61	福島県	いわき市	ボレボレシネマズいわき小名浜	9	シネマコンプレックス
62	福島県	いわき市	湯本駅前ミニシアター Kuramoto	1	ミニシアター / 名画座
63	福島県	いわき市	まちボレいわき	2	既存興行館
64	茨城県	水戸市	TOHO シネマズ水戸内原	8	シネマコンプレックス
65	茨城県	水戸市	ユナイテッド・シネマ水戸	8	シネマコンプレックス
66	茨城県	水戸市	水戸銀星映画劇場	1	成人映画館
67	茨城県	日立市	シネマサンライズ	1	既存興行館
68	茨城県	土浦市	シネマサンシャイン土浦	9	シネマコンプレックス
69	茨城県	土浦市	土浦セントラルシネマズ	2	既存興行館 ミニシアター / 名画座
70	茨城県	下妻市	イオンシネマ下妻	5	シネマコンプレックス
71	茨城県	笠間市	笠間ボレボレホール	2	既存興行館
72	茨城県	つくば市	シネプレックスつくば	8	シネマコンプレックス
73	茨城県	つくば市	MOVIX つくば	9	シネマコンプレックス
74	茨城県	つくば市	USシネマつくば	10	シネマコンプレックス
75	茨城県	ひたちなか市	TOHO シネマズひたちなか	10	シネマコンプレックス
76	茨城県	守谷市	イオンシネマ守谷	10	シネマコンプレックス
77	茨城県	那珂市	あまや座	1	ミニシアター / 名画座
78	茨城県	稲敷市	USシネマバルナ稲敷	7	シネマコンプレックス
79	栃木県	宇都宮市	MOVIX 宇都宮	10	シネマコンプレックス
80	栃木県	宇都宮市	TOHO シネマズ宇都宮	10	シネマコンプレックス

2024年1月1日から12月31日まで営業があった映画館を掲載している。「映画館名簿」(キネマ旬報社)に掲載されていない映画館でも、恒常的な上映を行っている場合は追加し、また、掲載されている映画館でも、上映実績が確認できなかった場合は載せていない。

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
81	栃木県	宇都宮市	宇都宮ヒカリ座	3	ミニシアター / 名画座
82	栃木県	足利市	ユナイテッド・シネマ アシコタウンあしかが	8	シネマコンプレックス
83	栃木県	佐野市	109シネマズ佐野	10	シネマコンプレックス
84	栃木県	小山市	小山シネマロブレ	5	シネマコンプレックス
85	栃木県	小山市	シネマハーヴェスト	8	シネマコンプレックス
86	栃木県	那須塩原市	フォーラム那須塩原	9	シネマコンプレックス
87	栃木県	茂木町	もびあホール	1	既存興行館
88	群馬県	前橋市	ユナイテッド・シネマ前橋	9	シネマコンプレックス
89	群馬県	前橋市	前橋シネマハウス	2	ミニシアター / 名画座
90	群馬県	高崎市	109シネマズ高崎	8	シネマコンプレックス
91	群馬県	高崎市	イオンシネマ高崎	10	シネマコンプレックス
92	群馬県	高崎市	シネマテークたかさき	2	ミニシアター / 名画座
93	群馬県	高崎市	高崎電気館	1	ミニシアター / 名画座
94	群馬県	伊勢崎市	MOVIX 伊勢崎	10	シネマコンプレックス
95	群馬県	太田市	イオンシネマ太田	10	シネマコンプレックス
96	埼玉県	さいたま市	イオンシネマ大宮	8	シネマコンプレックス
97	埼玉県	さいたま市	MOVIX さいたま	12	シネマコンプレックス
98	埼玉県	さいたま市	イオンシネマ浦和美園	11	シネマコンプレックス
99	埼玉県	さいたま市	ユナイテッド・シネマ浦和	9	シネマコンプレックス
100	埼玉県	川越市	ユナイテッド・シネマ ウニクス南古谷	9	シネマコンプレックス
101	埼玉県	川越市	川越スカラ座	1	ミニシアター / 名画座
102	埼玉県	熊谷市	イオンシネマ熊谷	8	シネマコンプレックス
103	埼玉県	熊谷市	シネティアラ21	8	シネマコンプレックス
104	埼玉県	川口市	MOVIX 川口	9	シネマコンプレックス
105	埼玉県	川口市	イオンシネマ川口	10	シネマコンプレックス
106	埼玉県	秩父市	ユナイテッド・シネマ ウニクス秩父	7	シネマコンプレックス
107	埼玉県	所沢市	T・ジョイ エミテラス所沢	12	シネマコンプレックス
108	埼玉県	所沢市	新所沢 Let's シネパーク	3	既存興行館
109	埼玉県	春日部市	ユナイテッド・シネマ春日部	9	シネマコンプレックス
110	埼玉県	春日部市	イオンシネマ春日部	10	シネマコンプレックス
111	埼玉県	羽生市	イオンシネマ羽生	9	シネマコンプレックス
112	埼玉県	鴻巣市	こうのすシネマ	8	シネマコンプレックス
113	埼玉県	深谷市	深谷シネマ	1	ミニシアター / 名画座
114	埼玉県	越谷市	イオンシネマ越谷レイクタウン	10	シネマコンプレックス
115	埼玉県	入間市	ユナイテッド・シネマ入間	9	シネマコンプレックス
116	埼玉県	新座市	ユナイテッド・シネマ新座	9	シネマコンプレックス
117	埼玉県	久喜市	109シネマズ菫蒲	11	シネマコンプレックス
118	埼玉県	富士見市	TOHOシネマズ ららぽーと富士見	9	シネマコンプレックス
119	埼玉県	三郷市	MOVIX 三郷	12	シネマコンプレックス
120	埼玉県	幸手市	シネプレックス幸手	9	シネマコンプレックス
121	埼玉県	鶴ヶ島市	ユナイテッド・シネマわかば	9	シネマコンプレックス
122	埼玉県	ふじみ野市	イオンシネマ大井	7	シネマコンプレックス
123	埼玉県	上里町	ユナイテッド・シネマ ウニクス上里	9	シネマコンプレックス
124	千葉県	千葉市	京成ロザ	10	シネマコンプレックス
125	千葉県	千葉市	ユナイテッド・シネマ幕張	10	シネマコンプレックス
126	千葉県	千葉市	T・ジョイ蘇我	12	シネマコンプレックス
127	千葉県	千葉市	イオンシネマ幕張新都心	10	シネマコンプレックス
128	千葉県	千葉市	千葉劇場	1	ミニシアター / 名画座
129	千葉県	銚子市	イオンシネマ銚子	5	シネマコンプレックス
130	千葉県	市川市	TOHOシネマズ 市川コルトンプラザ	9	シネマコンプレックス
131	千葉県	市川市	イオンシネマ市川妙典	9	シネマコンプレックス
132	千葉県	船橋市	TOHOシネマズららぽーと船橋	10	シネマコンプレックス

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
133	千葉県	木更津市	USシネマ木更津	10	シネマコンプレックス
134	千葉県	松戸市	ユナイテッド・シネマ テラスモール松戸	11	シネマコンプレックス
135	千葉県	野田市	イオンスペースシネマ野田	2	既存興行館
136	千葉県	成田市	成田HUMAXシネマズ	10	シネマコンプレックス
137	千葉県	佐倉市	シネマサンシャインユーカリが丘	8	シネマコンプレックス
138	千葉県	旭市	旭サンモールシネマ	6	シネマコンプレックス
139	千葉県	柏市	MOVIX 柏の葉	10	シネマコンプレックス
140	千葉県	柏市	TOHOシネマズ柏	9	シネマコンプレックス
141	千葉県	柏市	キネマ旬報シアター	3	ミニシアター / 名画座
142	千葉県	市原市	USシネマちはら台	10	シネマコンプレックス
143	千葉県	市原市	TOHOシネマズ市原	10	シネマコンプレックス
144	千葉県	流山市	TOHOシネマズ流山おおたかの森	11	シネマコンプレックス
145	千葉県	八千代市	TOHOシネマズ八千代緑が丘	10	シネマコンプレックス
146	千葉県	浦安市	シネマイクスピアリ	16	シネマコンプレックス
147	千葉県	印西市	イオンシネマ千葉ニュータウン	8	シネマコンプレックス
148	千葉県	印西市	USシネマ千葉ニュータウン	10	シネマコンプレックス
149	東京都	千代田区	TOHOシネマズ日比谷	13	シネマコンプレックス
150	東京都	千代田区	TOHOシネマズシャンテ	3	ミニシアター / 名画座
151	東京都	千代田区	丸の内ピカデリー	3	既存興行館
152	東京都	千代田区	ヒューマントラストシネマ有楽町	2	ミニシアター / 名画座
153	東京都	千代田区	角川シネマ有楽町	1	ミニシアター / 名画座
154	東京都	千代田区	神保町シアター	1	ミニシアター / 名画座
155	東京都	中央区	TOHOシネマズ日本橋	9	シネマコンプレックス
156	東京都	中央区	シネスイッチ銀座	2	ミニシアター / 名画座
157	東京都	中央区	丸の内TOEI	2	既存興行館
158	東京都	中央区	東劇	1	既存興行館
159	東京都	港区	ユナイテッド・シネマ アクアシティお台場	13	シネマコンプレックス
160	東京都	港区	T・ジョイ PRINCE 品川	11	シネマコンプレックス
161	東京都	港区	TOHOシネマズ六本木ヒルズ	9	シネマコンプレックス
162	東京都	新宿区	新宿バルト9	9	シネマコンプレックス
163	東京都	新宿区	新宿ピカデリー	10	シネマコンプレックス
164	東京都	新宿区	TOHOシネマズ新宿	12	シネマコンプレックス
165	東京都	新宿区	109シネマズプレミアム新宿	8	シネマコンプレックス
166	東京都	新宿区	テアトル新宿	1	ミニシアター / 名画座
167	東京都	新宿区	新宿武蔵野館	3	ミニシアター / 名画座
168	東京都	新宿区	シネマカリテ	2	ミニシアター / 名画座
169	東京都	新宿区	ケイズシネマ	1	ミニシアター / 名画座
170	東京都	新宿区	シネマート新宿	2	ミニシアター / 名画座
171	東京都	新宿区	キノシネマ新宿	2	ミニシアター / 名画座
172	東京都	新宿区	早稲田松竹	1	ミニシアター / 名画座
173	東京都	台東区	TOHOシネマズ上野	8	シネマコンプレックス
174	東京都	台東区	上野オークラ劇場 / 上野特選劇場	3	成人映画館
175	東京都	墨田区	TOHOシネマズ錦糸町オリナス	12	シネマコンプレックス
176	東京都	墨田区	ストレンジャー	1	ミニシアター / 名画座
177	東京都	江東区	109シネマズ木場	8	シネマコンプレックス
178	東京都	江東区	ユナイテッド・シネマ豊洲	12	シネマコンプレックス
179	東京都	品川区	キネカ大森	3	ミニシアター / 名画座
180	東京都	品川区	目黒シネマ	1	ミニシアター / 名画座
181	東京都	目黒区	東京都写真美術館ホール	1	ミニシアター / 名画座
182	東京都	大田区	シネマサンシャイン平和島	7	シネマコンプレックス
183	東京都	世田谷区	109シネマズ二子玉川	10	シネマコンプレックス
184	東京都	世田谷区	下高井戸シネマ	1	ミニシアター / 名画座
185	東京都	世田谷区	下北沢トリウッド	1	ミニシアター / 名画座

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
186	東京都	世田谷区	シモキターエキマエシネマ K2	1	ミニシアター / 名画座
187	東京都	渋谷区	TOHO シネマズ渋谷	6	シネマコンプレックス
188	東京都	渋谷区	ユーロスペース	2	ミニシアター / 名画座
189	東京都	渋谷区	ユーロライブ	1	ミニシアター / 名画座
190	東京都	渋谷区	シネマヴェーラ渋谷	1	ミニシアター / 名画座
191	東京都	渋谷区	ル・シネマ渋谷宮下	2	ミニシアター / 名画座
192	東京都	渋谷区	恵比寿ガーデンシネマ	2	ミニシアター / 名画座
193	東京都	渋谷区	シネクイント	2	ミニシアター / 名画座
194	東京都	渋谷区	ホワイト シネクイント	1	ミニシアター / 名画座
195	東京都	渋谷区	シアター・イメージフォーラム	2	ミニシアター / 名画座
196	東京都	渋谷区	ヒューマントラストシネマ渋谷	3	ミニシアター / 名画座
197	東京都	渋谷区	渋谷HUMAXシネマ	1	既存興行館
198	東京都	中野区	ボレポレ東中野	1	ミニシアター / 名画座
199	東京都	杉並区	ラピュタ阿佐ヶ谷	1	ミニシアター / 名画座
200	東京都	杉並区	モーク阿佐ヶ谷	1	ミニシアター / 名画座
201	東京都	豊島区	グランドシネマサンシャイン池袋	12	シネマコンプレックス
202	東京都	豊島区	TOHO シネマズ池袋	10	シネマコンプレックス
203	東京都	豊島区	シネ・リーブル池袋	2	ミニシアター / 名画座
204	東京都	豊島区	新文芸坐	1	ミニシアター / 名画座
205	東京都	豊島区	シネマ・ロサ	2	ミニシアター / 名画座
206	東京都	豊島区	池袋HUMAXシネマズ	4	既存興行館
207	東京都	豊島区	シネロマン池袋	1	成人映画館
208	東京都	北区	シネマ・チュブキ・タバタ	1	ミニシアター / 名画座
209	東京都	板橋区	イオンシネマ板橋	12	シネマコンプレックス
210	東京都	練馬区	T・ジョイ SEIBU 大泉	9	シネマコンプレックス
211	東京都	練馬区	ユナイテッド・シネマとしまえん	9	シネマコンプレックス
212	東京都	足立区	TOHO シネマズ西新井	10	シネマコンプレックス
213	東京都	足立区	シネマブルーススタジオ	1	ミニシアター / 名画座
214	東京都	葛飾区	MOVIX 亀有	10	シネマコンプレックス
215	東京都	江戸川区	船堀シネバル	2	既存興行館
216	東京都	八王子市	TOHO シネマズ南大沢	9	シネマコンプレックス
217	東京都	立川市	シネマシティ	6	シネマコンプレックス
218	東京都	立川市	シネマ・ツー	5	シネマコンプレックス
219	東京都	立川市	TOHO シネマズ立川立飛	9	シネマコンプレックス
220	東京都	立川市	キノシネマ立川高島屋 S.C. 館	3	ミニシアター / 名画座
221	東京都	武蔵野市	アップリンク吉祥寺	5	ミニシアター / 名画座
222	東京都	武蔵野市	吉祥寺オデラン	3	既存興行館
223	東京都	武蔵野市	吉祥寺プラザ	1	既存興行館
224	東京都	青梅市	シネマネコ	1	ミニシアター / 名画座
225	東京都	府中市	TOHO シネマズ府中	9	シネマコンプレックス
226	東京都	昭島市	MOVIX 昭島	12	シネマコンプレックス
227	東京都	調布市	イオンシネマ シアタス調布	11	シネマコンプレックス
228	東京都	町田市	109 シネマズグランベリーパーク	10	シネマコンプレックス
229	東京都	武蔵村山市	イオンシネマむさし村山	12	シネマコンプレックス
230	東京都	多摩市	イオンシネマ多摩センター	8	シネマコンプレックス
231	東京都	日の出町	イオンシネマ日の出	9	シネマコンプレックス
232	神奈川県	横浜市	ムービル	5	シネマコンプレックス
233	神奈川県	横浜市	109 シネマズ港北	7	シネマコンプレックス
234	神奈川県	横浜市	イオンシネマみなとみらい	8	シネマコンプレックス
235	神奈川県	横浜市	TOHO シネマズららぽーと横浜	13	シネマコンプレックス
236	神奈川県	横浜市	イオンシネマ港北ニュータウン	12	シネマコンプレックス
237	神奈川県	横浜市	横浜ブルク13	13	シネマコンプレックス
238	神奈川県	横浜市	TOHO シネマズ上大岡	9	シネマコンプレックス
239	神奈川県	横浜市	T・ジョイ横浜	9	シネマコンプレックス

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
240	神奈川県	横浜市	ローゾン・ユナイテッドシネマ STYLE-S みなとみらい	12	シネマコンプレックス
241	神奈川県	横浜市	109 シネマズゆめが丘	10	シネマコンプレックス
242	神奈川県	横浜市	シネマ・ジャック&ベティ	2	ミニシアター / 名画座
243	神奈川県	横浜市	横浜シネマリン	1	ミニシアター / 名画座
244	神奈川県	横浜市	シネマノヴェチエント	1	ミニシアター / 名画座
245	神奈川県	横浜市	キノシネマ横浜みなとみらい	3	ミニシアター / 名画座
246	神奈川県	横浜市	県民共済シネマホール	1	既存興行館
247	神奈川県	横浜市	港南台シネサロン	2	既存興行館
248	神奈川県	横浜市	横浜光音座	2	成人映画館
249	神奈川県	川崎市	チネチッタ	12	シネマコンプレックス
250	神奈川県	川崎市	イオンシネマ新百合ヶ丘	9	シネマコンプレックス
251	神奈川県	川崎市	TOHO シネマズ川崎	9	シネマコンプレックス
252	神奈川県	川崎市	109 シネマズ川崎	10	シネマコンプレックス
253	神奈川県	川崎市	川崎市アートセンター アルテリオ映像館	1	ミニシアター / 名画座
254	神奈川県	相模原市	MOVIX 橋本	9	シネマコンプレックス
255	神奈川県	横須賀市	横須賀HUMAXシネマズ	10	シネマコンプレックス
256	神奈川県	平塚市	シネプレックス平塚	8	シネマコンプレックス
257	神奈川県	藤沢市	109 シネマズ湘南	10	シネマコンプレックス
258	神奈川県	藤沢市	シネコヤ	1	ミニシアター / 名画座
259	神奈川県	小田原市	TOHO シネマズ小田原	9	シネマコンプレックス
260	神奈川県	小田原市	小田原コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
261	神奈川県	小田原市	小田原シネマ館	1	ミニシアター / 名画座
262	神奈川県	茅ヶ崎市	イオンシネマ茅ヶ崎	6	シネマコンプレックス
263	神奈川県	逗子市	シネマ・アミーゴ	1	ミニシアター / 名画座
264	神奈川県	厚木市	あつぎのえいがかんkiki	3	ミニシアター / 名画座
265	神奈川県	海老名市	イオンシネマ海老名	7	シネマコンプレックス
266	神奈川県	海老名市	TOHO シネマズ海老名	10	シネマコンプレックス
267	神奈川県	座間市	イオンシネマ座間	10	シネマコンプレックス
268	新潟県	新潟市	ユナイテッド・シネマ新潟	10	シネマコンプレックス
269	新潟県	新潟市	イオンシネマ新潟西	9	シネマコンプレックス
270	新潟県	新潟市	T・ジョイ新潟万代	8	シネマコンプレックス
271	新潟県	新潟市	イオンシネマ新潟南	9	シネマコンプレックス
272	新潟県	新潟市	新潟シネ・ウインド	1	ミニシアター / 名画座
273	新潟県	長岡市	T・ジョイ長岡	10	シネマコンプレックス
274	新潟県	燕市	イオンシネマ県央	7	シネマコンプレックス
275	新潟県	上越市	J-MAX シアター	8	シネマコンプレックス
276	新潟県	上越市	高田世界館	1	ミニシアター / 名画座
277	新潟県	佐渡市	ガシマシネマ	1	ミニシアター / 名画座
278	富山県	富山市	TOHO シネマズファボーレ富山	10	シネマコンプレックス
279	富山県	富山市	J-MAX シアターとやま	8	シネマコンプレックス
280	富山県	富山市	ほとり座	1	ミニシアター / 名画座
281	富山県	高岡市	TOHO シネマズ高岡	8	シネマコンプレックス
282	富山県	高岡市	御旅屋座(ダフレン)	1	ミニシアター / 名画座
283	富山県	砺波市	イオンシネマとなみ	5	シネマコンプレックス
284	石川県	金沢市	ユナイテッド・シネマ金沢	9	シネマコンプレックス
285	石川県	金沢市	イオンシネマ金沢	8	シネマコンプレックス
286	石川県	金沢市	イオンシネマ金沢フォーラス	9	シネマコンプレックス
287	石川県	金沢市	金沢コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
288	石川県	金沢市	シネモンド	1	ミニシアター / 名画座
289	石川県	小松市	イオンシネマ新小松	7	シネマコンプレックス
290	石川県	かほく市	シネマサンシャインかほく	8	シネマコンプレックス
291	石川県	白山市	イオンシネマ白山	10	シネマコンプレックス
292	福井県	福井市	テアトルサンク	5	シネマコンプレックス

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
293	福井県	福井市	福井コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
294	福井県	福井市	福井メトロ劇場	1	ミニシアター / 名画座
295	福井県	敦賀市	敦賀アレックスシネマ	4	既存興行館
296	福井県	鯖江市	鯖江アレックスシネマ	7	シネマコンプレックス
297	山梨県	昭和町	TOHOシネマス甲府	9	シネマコンプレックス
298	山梨県	甲府市	シアターセントラルBe 館	2	既存興行館
299	山梨県	甲州市	塩山シネマ	1	既存興行館
300	長野県	長野市	長野グランドシネマズ	8	シネマコンプレックス
301	長野県	長野市	長野ロキシー / 松竹相生座	3	ミニシアター / 名画座
302	長野県	長野市	長野千石劇場	3	既存興行館
303	長野県	松本市	松本シネマライツ	8	シネマコンプレックス
304	長野県	松本市	イオンシネマ松本	8	シネマコンプレックス
305	長野県	上田市	TOHOシネマス上田	8	シネマコンプレックス
306	長野県	上田市	上田映劇	1	ミニシアター / 名画座
307	長野県	上田市	トラウム・ライゼ	1	ミニシアター / 名画座
308	長野県	岡谷市	岡谷スカラ座	7	シネマコンプレックス
309	長野県	飯田市	飯田常磐劇場	3	既存興行館
310	長野県	飯田市	飯田センゲキシネマズ	4	既存興行館
311	長野県	伊那市	伊那旭座	2	既存興行館
312	長野県	塩尻市	塩尻東座1号館	1	ミニシアター / 名画座
313	長野県	塩尻市	塩尻東座2号館	1	成人映画館
314	長野県	山形村	アイシティシネマ	6	シネマコンプレックス
315	岐阜県	岐阜市	TOHOシネマス岐阜	10	シネマコンプレックス
316	岐阜県	岐阜市	CINEX	3	ミニシアター / 名画座
317	岐阜県	岐阜市	ロイヤル劇場	1	ミニシアター / 名画座
318	岐阜県	岐阜市	岐阜朝日劇場	1	成人映画館
319	岐阜県	大垣市	大垣コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
320	岐阜県	関市	関シネックスマーゴ	8	シネマコンプレックス
321	岐阜県	各務原市	イオンシネマ各務原	10	シネマコンプレックス
322	岐阜県	本巣市	TOHOシネマスモレラ岐阜	12	シネマコンプレックス
323	静岡県	静岡市	MOVIX清水	9	シネマコンプレックス
324	静岡県	静岡市	シネシティザート	10	シネマコンプレックス
325	静岡県	静岡市	静岡シネ・ギャラリー	2	ミニシアター / 名画座
326	静岡県	静岡市	静岡東宝会館	5	既存興行館
327	静岡県	浜松市	TOHOシネマス浜松	9	シネマコンプレックス
328	静岡県	浜松市	TOHOシネマスサンストリート浜北	9	シネマコンプレックス
329	静岡県	浜松市	シネマイーラ	1	ミニシアター / 名画座
330	静岡県	浜松市	シネマハウス新映	1	成人映画館
331	静岡県	沼津市	シネマサンシャイン沼津	8	シネマコンプレックス
332	静岡県	沼津市	シネマサンシャインららぽーと沼津	10	シネマコンプレックス
333	静岡県	三島市	ジョイランドみしま	6	シネマコンプレックス
334	静岡県	富士宮市	イオンシネマ富士宮	6	シネマコンプレックス
335	静岡県	伊東市	金星シネマ	1	ミニシアター / 名画座
336	静岡県	磐田市	TOHOシネマスららぽーと磐田	10	シネマコンプレックス
337	静岡県	藤枝市	藤枝シネ・プレーゴ	7	シネマコンプレックス
338	静岡県	清水町	シネブラザサントムーン	12	シネマコンプレックス
339	愛知県	名古屋市中	中川コロナシネマワールド	12	シネマコンプレックス
340	愛知県	名古屋市中	イオンシネマ ワンダー	10	シネマコンプレックス
341	愛知県	名古屋市中	109シネマス名古屋	10	シネマコンプレックス
342	愛知県	名古屋市中	ミッドランドスクエア シネマ	14	シネマコンプレックス
343	愛知県	名古屋市中	イオンシネマ大高	10	シネマコンプレックス
344	愛知県	名古屋市中	イオンシネマ名古屋茶屋	12	シネマコンプレックス
345	愛知県	名古屋市中	ナゴヤキネマ・ノイ	1	ミニシアター / 名画座
346	愛知県	名古屋市中	シネマスコーレ	1	ミニシアター / 名画座
347	愛知県	名古屋市中	センチュリーシネマ	2	ミニシアター / 名画座

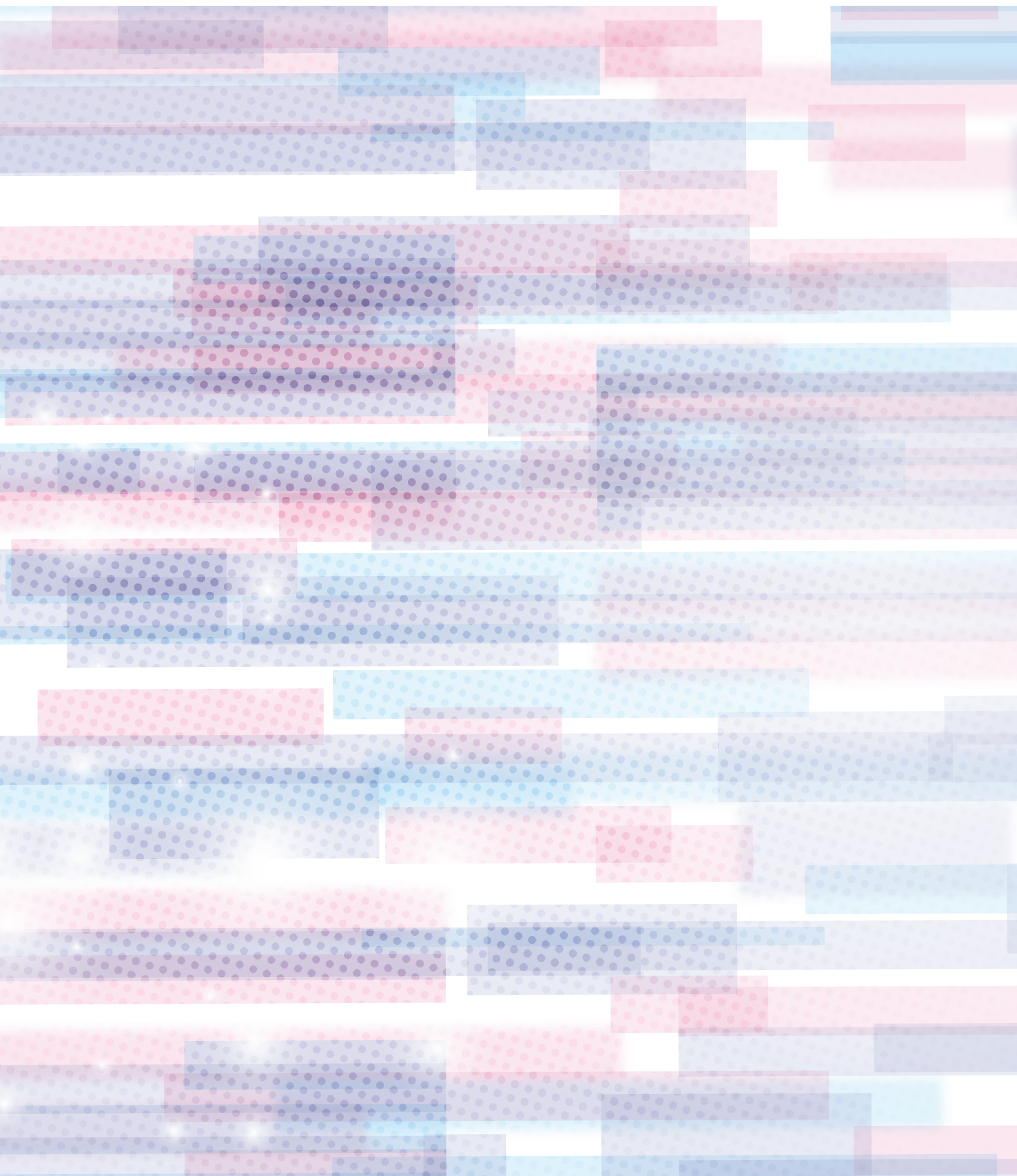
no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
348	愛知県	名古屋市中	伏見リオン座	4	ミニシアター / 名画座
349	愛知県	名古屋市中	大須シネマ	1	ミニシアター / 名画座
350	愛知県	名古屋市中	三越映画劇場	1	ミニシアター / 名画座
351	愛知県	名古屋市中	中村映劇	1	成人映画館
352	愛知県	豊橋市	ユナイテッド・シネマ豊橋18	18	シネマコンプレックス
353	愛知県	岡崎市	ユナイテッド・シネマ岡崎	9	シネマコンプレックス
354	愛知県	岡崎市	イオンシネマ岡崎	10	シネマコンプレックス
355	愛知県	一宮市	TOHOシネマス木曽川	10	シネマコンプレックス
356	愛知県	春日井市	春日井ユニオン劇場	1	成人映画館
357	愛知県	豊川市	豊川コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
358	愛知県	豊川市	イオンシネマ豊川	7	シネマコンプレックス
359	愛知県	津島市	TOHOシネマス津島	10	シネマコンプレックス
360	愛知県	刈谷市	刈谷日劇	2	ミニシアター / 名画座
361	愛知県	豊田市	イオンシネマ豊田KiTARA	9	シネマコンプレックス
362	愛知県	安城市	安城コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
363	愛知県	西尾市	鶴城映劇	1	成人映画館
364	愛知県	常滑市	イオンシネマ常滑	9	シネマコンプレックス
365	愛知県	小牧市	小牧コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
366	愛知県	稲沢市	ユナイテッド・シネマ稲沢	9	シネマコンプレックス
367	愛知県	日進市	TOHOシネマス赤池	10	シネマコンプレックス
368	愛知県	みよし市	MOVIX 三好	12	シネマコンプレックス
369	愛知県	長久手市	イオンシネマ長久手	10	シネマコンプレックス
370	愛知県	豊山町	ミッドランドシネマ名古屋空港	12	シネマコンプレックス
371	愛知県	阿久比町	ユナイテッド・シネマ阿久比	9	シネマコンプレックス
372	愛知県	東浦町	TOHOシネマス東浦	9	シネマコンプレックス
373	三重県	津市	イオンシネマ津	7	シネマコンプレックス
374	三重県	津市	イオンシネマ津南	9	シネマコンプレックス
375	三重県	四日市市	109シネマス四日市	9	シネマコンプレックス
376	三重県	桑名市	イオンシネマ桑名	8	シネマコンプレックス
377	三重県	鈴鹿市	イオンシネマ鈴鹿	8	シネマコンプレックス
378	三重県	東員町	イオンシネマ東員	10	シネマコンプレックス
379	三重県	明和町	109シネマス明和	8	シネマコンプレックス
380	三重県	伊勢市	進富座	2	ミニシアター / 名画座
381	三重県	四日市市	ロッポニカ四日市	1	成人映画館
382	三重県	松阪市	松阪大映劇場	1	成人映画館
383	滋賀県	大津市	ユナイテッド・シネマ大津	7	シネマコンプレックス
384	滋賀県	近江八幡市	イオンシネマ近江八幡	8	シネマコンプレックス
385	滋賀県	草津市	イオンシネマ草津	9	シネマコンプレックス
386	滋賀県	甲賀市	水口アレックスシネマ	5	シネマコンプレックス
387	滋賀県	彦根市	彦根ピバシティシネマ	4	既存興行館
388	京都府	京都市	MOVIX 京都	12	シネマコンプレックス
389	京都府	京都市	TOHOシネマス二条	11	シネマコンプレックス
390	京都府	京都市	T・ジョイ京都	12	シネマコンプレックス
391	京都府	京都市	イオンシネマ京都桂川	12	シネマコンプレックス
392	京都府	京都市	京都シネマ	3	ミニシアター / 名画座
393	京都府	京都市	出町座	2	ミニシアター / 名画座
394	京都府	京都市	アップリンク京都	4	ミニシアター / 名画座
395	京都府	京都市	本町館	1	成人映画館
396	京都府	京都市	千本日活	1	成人映画館
397	京都府	福知山市	福知山シネマ	3	既存興行館
398	京都府	舞鶴市	シネ・グルージャ	1	ミニシアター / 名画座
399	京都府	舞鶴市	舞鶴八千代	3	既存興行館
400	京都府	木津川市	イオンシネマ高の原	9	シネマコンプレックス
401	京都府	久御山町	イオンシネマ久御山	8	シネマコンプレックス
402	大阪府	大阪市	なんばパークスシネマ	11	シネマコンプレックス

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
403	大阪府	大阪市	あべのアポロシネマ	9	シネマコンプレックス
404	大阪府	大阪市	TOHOシネマズ梅田	10	シネマコンプレックス
405	大阪府	大阪市	T・ジョイ梅田	7	シネマコンプレックス
406	大阪府	大阪市	大阪ステーションシティシネマ	12	シネマコンプレックス
407	大阪府	大阪市	TOHOシネマズなんば	12	シネマコンプレックス
408	大阪府	大阪市	イオンシネマシアタス心斎橋	7	シネマコンプレックス
409	大阪府	大阪市	シネ・ヌーヴォ / シネ・ヌーヴォX	2	ミニシアター / 名画座
410	大阪府	大阪市	第七藝術劇場 / シアターセブン	2	ミニシアター / 名画座
411	大阪府	大阪市	テアトル梅田 (旧シネ・リーブル梅田)	4	ミニシアター / 名画座
412	大阪府	大阪市	扇町キネマ	1	ミニシアター / 名画座
413	大阪府	大阪市	キノシネマ心斎橋	2	ミニシアター / 名画座
414	大阪府	大阪市	新世界東映	1	ミニシアター / 名画座
415	大阪府	大阪市	新世界国際劇場	1	ミニシアター / 名画座
416	大阪府	大阪市	新世界国際地下劇場	1	成人映画館
417	大阪府	大阪市	日劇シネマ / ローズ	2	成人映画館
418	大阪府	大阪市	上六シネマ	1	成人映画館
419	大阪府	堺市	MOVIX堺	12	シネマコンプレックス
420	大阪府	堺市	TOHOシネマズ鳳	10	シネマコンプレックス
421	大阪府	堺市	TOHOシネマズ泉北	9	シネマコンプレックス
422	大阪府	岸和田市	ユナイテッド・シネマ岸和田	9	シネマコンプレックス
423	大阪府	吹田市	109シネマズ大阪エキスポシティ	11	シネマコンプレックス
424	大阪府	高槻市	高槻アレックスシネマ	9	シネマコンプレックス
425	大阪府	守口市	イオンシネマ大日	8	シネマコンプレックス
426	大阪府	枚方市	ユナイテッド・シネマ枚方	9	シネマコンプレックス
427	大阪府	枚方市	TOHOシネマズくずはモール	10	シネマコンプレックス
428	大阪府	茨木市	イオンシネマ茨木	10	シネマコンプレックス
429	大阪府	八尾市	MOVIX八尾	12	シネマコンプレックス
430	大阪府	松原市	TOHOシネマズセブンパーク天美	10	シネマコンプレックス
431	大阪府	箕面市	109シネマズ箕面	9	シネマコンプレックス
432	大阪府	門真市	TOHOシネマズららぽーと門真	9	シネマコンプレックス
433	大阪府	泉南市	イオンシネマリंकウ泉南	8	シネマコンプレックス
434	大阪府	四條畷市	イオンシネマ四條畷	11	シネマコンプレックス
435	兵庫県	神戸市	109シネマズHAT 神戸	10	シネマコンプレックス
436	兵庫県	神戸市	OSシネマズミント神戸	8	シネマコンプレックス
437	兵庫県	神戸市	OSシネマズ神戸ハーバーランド	10	シネマコンプレックス
438	兵庫県	神戸市	シネ・リーブル神戸	3	ミニシアター / 名画座
439	兵庫県	神戸市	元町映画館	1	ミニシアター / 名画座
440	兵庫県	神戸市	キノシネマ神戸国際	4	ミニシアター / 名画座
441	兵庫県	神戸市	シネマ神戸	2	ミニシアター / 名画座
442	兵庫県	神戸市	バルシネマしんこうえん	1	ミニシアター / 名画座
443	兵庫県	神戸市	カナートホール	1	既存興行館
444	兵庫県	神戸市	福原国際東映	1	成人映画館
445	兵庫県	姫路市	アースシネマズ姫路	12	シネマコンプレックス
446	兵庫県	尼崎市	MOVIXあまがさき	11	シネマコンプレックス
447	兵庫県	尼崎市	塚口サンサン劇場	4	既存興行館 ミニシアター / 名画座
448	兵庫県	尼崎市	尼崎パレス	1	成人映画館
449	兵庫県	明石市	イオンシネマ明石	7	シネマコンプレックス
450	兵庫県	西宮市	TOHOシネマズ西宮OS	12	シネマコンプレックス
451	兵庫県	洲本市	洲本オリオン	1	既存興行館
452	兵庫県	伊丹市	TOHOシネマズ伊丹	8	シネマコンプレックス
453	兵庫県	豊岡市	豊岡劇場	2	既存興行館 ミニシアター / 名画座
454	兵庫県	加古川市	イオンシネマ加古川	8	シネマコンプレックス
455	兵庫県	赤穂市	ブラット赤穂シネマ	3	既存興行館

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
456	兵庫県	宝塚市	シネ・ヒビア	2	ミニシアター / 名画座
457	兵庫県	三田市	イオンシネマ三田ウッディタウン	7	シネマコンプレックス
458	兵庫県	丹波市	エビスシネマ	1	ミニシアター / 名画座
459	奈良県	大和郡山市	シネマサンシャイン大和郡山	9	シネマコンプレックス
460	奈良県	橿原市	TOHOシネマズ橿原	9	シネマコンプレックス
461	奈良県	橿原市	ユナイテッド・シネマ橿原	9	シネマコンプレックス
462	和歌山県	和歌山市	ジストシネマ和歌山	10	シネマコンプレックス
463	和歌山県	和歌山市	イオンシネマ和歌山	10	シネマコンプレックス
464	和歌山県	和歌山市	シネマ203	1	ミニシアター / 名画座
465	和歌山県	御坊市	ジストシネマ御坊	3	既存興行館
466	和歌山県	田辺市	ジストシネマ田辺	3	既存興行館
467	和歌山県	新宮市	ジストシネマ南紀	4	既存興行館
468	鳥取県	鳥取市	鳥取シネマ	2	既存興行館
469	鳥取県	倉吉市	倉吉パープルタウン シネマエポック	3	既存興行館
470	鳥取県	日吉津村	MOVIX日吉津	6	シネマコンプレックス
471	鳥取県	湯梨浜町	ジグシアター	1	ミニシアター / 名画座
472	島根県	松江市	松江東宝5	5	シネマコンプレックス
473	島根県	出雲市	T・ジョイ出雲	10	シネマコンプレックス
474	島根県	益田市	小野沢シネマ	1	ミニシアター / 名画座
475	岡山県	岡山市	イオンシネマ岡山	11	シネマコンプレックス
476	岡山県	岡山市	TOHOシネマズ岡南	10	シネマコンプレックス
477	岡山県	倉敷市	MOVIX倉敷	10	シネマコンプレックス
478	岡山県	岡山市	シネマ・クレール丸の内	2	ミニシアター / 名画座
479	岡山県	岡山市	メルバ	1	既存興行館
480	広島県	広島市	イオンシネマ広島	7	シネマコンプレックス
481	広島県	広島市	109シネマズ広島	9	シネマコンプレックス
482	広島県	広島市	TOHOシネマズ緑井	8	シネマコンプレックス
483	広島県	広島市	イオンシネマ広島西風新都	9	シネマコンプレックス
484	広島県	広島市	八丁座	2	ミニシアター / 名画座
485	広島県	広島市	サロンシネマ	2	ミニシアター / 名画座
486	広島県	広島市	広島横川シネマ	1	ミニシアター / 名画座
487	広島県	広島市	横川有楽座	1	成人映画館
488	広島県	呉市	呉ボボロ	2	既存興行館 ミニシアター / 名画座
489	広島県	尾道市	シネマ尾道	1	ミニシアター / 名画座
490	広島県	福山市	福山エーガル8シネマズ	8	シネマコンプレックス
491	広島県	福山市	福山コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
492	広島県	福山市	シネマモード	2	ミニシアター / 名画座
493	広島県	東広島市	T・ジョイ東広島	6	シネマコンプレックス
494	広島県	府中町	広島バルト11	11	シネマコンプレックス
495	山口県	下関市	シネマサンシャイン下関	8	シネマコンプレックス
496	山口県	下関市	シネマポスト	1	ミニシアター / 名画座
497	山口県	宇部市	シネマスクエア7	7	シネマコンプレックス
498	山口県	萩市	萩ツインシネマ	2	ミニシアター / 名画座
499	山口県	防府市	イオンシネマ防府	7	シネマコンプレックス
500	山口県	下松市	MOVIX周南	7	シネマコンプレックス
501	徳島県	徳島市	イオンシネマ徳島	9	シネマコンプレックス
502	徳島県	徳島市	ufotable CINEMA	2	ミニシアター / 名画座
503	徳島県	北島町	シネマサンシャイン北島	8	シネマコンプレックス
504	香川県	高松市	イオンシネマ高松東	7	シネマコンプレックス
505	香川県	高松市	ホールソレイユ	2	ミニシアター / 名画座
506	香川県	高松市	ロッポニカ高松	1	成人映画館
507	香川県	宇多津町	イオンシネマ宇多津	7	シネマコンプレックス
508	香川県	綾川町	イオンシネマ綾川	9	シネマコンプレックス
509	愛媛県	松山市	シネマサンシャイン衣山	9	シネマコンプレックス

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
510	愛媛県	松山市	シネマルナティック	1	ミニシアター / 名画座
511	愛媛県	今治市	ユナイテッド・シネマ フジグラン今治	6	シネマコンプレックス
512	愛媛県	今治市	イオンシネマ今治新都市	7	シネマコンプレックス
513	愛媛県	新居浜市	TOHOシネマズ新居浜	7	シネマコンプレックス
514	愛媛県	東温市	シネマサンシャイン重信	7	シネマコンプレックス
515	愛媛県	松前町	シネマサンシャイン エミフルMASAKI	9	シネマコンプレックス
516	高知県	高知市	TOHOシネマズ高知	9	シネマコンプレックス
517	高知県	高知市	キネマ ミュージアム	1	ミニシアター / 名画座
518	高知県	高知市	高知あたご劇場	1	既存興行館
519	福岡県	福岡市	ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13	13	シネマコンプレックス
520	福岡県	福岡市	T・ジョイ博多	11	シネマコンプレックス
521	福岡県	福岡市	TOHOシネマズ ららぽーと福岡	9	シネマコンプレックス
522	福岡県	福岡市	ユナイテッド・シネマ福岡ももち	11	シネマコンプレックス
523	福岡県	福岡市	KBCシネマ	2	ミニシアター / 名画座
524	福岡県	福岡市	キノシネマ天神	3	ミニシアター / 名画座
525	福岡県	福岡市	福岡中洲大洋	4	既存興行館
526	福岡県	福岡市	TOHOシネマズ天神 ソラリア館	3	既存興行館
527	福岡県	福岡市	駅前パレス / 駅前ロマン	2	成人映画館
528	福岡県	北九州市	イオンシネマ戸畑	8	シネマコンプレックス
529	福岡県	北九州市	シネプレックス小倉	10	シネマコンプレックス
530	福岡県	北九州市	T・ジョイリバーウォーク北九州	8	シネマコンプレックス
531	福岡県	北九州市	小倉コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
532	福岡県	北九州市	小倉昭和館	1	ミニシアター / 名画座
533	福岡県	北九州市	小倉名画座	2	成人映画館
534	福岡県	大牟田市	セントラルシネマ大牟田	7	シネマコンプレックス
535	福岡県	久留米市	T・ジョイ久留米	10	シネマコンプレックス
536	福岡県	直方市	TOHOシネマズ直方	9	シネマコンプレックス
537	福岡県	飯塚市	シネマサンシャイン飯塚	9	シネマコンプレックス
538	福岡県	大川市	大川シネマホール	1	既存興行館
539	福岡県	中間市	ユナイテッド・シネマ なかま16	13	シネマコンプレックス
540	福岡県	筑紫野市	イオンシネマ筑紫野	9	シネマコンプレックス
541	福岡県	大野城市	イオンシネマ大野城	8	シネマコンプレックス
542	福岡県	福津市	TOHOシネマズ福津	10	シネマコンプレックス
543	福岡県	久山町	ユナイテッド・シネマトリアス久山	12	シネマコンプレックス
544	福岡県	粕屋町	イオンシネマ福岡	9	シネマコンプレックス
545	佐賀県	佐賀市	イオンシネマ佐賀大和	8	シネマコンプレックス
546	佐賀県	佐賀市	109シネマズ佐賀	10	シネマコンプレックス
547	佐賀県	佐賀市	シアター・シエマ	2	ミニシアター / 名画座
548	佐賀県	唐津市	シアターエンヤ	1	ミニシアター / 名画座
549	長崎県	長崎市	ユナイテッド・シネマ長崎	8	シネマコンプレックス
550	長崎県	長崎市	TOHOシネマズ長崎	9	シネマコンプレックス
551	長崎県	長崎市	長崎セントラル劇場	1	ミニシアター / 名画座
552	長崎県	佐世保市	佐世保シネマボックス太陽	7	シネマコンプレックス
553	熊本県	熊本市	ユナイテッド・シネマ熊本	10	シネマコンプレックス
554	熊本県	熊本市	TOHOシネマズはません	9	シネマコンプレックス
555	熊本県	熊本市	TOHOシネマズ 熊本サクラマチ	9	シネマコンプレックス
556	熊本県	熊本市	熊本ピカデリー	10	シネマコンプレックス
557	熊本県	熊本市	Denkikan	3	ミニシアター / 名画座
558	熊本県	熊本市	桃劇場	1	成人映画館
559	熊本県	宇城市	TOHOシネマズ宇城	8	シネマコンプレックス
560	熊本県	天草市	本渡第一映劇	1	ミニシアター / 名画座
561	熊本県	菊陽町	TOHOシネマズ光の森	9	シネマコンプレックス

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
562	熊本県	嘉島町	イオンシネマ熊本	8	シネマコンプレックス
563	大分県	大分市	TOHOシネマズ大分わさだ	11	シネマコンプレックス
564	大分県	大分市	T・ジョイパークプレイス大分	9	シネマコンプレックス
565	大分県	大分市	TOHOシネマズ アミュプラザおいた	10	シネマコンプレックス
566	大分県	大分市	大分シネマ5	1	ミニシアター / 名画座
567	大分県	大分市	大分シネマ5 bis	1	ミニシアター / 名画座
568	大分県	別府市	別府ブルーバード劇場	1	ミニシアター / 名画座
569	大分県	別府市	別府南映劇場	1	成人映画館
570	大分県	中津市	セントラルシネマ三光	8	シネマコンプレックス
571	大分県	日田市	日田シネマテーク・リベルテ	1	ミニシアター / 名画座
572	大分県	豊後高田市	玉津東天紅	1	ミニシアター / 名画座
573	宮崎県	宮崎市	セントラルシネマ宮崎	9	シネマコンプレックス
574	宮崎県	宮崎市	ワンダーアティックシネマ	7	シネマコンプレックス
575	宮崎県	宮崎市	宮崎キネマ館	4	ミニシアター / 名画座
576	宮崎県	都城市	シネポート	3	既存興行館
577	宮崎県	延岡市	延岡シネマ	3	既存興行館
578	鹿児島県	鹿児島市	鹿児島ミッテ10	10	シネマコンプレックス
579	鹿児島県	鹿児島市	TOHOシネマズ与次郎	10	シネマコンプレックス
580	鹿児島県	鹿児島市	天文館シネマバラダイス	7	シネマコンプレックス
581	鹿児島県	姶良市	シネマサンシャイン姶良	9	シネマコンプレックス
582	鹿児島県	鹿児島市	ガーデンスシネマ	1	ミニシアター / 名画座
583	鹿児島県	鹿屋市	リナシアター	1	既存興行館
584	鹿児島県	奄美市	シネマパニック	1	既存興行館
585	沖縄県	那覇市	シネマQ	9	シネマコンプレックス
586	沖縄県	那覇市	桜坂劇場	3	ミニシアター / 名画座
587	沖縄県	那覇市	シネマバレット	2	ミニシアター / 名画座
588	沖縄県	浦添市	ユナイテッド・シネマ PARCO CITY 浦添	11	シネマコンプレックス
589	沖縄県	沖縄市	シアタードーナツ	1	ミニシアター / 名画座
590	沖縄県	沖縄市	シネマプラザハウス1954	2	ミニシアター / 名画座
591	沖縄県	宮古島市	よしもと南の島パニパニシネマ	1	既存興行館
592	沖縄県	北谷町	ミハマ7プレックス	8	シネマコンプレックス
593	沖縄県	北中城村	シネマライカム	9	シネマコンプレックス
594	沖縄県	南風原町	サザンプレックス	7	シネマコンプレックス
スクリーン数合計				3709	



Ⅱ 公共上映

1

全国映画祭リスト2024

2

公共の映画専門施設(シネマテーク)及び
映画資料館など

3

映画館以外で行われる上映活動

Ⅲ 特集：映画館（上映活動）の現状に関する 詳細調査

1

「映画館（上映活動）の現状に関する詳細調査」
について

2

映画館（上映活動）の現状に関する詳細調査

（1）3つの映画館（上映活動）のレポート

（2）レポートを読み解く指標

- ① 上映作品の多様性
- ② 関連イベント—地域性に即した上映活動の教育的・社会的意義
- ③ さらに必要な指標・データ

3

課題と展望

資料 | 全国コミュニティシネマ会議 2024

採録 | ディスカッション

“学びの場”としての映画館Ⅱ：
映画館が「クリエイター」を育成する

Ⅲ | 〔特集〕映画館(上映活動)の現状に関する詳細調査

1

「映画館(上映活動)の現状に関する詳細調査」について

川村健一郎 | 立命館大学映像学部教授

「地域における豊かな映画環境の創造」を目指して、コミュニティシネマ憲章が採択されてから20年以上が経過した。その間に、上映メディアはフィルムからデジタルへと転換し、またNetflixをはじめとする動画配信サービスが広く定着する一方で、映画館での公開本数は約2倍の1,300本程度にまで増加した。映画館への甚大な被害をもたらした東日本大震災やコロナ禍も、この間に起こった出来事である。コミュニティシネマとしての映画館(ミニシアター)は、そうした苦境に晒されながらも、憲章に謳われている「使命」をふまえて、地域における映画環境を豊かにするための活動を着実に続けてきた。

その使命とは、「上映環境の地域格差の是正と上映作品の多様性の確保」、「多様なコミュニティに対する多様な上映機会の提供」、「メディアリテラシーの向上など教育的使命を実現すること」、「地域に対する貢献」の四つである。映画館の社会的機能を研究している東海大学准教授の石垣尚志は、この使命に直接言及しているわけではないが、複数の地方都市のミニシアターの調査をふまえて、これらの使命を、端的に「多様性」と「地域性」と読み換えている(石垣尚志「地方都市における映画文化と映画館」『文化政策研究』7号、2014年、188-190頁)。観客の多様な属性と選好に応じることができるよう、製作国やジャンル、時代を限定しない、種々雑多な映画群が上映されていること、地域において映画という芸術表現への学びの場が提供されていること、こうした活動を通じて、地域の様々なアクターとの連携が試みられていることは、ミニシアターの特性として、改めて強調されてよい。

「新しい資本主義」の名のもとに、いわゆるコンテンツ・クリエイターの育成が声高に叫ばれるようになった今日、この使命を顧みることには意義がある。なぜなら、コロナ禍におけるミニシアターの支援に立ち上がり、3億円以上の支援金を集めたミニシアター・エイド基金の取り組みが示してくれたように、映画に関わるクリエイターにとって、ミニシアターは映画文化の多様性を守り、長年にわたって地域文化を育んできた存在であり、世界各国の、また様々な時代の映画を体験させてくれた学びの空間であったからである。

内閣府の「新しい資本主義実現会議」において、是枝裕和監督が「少なくとも今の40代までの監督たちは、このようなミニシアターで多様な映画に触れることで監督になっています。観客も同様に、その体験を核にしてコアな映画ファンを形成してきました」と述べたことは記憶に新しい(「新しい資本主義実現会議(第26回)」https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/kaigi/dai26/gijisidai.html)。このように、「映画を観る環境」の豊かさを維持していく努力が、クリエイターの育成においても不可欠なのだという教育的視点は、ミニシアターをめぐる文化政策を考えるうえで、これからいっそう重要になってくると思われる。

しかし、実際のところ、各地域のミニシアターは具体的にどのような活動を展開しているのか。ミニシアターはほとんどがいわゆる系列館ではないので、それぞれ独立事業者である。また、基本的に観客に対するチケット売り上げによって経営されているので、地理や人口規模によって、その活動内容も必然的に一律ではない。

コミュニティシネマ憲章の採択を受けて設立されたコミュニティシネマセンターは、2006年度以来、『映画上映活動年鑑』を発刊して、全国諸地域における映画館数(スクリーン数)、上映本数などのデータの集積を進めてきた。これらは確かに「上映環境の地域格差」を計測するために必要な情報であるが、上記のような、個々の映画館の上映活動の質を評価するには適していない。実際に、ミニシアターはどれほど多様な作品を上映し、どのような教育的使命を担ったイベントを実践し、どのように地域のアクターとの連携に取り組んでいるのか。ミニシアターに通い続けている人々には、日常的に体感されていることではあるが、こうした映画館が日々実践している上映活動を一望するデータはこれまで十分に調査されていなかった。

ここでは、改めて、ミニシアターの活動を質的な観点から検討するために、人口が30万人規模の地方都市のミニシアターおよび、都心に近く人口規模も大きい都市のミニシアター、さらに近隣に映画館のない地域での自主上映活動の三つをモデルとして取り上げる。それぞれの活動で1年間に上映された作品の作品名や製作国、公開規模(当該作品が国内でどれほど多くの館で上映されたか)、ゲスト招聘を含む関連イベントの有無などを一覧で示すことで、地域における上映活動の「多様性」と「地域性」を計測することができるようになるだろう。この調査は入口にすぎず、全国のミニシアターの協力を得ることができれば、今後は、空間的にも時間的にも、その対象を拡張して、データを集積していくことを試みたい。

Ⅲ | [特集] 映画館(上映活動)の現状に関する詳細調査

2

映画館(上映活動)の現状に関する詳細調査

(1) 3つの映画館(上映活動)のレポート

上映活動レポート1：シネマテークたかさき

調査対象期間：2023年1月～12月

映画館。2スクリーン(58席/64席)
1987年より開催されている「高崎映画祭」が母体となり、2004年にNPO法人たかさきコミュニティシネマを設立、同年12月にミニシアター「シネマテークたかさき」開館。現在、たかさきコミュニティシネマは、シネマテークたかさきのほか、「高崎電気館」、「高崎フィルムコミッション」の運営も行う。近年は群馬県内の映画館がない市町村での移動上映も行っている。

運営団体：NPO法人たかさきコミュニティシネマ 群馬県高崎市あら町202番地
高崎市人口：約37万人
近隣の映画館：高崎市 109シネマズ高崎/イオンシネマ高崎
前橋市 ユナイテッド・シネマ前橋/前橋シネマハウス(ミニシアター)

年間上映本数 日本映画=99本 外国映画=180本 合計 約280本

日本映画						
	上映作品名	若い 作り手	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/備考
1	あの子の夢を水に流して	※	劇映画	遠山昇司	日本	
2	明ける夜に	※	劇映画	堀内友貴	日本	
3	あなたの微笑み		劇映画	リム・カーワイ	日本	
4	あの娘は知らない	※	劇映画	井樫彩	日本	
5	ABYSS アビス	※	劇映画	須藤蓮	日本	
6	ippo	※	劇映画	柄本佑	日本	
7	市子	※	劇映画	戸田彬弘	日本	
8	1秒先の彼		劇映画	山下敦弘	日本	
9	炎上する君	※	劇映画	ふくだももこ	日本	
10	almost people	※	劇映画	横浜聡子/石井岳龍/加藤拓人/守屋文雄	日本	
11	狼 ラストスタントマン		劇映画	六車俊治	日本	
12	餓鬼が笑う		劇映画	平波亘	日本	
13	風のゆくえ	※	劇映画	石井慎吾	日本	
14	神回	※	劇映画	中村貴一朗	日本	
15	濁いた鉢		劇映画	宇賀那健一	日本	
16	きみとまた	※	劇映画	葉名恒星	日本	
17	銀平町シネマブルース		劇映画	城定秀夫	日本	
18	鯨の骨	※	劇映画	大江崇允	日本	
19	ケイコ 目を澄ませて		劇映画	三宅唱	日本	
20	ケイコ 目を澄ませて(アンコール)		劇映画	三宅唱	日本	
21	コーンフレーク	※	劇映画	磯部鉄平	日本	
22	GOLD FISH		劇映画	藤沼伸一	日本	
23	こちらあみ子	※	劇映画	森井勇佑	日本	
24	さいはて		劇映画	越川道夫	日本	
25	サーチライト-遊星散歩-		劇映画	平波亘	日本	
26	桜色の風が吹く		劇映画	松本准平	日本	
27	雑魚どもよ、大志を抱け!		劇映画	足立紳	日本	
28	さよなら、エリユメントス		劇映画	大野大輔	日本	
29	散歩時間~その日待ちながら~	※	劇映画	戸田彬弘	日本	
30	THEATERS	※	劇映画	山口雄也/中村公彦/鈴木太一/沖正人	日本	
31	J005311	※	劇映画	河野宏紀	日本	
32	17歳は止まらない	※	劇映画	北村美幸	日本	
33	Single8		劇映画	小中和哉	日本	

	上映作品名	若い 作り手	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/備考
34	せかいのおきく		劇映画	阪本順治	日本	
35	世界は僕らに気づかない	※	劇映画	飯塚花笑	日本	
36	そばかす	※	劇映画	玉田真也	日本	
37	台風クラブ 4Kレストア版		劇映画	相米慎二	日本	
38	TOCKA タスカー	※	劇映画	鎌田義孝	日本	
39	たまつきの夢		劇映画	田口敬太	日本	
40	誰かの花	※	劇映画	奥田裕介	日本	
41	探偵マリコの生涯で一番悲惨な日		劇映画	内田英治 / 片山慎三	日本	
42	茶飲友達		劇映画	外山文治	日本	
43	月		劇映画	石井裕也	日本	
44	天上の花		劇映画	片嶋一貴	日本	
45	遠いところ	※	劇映画	工藤将亮	日本	
46	とべない風船	※	劇映画	宮川博至	日本	
47	風の憂鬱	※	劇映画	磯部鉄平	日本	
48	ナナメのろうか	※	劇映画	深田隆之	日本	
49	逃げきれた夢	※	劇映画	二ノ宮隆太郎	日本	
50	ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい	※	劇映画	金子由里奈	日本	
51	ノベンバー	※	劇映画	ライナル・サルネット	ポーランド・オランダ・エストニア	
52	PERFECT DAYS		劇映画	ヴィム・ヴェンダース	日本	
53	裸足で鳴らしてみせろ	※	劇映画	工藤梨穂	日本	
54	はだかのゆめ	※	劇映画	甫木元空	日本	
55	ハッピーエンディングス		劇映画	大崎章 / 井上康平	日本	
56	花腐し		劇映画	荒井晴彦	日本	
57	春原さんのうた		劇映画	杉田協士	日本	
58	彼岸のふたり	※	劇映画	北口ユースケ	日本	
59	ひとりぼっちじゃない	※	劇映画	伊藤ちひろ	日本	
60	ファンファーレ		劇映画	吉野竜平	日本	
61	福田村事件		劇映画	森達也	日本	
62	PLASTIC		劇映画	宮崎大祐	日本	
63	ほつれる	※	劇映画	加藤拓也	日本	
64	放課後アングラーライフ		劇映画	城定秀夫	日本	
65	ほかげ		劇映画	塚本晋也	日本	
66	ミスモールランド	※	劇映画	川和田恵真	日本	
67	まなみ100%	※	劇映画	川北ゆめき	日本	
68	路辺花草		劇映画	越川道夫	日本	
69	緑のざわめき	※	劇映画	夏都愛未	日本	
70	無情の世界		劇映画	佐向大 / 山岸謙太郎 / 小村昌士	日本	
71	やまぶき		劇映画	山崎樹一郎	日本・フランス	
72	山女	※	劇映画	福永壮志	日本・アメリカ	
73	ゆめのまにまに	※	劇映画	張元香織	日本	
74	赦し	※	劇映画	アンシュル・チョウハン	日本	
75	よっす、おまたせ、じゃあまたね。	※	劇映画	猪股和磨	日本	
76	夜のスカート		劇映画	小谷忠典	日本	
77	LOVE LIFE		劇映画	深田晃司	日本	
78	Love Will Tear Us Apart		劇映画	宇賀那健一	日本	
79	658km、陽子の旅		劇映画	熊切和嘉	日本	
80	ロストサマー	※	劇映画	麻美	日本	
81	うつろいの時をまとう		ドキュメンタリー	三宅流	日本	
82	書かれた顔 4Kレストア版		ドキュメンタリー	ダニエル・シュミット	日本・スイス	
83	ケアを紡いで		ドキュメンタリー	大宮浩一	日本	
84	国葬の日		ドキュメンタリー	大島新	日本	
85	シーナ&ロケッツ 鮎川誠 〜ロックと家族の絆〜		ドキュメンタリー	寺井到	日本	
86	人生クライマー 山野井泰史と垂直の世界 完全版		ドキュメンタリー	武石浩明	日本	
87	絶唱浪曲ストーリー	※	ドキュメンタリー	川上アチカ	日本	
88	戦場記者		ドキュメンタリー	須賀川拓	日本	
89	劇場版センキョナンデス		ドキュメンタリー	ダースレイダー / ブチ鹿島	日本	
90	ただいま、つなかん		ドキュメンタリー	風間研一	日本	
91	チョコレートな人々		ドキュメンタリー	鈴木祐司	日本	
92	ドキュメント サニーデー・サービス		ドキュメンタリー	カンパニー松尾	日本	
93	ハマのドン		ドキュメンタリー	松原文枝	日本	
94	日の丸 寺山修司 40年目の挑発		ドキュメンタリー	佐井大紀	日本	
95	百姓の百の声		ドキュメンタリー	柴田昌平	日本	
96	握る女 縄文人の落とし物		ドキュメンタリー	松本貴子	日本	
97	目の見えない白鳥さん、アートを見にいく		ドキュメンタリー	三好大輔 / 川内有緒	日本	
98	ライフ・イズ・クラミング!		ドキュメンタリー	中原想吉	日本	
99	わたしたちの国立西洋美術館		ドキュメンタリー	大塚敦	日本	

外国映画

	上映作品名	欧米以外	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/備考
1	青いカフタンの仕立て屋		劇映画	マリヤム・トゥザニ	フランス・モロッコ・ベルギー・ デンマーク	
2	あしたの少女	■	劇映画	チョン・ジュリ	韓国	
3	アステロイド・シティ		劇映画	ウェス・アンダーソン	アメリカ	
4	狎鷗亭(アックション) スターダム	■	劇映画	イム・ジンスン	韓国	
5	あのこと		劇映画	オドレイ・ディワン	フランス	
6	アルマゲドン・タイム ある日々の肖像		劇映画	ジェームズ・グレイ	アメリカ	
7	EO		劇映画	イエジー・スコリモフスキ	ポーランド・イタリア	
8	いつかの君にもわかること		劇映画	ウベルト・パゾリーニ	イタリア・ルーマニア・イギリス	
9	遺灰は語る		劇映画	パオロ・タビアーニ	イタリア	
10	ウィ、シェフ!		劇映画	ルイ=ジュリアン・ブティ	フランス	
11	ウーマン・トークンig 私たちの選択		劇映画	サラ・ポーリー	アメリカ	
12	ウエルカム トゥ ダリ		劇映画	メアリー・ハロン	アメリカ・フランス・イギリス	
13	エドワード・ヤンの恋愛時代 4Kレストア版	■	劇映画	エドワード・ヤン	台湾	
14	エリザベート1878		劇映画	マリー・クロイツァー	オーストリア・ルクセンブルク・ ドイツ・フランス	
15	大いなる自由		劇映画	セバスティアン・マイゼ	オーストリア・ドイツ	
16	丘の上の本屋さん		劇映画	クラウディオ・ロッシ・マッシミ	イタリア	
17	同じ下着を着るふたりの女	■	劇映画	キム・セイン	韓国	
18	オマージュ	■	劇映画	シン・スウォン	韓国	
19	ガール・ピクチャー		劇映画	アッリ・ハーバサロ	フィンランド	
20	帰れない山		劇映画	フェリックス・バン・ヒューニンゲン / シャルロット・ファンデルメルシュ	イタリア・ベルギー・フランス	
21	彼女のいない部屋		劇映画	マチュー・アマルリック	フランス	
22	君は行く先を知らない	■	劇映画	パナー・パナヒ	イラン	
23	逆転のトライアングル		劇映画	リューベン・オストルンド	スウェーデン	
24	熊は、いない	■	劇映画	ジャファル・パナヒ	イラン	
25	栗の森のものがたり		劇映画	グレゴル・ボジッチ	スロベニア	
26	グリーン・ナイト		劇映画	デヴィッド・ロウリー	アメリカ・カナダ・アイルランド	
27	CLOSE/ クローズ		劇映画	ルーカス・ドン	ベルギー・フランス・オランダ	
28	郊外の鳥たち	■	劇映画	チウ・ション	中国	
29	ゴーストワールド		劇映画	テリー・ツワイゴフ	アメリカ	
30	午前4時に/バリの夜は明ける		劇映画	ミカエル・アース	フランス	
31	殺しを呼ぶ卵		劇映画	ジュリオ・クエスティ	イタリア	
32	最高の花婿 ファイナル		劇映画	フィリップ・ドゥ・ショープロン	フランス・ベルギー	
33	サボート・ザ・ガールズ		劇映画	アンドリュース・ブジャルスキー	アメリカ	
34	さらば、わが愛 霸王別姫 4K	■	劇映画	チェン・カイコー	中国・香港・台湾	
35	サントメール ある被告		劇映画	アリス・ディオップ	フランス	
36	シアター・キャンブ		劇映画	モリー・ゴードン/ ニック・リーバーマン	アメリカ	
37	シツク・オブ・マイセルフ		劇映画	クリストファー・ボルグリ	ノルウェー・スウェーデン・ デンマーク・フランス	
38	シャドウブレイ【完全版】	■	劇映画	ロウ・イエ	中国	
39	小説家の映画	■	劇映画	ホン・サンズ	韓国	
40	人生は、美しい	■	劇映画	チェ・グクヒ	韓国	
41	すべてうまくいきますように		劇映画	フランソワ・オゾン	フランス	
42	聖地には蜘蛛が巣を張る	■	劇映画	アリ・アッパシ	デンマーク・ドイツ・スウェーデン・ フランス	
43	セールスガールの考現学	■	劇映画	ジャンチブドルジ・センゲドルジ	モンゴル	
44	卒業〜Tell the World I Love You〜	■	劇映画	ポット・アーノン	タイ	
45	それでも私は生きていく		劇映画	ミア・ハンセン＝ラブ	フランス・イギリス・ドイツ	
46	対峙		劇映画	フラン・克蘭ツ	アメリカ	
47	探偵マーロウ		劇映画	ニール・ジョーダン	アメリカ・アイルランド・フランス	
48	ダンサーインParis		劇映画	セドリック・クラビッシュ	フランス・ベルギー	
49	小さな妻の花	■	劇映画	リー・ルイジュン	中国	
50	沈黙の自叙伝	■	劇映画	マクバル・ムバラク	インドネシア・ポーランド・ドイツ・シンガ ポール・フランス・フィリピン・カタール	
51	テノール人生はハーモニー		劇映画	クロード・ジディ・Jr.	フランス	
52	トゥモロー・モーニング		劇映画	ニック・ウィンストン	イギリス	
53	To Leslie トゥ・レスリー		劇映画	マイケル・モリス	アメリカ	
54	独裁者たちのとき	■	劇映画	アレクサンドル・ゾクーロフ	ベルギー・ロシア	
55	トリとロキタ		劇映画	ジャン=ピエール・ダルデンヌ/ リュック・ダルデンヌ	ベルギー・フランス	
56	どん底 4Kレストア版		劇映画	ジャン・ルノワール	フランス	
57	泣いたり笑ったり		劇映画	シモーネ・ゴダノ	イタリア	
58	奈落のマイホーム	■	劇映画	キム・ジフン	韓国	
59	苦い涙		劇映画	フランソワ・オゾン	フランス	
60	ノースマン 導かれし復讐者		劇映画	ロバート・エガース	アメリカ	
61	Pearl パール		劇映画	タイ・ウエスト	アメリカ	
62	裸足になって	■	劇映画	ムニア・メドゥール	フランス・アルジェリア	

		上映作品名	欧米以外	劇場画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/備考
63		離ればなれになっても		劇場画	ガブリエレ・ムッチーノ	イタリア	
64		バニシングポイント 4Kデジタルリマスター版		劇場画	リチャード・C・サラフィアン	アメリカ	
65		母の聖戦	■	劇場画	テオドラ・アナ・ミハイ	ベルギー・ルーマニア・メキシコ	
66		ピンク・クラウド	■	劇場画	イウリ・ジェルバールゼ	ブラジル	
67		ファイブ・デビルズ		劇場画	レア・ミシウス	フランス	
68		PHANTOM ユリオンと呼ばれたスパイ	■	劇場画	イ・ヘヨン	韓国	
69		ファルコン・レイク		劇場画	シャルロット・ルボン	カナダ・フランス	
70		不思議の国の数学者	■	劇場画	バク・ドンフン	韓国	
71		ふたりのマエストロ		劇場画	ブリュノ・シツシュ	フランス	
72		フラッグ・デイ 父を想う日		劇場画	ショーン・ベン	アメリカ	
73		ベネデッタ		劇場画	ポール・バーホーベン	フランス	
74		マッドゴッド		劇場画	フィル・ティベット	アメリカ	
75		未来惑星ザルドス		劇場画	ジョン・ブアマン	アメリカ・イギリス・アイルランド	
76		メグレと若い女の死		劇場画	バトリス・ルコント	フランス	
77		モナ・リザ アンド ザ ブラッドムーン		劇場画	アナ・リリー・アミールボアー	アメリカ	
78		ヨーロッパ新世紀		劇場画	クリスティアン・ムンジウ	ルーマニア・フランス・ベルギー	
79		ラ・ブーム1 HDリマスター版		劇場画	クロード・ビノト	フランス	
80		ラ・ブーム2 HDリマスター版		劇場画	クロード・ビノト	フランス	
81		リアリティ		劇場画	ティナ・サッター	アメリカ	
82		理想郷		劇場画	ロドリゴ・ソロゴイエン	スペイン・フランス	
83		ルイス・ウェイン 生涯愛した妻とネコ		劇場画	ウィル・シャープ	イギリス	
84		ルー、パリで生まれた猫		劇場画	ギョーム・メダチュエフスキ	フランス・スイス	
85		6月0日 アイヒマンが処刑された日	■	劇場画	ジェイク・バルトロウ	イスラエル・アメリカ	
86		ロスト・キング 500年越しの運命		劇場画	スティーブン・フリアーズ	イギリス	
87		私、オルガ・ヘブナロヴァー		劇場画	トマーシュ・バインレブ / ベトル・カズダ	チェコ・ポーランド・スロバキア・ フランス	
88		アアルト		ドキュメンタリー	ビルビ・スータリ	フィンランド	
89		アダマン号に乗って		ドキュメンタリー	ニコラ・フィリベール	フランス・日本	
90		擬音 A FOLEY ARTIST	■	ドキュメンタリー	ワン・ワンロー	台湾	
91		クエンティン・タランティノー 映画に愛された男		ドキュメンタリー	タラ・ウッド	アメリカ	
92		クリーデンス・クリアウォーター・リヴァイヴアル トラヴェリン・バンド		ドキュメンタリー	ボブ・スミートン	アメリカ	
93		JFK/新証言 知られざる陰謀【劇場版】		ドキュメンタリー	オリバー・ストーン	アメリカ	
94		ジャン＝リュック・ゴダール 反逆の映画作家		ドキュメンタリー	シリル・ルティ	フランス	
95		世界のはしっこ、ちいさな教室		ドキュメンタリー	エミリー・テロン	フランス	
96		ソウル・オブ・ワイン		ドキュメンタリー	マリー・アンジュ・ゴルバネフスキー	フランス	
97		旅するローマ教皇		ドキュメンタリー	ジャンフランコ・ロージ	イタリア	
98		チーム・ジンバブエのソムリエたち	■	ドキュメンタリー	ワーウィック・ロス / ロバート・コー	オーストラリア	
99		猫と、とうさん		ドキュメンタリー	マイ・ホン	アメリカ	
100		ヒッチコックの映画術		ドキュメンタリー	マーク・カズンズ	イギリス	
101		ビー・ジーズ 栄光の奇跡		ドキュメンタリー	フランク・マーシャル	アメリカ	
102		PRESIDENT プレジデント		ドキュメンタリー	カミラ・ニールセン	デンマーク・ノルウェー・アメリカ・ イギリス	
103		マリー・クワント スウィング・ロンドンの伝説		ドキュメンタリー	サディ・フロスト	イギリス	
104		マリウポリ 7日間の記録		ドキュメンタリー	マンタス・クベダラビチウス	リトアニア・フランス・ドイツ	
105		ミャンマー・ダイアリーズ		ドキュメンタリー	ミャンマー・フィルム・コレクティブ	オランダ・ミャンマー・ノルウェー	
106		モリコーネ 映画が恋した音楽家		ドキュメンタリー	ジュゼッペ・トルナトーレ	イタリア	
107		ランディ・ローズ		ドキュメンタリー	アンドレ・レリス	アメリカ	
108		リバイバル69 〜伝説のロックフェス〜		ドキュメンタリー	ロン・チャップマン	カナダ・フランス	
109		ルードボーイ トロージャン・レコーズの物語		ドキュメンタリー	ニコラス・ジャック・デイビーズ	イギリス	
110		古の王子と3つの花		アニメーション	ミッシェル・オスロ	フランス・ベルギー	
111		オオカミの家+骨(短編)	■	アニメーション	クリストバル・レオン / ホアキン・コシーニャ	チリ	
112		プチ・ニコラ バリがくれた幸せ		アニメーション	アマンディース・フルドン / バンジャマン・マスブル	フランス	
113		マルセル 靴を履いた小さな男		アニメーション	ディーン・フライシャー・キャンブ	アメリカ	
114		エリック・クラプトン アクロス24ナイツ		ODS	デビッド・バーナード	イギリス	
			28				
115	1	アンダーグラウンド 4Kリマスター版		劇場画	エミール・クストリツツァ	フランス・ドイツ・ハンガリー	エミール・クストリツツァ作品
116	2	ドリー・ベルを覚えているかい?		劇場画	エミール・クストリツツァ	ユーゴスラビア	
117	3	歌うつくみがおりました		劇場画	オタル・イオセリアーニ	ソ連	オタル・イオセリアーニ映画祭
118	4	田園詩		劇場画	オタル・イオセリアーニ	ソ連	〜ジョージア、そしてパリ〜
119	5	四月+水彩画+珍しい花の歌		劇場画	オタル・イオセリアーニ	ジョージア(四月・珍しい花の歌) / ソ連(水彩画)	
120	6	落葉		劇場画	オタル・イオセリアーニ	ジョージア	
121	7	唯一、ゲオルギア		劇場画	オタル・イオセリアーニ	フランス・ドイツ	
122	8	素敵な歌と舟はゆく		劇場画	オタル・イオセリアーニ	フランス・スイス・イタリア	

		上映作品名	欧米以外	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/備考
123	9	ここに幸あり		劇映画	オタル・イオセリアーニ	フランス・イタリア・ロシア	オタル・イオセリアーニ映画祭 ～ジョージア、そしてパリ～
124	10	蝶採り		劇映画	オタル・イオセリアーニ	フランス・ドイツ・イタリア	
125	11	月の寵児たち		劇映画	オタル・イオセリアーニ	フランス・イタリア	
126	12	月曜日に乾杯!		劇映画	オタル・イオセリアーニ	フランス・イタリア	
127	13	トスカーナの小さな修道院+ある映画作家の手紙。 白黒映画のための七つの断片		劇映画	オタル・イオセリアーニ	フランス	
128	14	そして光ありき		劇映画	オタル・イオセリアーニ	フランス・イタリア・ドイツ	没後60年 ジャン・コクトー映画祭
129	15	汽車はふたたび故郷へ		劇映画	オタル・イオセリアーニ	フランス・ジョージア	
130	16	群盗、第七章		劇映画	オタル・イオセリアーニ	フランス・スイス・イタリア・ロシア・ ジョージア	
131	17	エウスカディ、1982年夏+鎗鉄+ジョージアの古い歌		劇映画	オタル・イオセリアーニ	フランス(エウスカディ、1982年夏)/ ジョージア(鎗鉄・ジョージアの古い歌)	
132	18	皆さま、ごきげんよう		劇映画	オタル・イオセリアーニ	フランス・ジョージア	
133	19	詩人の血		劇映画	ジャン・コクトー	フランス	ジョン・カサヴェテス レトロスペクティブ
134	20	美女と野獣		劇映画	ジャン・コクトー	フランス	
135	21	オルフェ		劇映画	ジャン・コクトー	フランス	
136	22	ブローニュの森の貴婦人たち		劇映画	ロベール・ブレッゾン	フランス	
137	23	フェイスズ		劇映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	
138	24	アメリカの影		劇映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	ジョン・カサヴェテス レトロスペクティブ
139	25	こわれゆく女		劇映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	
140	26	チャイニーズ・ブッキーを殺した男		劇映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	
141	27	オープニング・ナイト		劇映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	
142	28	ラヴ・ストリームス		劇映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	
143	29	グロリア		劇映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	チョン・ジェウン
144	30	ハズバンス		劇映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	
145	31	メルビンとハワード		劇映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	
146	32	猫たちのアパートメント		ドキュメンタリー	チョン・ジェウン	韓国	
147	33	子猫をお願い 4Kリマスター版		劇映画	チョン・ジェウン	韓国	
148	34	少年、機関車に乗る		劇映画	バフティヤル・フドイナザーロフ	タジキスタン・ソ連	フドイナザーロフ ～ゆかいて切ない夢の旅
149	35	コシュ・バ・コシュ 恋はロープウェイに乗って		劇映画	バフティヤル・フドイナザーロフ	タジキスタン	
150	36	ルナ・ババ		劇映画	バフティヤル・フドイナザーロフ	ドイツ・オーストリア・日本	
151	37	海を待ちながら		劇映画	バフティヤル・フドイナザーロフ	ロシア・ベルギー・フランス・ カザフスタン・ドイツ・タジキスタン	
152	38	スーツ		劇映画	バフティヤル・フドイナザーロフ	ロシア・ウクライナ・ドイツ・フランス	
153	39	ヨーヨー		劇映画	ビエール・エテックス	フランス	ビエール・エテックス レトロスペクティブ
154	40	健康でさえあれば+絶好調		劇映画	ビエール・エテックス	フランス	
155	41	大恋愛+幸福な結婚記念日		劇映画	ビエール・エテックス / ジャン＝クロード・カリエール (幸福な結婚記念日)	フランス	
156	42	恋する男+破局		劇映画	ビエール・エテックス / ジャン＝クロード・カリエール (破局)	フランス	
157	43	不安は魂を食いつくす		劇映画	ライナー・ベルナー・ファスビンダー	西ドイツ	
158	44	マリア・ブラウンの結婚		劇映画	ライナー・ベルナー・ファスビンダー	西ドイツ	ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー 傑作選
159	45	天使の影		劇映画	ダニエル・シュミット	スイス	
160	46	雨にぬれた舗道		劇映画	ロバート・アルトマン	アメリカ・カナダ	
161	47	イメージズ		劇映画	ロバート・アルトマン	イギリス	
162	48	ロング・グッドバイ		劇映画	ロバート・アルトマン	アメリカ	
163	49	ストーン〜クリミアの亡霊		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア	アレクサンドル・ソクーロフ監督特集
164	50	セカンド・サークル		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア	
165	51	アレクサンドラの旅		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア・フランス	
166	52	ヒトラーのためのソナタ ※ベテルブルクエレジーと併映		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ソ連	
167	53	ファザー、サン		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ドイツ・ロシア・フランス・イタリア・ オランダ	
168	54	ベテルブルクエレジー ※ヒトラーと併映		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ソ連	チャン・リュル
169	55	マザー、サン		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ドイツ・ロシア	
170	56	マリア ※太陽と併映		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア	
171	57	モレク神		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア・ドイツ・日本・イタリア・フランス	
172	58	ロシアンエレジー		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア	
173	59	牡牛座〜レーニンの肖像		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア	夏休みの映画館 2023
174	60	孤独な声		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ソ連	
175	61	静かなる一頁		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア・ドイツ	
176	62	太陽 ※マリアと併映		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	スイス・ロシア・イタリア・フランス	
177	63	日々はしづかに発酵し		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ソ連	
178	64	福岡		劇映画	チャン・リュル	韓国・日本・中国	チャン・リュル
179	65	群山		劇映画	チャン・リュル	韓国	
180	66	柳川		劇映画	チャン・リュル	中国	
		アニメーション		アニメーション	ノーマン・マクラレン、山村浩二ほか	カナダ・日本	
		音のない世界で		ドキュメンタリー	ニコラ・フィリベール	フランス	
		ロイドの巨人征服		劇映画	フレッド・ニューメイヤー / サム・ティラー	アメリカ	夏休みの映画館 2023
		ルパン三世カリオストロの城		アニメーション	宮崎駿	日本	

上映活動レポート2：横浜シネマリン

調査対象期間：2023年6月～2024年5月

映画館。1スクリーン(102席)
1964年につくられた映画館「横浜シネマリン」が2014年3月に休館に入った。その後、現在の運営者が同館を受け継ぎ12月にリニューアルオープン、ミニシアターとして運営を続けている。
運営団体:有限会社横浜シネマリン 神奈川県横浜市中区長者町 6-95
横浜市人口:337万 1000 人 中区 15万 3528 人
近隣の映画館(横浜市中区):
シネマコンプレックス:横浜ブルク 13、イオンシネマみなとみらい
ミニシアター:シネマジック&ベティ 既存興行館:県民共済シネマホール
成人映画館:光音座

年間上映本数 日本映画=139本 外国映画=164本 合計 303本

日本映画

	上映作品名	若い 作り手	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/備考
1	愛のこむらがえり		劇映画	高橋正弥	日本	
2	青すぎる、青		劇映画	今関あきよし	日本	
3	悪は存在しない		劇映画	濱口竜介	日本	
4	明ける夜に	※	劇映画	堀内友貴	日本	
5	明日香に生きる		劇映画	溝渕雅幸	日本	
6	あずきと雨	※	劇映画	隈元博樹	日本	
7	AFTERGLOWS	※	劇映画	木村太一	日本	
8	アヤクレーチョの唄と秩父の山		劇映画	ホンマタカシ	日本	
9	命の満ち欠け	※	劇映画	小関翔太/岸建太朗	日本	
10	うかうかと終焉	※	劇映画	大田雄史	日本	
11	海鳴りがきこえる	※	劇映画	岩崎孝正	日本	
12	映画(窒息)	※	劇映画	長尾元	日本	
13	過去食う者		劇映画	松橋淳	日本	
14	風よ あらしよ 劇場版		劇映画	柳川強	日本	
15	彼方のうた		劇映画	杉田協士	日本	
16	釜石ラーメン物語		劇映画	今関あきよし	日本	
17	KAMIKAZE TAXI インターナショナルバージョン		劇映画	原田真人	日本	
18	カミイのうた		劇映画	菅原浩志	日本	
19	こわれること いきること		劇映画	北沢幸雄	日本	
20	さよならエリュマントス		劇映画	大野大輔	日本	
21	シンデレラガール		劇映画	緒方貴臣	日本	
22	青春墓場		劇映画	奥田庸介	日本	
23	戦場のメリークリスマス 4Kレストア版		劇映画	大島渚	日本/イギリス/ ニュージーランド	
24	台風クラブ 4Kレストア版		劇映画	相米慎二	日本	
25	デスゲーム	※	劇映画	遊佐和寿	日本/ベトナム	
26	東京組曲 2020		劇映画	三島有紀子	日本	
27	なんでかね〜鶴見 〜ガーエーにはまだ早い〜	※	劇映画	渡辺 熱	日本	
28	走れない人の走り方	※	劇映画	蘇 鈺 淳	日本	
29	光る鯨		劇映画	森田博之	日本	
30	火だるま桃多よ		劇映画	佐藤寿保	日本	
31	福田村事件		劇映画	森達也	日本	
32	ほかげ		劇映画	塚本晋也	日本	
33	まなみ 100%	※	劇映画	川北ゆめき	日本	
34	ムイト・ブラゼール		劇映画	朴正一	日本	
35	老ナルキソス		劇映画	東海林毅	日本	
36	658km、陽子の旅		劇映画	熊切和嘉	日本	
37	若武者	※	劇映画	二ノ宮隆太郎	日本	
38	わたしのかあさん天使の詩		劇映画	山田火砂子	日本	
39	アリラン ラブノディ 〜海を越えたハルモニたち〜		ドキュメンタリー	金聖雄	日本	
40	1%の風景	※	ドキュメンタリー	吉田夕日	日本	
41	映画 〇月〇日、区長になる女。		ドキュメンタリー	ベヤンヌマキ	日本	
42	鉛筆と銃 長倉洋海の眸		ドキュメンタリー	河邑厚徳	日本	
43	沖縄狂想曲		ドキュメンタリー	太田隆文	日本	
44	書かれた顔 4Kレストア版		ドキュメンタリー	ダニエル・シュミット	日本/スイス	
45	かづ彥的		ドキュメンタリー	熊谷博子	日本	
46	カメラを持った男たち ー関東大震災を撮るー		ドキュメンタリー	井上実	日本	

		上映作品名	若い 作り手	創映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/備考
47		シーナ&ロケッツ 鮎川誠 〜ロックと家族の絆〜		ドキュメンタリー	寺井到	日本	
48		スズさんー昭和の家事と家族の物語ー		ドキュメンタリー	大増敦	日本	
49		絶唱浪曲ストーリー	※	ドキュメンタリー	川上アチカ	日本	
50		ドキュメント サニーデー・サービス		ドキュメンタリー	カンパニー松尾	日本	
51		にわのすなば GARDEN SANDBOX		ドキュメンタリー	黒川幸則	日本	
52		NEVER MIND DA 渋谷知らズ 番外地篇		ドキュメンタリー	佐藤訪米	日本	
53		望むのは死刑ですか オウム”大執行”と私【告白編】		ドキュメンタリー	長塚洋	日本	
54		ハマのドン		ドキュメンタリー	松原文枝	日本	
55		ハマのドン (アンコール)		ドキュメンタリー	松原文枝	日本	
56		プリング・ミンヨー・バック!		ドキュメンタリー	森脇由二	日本	
57		ペーバーシティ 東京大空襲の記憶		ドキュメンタリー	エイドリアン・フランシス	オーストラリア	
58		劇場版 僕らの Galileo Galilei 〜会えたね〜	※	ドキュメンタリー	岩井郁人/尾崎雄貴	日本	
59		Maelstrom マエルストロム		ドキュメンタリー	山岡瑞子	日本	
60		丸木位里・丸木俊 沖縄戦の図 全14部		ドキュメンタリー	河邑厚徳	日本	
61		ヤジと民主主義 劇場拡大版		ドキュメンタリー	山崎裕待	日本	
62		Yokosuka 1953		ドキュメンタリー	木川泰輔	日本	
63		わたしたちの国立西洋美術館 奇跡のコレクションの舞台裏		ドキュメンタリー	大増敦	日本	
64	1	青春ジャック 止められるか、俺たちを2		劇映画	井上淳一	日本	映画監督 若松孝二
65	2	止められるか、俺たちを		劇映画	白石和彌	日本	
66	3	甘い罠		劇映画	若松孝二	日本	
67	4	恐るべき遺産 裸の影		劇映画	若松孝二	日本	
68	5	鉛の墓標		劇映画	若松孝二	日本	
69	6	逆情		劇映画	若松孝二	日本	
70	7	歪んだ関係		劇映画	若松孝二	日本	
71	8	壁の中の秘事		劇映画	若松孝二	日本	
72	9	欲望の血がしたたる		劇映画	若松孝二	日本	
73	10	血は太陽よりも赤い		劇映画	若松孝二	日本	
74	11	HOW TO LOVE 浮気の心得/犯された白衣		劇映画	若松孝二	日本	
75	12	胎児が密猟する時		劇映画	若松孝二	日本	
76	13	日本暴行暗黒史 異常者の血		劇映画	若松孝二	日本	
77	14	性の放浪		劇映画	若松孝二	日本	
78	15	性犯罪		劇映画	若松孝二	日本	
79	16	続日本暴行暗黒史 暴虐魔		劇映画	若松孝二	日本	
80	17	腹貸し女		劇映画	若松孝二	日本	
81	18	日本暴行暗黒史 復讐鬼		劇映画	若松孝二	日本	
82	19	現代性犯罪暗黒編 ある通り魔の告白		劇映画	若松孝二	日本	
83	20	狂走情死考		劇映画	若松孝二	日本	
84	21	ゆけゆけ二度目の処女		劇映画	若松孝二	日本	
85	22	現代好色伝/テロルの季節		劇映画	若松孝二	日本	
86	23	裸の銃弾 (やわ肌無宿 男殺し女殺し)		劇映画	若松孝二	日本	
87	24	処女ゲバゲバ		劇映画	若松孝二	日本	
88	25	現代性犯罪絶叫篇 理由なき暴行		劇映画	若松孝二	日本	
89	26	新宿マッド		劇映画	若松孝二	日本	
90	27	カーマ・スートラより 性教育書 愛のテクニック		劇映画	若松孝二	日本	
91	28	性賊/セックスジャック		劇映画	若松孝二	日本	
92	29	日本暴行暗黒史 怨獣		劇映画	若松孝二	日本	
93	30	性輪廻 (セグラマグラ)死にたい女		劇映画	若松孝二	日本	
94	31	秘花		劇映画	若松孝二	日本	
95	32	性家族		劇映画	若松孝二	日本	
96	33	天使の恍惚		劇映画	若松孝二	日本	
97	34	聖少女拷問		劇映画	若松孝二	日本	
98	35	水のないプール		劇映画	若松孝二	日本	
99	36	衝撃 パフォーマンス		劇映画	若松孝二	日本	
100	37	キスより簡単		劇映画	若松孝二	日本	
101	38	実録・連合赤軍 あさま山荘への道程		劇映画	若松孝二	日本	
102	39	キャタピラー		劇映画	若松孝二	日本	
103	40	11.25 自決の日 三島由紀夫と若者たち		劇映画	若松孝二	日本	
104	41	海燕ホテル・ブルー		劇映画	若松孝二	日本	
105	42	千年の愉楽		劇映画	若松孝二	日本	
106	43	赤軍 -PFLP 世界戦争宣言		ドキュメンタリー	若松孝二	日本	
107	44	世界大戦争		劇映画	松林宗恵	日本	「戦争と平和」宝田明さん 〜魂のメッセージ〜
108	45	接吻泥棒		劇映画	川島雄三	日本	
109	46	その場所に女ありて		劇映画	鈴木英夫	日本	
110	47	日光物語		劇映画	五藤利弘	日本	
111	48	戦争と平和〜宝田明の証言〜		ドキュメンタリー	後閑広	日本	
112	49	ドキュメンタリー沖縄戦 知られざる悲しみの記憶		ドキュメンタリー	太田隆文	日本	

		上映作品名	若い 作り手	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/備考
113	50	愛のコリダ 修復版		劇映画	大島渚	日本	藤竜也傑作選
114	51	行き止まりの挽歌 プレイクアウト		劇映画	村川透	日本	
115	52	黄金のパートナー		劇映画	西村潔	日本	
116	53	俠花列伝 襲名賭博		劇映画	小沢啓一	日本	
117	54	高野豆腐店の春		劇映画	三原光尋	日本	
118	55	しあわせのかおり		劇映画	三原光尋	日本	
119	56	友よ、静かに眠れ		劇映画	崔洋一	日本	
120	57	堀の中の戀りない面々		劇映画	森崎東	日本	
121	58	村の写真集		劇映画	三原光尋	日本	
122	59	野獣を消せ		劇映画	長谷部安春	日本	
123	60	シヨンベン・ライダー		劇映画	相米慎二	日本	
124	61	東京自転車節		ドキュメンタリー	青柳拓		青柳拓監督
125	62	フジヤマコットントン		ドキュメンタリー	青柳拓	日本	
126	63	いつか、どこかで		劇映画	リム・カーワイ	日本	リム・カーワイ監督
127	64	どこでもない、ここしかない		劇映画	リム・カーワイ	日本	
128	65	すべて、至るところにある		劇映画	リム・カーワイ	日本	
129	66	愛しきソナ		ドキュメンタリー	ヤンヨンヒ	韓国/日本	映画監督ヤン ヨンヒと家族の肖像
130	67	スープとビデオロジー		ドキュメンタリー	ヤンヨンヒ	韓国/日本	
131	68	ディア・ピョンヤン		ドキュメンタリー	ヤンヨンヒ	日本	
132	69	ひろしまー 1945年8月6日、原子雲の下の実実ー		劇映画	関川秀雄	日本	戦争
133	70	野火		劇映画	塚本晋也	日本	
134	71	東京裁判 4Kデジタルリマスター版		ドキュメンタリー	小林正樹	日本	
135	72	不壊の白珠		劇映画	清水宏	日本	柳下美恵のピアノdeフィルム
136	73	限りなき舗道		劇映画	成瀬巳喜男	日本	柳下美恵のピアノdeフィルムvol.11
137	74	セルギー神父		劇映画	ヤーコフ・アレクサンドロヴィッチ・プロタゼーノフ	ロシア	柳下美恵のピアノdeフィルムvol.10
138	75	青の帰り道		劇映画	藤井道人	日本	ミニシアター地域交流上映会 Vol.4
139	76	IL VOLO in 清水寺 ～京都世界遺産ライブ～		ODS	又平享	日本	

15

外国映画

		上映作品名	欧米以外	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/備考
1	1	赤い糸 輪廻のひみつ	■	劇映画	ギデンズ・コー	台湾	
2	2	After Me Too アフター・ミー・トゥー	■	劇映画	バク・ソヒョン/イ・ソミ/ カン・ユ・ガラム/ソラム	韓国	
3	3	遺灰は語る		劇映画	パオロ・タヴィアーニ	イタリア	
4	4	ヴェルクマイスター・ハーモニー 4Kレストア版		劇映画	タル・ペーラ	ハンガリー / ドイツ / フランス	
5	5	大いなる自由		劇映画	セバスティアン・マイゼ	オーストリア/ドイツ	
6	6	ガール・ピクチャー		劇映画	アッリ・ハーバサロ	フィンランド	
7	7	金持を喰いちぎれ		劇映画	ピーター・リチャードソン	イギリス	
8	8	神の道化師、フランチェスコ(デジタル・リマスター版)		劇映画	ロベルト・ロッセリーニ	イタリア	
9	9	熊は、いない	■	劇映画	ジャファル・パナヒ	イラン	
10	10	栗の森のものがたり		劇映画	グレゴル・ボジッチ	スロベニア	
11	11	コット、はじまりの夏		劇映画	コルム・バレード	アイルランド	
12	12	最悪な子どもたち		劇映画	リーズ・アコカ/ロマーヌ・グレ	フランス	
13	13	さらば、わが愛/覇王別姫 4K	■	劇映画	チェン・カイコー	中国/香港/台湾	
14	14	少年と犬		劇映画	L・Q・ジョーンズ	アメリカ	
15	15	少年	■	劇映画	チェン・クンホウ	台湾	
16	16	成功したオタク	■	劇映画	オ・セヨン	韓国	
17	17	世界が引き裂かれる時	■	劇映画	マリナ・エル・ゴルバチ	ウクライナ/トルコ	
18	18	ソウルに帰る	■	劇映画	ダビ・シュー	韓国	
19	19	それでも私は生きていく		劇映画	ミア・ハンセン＝ラヴ	フランス	
20	20	テルマ&ルイーズ 4K		劇映画	リドリ・スコット	アメリカ	
21	21	燈火は消えず	■	劇映画	アナスタシア・ツァン	香港	
22	22	ノスタルジア 4K 修復版		劇映画	アンドレイ・タルコフスキー	イタリア/旧ソ連	
23	23	ピアノ・レッスン 4K デジタルリマスター	■	劇映画	ジェーン・カンピオン	オーストラリア/ニュージーランド/フランス	
24	24	ビー・ガン / ショートストーリー	■	劇映画	ビー・ガン	中国/フランス	
25	25	ヒッチコックの映画術		劇映画	マーク・カズンズ	イギリス	
26	26	ファースト・カウ		劇映画	ケリー・ライカート	アメリカ	
27	27	僕と幽霊が家族になった件	■	劇映画	チェン・ウェイハオ	台湾	
28	28	ミツパチと私		劇映画	エスティバリス・ウレソラ・ソラグレン	スベイン	
29	29	無名	■	劇映画	チェン・アル	中国	
30	30	理想郷		劇映画	ロドリゴ・ソロゴイェン	スペイン/フランス	
31	31	ロスト・キング 500年越しの運命		劇映画	スティーブン・フリアーズ	イギリス	

		上映作品名	欧米以外	劇映画 / アニメ / ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名 / 備考
32	32	Rodeo ロデオ		劇映画	ローラ・キボロン	フランス	
33	33	私はモーリーン・カーニー 正義を殺すのは誰？		劇映画	ジャン＝ポール・サロメ	フランス / ドイツ	
34	34	私、オルガ・ヘブナロヴァー		劇映画	トマーシュ・バインレブ / ベトル・カズダ	チェコ / ポーランド / スロバキア / フランス	
35	35	エリック・クラプトン アクロス24ナイツ		ドキュメンタリー	デヴィッド・バーナード	イギリス	
36	36	オスカー・ピーターソン		ドキュメンタリー	バリー・アブリッチ	カナダ	
37	37	ガザ 素顔の日常		ドキュメンタリー	ガリー・キーン / アンドリュウ・マコーネル	アイルランド / カナダ / ドイツ	
38	38	キャロル・キング ホーム・アゲイン ライブ・イン・セントラルパーク		ドキュメンタリー	ジョージ・スコット	アメリカ	
39	39	クレーデンス・クリアウォーター・リヴィヴァイヴァルトラヴェリン・バンド		ドキュメンタリー	ボブ・スミートン	アメリカ	
40	40	グレート・グリーン・ウォール		ドキュメンタリー	ジャレッド・P・スコット	イギリス	
41	41	劇場版 再会长江	■	ドキュメンタリー	竹内亮	中国	
42	42	“敵”の子どもたち		ドキュメンタリー	ゴルキ・グラセル＝ミューラー	スウェーデン / デンマーク / カタール	
43	43	北京冬季五輪2022	■	ドキュメンタリー	ルー・チューアン	中国	
44	44	ぼくたちの哲学教室		ドキュメンタリー	ナーサ・ニ・キアナン / デクラン・マッグラ	アイルランド / イギリス / ベルギー / フランス	
45	45	ボブ・マーリー ラスト・ライブ・イン・ジャマイカ レゲエ・サンスブラッシュ デジタルリマスター		ドキュメンタリー	ステファン・ポール	西ドイツ / ジャマイカ	
46	46	ミッション・ジョイ ～困難な時に幸せを見出す方法～		ドキュメンタリー	ルイ・シホヨス	アメリカ	
47	47	燃えあがる女性記者たち	■	ドキュメンタリー	リントウ・トーマス / スシュミト・ゴージュ	インド	
48	48	古の王子と3つの花		アニメーション	ミッシェル・オスロ	フランス / ベルギー	
49	49	オオカミの家＋骨	■	アニメーション	クリストバル・レオン / ホアキン・コシーニャ	チリ	
50	50	ブチ・ニコラ バリがくれた幸せ		アニメーション	アマンディース・フルドン、バンジャマン・マスブル	フランス	
51	51	ベルリンブスと秘密の森	■	アニメーション	アレ・アブレウ	ブラジル	
52	52	オリガ・スミルノワのジゼル in cinema		ODS	ラシェル・ボージャン / リカルド・プスタマンテ	オランダ	
			18				
53	1	情熱の大河に消える		劇映画	エドゥアルド・ギジョッド	ベルー	ベルー映画祭 2023 vol.2
54	2	ある詩人への旅路		ドキュメンタリー	ハビエル・コルクエラ	ベルー / スペイン	
55	3	バモス・アヤクーチョ		ドキュメンタリー	山本学	ベルー / 日本	
56	4	レタブロ		劇映画	アルバロ・デルガド・アバシオ	ベルー	
57	5	クイーンに沸いた夜		ドキュメンタリー	アルベルト・カストロ・アンテサナ	ベルー	
58	6	旅するエリスバン		劇映画	ヘンリー・バジェホ・トルレス	ベルー	
59	7	母なる勇氣		劇映画	アルベルト・ドゥラント	ベルー	
60	8	ファルファン 路地裏からの栄光		ドキュメンタリー	マルティン・カサビア・カサノバ	ベルー	
61	9	アルバカと生きる喜び		ドキュメンタリー	ティト・カタコラ	ベルー	
62	10	サミチャイ、牛飼いの祈り		ドキュメンタリー	マウリオ・フランコ・トッソ	ベルー	
63	11	再会の肖像		ドキュメンタリー	ジュディス・ベレス・アガイン	ベルー	
64	12	天使の影		劇映画	ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー	スイス	
65	13	不安は魂を食いつくす		劇映画	ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー	ドイツ	
66	14	マリア・ブラウンの結婚		劇映画	ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー	ドイツ	
67	15	ルナ・ノバ		劇映画	バフティヤル・フドイナザーロフ	ドイツ / オーストリア / 日本	
68	16	スーツ		劇映画	バフティヤル・フドイナザーロフ	ロシア / ウクライナ / ドイツ / フランス	
69	17	少年、機関車に乗る		劇映画	バフティヤル・フドイナザーロフ	タジキスタン / 旧ソ連	
70	18	海を待ちながら		劇映画	バフティヤル・フドイナザーロフ	ロシア / ベルギー / フランス / カザフスタン / ドイツ / タジキスタン	
71	19	コシュ・バ・コシュ 恋はローブウェイに乗って		劇映画	バフティヤル・フドイナザーロフ	タジキスタン / スイス / 日本	シャンタル・アケルマン映画祭 2023
72	20	私、あなた、彼、彼女 (デジタルリマスター版)		劇映画	シャンタル・アケルマン	ベルギー / フランス	
73	21	ジャンヌ・ディエルマン プリュッセル 1080、コメルス河畔通り23番地 (デジタルリマスター版)		劇映画	シャンタル・アケルマン	ベルギー	
74	22	アンナの出会い (デジタルリマスター版)		劇映画	シャンタル・アケルマン	ベルギー / フランス / ドイツ	
75	23	囚われの女		劇映画	シャンタル・アケルマン	フランス	
76	24	街をぶっ飛ばせ / 家からの手紙		ドキュメンタリー	シャンタル・アケルマン	ベルギー / フランス	
77	25	一晩中		劇映画	シャンタル・アケルマン	ベルギー / フランス	
78	26	オルメイヤーの阿房宮 (デジタルリマスター版)		劇映画	シャンタル・アケルマン	ベルギー / フランス	
79	27	東から		ドキュメンタリー	シャンタル・アケルマン	ベルギー / フランス	
80	28	ゴールデン・エイティーズ		劇映画	シャンタル・アケルマン	ベルギー / フランス / スイス	
81	29	シャーク・ド・フランス		劇映画	ルドヴィック・ブケルマ / ゴラン・ブケルマ	フランス	特集上映 歴史をみつめるソクーロフ
82	30	独裁者たちのとき		劇映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ベルギー / ロシア	
83	31	ロシアン・エレジー		ドキュメンタリー	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア	
84	32	ヒトラーのためのソナタ / ペテルブルク・エレジー		ドキュメンタリー	アレクサンドル・ソクーロフ	旧ソ連	

		上映作品名	欧米以外	創映画 / アニメ / ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名 / 備考
85	33	孤独な声		創映画	アレクサンドル・ソクーロフ	旧ソ連	特集上映 歴史をみつめるソクーロフ
86	34	ストーン〜クリミアの亡霊		創映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア	
87	35	セカンド・サークル		創映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア	
88	36	静かなる一頁		創映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア / ドイツ	
89	37	エルミターージュ幻想 デジタル・リマスター版		創映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア / ドイツ / 日本	
90	38	マザー、サン		創映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ドイツ / ロシア	
91	39	チェチェンへ アレクサンドラの旅		創映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア / フランス	ジョン・カサヴェテス レトロスペクティブリリース
92	40	太陽		創映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア / イタリア / フランス / スイス	
93	41	モレク神		創映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア / ドイツ / 日本 / イタリア / フランス	
94	42	牡牛座 レーニンの肖像		創映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア	
95	43	ファザー、サン		創映画	アレクサンドル・ソクーロフ	ロシア / ドイツ / フランス / イタリア / オランダ	
96	44	ラヴ・ストリームス		創映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	
97	45	チャイニーズ・ブッキーを殺した男		創映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	ジョン・カサヴェテス×ジョナサン・デミ
98	46	アメリカの影		創映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	
99	47	こわれゆく女		創映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	
100	48	オープニング・ナイト		創映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	
101	49	フェイス		創映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	
102	50	グロリア		創映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	
103	51	ハズバンズ		創映画	ジョン・カサヴェテス	アメリカ	ピーター・グリーンナウェイ レトロスペクティブ
104	52	メルビンとハワード		創映画	ジョナサン・デミ	アメリカ	
105	53	ZOO		創映画	ピーター・グリーンナウェイ	イギリス	
106	54	プロスペローの本		創映画	ピーター・グリーンナウェイ	イギリス	
107	55	英国式庭園殺人事件 4Kリマスター		創映画	ピーター・グリーンナウェイ	イギリス	
108	56	数に溺れて 4Kリマスター		創映画	ピーター・グリーンナウェイ	イギリス	
109	57	アーカイブ・タイム		ドキュメンタリー	ルー・ユエンチー	台湾	台湾巨匠傑作選 2023
110	58	風櫃の少年		創映画	ホウ・シャオシェン	台湾	
111	59	大輪廻 [デジタル修復版]		創映画	キン・フー / リー・シン / パイ・シンシュイ	台湾	
112	60	童年往事 時の流れ		創映画	ホウ・シャオシェン	台湾	
113	61	空山雲雨 [デジタル修復版]		創映画	キン・フー	香港	
114	62	風が踊る [デジタルリマスター版]		創映画	ホウ・シャオシェン	台湾	
115	63	日常対話		創映画	ホアン・フイチェン	台湾	ジャン・ユスターシュ映画祭
116	64	わるい仲間 / サンタクロースの眼は青い		創映画	ジャン・ユスターシュ	フランス	
117	65	ぼくの小さな恋人たち		創映画	ジャン・ユスターシュ	フランス	
118	66	ママと娼婦		創映画	ジャン・ユスターシュ	フランス	
119	67	キングダムI		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	
120	68	キングダムII		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	
121	69	ボス・オブ・イット・オール [HDリマスター版]		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	ラース・フォン・トリアー レトロスペクティブ 2023
122	70	キングダム エクソダス(脱出)		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	
123	71	ドッグウィル [4K デジタル修復版]		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	
124	72	ラース・フォン・トリアーの5つの挑戦 [HD リマスター版]		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	
125	73	ダンサー・イン・ザ・ダーク [4K デジタル修復版]		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	
126	74	ヨーロツバ [4K デジタル修復版]		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	
127	75	奇跡の海 [4K デジタル修復版]		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	ウルリケ・オッティンガー ベルリン三部作
128	76	エビデミック〜伝染病		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	
129	77	イデオッツ [4K デジタル修復版]		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	
130	78	メランコリア		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	
131	79	マンダレイ [HDリマスター版]		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	
132	80	ノクターン / エLEMENT・オブ・クライム [4K デジタル修復版]		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	
133	81	ニンフォマニアック Vol. 1 [ディレクターズカット完全版]		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	ウルリケ・オッティンガー ベルリン三部作
134	82	ニンフォマニアック Vol. 2 [ディレクターズカット完全版]		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	
135	83	アンチクライスト		創映画	ラース・フォン・トリアー	デンマーク	
136	84	タブロイド紙が映したドリアン・グレイ		創映画	ウルリケ・オッティンガー	西ドイツ	
137	85	アル中女の肖像		創映画	ウルリケ・オッティンガー	西ドイツ	
138	86	フリーク・オルランド		創映画	ウルリケ・オッティンガー	西ドイツ	
139	87	あるじ		創映画	カール・テオドア・ドライヤー	デンマーク	カール・テオドア・ドライヤー セレクション vol.2
140	88	ゲアトルーズ		創映画	カール・テオドア・ドライヤー	デンマーク	
141	89	ミカエル		創映画	カール・テオドア・ドライヤー	ドイツ	
142	90	奇跡		創映画	カール・テオドア・ドライヤー	デンマーク	
143	91	吸血鬼		創映画	カール・テオドア・ドライヤー	フランス / ドイツ	
144	92	裁かる>ジャンヌ		創映画	カール・テオドア・ドライヤー	フランス	
145	93	怒りの日		創映画	カール・テオドア・ドライヤー	デンマーク	ベトナム映画祭 2023
146	94	ベトナムの風に吹かれて		創映画	大森一樹	日本	
147	95	海辺の彼女たち		創映画	藤元明緒	日本	

		上映作品名	欧米以外	劇映画 / アニメ / ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名 / 備考
148	96	パパとムスメの7日間		劇映画	落合賢	ベトナム	ベトナム映画祭2023
149	97	異国での生活から		劇映画	曾文珍(ツォン・ウェンチェン)	ベトナム	
150	98	第三夫人と髪飾り		劇映画	アッシュ・メイフェア	ベトナム	
151	99	ソン・ランの響き		劇映画	レオン・レ	ベトナム	
152	100	雲よりも高く		劇映画	ルーン・ディン・ズン	ベトナム	
153	101	走れロム		劇映画	チャン・タン・ファイ	ベトナム	
154	102	草原に黄色い花を見つける		劇映画	ヴィクター・ザー	ベトナム	
155	103	目を閉じれば夏が見える		劇映画	カオ・ティ・ニ	ベトナム	
156	104	ベトナムを懐く		劇映画	グエン・クアン・ズン	ベトナム	
157	105	漂うがごとく		劇映画	ブイ・タク・チュエン	ベトナム	
158	106	プシュバ 覚醒		劇映画	スクマール	インド	熱風!!南インド映画の世界
159	107	サイラー ナラシムハー・レッディ 偉大なる反逆者		劇映画	スレーンダル・レッディ	インド	
160	108	マガディーラ 勇者転生<完全版>		劇映画	S. S. ラージャマウリ	インド	
161	109	ヤマトンガ		劇映画	S. S. ラージャマウリ	インド	クレール・ドゥニ特集 予想不可能な世界へ
162	110	クレール・ドゥニ監督のマスタークラス					
163	111	ショコラ		劇映画	クレール・ドゥニ	フランス	
164	112	愛と激しさをもって		劇映画	クレール・ドゥニ	フランス	

上映活動レポート3:みやこ映画生活協同組合

調査対象期間:2023年1月～12月

上映団体。

1997年設立。同年に岩手県沿岸部で唯一の映画館「みやこシネマリーン」を開設。
2011年3月11日以降、東日本大震災で大きな被害を受けた沿岸部に映画を届ける活動を積極的に展開。上映者・観客のネットワークを広げてきた。2017年「みやこシネマリーン」は閉館。みやこ映画生協は、DORAホール(元「みやこシネマリーン」)で上映会を継続(年間150日程度)するとともに、岩手県内の映画館のない市町村での移動上映を年間50回以上実施している。2016年には有志とともに、宮古市内の蔵をリノベーションした上映の場「シネマ・デアエル」を開設。こちらでも毎月上映会が行われている。

主な上映会場:DORAホール(元映画館「みやこシネマリーン」) 76席
岩手県宮古市小山田2-2-14 マリンコープDORA2F
宮古市人口:約45,000人
近隣の映画館:盛岡市(約120分)

みやこシネマリーン(DORAホール)での上映

	上映作品名	劇映画 / アニメ / ドキュメンタリー	監督名	製作国	備考
1	Dr.コトー診療所	劇映画	中江功	日本	
2	レジェンド&バタフライ	劇映画	大友啓史	日本	
3	こんにちは、母さん	劇映画	山田洋次	日本	
4	ミステリと言う勿れ	劇映画	松山博昭	日本	
1	銀河鉄道の父	劇映画	成島出	日本	
2	ゴジラ-1.0	劇映画	山崎貴	日本	
3	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら	劇映画	成田洋一	日本	
4	怪物	劇映画	是枝裕和	日本	
5	ある男	劇映画	石川慶	日本	
6	ミンナのウタ	劇映画	清水崇	日本	
7	福田村事件	劇映画	森達也	日本	
8	渇水	劇映画	高橋正弥	日本	
9	月	劇映画	石井裕也	日本	
10	さよならぼやマン	劇映画	庄司輝秋	日本	
11	釜石ラーメン物語	劇映画	今関あきよし	日本	
12	野火	劇映画	塚本晋也	日本	
13	ハマのドン	ドキュメンタリー	松原文枝	日本	
14	瀬戸内寂聴 99年生きて思うこと	ドキュメンタリー	中村裕	日本	
15	夢みる校長先生	ドキュメンタリー	オオタ ヴィン	日本	
16	沖縄うりすんの雨 改訂版	ドキュメンタリー	ジャン・ユンカーマン	日本	
17	蟻の兵隊	ドキュメンタリー	池谷薫	日本	

	上映作品名	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	備考
18	カメラを持った男たち 関東大震災を撮る	ドキュメンタリー	井上実	日本	
19	新根室プロレス物語	ドキュメンタリー	湊寛	日本	
20	君たちはどう生きるか	アニメーション	宮崎駿	日本	
21	SPY×FAMILY CODE:White	アニメーション	片桐崇	日本	
22	映画ドラえもん のび太と空の理想郷	アニメーション	堂山卓見	日本	
23	THE FIRST SLAM DUNK	アニメーション	井上雄彦	日本	
24	名探偵コナン 黒鉄の魚影	アニメーション	立川譲	日本	
25	クレヨンしんちゃん THE MOVIE 超能力大決戦	アニメーション	大根仁	日本	
26	映画プリキュアオールスターズF	アニメーション	田中裕太	日本	
27	窓ぎわのトットちゃん	アニメーション	八嶽新之介	日本	
28	鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎	アニメーション	古賀豪	日本	
29	すみっコぐらし 青い月夜のまほうのコ	アニメーション	大森貴弘	日本	
30	BLUE GIANT	アニメーション	立川譲	日本	
31	特別編 響け！ユーフォニアム アンサンブルコンテスト	アニメーション	石原立也	日本	
32	丘の上の本屋さん	劇映画	クラウドディオ・ロッシ・マッシミ	イタリア	
33	バリタクシー	劇映画	クリスチャン・カリオン	フランス	
34	RRR	劇映画	S・S・ラージャマウリ	インド	
35	ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー	アニメーション	アーロン・ホーバス	アメリカ・日本	

みやこシネマリーン(DORAホール)以外での上映活動

	上映作品名	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	市町村	会場	ゲスト/備考
1	青い山脈	劇映画	今井正	日本	山田町	飯岡地区コミュニティセンター	岩手県「被災者の参画による心の復興事業」 みんなでつくる交流映画会
2	いつでも夢を	劇映画	野村孝	日本	宮古市	高浜地区センター	
3	いつでも夢を	劇映画	野村孝	日本	宮古市	重茂公民館	
4	いつでも夢を	劇映画	野村孝	日本	陸前高田市	小友地区コミュニティセンター	
5	いつでも夢を	劇映画	野村孝	日本	山田町	中央コミュニティセンター	
6	梅切らぬバカ	劇映画	和島香太郎	日本	宮古市	宮古市市民交流センター	
7	男はつらいよ 50 お帰り寅さん	劇映画	山田洋次	日本	野田村	新町地区コミュニティセンター	はあとふるフェスタ上映会 主催:NPO法人レインボーネット 岩手県「被災者の参画による心の復興事業」 みんなでつくる交流映画会
8	家族はつらいよ	劇映画	山田洋次	日本	陸前高田市	今泉地区コミュニティセンター	
9	家族はつらいよ	劇映画	山田洋次	日本	釜石市	平田公民館	
10	カメラを止めるな!	劇映画	上田慎一郎	日本	陸前高田市	ほんまるの家	キネマ ホンマル(上映ワークショップ)
11	キネマの神様	劇映画	山田洋次	日本	釜石市	青葉ビル	
12	銀座の恋の物語	劇映画	蔵原惟繕	日本	山田町	飯岡地区コミュニティセンター	岩手県「被災者の参画による心の復興事業」 みんなでつくる交流映画会
13	警察日記	劇映画	久松静児	日本	山田町	中央コミュニティセンター	
14	桜色の風が咲く	劇映画	松本准平	日本	釜石市	釜石PIT	CINEPIT 上映会
15	さよならぼやマン	劇映画	庄司輝秋	日本	陸前高田市	アパッセ高田	キネマ ホンマル(上映ワークショップ)
16	大コメ騒動	劇映画	本木克英	日本	野田村	新町地区コミュニティセンター	岩手県「被災者の参画による心の復興事業」 みんなでつくる交流映画会
17	大コメ騒動	劇映画	本木克英	日本	宮古市	高浜地区センター	
18	大コメ騒動	劇映画	本木克英	日本	大槌町	沢山地区集会所	
19	小さいうち	劇映画	山田洋次	日本	大船渡市	森っこ洞川原集会所	岩手県「被災者の参画による心の復興事業」 みんなでつくる交流映画会
20	妻よ薔薇のように 家族はつらいよⅢ	劇映画	山田洋次	日本	陸前高田市	今泉地区コミュニティセンター	
21	遥かなる山の呼び声	劇映画	山田洋次	日本	大槌町	臼澤寺野ふれあい集会所	
22	遥かなる山の呼び声	劇映画	山田洋次	日本	陸前高田市	小友地区コミュニティセンター	岩手県「被災者の参画による心の復興事業」 みんなでつくる交流映画会
23	壬生義士伝	劇映画	滝田洋二郎	日本	釜石市	釜石市青葉ビル	
24	息子	劇映画	山田洋次	日本	大船渡市	森っこ洞川原集会所	
25	息子	劇映画	山田洋次	日本	大槌町	臼澤寺野ふれあい集会所	岩手県「被災者の参画による心の復興事業」 みんなでつくる交流映画会
26	息子	劇映画	山田洋次	日本	大船渡市	にこにんプラザ	
27	くじらびと	ドキュメンタリー	石川梵	日本	釜石市	釜石PIT	
28	縄文にハマる人々	ドキュメンタリー	山岡信貴	日本	宮古市	崎山公民館	主催:崎山公民館
29	人生フルーツ	ドキュメンタリー	伏原健之	日本	陸前高田市	ほんまるの家	キネマ ホンマル(上映ワークショップ)
30	スケッチ・オブ・ミヤーク	ドキュメンタリー	大西功一	日本	一戸町	萬代館	「スケッチ・オブ・ミヤーク」萬代館上映会
31	先祖になる	ドキュメンタリー	池谷薫	日本	陸前高田市	陸前高田市コミュニティホール	佐藤直志さん追悼上映会
32	タイムグラバあちゃん	ドキュメンタリー	澄川嘉彦	日本	久慈市	夏井地区センター	岩手県「被災者の参画による心の復興事業」 みんなでつくる交流映画会
33	タイムグラバあちゃん	ドキュメンタリー	澄川嘉彦	日本	釜石市	平田公民館	
34	タイムグラバあちゃん	ドキュメンタリー	澄川嘉彦	日本	宮古市	重茂公民館	
35	ただいま、つなかん	ドキュメンタリー	風間研一	日本	久慈市	久慈市文化会館	

	上映作品名	劇映画／アニメ／ドキュメンタリー	監督名	製作国	市町村	会場	ゲスト／備考
36	津軽のカマリ	ドキュメンタリー	大西功一	日本	一戸町	萬代館	ゲスト:監督／二代目高橋竹山(津軽三味線)
37	廻り神楽	ドキュメンタリー	遠藤協／大澤未来	日本	野田村	泉沢地区コミュニティセンター	岩手県「被災者の参画による心の復興事業」 みんなでつくる交流映画会
38	廻り神楽	ドキュメンタリー	遠藤協／大澤未来	日本	釜石市	荒川集会所	
39	廻り神楽	ドキュメンタリー	遠藤協／大澤未来	日本	大槌町	沢山地区集会所	
40	水になった村	ドキュメンタリー	大西暢夫	日本	大船渡市	にこにんプラザ	
41	水になった村	ドキュメンタリー	大西暢夫	日本	釜石市	荒川集会所	岩手県「被災者の参画による心の復興事業」 みんなでつくる交流映画会
42	山懐に抱かれて	ドキュメンタリー	遠藤隆	日本	陸前高田市	泉沢地区コミュニティセンター	
43	山懐に抱かれて	ドキュメンタリー	遠藤隆	日本	久慈市	夏井地区センター	
44	山懐に抱かれて	ドキュメンタリー	遠藤隆	日本	洋野町	善映館	
45	夢みる小学校	ドキュメンタリー	オオタヴィン	日本	岩泉町	岩泉町民会館	上映者育成ワークショップ「みんなの上映会をつくろう」②
46	THE FIRST SLAM DUNK	アニメーション	井上雄彦	日本	釜石市	釜石 PIT	主催:おじゃんこの会
47	岬のマヨイガ	アニメーション	川面真也	日本	釜石市	唐丹学童クラブ	CINEPIT上映会
48	岬のマヨイガ	アニメーション	川面真也	日本	大船渡市	盛小学童クラブ	ゲスト:千葉遥香(防災士) 子どもたちに映画お届け隊 防災+映画上映会
49	地球交響曲ガイアシンフォニー第九番	ドキュメンタリー	龍村仁	日本	釜石市	釜石 PIT	CINEPIT上映会イベント
50	大河への道	劇映画	中西健二	日本	釜石市	釜石 PIT	
51	こんにちは、母さん	劇映画	山田洋次	日本	釜石市	釜石 PIT	
52	ヴァイオレットエヴァーガーデン	アニメーション	石立太一	日本	釜石市	釜石 PIT	
53	福田村事件	劇映画	森達也	日本	釜石市	釜石 PIT	CINEPIT上映会
54	THE BEATLES EIGHT DAY A WEEK	ドキュメンタリー	ロン・ハワード	イギリス	釜石市	釜石 PIT	
55	ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー	アニメーション	アーロン・ホーバス	アメリカ	陸前高田市	ほんまるの家	
56	シング:ネクストステージ	アニメーション	ガース・ジェニングス	アメリカ	釜石市	釜石市市民ホール (釜石 TETTO)	
57	パウ・バトロール ザ・マイティ・ムービー	アニメーション	カル・ブランカー	アメリカ	釜石市	釜石 PIT	CINEPIT上映会
58	シング	アニメーション	ガース・ジェニングス	アメリカ	大槌町	つつみ子ども園	
59	グリーンブック	劇映画	ピーター・ファレリー	アメリカ	岩泉町	岩泉町民会館	
60	世界の果ての通学路	ドキュメンタリー	パスカル・ブリッソン	フランス	岩泉町	岩泉中学校	

(2) レポートを読み解く指標

3つの映画館(上映団体)の1年間の上映活動の記録をどのように読み解くことができるか。

この調査では、期間を限定して行われるイベントではなく、映画館等で恒常的・日常的に行われる活動をどう評価するかを考え、公共的な意義を明らかにすることで、公的な上映支援制度へとつなげる可能性を探りたい。

評価の指標として考えられるものとして、まず、第一に上映している作品の「多様性」がある。もうひとつは、地域文化を育み、学びの空間たりうるという意味での「地域性」という観点から、映画館の活動を評価する指標を設定する。

上映作品の多様性

「上映作品の多様性」は、映画館の基本的・根源的な活動である「上映」そのものを評価する指標であり、各館の上映作品リストを元に、上映作品数や作品の国籍やジャンルの豊かさを評価するものである。映画館は観客を動員し、興行収入を得ることで運営されているが、ここでは、年間1300本を超える膨大な数の公開作品の中から、必ずしも経済的な効率だけを優先することなく、多様な作品を上映し、観客に届けるということを評価の指標とする。

上映活動の地域性(教育的・社会的機能)

「地域性」とは、映画館が活動する地域において、その営みが(1)映画館の周辺に暮らす人々の文化に対するアクセシビリティを確保し、どれだけ「教育的な側面」を持つか、(2)地域における多様な観客のアクセシビリティを保証することにより、様々なグループやコミュニティの結節点としてどれほど「社会的な機能」を有しているかを測定するもので、上映に関わるイベントを評価する指標として設定した。

こうした教育的・社会的な活動は、あくまでも映画上映に付随したものであると捉え、上映作品の多様性により比重を置くことが妥当と考えられる。

① 上映作品の多様性

事例：シネマテークたかさき (74P参照)

- 2スクリーンで多くの作品を上映(年間280本)。
- 公開規模 30～79館の作品が半数近くを占める。
市内唯一のミニシアターであり、ミニシアター作品では比較的メジャーな作品を満遍なくキャッチアップしている。
- 日本映画…99本上映
 - ・若手クリエイターの作品を多数上映…99本中半数近くの43本が若い映画監督の作品。
 - ・高崎映画祭(「監督たちの現在」上映作品、新進監督グランプリ)との連動。
 - ・たかさきコミュニティシネマが運営する映画館「高崎電気館」で旧作の特集上映を実施。
 - ・ドキュメンタリー 19本上映。
- 外国映画…180本上映
 - ・欧米以外の多様な国々の映画を上映 特集以外の114本中28本が該当。
 - ・重要な11の特集(計66本)を上映。

事例：横浜シネマリン (79P参照)

- 1スクリーンで多くの作品を上映(年間300本以上)。
- 市内には4館のミニシアター(+10のシネコン、2つの既存館)があり館独自のプログラミングが求められる。
- 日本映画…139本上映
 - ・多彩な特集上映 139本中76本が特集・イベント上映
- 独自企画
 - 「映画監督 若松孝二」43本
 - 「「戦争と平和」宝田明さん～魂のメッセージ～」6本
 - 「藤竜也傑作選」11本

戦争・平和、社会的テーマにこだわった企画
・多くのドキュメンタリーを上映 特集を除く63本中25本が該当。
●外国映画…164本上映
・多彩な特集上映 「ハルー映画祭」11本「ベトナム映画祭」12本等、計112本(16特集)。
・欧米以外の多様な国々の映画を上映 特集以外の52本中18本が該当。

事例:みやこ映画生協 (84P参照)
●映画館のない町の上映団体
盛岡市の映画館まで2時間以上 周辺市町村(久慈市、釜石市、山田町等)にも映画館はない。
●元映画館「みやこシネマリン」(借用)での上映
・年間150〜200日程度／約35本／年間観客数約6400人
・ファミリー層向けのアニメーション、大作劇映画を中心に公開から数ヶ月遅れで上映。
●「映画館以外」での上映活動
・年間60回以上の移動上映／観客数のべ2500人
・会場…公共文化施設、公民館、元映画館、学校等
・主催(共催)団体・自治体、地域のNPO、文化施設、上映実行委員会等々
・上映作品…
高齢者層のニーズに応える日本映画の旧作・人気作
家族で楽しめるアニメーション
地域に関連するドキュメンタリー・劇映画等

①-1 上映作品の「公開規模」を指標に設定する

2024年に公開された映画は1315本。これを公開された映画館の館数(公開規模)で分類したものが表1である。概して述べれば、公開館数が多い=全国どここの映画館でも上映されている=集客が期待できる大きな映画と捉えることができる。

「上映作品の多様性」の指標として、それほど大きな規模では公開されていない作品(10〜99館程度で公開される中小規模の作品)が、各館の上映作品全体に占める割合を設定する。日本映画の場合、10〜99館で公開される作品は276本で全公開作品の46%、外国映画では447本で63%を占める。この中には、国際映画祭等で高い評価を得た作品や、世界的巨匠の作品、重要なドキュメンタリー映画、多くの若い作り手たちの野心的な作品、旧作のデジタルリマスター版のリバイバル上映や監督の特集上映などが含まれている。→表1

公開館数が10〜99館の作品が上映作品全体に占める割合をポイント化

81%以上=50点／71〜80%=45点／61〜70%=40点／51〜60%=35点／41〜50%=30点／31〜40%=25点／30%以下=20 とすると、3つの映画館(上映活動)のポイントは表2の通り、シネマテークたかさきは50点、横浜シネマリンは32.5点、みやこ映画生協は25点となる。同じミニシアターであっても、館が立地する地域の人口規模や周辺の映画館のあり方などで大きな違いがあることがわかる。ただし、これはひとつの指標から得られたポイントであり、これだけで多様性を評価することはできない。→表2

①-2 「上映活動の多様性」追加指標

「公開規模」のみでは上映作品の細やかな豊かさを計測するには十分ではない。国内の映画上映の現状を鑑みて、加点すべきより具体的な指標として以下のことが考えられる。

各々の映画館の特色や傾向をより詳細に読み解き、こうした評価を加えることで、多様性の評価はより妥当なものとなるだろう。

■若手クリエイター作品の上映に対する加点

若手クリエイターがそのキャリアをスタートし、経験を積み重ねる場としての映画館の役割を評価の指標とする。日本においては、製作予算が大きく、公開規模の大きな映画作品を彼らが初めから手

表1 2024年に映画館で公開された作品の公開規模

日本映画					
公開館数	2024		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ
300館以上	67	11%	59	8	0
150～299館	50	8%	23	27	0
100～149館	41	7%	14	27	0
70～99館	46	8%	18	28	0
50～69館	48	8%	11	37	0
30～49館	65	11%	23	29	13
10～29館	117	19%	11	43	63
2～9館	170	28%	13	28	129
日本映画公開本数	604	100%	172	227	205
			28%	38%	34%
外国映画					
公開館数	2024		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ
300館以上	34	5%	31	3	0
150～299館	39	5%	26	13	0
100～149館	33	5%	7	26	0
70～99館	45	6%	8	37	0
50～69館	84	12%	7	75	2
30～49館	112	16%	1	83	28
10～29館	206	29%	10	90	106
2～9館	158	22%	2	16	140
外国日本映画公開本数	711	100%	92	343	276
			13%	48%	39%
日本映画+外国映画	1315		264	570	481
			20%	43%	37%
	本数	割合			
日本映画10～99館	276	46%			
外国映画10～99館	447	63%			

表2 公開館数が10～99館の作品が上映作品全体に占める割合をポイント化

	シネマテークたかさき				横浜シネマリン				みやこ映画生協			
	日本映画		外国映画		日本映画		外国映画		日本映画		外国映画	
300館以上	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	17	45%	1	25%
150～299	2	2%	0	0%	2	1%	0	0%	6	16%	1	25%
100～149	1	1%	0	0%	1	1%	1	0%	1	3%	0	0%
80～99	1	1%	6	3%	1	1%	1	1%	0	0%	0	0%
50～79	21	22%	31	17%	8	6%	11	7%	3	8%	2	50%
30～49	20	21%	53	29%	10	7%	28	17%	4	11%	0	0%
10～29	36	37%	68	38%	22	16%	69	42%	7	18%	0	0%
7～9	5	5%	1	1%	12	9%	1	1%	0	0%	0	0%
6以下	11	11%	21	12%	83	60%	52	32%	0	0%	0	0%
	97		180		139		163		38		4	100%
10～99館	83	86%	159	88%	53	38%	110	67%	14	37%	—	—
	50		50		25		40		25		—	—
平均	50				32.5				25			

*みやこ映画生協の外国映画は上映本数が少ないのでポイント化しない。

がける機会は極めて限られている。

シネマテークたかさきの上映作品リストには若手監督や新人監督の作品が多く含まれており(43本/43%)、映画館がクリエイターを育成する場としての役割を果たしているといえる。

■ドキュメンタリー映画の上映に対する加点

ドキュメンタリー映画は、製作本数に比して映画館における上映は少なく、シネマコンプレックスで上映されることは非常に限られている。上映の機会が稀少であること、そして描く対象やテーマによって、より直接的に私たちの社会や他者との関係を観客に伝え、考察する機会を与えるという点において、ドキュメンタリー映画の上映本数を評価の指標とすることができる。

横浜シネマリンでは、政治的・社会的なテーマを掲げた特集上映に加えて、現代の日本社会の課題を提起するドキュメンタリー作品の新作が多く上映され、特集も組まれている。

みやこ映画生協では、東北地方が舞台となった劇映画だけでなく、地域文化に関する民俗学的なドキュメンタリー作品も上映している。

■多様な製作国(籍)の映画の上映に対する加点

日本の映画市場は、諸外国と比較をした場合、ハリウッドに代表されるアメリカ映画に極端に偏らず、様々な国の映画を上映してきた。近年、若年層の外国語離れ・外国文化への関心の低さを指摘す

る声もあるが、映画を通じて異文化に対する関心や交流の場を広げるという点で、アジア、アフリカ、中南米といった多様な国々で製作された映画の上映を加点すべき指標とする。

■特集上映

ある時代や地域に絞って複数の作品を上映することにより、観客は作品や特集の掲げるテーマをより深く理解し、描かれた文化や社会を学ぶことができる。映画監督をはじめとする映画の作り手にフォーカスした特集は、まとめて作品を鑑賞することによってそのスタイルや制作へ至った背景、映画の歴史そのものを観客が理解しやすいという点で教育的な側面をも有しており、映画の作り手の育成にもつながる。また、映画館の独自性や特色が強く打ち出されるという点においても上映活動の多様性を評価する指標となる。

シネマテークたかさきでは外国映画で11の特集を上映、横浜シネマリンは日本映画で7企画、外国映画では「ペルー映画祭」「ベトナム映画祭」を含む16もの特集を上映している。また同館は「映画監督若松孝二」「戦争と平和～宝田明の証言」といった独自の特集を組んでいる点も重要である。シネマテークたかさきは、運営する同一法人が高崎電気館の番組も編成しており、こちらで旧作を中心とする様々な特集上映が実施されている。

こうした特集上映が東京都内だけでなく、巡回の形式を取るなどしながら各地域で行われることが増えていることは、国内における地域的な文化格差を是正することにも繋がっている。

② 関連イベント—地域性に即した上映活動の教育的・社会的意義

映画上映における関連イベントとは、映画上映の本質的な目的である映画作品の鑑賞に加えて、その体験をより充実したものにするために企画されるものである。

関連イベントの評価の指標としては、大きく分けて二つを挙げることができる。

ひとつは映画を通じて観客が学ぶ、様々な経験をするという点で「教育的な意義」が挙げられる。ゲストによるトークやレクチャーは、観客の作品自体に対する理解だけでなく、作品の描く文化や社会についての関心を深める。より専門的なマスタークラスやシンポジウムは、映画のクリエイターや研究者が交流する機会を提供することにもなるだろう。若い観客(子ども)のための教育プログラムとして、こども映画祭や子ども向けのプログラムの上映に合わせて体験型のワークショップや映画の解説、トークイベントなどを実施することには教育的な意義とともに、社会的な意義も含まれる。また、ミニコンサートや公演付の上映は、音楽などの芸術全般や他のメディアへ映画の裾野を広げ、日常的に映画館へ足を運ぶことの少ない観客層の開発・育成に繋がる。

関連イベントには、「社会的な意義」も含まれる。それは、映画館が文化的な拠点として、地域社会のなかで様々な人々や団体との結節点となる役割を果たすことを示す。映画上映を通じて人々が集まり言葉を交わすことは、作品の芸術的な価値だけでなく、映画を契機としたコミュニティが醸成されるという点においても評価することができる。それは、結果的に映画館へ観客が根付くという循環を築くことにもなるだろう。

※映画公開時の舞台挨拶のように実施時間の極端に短いものやファンイベント、営利目的に限定されるものは教育的・社会的活動としての評価は低いものとなる。

②-1 教育的な意義

- ・上映作品関係者によるトークイベント
- ・レクチャー・マスタークラス・シンポジウム
- ・サイレント映画の伴奏付上映
- ・上映作品関連ミニコンサート等公演付上映
- ・上映ワークショップ・若年層向けプログラム(夏休みの映画館)

事例:シネマテークたかさき

- 上映した日本映画の約8割で監督や関係者を招いて舞台挨拶・トークイベントを実施
 - 1作品につき2〜3回、ゲストを変えて実施することもある。
- 特集上映の際に映画研究者等の解説・レクチャー
 - ・「ピエール・エテックス レトロスペクティブ」
 - ・「ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー傑作選」
- 若年層(子ども)を対象とした「夏休みの映画館」
 - ・夏休み期間中2週間にわたって実施。
 - 7プログラムの上映に加え、映写室見学・工作ワークショップ・アフタートーク等を実施。
 - 他のミニシアターと連携して企画運営。
 - 鑑賞ノートの配布。
- 高崎映画祭の開催(主催:高崎映画祭実行委員会)
- 東南アジア映画祭の開催(主催:高崎市)
- 周辺の映画館のない市町村での移動上映。



事例:横浜シネマリン

- 日本映画の上映の際に監督や出演者、関係者を招いて舞台挨拶・トークを実施。
 - 東京に近いこともあり、1作品で複数回行うことも多く、年間140回以上実施、ゲストの数は300人を越える。
- 「特集」上映の際には複数のゲストによるトークやレクチャーを実施。
 - ・「戦争と平和」宝田明さん〜魂のメッセージ〜
 - ・「映画監督 若松孝二」
 - ・「ベトナム映画祭」
 - ・「ペルー映画祭」等々
- 来日した監督によるマスタークラス
 - 「クレール・ドゥニ特集 予想不可能な世界へ」(アンスティチュフランセ日本との共催)
- サイレント映画の伴奏付上映の定期開催
 - ・柳下美恵のピアノdeフィルム vol.9〜11
 - 『不壊の真珠』『セルギー神父』『限りなき舗道』
 - 『裁かるるジャンヌ』(特集上映関連)
- 公演付上映
 - ・『絶唱浪曲ストーリー』浪曲口演 ほか
- ミニシアター地域交流会



②-2 社会的な意義

- ・地域の文化施設・文化芸術団体との協働・学校との協働
- ・商店街等との共同
- ・映画館がない地域での移動上映
- ・バリアフリーの取組 等

事例：みやこ映画生協 表3参照

みやこ映画生協の「みやこシネマリーン（DORAホール）以外での上映活動」はすべて「社会的・地域的な意義」のある活動に該当する。

これらの活動すべてが「映画館のない地域での移動上映」であり、地域の文化施設や芸術団体、学校等との共同で行われている。

陸前高田市の「ほんまるの家」や、洋野町「善映館」では地域の人たち自身が上映会を企画・運営する上映者育成ワークショップも実施。

表3 みやこ映画生協 映画館以外での上映時の関連イベント例

	上映作品	イベントの名称	日程	実施会場	ゲスト	観客数	概要	その他(備考)
1	釜石ラーメン物語	『釜石ラーメン物語』 今関あきよし監督トーク	2023/4/8	DORAホール	今関あきよし監督	50	約30分間、被災地や作品への想いについて お話を聞くことができた。	
2	先祖になる	佐藤直志さん追悼上映会	2023/3/10	陸前高田市コミュニ ティホール	池谷薫監督と 作品出演者	330	ドキュメンタリーの主人公の佐藤さん(陸前高田 市)が亡くなり追悼上映を企画開催。県内外、 遠方からも多くの方々が集まった。	主催：上映実行委員会
3	シング/岬のマヨイガ	子どもたちに映画お届け隊 防災+映画上映会	2023/12/26～ 28	子ども園、学童クラブ	千葉遥香(防災士)	114	冬休みの子ども向けに防災+映画の企画上映 会を行い、上映前には防災士による子ども防 災教室を行った。	主催： 子どもたちに映画お届け隊 いわて生協助成
4	グリーンブック/ 山懐に抱かれて	みんなの上映会をつくろう (上映者育成ワークショップ)	2023/10/6～ 3/3	宮古市、洋野町、 岩泉町	遠藤隆監督	69	上映会の方法をレクチャーし、受講生がみん なで作品を選び、実際に上映会を開催してみ るプログラムを2回行った。	岩手県復興くらし再建課 「被災者の参画による心の 復興事業」補助金
5	梅切らぬバカ	はあとふるフェスタ上映会	2023/11/23	宮古市 市民交流 センター		111	福祉イベントに合わせた上映会	主催： NPO法人レインボーネット
6	津軽のカマリ	「津軽のカマリ」上映と二代目高 橋竹山津軽三味線演奏会	2023/4/19	萬代館(一戸町)	大西功一監督 高橋竹山(三味線)	70	旧映画館萬代館は一戸町が取得、現在は萬 代館利活用事業実行委員会が管理。上映後 には監督のトーク、出演の二代目高橋竹山さん を招き津軽三味線のライブを行った。	主催： 萬代館映画上映実行委員会
7	夢みる小学校	『夢みる小学校』上映会	2023/6/17	岩泉町町民会館 大ホール		29		主催：おじゃんこの会
8	桜色の風が咲く/ THE FIRST SLAM DUNK 他	CINEPIT	2023/7/17～ 2024/3/17	釜石 PIT		248	CINEPITは映画館の無い釜石市で釜石 PIT を利用した定期映画上映会。12月は2日間連 続で6作品の上映イベントを実施	主催：CINEPIT運営委員会 (釜石まちづくり株式会社、 みやこ映画生協)
9	ただいま、つなかん	「ただいま、つなかん」 久慈上映会	2023/8/27	久慈市文化会館 アンバーホール	風間研一監督 菅野一代(出演)	374	主人公の菅野一代さんが久慈市出身というこ とで、ゲストトークは盛り上がった。久慈市から も全面協力いただいた。	主催：「ただいま、つなかん」 久慈上映実行委員会、 共催：久慈市
10	シング:ネクストステー ジ	釜石インクルーシブ上映会	2023/9/3	釜石 TETTO		50	小さい子ども楽しめるように配慮した上映会	主催：釜石市民ホール
11	くじらびと	海と希望の学園祭	2023/11/18	釜石 PIT	北川貴士(東京大学大 学院新領域創成科学研 究科 教授)	40	海をテーマにしたドキュメンタリー映画鑑賞と、 レクチャー&参加者との感想共有	主催：釜石市
12	スケッチ・オブ・マーク	「スケッチ・オブ・マーク」萬代館 上映会	2023/9/18	一戸町 萬代館	大西功一監督	25	上映後、大西監督のトーク	主催：日昇軒
13	人生フルーツ/ カメラをとめるな! 他	キネマ ホンマル	2023/12/22～ 2024/2/24	ほんまるの家、 アパッセ高田	庄司輝秋監督	144	住民参加のワークショップを行い、作品選定や 上映企画を行った。「さよならほやマン」上映 では庄司監督のトークを行い作品をより深めら れた。	主催：ほんまるの家株式会社 陸前高田市中心の復興事業
14	世界の果ての通学路	岩泉中学校文化鑑賞	2023/11/11	岩泉中学校		100	学校での映画を使った文化鑑賞事業	主催：岩泉中学校

③さらに必要な指標・データ

今回の調査では、映画館の活動を年間の上映作品リストに基づき、その多様性を評価すると同時に、関連イベントをみることによって地域社会への貢献度を社会的・教育的な意義の視点から評価できることを提示した。そのために用いた特定の指標を継続的に測定し、アプローチ自体の改善を繰り返していくことが重要である。また、映画館の実態に即したよりきめ細やかな調査を行うために必要な指標、データとして、以下のものが挙げられる。

■地域の人口規模等

映画館の活動はその地域の人口によって大きく左右される。100万人以上の大都市と5万人以下の小市町村の上映作品の多様性を同じ基準で評価することはできない。人口規模、あるいは映画館の所在地の商圈や交通手段を考慮したアクセシビリティなどを評価点数に反映する必要がある。例えば、100万人規模の都市の映画館を1とした場合、50万人=1.1、30万人=1.2、10万人以下=1.4といった係数をポイントにかけることなどが考えられる。

■観客開拓

観客開拓の取り組み等により、観客数(座席占有率)が増加していることを評価することも重要である。上映プログラムや関連イベントの効果的な告知、SNSや会報(会員制メールマガジン)の活用などによる観客の増加を評価の対象とすることは、観客開拓の取り組みを促すことに繋がるだろう。

■年齢別観客数に関するデータ

若い観客を開発・育成することは映画館や映画文化を維持・発展していくために重要である。そのために、これまで詳細なデータのない年齢別の観客数を整理して、各映画館に集う人々の傾向を把握する必要がある。学校や学童保育など教育機関との連携など若年層の観客開拓に対して評価することも考えられる。

■大都市のミニシアター

ミニシアターが多く存在する東京のような大都市については、鑑賞する作品の選択肢がきわめて多いため、観客にとって「多様性」のあり方が他の都市とは大きく異なっている。人口規模だけでなく、他館との関係、配給のあり方も特殊であり、映画館の上映作品の多様性の評価については、他の地域とは別の基準を設けることを検討する必要があるかもしれない。

今回の調査では、4つの映画館及び上映団体から上映活動に関する詳細なデータを提供していただくことができた。調査に協力していただいた方々には心よりお礼を申し上げたい。

このように調査から得られたデータを、様々な指標を用いることによつて的確に読み取ることで、映画館・上映活動の実像を明示することが可能となる。さらに、調査を積み重ね、客観的で説得力があり、データを提供した上映団体にとっても納得のいく評価の方法を確立していくことが重要である。

(2) 資料・原稿作成

岩崎ゆう子(コミュニティシネマセンター) / 土田環(早稲田大学/コミュニティシネマセンター理事)

Ⅲ | 〔特集〕映画館（上映活動）の現状に関する詳細調査

3

課題と展望

とちぎあきら | フィルム・アーキビスト/コミュニティシネマセンター理事

映画館とは、とても親切的な商売である。劇場のスクリーンに映像を投影し、その体験を観客にサービスとして提供することを旨とするビジネスであるが、多くの劇場は年中無休で営業しているし、開館時間も朝早くから夜遅くまでと長い。概して同じ作品を何度も繰り返し上映しているので、都合のよい日時を選んで行けばいいし、予約せずに思い立って出かけても、大抵は見ることができる。しかも、作品は日本映画、外国映画を問わず、ジャンルも多種多様、入場料もせいぜいちょっとした外食1回分くらいで済む。

文化・芸術としての表現の美しさや情感の豊かさに身近に触れることができ、人生観や世界観を学ぶ時間ともなり、生きる喜びと幸せをもたらしてくれる。美術館や博物館も展示施設として同じような役割を果たしているが、概ね閉館時刻は早いし、休館期間も結構長い。音楽や演劇などの実演芸術では、公演期間が長いものもあるが、多くは一回だけだから、その日その場所を逃したら、二度と体験できない。それらに比べると、映画館はなんて顧客に優しいビジネスなんだろうと、感嘆せざるを得ない。

このビジネスモデルは、映画産業の垂直的な支配による興行のブロックブッキング制が崩壊した後、シネマコンプレックスとミニシアターという両極の興行形態を生み出すことによって、実質的に継承されてきたわけだが、そこで提供される映像の姿は今世紀になって大きく変貌した。ベルトコンベヤーの如くシネコンへ運ばれてくる作品の中心はアニメとODSで、実写映画はまるで添え物のように見える。それに応じて、観客の志向も少数のヒット作か、ターゲットが極端に限られた作品に分裂し、もっぱら後者に属する膨大な数の映画群を引き受けているのがミニシアターである。だが、この二極化することで成り立ってきたビジネスモデルも、もはや瀬戸際に来ているのかもしれない。

本調査は、映画館などから直接提供された1年間の上映作品リストと、上映関連イベントなどの事業に関する詳細なレポートから成る貴重なデータを基に、映画館の日常活動への評価・分析を試みたものである。興行側の腰の低さゆえか、観客側の無関心ゆえか、はたまた行政や研究者の怠慢ゆえか、生業としての映画館の実態を実証的に測定するような調査は、これまで行われてこなかった。『映画上映活動年鑑』においても初の試みとなる今回の調査では、サンプル数は3件と少ないが、映画祭が母体となって生まれたミニシアターで、映画館経営に加え、フィルムコミッションや移動上映を行っている団体、前身の映画館を受け継いだミニシアター、映画館閉館後のホールを拠点に移動上映を行っている団体と、来歴や活動内容に大きな違いはあるものの、それぞれ地域に深く根づいた上映活動を行っている団体からのデータである。このリストやレポートに記載された驚くべき多様な上映作品と多彩なイベントの数々から、映画館とは毎日どのようなことをやることで観客との関係を結んでいるところなのかを、具体

的に知ることができるのである。

その内容は、年間の上映作品リストに基づく多様性の評価と、特集上映や関連イベントなどから見た地域における芸術文化の振興や人材育成へのポテンシャルという社会的・教育的意義に基づく地域性への評価、という二つの方向からさまざまな指標を設定し、ポイントによる量的評価と指標ごとの質的評価を組み合わせることで、客観的な判断材料とするものである。点数を付けるといっても、これは決して映画館の優劣を測るための調査ではない。むしろ、上映作品の多様性の実態を数字にして表すことにより、映画館がそれぞれの地域の事情や観客の志向に応じた独自性を発揮し、地域間における文化格差の是正を図ることに貢献しているという公共的性格を可視化させることになるのである。

とはいえ、スタートしたばかりの調査ゆえ、まだまだ課題は多い。もとより、この調査は上映作品の多様性や関連事業の社会的・教育的意義を反映した指標を基に、映画館やシネマテークなど日常的に上映活動を行っている組織や団体への公的支援の可能性を検討するための基礎データにすることにある。その意味で、今後とも関係者各位より本調査への理解と協力をいただくことにより、サンプル数を増やしていくことが、まずは望まれる。

また、評価の指標となる項目についても、さらなる検討が必要だ。上映活動の多様性を測る指標として、映画作品を全国での公開館数により大別し、それらが年間の総上映本数に占める割合に応じてポイントを付与しているが、総数の多寡によって数字は大きく変動してしまう。また、地域に根ざした上映活動に着目するうえで、年齢層など観客の実態把握は欠かせないし、映画館による集客への努力も考慮したい。映画館が立地する市町村の人口規模を調整値として勘案することも提案されているが、精度の高い係数の設定が求められる。

そして、何よりも、本調査を単年度で終わらせることなく、継続していくことが重要である。映画館での上映作品は、当然ながら製作・配給側の動きに大きく左右されるし、近隣の映画館や自主上映などの動向にも強く影響を受ける。そのため、どの映画館一つ取っても、経営者の交代や上映方針の変更、ひいては休館・閉館・廃業などの事態に陥るリスクは避けられない。これとは対照的な現状として、新たに小規模な映画館や定期上映の場を作る動きもあるため、継続的に定点観測を続けていく必要がある。また、映画館が一義的には映画を観るための場所であることに変わりはないとしても、地域社会や観客が映画館に求める価値や付加価値には変化の可能性があることから、活動を評価するための指標も、常に再検討が求められる。そして、映画館の側から見ても、他の地域の映画館の活動実態を客観的に眺めることにより、本調査が各映画館による多様で独自性のある活動をさらに推し進めていくための後押しになることが望まれていると言えよう。

今後、映画館のビジネスモデルがどのように変貌しようとも、その場での映像体験が観客にとってかけがえのない心の糧となり、新たな創造へのインスピレーションを与えてくれる、真に「顧客に優しい商売」であり続けるために、どのような支援の方策があり得るのか、本調査がその答えを導くための設計図として機能していくことを期待したい。

Ⅲ | [特集] 映画館(上映活動)の現状に関する詳細調査

資料 全国コミュニティシネマ会議2024

採録: ディスカッション

“学びの場”としての映画館Ⅱ：
映画館が「クリエイター」を育成する

イントロダクション

とちぎあきら(司会):

まず、きょうのディスカッションの主旨を説明させていただきます。
ミニシアターを主とする“コミュニティシネマ”と呼ばれる地域に根ざした映画館や上映活動は、多くの様々な映画を届けることによって、その地域に住む人たちが多様性豊かな文化や芸術に親しむ機会をつくっています。しかし、ミニシアターは非常に小さいビジネスであり、自助だけで継続的に事業運営するのは難しい。コミュニティシネマセンターの活動はある種の共助の仕組みでもあるわけですが、それだけでもまだ安定的に運営していくことが難しい。そこで、全国コミュニティシネマ会議では、公的な資金など何らかの財源を求めるため、コミュニティシネマにはどのような価値があるのかを提示し、具体的な支援策の提案を行い、頻繁に議論を行ってきました。しかし、これまで実現に至る突破口を見出すことはできませんでした。

「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」

現在、首相が議長を務める「新しい資本主義実現会議」が、内閣府が取りまとめ役になって進められています。ここでは、映画を含めたコンテンツ産業を重要な産業として位置づけ、これをどのように活性化させていくのかということも議論されており、2024年4月に開催された同

登壇者

佐々木伸一[全国興行生活衛生同業組合(全興連)会長/佐々木興業株式会社会長]
志尾陸子[コミュニティシネマセンター代表理事/NPO法人たかさきコミュニティシネマ代表]
岨手由貴子[映画監督/action4cinema]
林健太郎[株式会社U-NEXT映画部部长]
青木俊介[経済産業省文化創造産業課総括係長]
田村順也[文化庁参事官(芸術文化担当)付芸術文化調査官]

司会:とちぎあきら[コミュニティシネマセンター理事/フィルムアーキビスト]



会議に是枝裕和監督と山崎貴監督が招かれ、是枝監督から具体的な提言が出されました。それを受けて6月に「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024年改訂版」が発表されました。その中で「3. コンテンツ産業活性化戦略」として、映画振興に触れられており、今後の映画振興に関する企画立案を集中的に検討する「映画戦略企画委員会」を設置し、コンテンツ産業の担い手であるクリエイターの支援について、発掘から、育成、製作、海外展開まで一貫通貫で支援できるよう、文部科学省(文化庁)・経済産業省が協働すること、クリエイター支援の強化を念頭に、教育・人材育成、労働環境整備、製作支援、国際展開支援、国内流通機能強化、国際プレゼンス向上等のカテゴリごとに実行するとされ、「国内の流通機能」を強化すべきだということもひとつの柱に挙げられています。→資料1

資料1:「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画 2024年改訂版」(令和6年6月21日)より抜粋

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/index.html

3. コンテンツ産業活性化戦略

日本発のコンテンツの海外売上げは、我が国の鉄鋼産業、半導体産業の輸出額に匹敵する規模である。また、キャラクターの世界ランキング上位の半数は、日本のものになっている。

アニメ・音楽・放送番組・映画・ゲーム・漫画といったコンテンツは、我が国の誇るべき財産であり、ここに下記の通り、「コンテンツ産業活性化戦略」を策定・明記し、政府を挙げて、官民連携による本戦略を推進する。この際、官は環境整備を図るが、民のコンテンツ制作には口を出さないという、官民の健全なパートナーシップを築くことを目指す。

(1) クリエイター・コンテンツ産業に関する司令塔機能の強化

クリエイター・コンテンツ産業に係る政府の司令塔機能を明確化した上で体制を強化

し、クリエイターの発掘・育成や海外展開支援に取り組む。

① コンテンツ産業官民協議会の設置

内閣府・文部科学省(文化庁)・経済産業省・総務省・外務省・公正取引委員会等の関係省庁等及びコンテンツ関係者(クリエイター、関係業界等)から構成されるコンテンツ官民協議会を設置する。事務局は内閣府知的財産戦略推進事務局とする。任務として、クリエイターが安心して持続的に働ける環境の整備に加え、クリエイターの海外展開・情報発信、デジタル化等に対応したコンテンツ産業の改革、海賊版対策、クリエイター・コンテンツ産業の支援制度の在り方等について戦略的な議論を行い、官民で進捗状況について共有・確認しながら、PDCAサイクルを回していく。

② 映画戦略企画委員会の設置

上記コンテンツ官民協議会の下に、映画に特化した映画戦略企画委員会を設置する。構成メンバーは上記の関係省庁及び映画関係者(クリエイター、関係業界等)とする。任務として、映画関連のクリエイターが安心して持続的に働ける環境の整備、映画に

関する支援制度の在り方、映画の海外展開・発信、映画のロケ誘致等について具体的な方策の企画立案を行う。

③横串機能の強化、個人の創造性支援の強化

コンテンツ産業官民協議会、映画戦略企画委員会を通じ、コンテンツに関する各種支援制度について点検しつつ、個人にとっても分かりやすいよう、メニューを一覧化する等、横串を通していく。

特に、創造性を有する個人のクリエイターが、企業という「プラットフォーム」を活用し付加価値を生み出していく経済構造への変化を踏まえ、クリエイター個人に対し、発掘から、育成、製作、海外展開まで一貫通貫で中期的に支援できるよう、文部科学省(文化庁)・経済産業省が協働して支援していく。

④コンテンツ政策に関する既存事業の統合・強化

クリエイター・コンテンツ産業に対する一貫的で強力な支援体制を構築するため、既存事業の主要なものについて、文部科学省・経済産業省の両省庁の施策を統合して執行する体制へと変革する。

具体的には、これまで両省庁で要求してきたクリエイター支援・事業者支援双方を束ね、「クリエイター支援基金」に統合する。クリエイター支援の強化を念頭に、教育・人材育成、労働環境整備、製作支援、国際展開支援、国内流通機能強化、国際プレゼンス向上等のカテゴリごとに実行するよう、体制を刷新する。

(2) 海外展開及び世界に通用するコンテンツの制作・流通の促進

海外展開を促進するため、海外への進出に際しての制作会社に対するビジネス展開の支援、国際見本市や国際映画祭における出展支援や、若い人に対する留学支援や国内での学びの場の整備等を実施する。

また、放送番組・音楽等の世界に通用するコンテンツの制作・流通とともに、海外での評価形成基盤の構築、地方での取組やコンテンツ産業の活性化等に取り組む。

①次世代を担うクリエイターの育成

コンテンツの競争力の源泉はクリエイターにある。このため、才能ある人材の育成プログラムとして、選抜されたクリエイターによるコンテンツ制作・発表・海外展開の支援と、メンターによる伴走支援を実施する。

若手クリエイターを海外に派遣し、世界に通用するコンテンツ制作の経験を積む機会を提供する。海外展開時の契約交渉にかかる弁護士や会計士等の専門家費用を支援する。また、国際舞台での活躍が期待されるクリエイターとプロデューサーの双方について、国際的なネットワーク形成や国際見本市や国際映画祭への出展支援を強化する。また、海外展開を目指すクリエイターや制作会社に対して、作品の翻訳や吹き替え等のローカライズの支援を検討する。

クリエイターを目指す高校生や専門学校生に対して、留学支援を実施する。

デジタル技術を活用してコンテンツを制作するデジタルクリエイターの育成(ゲームや映像制作のグローバルプラットフォームにおいて行う制作の支援)を図る。

②エンタメ分野の日本のスタートアップの海外進出

米国西海岸シリコンバレー等を含め、エンタメ分野のビジネスの海外進出に取り組む我が国のスタートアップに対して、その事業実施を支援する。また、他分野からの参入に積極的に取り組む企業を支援する。

③コンテンツ制作の支援

グローバルに通用する作品の制作の資金の確保のため、制作会社が自ら資金調達をして行う作品の制作支援を行う。

また、我が国の放送番組、映画の制作の現場では、VFX(撮影後の仕上げ作業時に行われる画面効果を高める技術)や3DCG等のデジタル技術の活用が十分進んでいない。i)映像上の背景や建築物等のデジタルアセットの制作とそのアーカイブ化の促進、ii)スタジオの民間整備の促進、iii)海外の大型作品の日本国内ロケ・制作の支援を行う。

④クリエイター育成のための高等教育機関の整備

アニメ・漫画・映像・音楽等の業界と教育界をつなぐ、スキル調査・フィードバックや、クリエイター育成のための基礎教育プログラムを提供するほか、クリエイター及びコンテンツ産業育成に必要な能力を得ることができる大学学部や専門学校のコースを創設し、振興する。また、関連分野での留学生の積極的な受入れを図り、国際的な人材の循環を作る。

コンテンツ産業分野における海外人材の獲得のため、特定技能制度の活用に向けて、どのような業務に従事する人材が必要であるか、当該分野が生産性の向上や国内人材の確保のための取組を行ってもなお人手不足であるか等についての検討を行う。

コンテンツ産業の海外展開を強力に推進するため、グローバル市場を前提としたプロデューサーの育成に取り組むとともに、コンテンツ単体への支援にとどまらず、分野を越えて連携したミックスカルチャーの取組を活発化させる支援体制を整備する。

⑤日本貿易振興機構及び国際交流基金等による支援

日本貿易振興機構(JETRO)の海外事務所を活用して、コンテンツ専門人材を採用・配置し、海外に進出するクリエイター・関連企業の現地におけるビジネス展開を支援、現地でネットワーク形成を進める。

また、アーティストが海外で認知を獲得するためには海外公演が重要であるが、事業者にとってリスクが高く、円滑な実施に課題もあることから、日本貿易振興機構等の海外拠点における関係機関と連携した現地サポートや、海外展開に係る補助金を活用した海外公演の開催支援を推進する。

さらに、コンテンツ振興のため、東京国際映画祭における映画人の交流のためのアジア交流ラウンジを含め、国際交流基金による支援を進める。

⑥放送番組・音楽等の世界に通用するコンテンツの制作・流通

放送番組の制作現場において、放送に関わる全ての人々に、ハラスメント、いじめ、長時間労働等が行われないよう、テレビ局等は自主的に取組を進める。

放送番組の制作取引において、一方的に著作権を発注者に帰属させることやハラスメント等が行われないよう、ガイドラインを整備し、遵守・徹底を図る。

世界に通用する放送コンテンツの制作・流通を推進し、クリエイターへの適切な対価還元を実現する。クリエイターのための4K設備・VFX等の利用環境整備、4K・VFX制作技術等のノウハウ習得のための人材育成や権利処理効率化を支援する。

我が国のコンテンツ産業の国際競争力を高めるべく、海外向け放送コンテンツの制作・流通を円滑化するため、日本放送協会と民間放送の共同による国内のインターネット配信プラットフォームの国内外への配信機能強化を後押しする。

⑦面的な海外展開に向けた窓口一元化と発信拠点整備

現在、文学、マンガ等の海外展開は、個別の作品ごとに行われ、1人の作家による作品といった包括的な形では進んでいない。海外からの問合せ窓口の一元化を図る仲介事業者(出版社・エージェント)の取組を支援する。

また、人々が国内外から集うような発信拠点の整備を検討する。

⑧海外での評価形成基盤の構築

マンガ、アニメ、美術、文学等について、i)コンクールやワークショップを開催し、翻訳や批評を行う専門人材を発掘・育成、ii)日本の作品を海外でライセンスアウト(売却・使用許諾)する際に、その営業や交渉において必要となる企画書の翻訳費用の支援、iii)世界的に影響のある美術館での作品の展示機会の確保や推薦作品リストの作成支援の検討を行う。

海外での評価形成に当たっては、作品の質のみならず、熱心なファンコミュニティの形成に向けた戦略性が不可欠である。国際映画祭や国際見本市におけるジャパンパビリオンの出展とその場での作品のプロモーションを支援する。音楽についても、グローバルなプラットフォームを活用して現地の熱心なファンコミュニティ形成を後押しする。

⑨地方でのコンテンツ関連の取組の活性化

地方におけるロケ地誘致やコンテンツを用いたイベント開催は、海外からの観光需要の創出につながる。地方での取組を後押しする。海外制作会社による大規模映像作品のロケ撮影等の誘致は、地域経済活性化やインバウンド需要喚起のみならず、国内映像産業の高度化につながることから、特にVFX等デジタル技術を活用したプロダクションを伴う作品誘致を推進する。

⑩知的財産と異なる産業の組合せによる新たなコンテンツ産業の創出

デジタル化への移行を契機に、日本国内に眠る様々なコンテンツの利活用を進め、異なるコンテンツ・産業との組合せ等を通じて、新たな知的財産(IP)活用によるコンテンツ産業の創出を図る。

音楽については、日本ブランドのキュレーション(情報の編集・発信)の在り方の再構築に向けて、デジタル化時代に対応した過去のコンテンツの利用に係る権利の整理や適切な対価還元を実現するための方策について検討する。

アニメ・漫画については、海外プラットフォームが市場支配力を有する中、ブロックチェーン等の新たな技術を活用し、日本発プラットフォームを創出しようとするコンテンツ事業者を支援する。

アートについては、博物館同士の連携強化、博物館におけるデジタル・アーカイブ化の促進、博物館の資金調達能力の向上等を含め、我が国全体の博物館の機能強化に向けた方策を検討する。また、国際的な影響力を持つアートフェアとの連携強化、国内開催に対する支援等により、我が国アートシーンのプレゼンスの向上を図る。さらに、美術館における漫画、アニメ、ゲーム、メディアアート等の展示が可能となるよう原画等の収集、保存及び公開並びにデジタル・アーカイブ化の促進を図る。博物館等に対するクラウドファンディング等の活用に関する周知を図るとともに、博物館の資金調達力の向上に向けた方策を検討する。

① DAO や先端技術の利活用促進

映像等のコンテンツ製作やクリエイターへの対価還元において、DAO（分散型自律組織）の仕組みは活用余地がある。また、製作工程のDXや、映像等の魅力向上、翻訳の効率化による海外展開促進、さらにはクリエイターへの対価還元等において、テクノロジーの活用は非常に有効である。AIやVFX、web3等の先端技術の利活用を促していくため、コンテンツ事業者のデジタル技術の利活用を支援する。

② 海賊版に対する対策強化

日本のコンテンツの海賊版が生成AIにより学習されるおそれや、外国での被害も深刻化する中、国外犯処罰の導入検討も含め、国際執行を強化するとともに、日本企業による海外プラットフォーム買取等も活用しつつ、海外への正規版の流通を促進する。

③ クリエイターが安心して持続的に働ける環境の整備

革新的なコンテンツの創造活動を行っていくためには、我が国でも、オープンで広い人的ネットワークのエコシステムを形成する必要がある。他方で、制作現場の労働環境や賃金の支払といった側面で、クリエイターが安心して持続的に働くことができる環境が未整備である。我が国のクリエイターの創造性が最大限発揮される環境を整備する。

クリエイターやアーティスト等を対象に、適切な収益還元や健全な労働環境等を阻害する労働慣行や取引関係の是正に着手し、官民の取組により、制作サイドに収益を還元するビジネスモデルを構築する。

① 優越的地位の濫用防止等と取引適正化

実演家等が働きやすい環境を作るためには、取引慣行を是正していくことが不可欠である。現下の技術革新の中で、コンテンツ産業については、個人の創造性に重点が移りつつあることに鑑み、公正取引委員会の協力の下、優越的地位の濫用等を防止し、個人を守ることに力点を置いて、音楽・放送番組の分野の取引慣行等について実態調査を行い、本年内に完了する。

この際、実演家・クリエイターの事務所移籍に際して、移籍前の事務所が在籍当時の過去素材の権利を所有し続ける場合、その許諾を拒否することで、その利用を妨げ、事実上、移籍後の仕事をできなくするといった慣行が見受けられないか、調査を行う。この調査結果を踏まえて、実演家と事務所との間の契約等を適正化する観点から、それに反する行為は独占禁止法に抵触するおそれがあることを示す指針の作成を図る。映画・アニメ等のクリエイター個人の創造性が最大限発揮される取引環境を整備するため、音楽・放送番組の分野の実態調査に続けて、年明けから、映画・アニメの制作現場におけるクリエイターの取引環境に係る実態調査を行う。

② その他の取引適正化に向けた取組

現在、クリエイターや制作会社の多数は多重下請構造の中にあり、制作現場には十分収益が還元されていない。エンターテインメント業界における実演家・クリエイターの権利保護や労働慣行は是正に向け、「文化芸術活動に関する法律相談窓口」の体制強化を図る。

また、クリエイターは発注業者との関係において劣位な立場に置かれることが多く、事前に業務内容や報酬額、支払時期等が十分に明示されないまま不利な条件の下で業務に従事せざるを得ない状況があるため、この秋施行されるフリーランス・事業者間取引適正化等法の活用を図る。

第一回映画戦略企画委員会

9月9日に「映画戦略企画委員会」の第一回の会合が開催されました。この会合で、委員である是枝監督から改めて提言がなされました。この中でも「ミニシアター～「鑑賞」の場の確保～」ということで、「…将来的にはこのミニシアターを地域の図書館と同じような映像文化発信基地として定着させ、ここにも映像学芸員として、映像系大学生が就

資料2-1：「新しい資本主義のグランドデザイン及び
実行計画 2024年改訂版案」
(2024年6月7日)より抜粋

(1) クリエイター・コンテンツ産業に関する司令塔機能の強化

- コンテンツ産業官民協議会を設置し、その下に、映画に特化した「映画戦略企画委員会」を置き、具体的な方策の企画立案を行う。
- コンテンツの創造力の源泉であるクリエイターの発掘、育成、製作、海外展開まで一貫通費で中期的な支援を行う。
- 文科省、経産省によるクリエイターと事業者双方の支援を束ねて、「クリエイター支援基金」に統合し、教育・人材育成、労働環境整備、製作支援、国際展開支援、国内流通機能強化、国際プレゼンス向上等を実行する。

(2) 海外展開及び世界に通用するコンテンツの制作・流通の促進

国内での学びの場の整備等を実施する。

(3) クリエイターが安心して持続的に働ける環境の整備

年明けより映画・アニメの制作現場におけるクリエイターの取引環境に係る実態調査を行う。

職できるようにしたい」と、映画映像教育の現場として、ミニシアターを学校と連携する形で使っていくべきではないかということを提言されています。合わせて現在ミニシアターがデジタルシネマ機の更新という大規模な設備投資という課題に直面していることにも触れられています。この会合を受けた首相のコメントでは、映画戦略企画委員会や、経産省や文化庁に分かれている映画振興に関する予算をひとつにまとめた「基金」を創出し、そこから支援を行うことができないかということが触れられていました。→資料2

資料2-2：「映画戦略企画委員会」第一回会合(2024年
9月9日)における是枝裕和委員提出資料より

人材育成の場として、以下の観点からミニシアターへの支援を提案する。

- 学校での映像教育を、ミニシアターとの連携のもとに行う。
- DLPシステムの更新に対する公的助成を行う。
- 将来的には、ミニシアターを地域の映像文化発信基地として、映像学芸員を配置する。

以上を実行して、人材を増やしていくための土壌を豊かにすることが、業界のセーフティネットとなる。

「映画戦略企画委員会」第一回会合後の岸田首相のコメントから、注目点を抜粋

- 「クリエイター」とは「映画監督や制作現場の方々」を指している。
- 関係省庁の予算を統合する「クリエイター支援基金」は、クリエイター産業に対する一貫的で強力な支援体制を構築するため、クリエイター支援と事業者支援双方を束ねるものである。

そもそもクリエイターとか、我々を含め映画に関わる人間がどうやって育ってきたのかと考えると、映画館とりわけミニシアターで映画をたくさん見て、考え、人と話していく中で、映画の仕事をしたいと考えるようになったという人がほとんどだと思うのです。そのような、映画館が持っているある種の社会的な、教育的な機能を、しっかりとした言葉で語り、外部の方々に伝えていくためにはどうすればいいのかということを考えることが、本日のシンポジウムの出発点になります。

ディスカッション

とちぎ:

最初に、佐々木会長にお話を伺いたいのですが、全国コミュニティシネマ会議に、シネコンを中心とした興行界を代表する全興連の会長に登壇していただくということは本当に画期的なことで、非常に感慨深いことだと思います。佐々木さんご自身は、佐々木興業株式会社の会長でもあり、佐々木興業はシネコンを経営しつつ、札幌市では「サツゲキ」というミニシアターの経営も行っておられる、ミニシアターの重要性や経営の難しさもご自身で体験された上で、ミニシアターについてとても積極的に発信されている方ですので、その辺の経歴をふくめて、全興連の活動の全体像を踏まえながらミニシアターの意義や重要性について、お話をいただきたいと思います。

シネコンの経営とミニシアターの経営

佐々木伸一:

私ども、佐々木興業の本拠地は池袋にあり、「グランドシネマサンシャイン」がフラッグシップの映画館で、ここは5年ほど前にオープンしました。そのほか、現在17ヶ所の映画館を経営しています。ご案内いただいたとおり、2022年に「ディノスシネマ」という北海道の名門の映画館が民事再生法の適用となり、その再生スポンサーとして、私どもがお手伝いをさせていただくこととなり、現在、「サツゲキ」というミニシアターを運営しています。

経営感覚として申し上げれば、シネコンというのはひとつの経営のシステムに過ぎないと思っています。1館の映画館を運営するコストに対して、例えば、10スクリーンあってもその経費は単純に10倍にはなりません。感覚的に申し上げると1館の3倍程度で済むわけですが、このように経費を抑えて安定的に運営するというのがシネコンの経営システムです。シネコンの番組編成は8〜9割は自動的に決まります。要するに、配給会社が出す大型作品を消費する場所になっていますので、ほとんど自動的に決まってくるわけです。一方、ミニシアターというのはゼロから番組編成をしなくてはならないため、非常に手間がかかります。経費はシネコンよりも多くかかり、経営面で非常に厳しいということを頭では理解していたつもりでしたが、実際に経営をしてみて、その厳しさが実感として非常によくわかったところがあります。

全興連のミニシアター支援プロジェクト

佐々木:

「全興連(全国興行生活衛生同業組合連合会)」とは、全国の映画館を始め、「興行場法」が適用される演劇場や演芸場の集まりで、厚生労働省が所管しています。映画館が主なメンバーで、全国の映画館の98%を組織する団体で非常に組織率が高いのが特徴です。今年度の全興連の大きなテーマとして「全興連ミニシアター支援プロジェクト#ミニシアターへ行こう」を実施しています。主にミニシアターが行うクラウドファンディングを支援することと、ミニシアターを応援するユーチューバーなどアンバサダーを派遣し動画を配信することを行っています。残念ながら、あまりご参加いただけていないのですが、「高田世界館」という日本最古の映画館にクラウドファンディング第1号としてご参加いただき、目標額の850万円をはるかにこえる1250万円を集めることができました。今年度は、アンバサダーとクラウドファンディングの二本立てでミニシアターを支援していきたいと考えています。→図1

図1: #ミニシアターへ行こう ウェブサイトスクリーンショット



とちぎ:

全興連でミニシアター支援プロジェクトをやっているということで、全興連もコミュニティシネマも、同じ方向を目指しているという感じになっているのは非常に心強いと思っています。

配信と映画館

とちぎ:

本日は、配信の話もしていただきたいと思います。「U-NEXT」の林さんは、メディアでも様々な発言をされている中で、映画館での公開と配信での公開は決して対立関係ではなく、むしろ共存関係にあるということを明快におっしゃっています。具体的にはU-NEXTが事業展開の中で、配信で映画を見るお客さんをどれだけ映画館に取り込めるのか、どうすれば映画を見る観客の裾野を広げることができるのか、細かく制度設計されている点に非常に興味を持っています。

林健太郎:

配信プラットフォームでありながら、この場におよびいただけて光栄に思っています。きょうは、配信事業者であるU-NEXTが、映画文化・産業をどう見て、どう考えているかをお伝えしたいと思います。

まず、U-NEXTのサービス全体のことをお伝えします。有料の動画配信サービスは、SVOD（定額制＝見放題）とTVOD（都度課金＝レンタル）のふたつに分かれており、U-NEXTはこのふたつのハイブリッド型で展開しています。「Netflix」はTVODなしで、完全にサブスクで追加料金なくサービスを提供していて、「アマゾンプライムビデオ」は我々と同じハイブリッド型ですが、我々のセールスポイントは「ポイント利用」の部分にあります。→図2

SVODについては、全てのジャンルでカバレッジを高めることに取り組んでいます。圧倒的なカバレッジを目標にしており、洋画、邦画などのジャンルでは2位以下にダブルスコア以上をつける結果になっています。雑誌の読み放題は200媒体を超えており、4アカウントまで無料で視聴できる点では、ご家族で入っていただくには非常にお得なサービスだと思います。

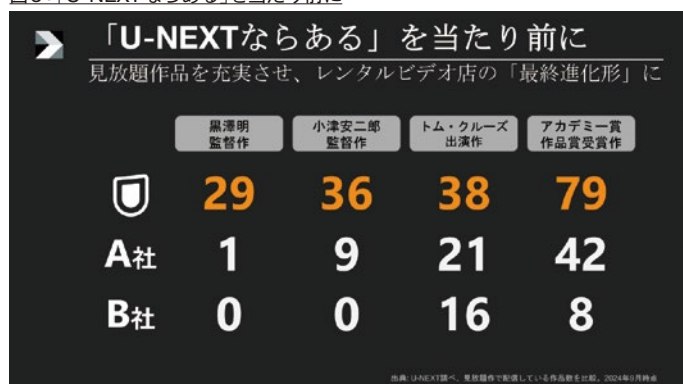
それに加えて毎月1200円分自由にご利用いただけるポイントが付与されます。このポイントの使い道としては、最新映画のレンタルやコミックの購入に加え、映画館のチケットに交換することもできます。

UNEXTは、国内のマーケットシェアでは二番手につけています。1、3、4、5位とすべて海外勢の中で、なんとかここも踏ん張ってポジションを保っている状況です。会員数は現在約430万人で、会員のサービス

図2: 有料動画配信の種類



図3: 「U-NEXTならある」を当たり前



利用状況を示すアクティブ日数は、30日間で平均8日間から9日間と、全サービスの中で最も高い数値を示しています。

“映画図書館”のようなプラットフォーム

ここからは映画ジャンルについてお話しします。カバレッジについては、2017年当時は各社横並びで、見放題作品数が約1500～3000本でした。3000本だとキュレーションしようにも全く不十分で、U-NEXTでは30,000本を目標として、作品を増やし続け、2024年現在、18,000タイトルが見られる状況となっています。

我々が目指しているのは、“ビデオレンタル店の最終進化系”です。ビデオレンタル店こそが、映画館と並んで街の映画文化を支えてきた存在だと認識していますが、90年代前半には全国で約15,000軒あったレンタル店は、現在では約2,000軒に減少しています。これによってできたレンタル店空白地帯に住む方々にも映画を楽しんでいただけるよう、作品数を揃えるとともに、デジタルの便利さをそこに付加することに取り組みたいと考えています。“映画図書館”といってもいいのかもしれませんが、貴重な映画資料にアクセスできるようにすることが、結果、クリエイターの育成にもつながるのではないかと考えています。→図3

TVODとSVOD

U-NEXTでは、TVODは最新作を見るためのものであると明確に整理しています。公開から月日が経ったアーカイブは見放題で見やすくする一方で、最新作は、TVODで課金して見る設計にしています。映画ビジネス的には、このTVODが非常に重要で、映画産業のあり方を健全に保つものではないかと考えています。

U-NEXTの映画ジャンルにおけるTVODの成長率は7年間で10倍と大きく伸びています。SVODの作品数を増やしたことで、映画ジャンルのお客様がどんどん増え、そうした方々の「課金してでも最新作を見たい」という需要に応えている形です。TVODにおける国内シェアを見ると、サービスを提供する事業者は国内に十数社あるのですが、U-NEXTがおおよそ6割程度を占めていて、かなり寡占化が進んでおり、あまり望ましくない状況にあります。

U-NEXTでは、映画館での公開から約半年経ったところでTVODをスタートして料金として399円いただき、そこから約一年経過したらSVODで見放題にするという循環を基本形としています。なお、映画会社の意向で、プレミアムVODとか高額TVODと呼ばれる399円より高い価格で、レンタルをすることもあります。いずれにしても、TVODで料金をいただき、それを権利元へ還元するというを行っています。一方、グローバル・プラットフォームは、映画産業のあり方を根本から変えようとしているように見えます。公開から早ければ数週間、あるいは3ヶ月ぐらいで、独占的にSVODで見放題にしてしまいます。これが定着すると、お客様が「映画は無料だ」と錯覚するようになります。そのうち、映画館に行かなくても、少し時間が経てば映画は無料になるという認識が広まる、まずい状況にきています。ここ4年間ぐらい

図4: 映画の一生、どちらが幸せ?

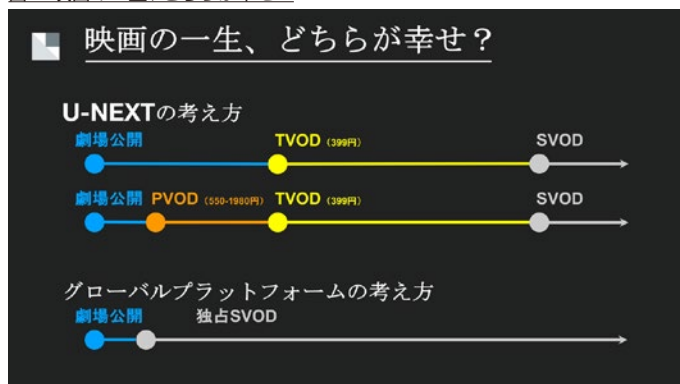


図5: ONLY ON U-NEXT映画は3年で180作品



はずっとこの戦いをしているのが現状です。→図4

この状況を放っておくと、注目作はすべてSVODで独占されてしまうため、我々が独占するときは必ず一定期間TVODを置くということをやっています。

また、2021年から、「ONLY ON U-NEXT」という冠をつけた独占配信をはじめまして、3年間で約180本、とにかくいい映画を集めようということで、そのために製作への出資も行っています。いい映画にコミットして、いい映画が生まれることのお手伝いできたという思いで取り組んでいます。→図5

とちぎ:

お話を伺い、配信を通して、これからどういった観客を育てていきたいのかということがはっきりわかる戦略をとられていることに関心を持って聴かせていただきました。

「action4cinema日本版CNC設立を求める会」の取り組み

とちぎ:

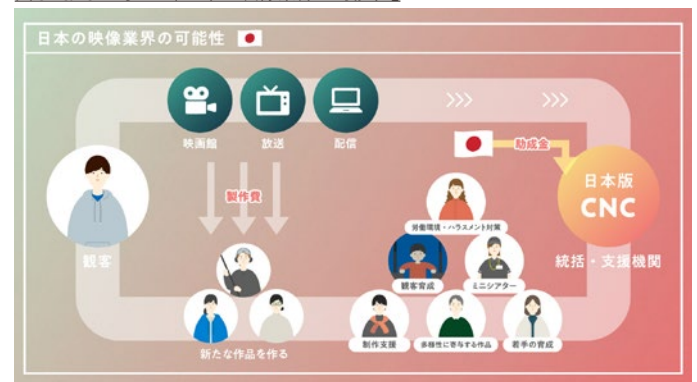
是枝監督が「新しい資本主義実現会議」で提言を出された背景には、「action4cinema (a4c)」という団体を組織し、そこで検討されてきたことがあります。a4cのメンバーである岨手監督に、この間の経緯を含めて説明を加えていただければありがたいと思います。

岨手由貴子:

クリエイターが何かを求めると、制作現場だけに助成を求めているよう

に受け取られがちなのですが、「action4cinema日本版CNC設立を求める会」では、日本にもフランスのCNCのような統括支援機関があって、興行収入の中から一定のパーセンテージをトップオフして、それが制作支援や、観客教育、若手の育成、映画館(ミニシアター)への助成など、必要なところに支援が行き届くような仕組みができれば、結果的に作り手が育ち、新たな作品が生まれ、それが観客のもとに還元されるという循環するシステムの実現できるのではないかと、そういうことが必要だということを訴えてきました。→図6

図6: a4cが考える「日本の映像業界の可能性」



この趣旨を、関係省庁をはじめ様々な方々に伝え、意見交換を続けてきましたが、やはり財源をどうするのかというところで、なかなか賛同が得られず、前に進まないという状況が続いていました。そんな中、今回、是枝監督が提言をする機会に恵まれました。まず、最初のステップとして、是枝さんが新しい資本主義実現会議に出席して、映画戦略企画会議とコンテンツ産業官民協議会という二つの会議が設置されることが決まりました。

a4cとしては、共助の仕組みを前提とした提言をしてきたので、新しい資本主義のグランドデザインで示された形は理想の形ではありませんが、文化庁と経産省の映画関連の施策を統合してクリエイター支援基金をつくるというのは、非常に大きな一歩だと捉えています。新たな資金が投入されるということではなく、いまある助成金やシステムをより使いやすく効率的に整理しなおすというのですが、そこから今後、その中身が拡充されていくことを期待しています。

私自身は映画監督です。長野県出身で、長野市の「相生座ロキシー」でたくさん映画を見て、映画監督になりました。7年前に金沢に移住しまして、現在はミニシアター「シネモンド」に通いながら、「こども映画教室」にも参加するなどしています。自分の仕事でもある映画が、自分の生活や子育てのツールとしてもすごく役立っています。「コミュニティシネマ」という考え方は、まさにいま、自分が金沢で実現していることです。本日の議論でいろんなお話を聞かせていただけることを楽しみにしています。

たかさきコミュニティシネマの“クリエイター育成”

とちぎ:

志尾さんはコミュニティシネマセンターの代表理事である一方、「NPO 法人たかさきコミュニティシネマ」の代表でもあり、高崎映画祭やミニシアター「シネマテークたかさき」を運営されています。高崎映画祭からシネマテークたかさきという常設の映画館が生まれたわけですが、一貫して日本におけるインディペンデント映画作家、若い作り手の作品を上映し、彼らの次の作品の製作にも関わるなど、映画作家を育てる“親”のような役割を演じてこられたように思います。そのことを含め、地域で映画の上映をするということと、今回の主題である人材を育成することの関わりを、お話しいただければありがたいです。

志尾睦子:

NPO 法人たかさきコミュニティシネマは2004年に設立されました。その原点となる高崎映画祭からお話しさせていただきます。1987年に始まった高崎映画祭は、2024年3月で37回を迎えました。16日間で80作品を上映していた時期もありましたが、時代の変化や自分たちが置かれている状況の変化もあり、2024年は9日間で51作品を上映しました。この映画祭のコンセプトは非常にシンプルで、東京に行かないとなかなか見られない映画を高崎でも見せたい、上映したいというところから始まっています。これは一貫していて、エントリー制ではなくコンペもないので、私たちが映画館や映画祭に出かけて行って、高崎映画祭の観客に見せたい作品を探し、上映するということをひたすら続けてきました。

新しい才能との出会いの場をつくる

上映作品の柱のひとつとして、“若手監督の発掘と育成”を第1回から掲げています。若手監督の作品だけを集めた部門を設けて、そこで新しい才能に出会ってきました。また、日本映画に対して独自の視点から賞を出しています。若手監督グランプリ(現在は新進監督グランプリ)の受賞者だけを並べてみると、このような名前が並んでいます。→資料3
新たな才能を地域の皆さんに届けることは地方の映画祭の使命だと思います。映画祭を続ける中で、日常的に映画を見られる場をつくりたいということで「NPO 法人たかさきコミュニティシネマ」という組織をつくり、「シネマテークたかさき」という映画館をつくりました。
シネマテークたかさきでも、映画祭からのつながりを大事にしていって、映画祭で授賞したり、若手監督特集で紹介した監督の作品は、地域の観客の皆さんへのご報告という意味で、意識的に追いかけて上映するようにしています。シネマテークたかさきで上映してきたインディーズの監督たちの初監督作品を一覧にしようと思ったのですが、膨大過ぎて頓挫してしまいました。やはり20年間やってきたというのは非常に大きいことなのだと改めて感じた次第です。

資料3: 高崎映画祭「新進監督グランプリ」受賞者

	回	受賞者	作品
1987	1回	山川直人	『ピリイ★ザ★キッドの新しい夜明け』
1988	2回	山本政志	『ロビンソンの庭』
1989	3回	長崎俊一	『ロックよ、静かに流れよ』
1990	4回	利重 剛	『ZAZIE』
1991	5回	松岡錠司	『バタアシ金魚』
1992	6回	竹中直人	『無能の人』
1993	7回	塚本晋也	『鉄男II BODY HAMMER』
1995	9回	廣木隆一	『800 TWO LAP RUNNERS』
1995	10回	岩井俊二	『Love Letter』
1996	10回	是枝裕和	『幻の光』
1997	11回	青山真治	『Helpless』
1998	12回	諏訪敦彦	『2/デュオ』
1998	12回	河瀬直美	『萌の朱雀』
1999	13回	中野裕之	『SF サムライ・フィクション』
2000	14回	塩田明彦	『どこまでもいこう』
2000	14回	石井克人	『鮫肌男と桃尻女』
2001	15回	緒方 明	『独立少年合唱団』
2001	15回	沖浦啓之	『人狼』
2002	16回	行定 勲	『GO』
2002	16回	古厩智之	『まぶだち』
2003	17回	天願大介	『AIKI』
2003	17回	万田邦敏	『UN loved』
2004	18回	西川美和	『蛇イチゴ』
2005	19回	紀里谷和明	『CASSHERN』
2005	19回	井口奈己	『犬猫』
2006	20回	成島 出	『フライ、ダディ、フライ』
2006	20回	萩生田宏治	『帰郷』
2007	21回	唯野末歩子	『三年身籠る』
2008	22回	群青いろ (廣末哲万/高橋 泉)	『14歳』
2009	23回	熊坂 出	『パーク アンド ラブホテル』
2011	25回	吉田恵輔	『さんかく』
2011	25回	真利子哲也	『イエローキッド』
2012	26回	砂田麻美	『エンディングノート』
2012	26回	入江 悠	『劇場版 神聖かまってちゃんロックンロールは鳴り止まない』
2013	27回	三宅 唱	『Playback』
2014	28回	小林啓一	『ももいろそらを』
2015	29回	安藤桃子	『0.5ミリ』
2016	30回	山崎樹一郎	『新しき民』
2017	31回	小路紘史	『ケンとカズ』
2018	32回	坂本欣弘	『真白の恋』
2019	33回	野尻克己	『鈴木家の嘘』
2019	33回	春本雄二郎	『かぞくへ』
2020	34回	広瀬奈々子	『夜明け』
2022	35回	三澤拓哉	『ある殺人、落葉のころに』
2023	36回	工藤梨穂	『裸足で鳴らしてみせろ』
2023	36回	森井勇佑	『こちらあみ子』
2024	37回	磯部鉄平	『風の憂鬱』
2024	37回	工藤将亮	『遠いところ』

映画祭から映画館、フィルムコミッションへ〜クリエイターを育てる

志尾:

組手由貴子監督の作品も、ぴあフィルムフェスティバル2008で準グランプリを受賞された『マイムマイム』を第29回高崎映画祭で上映させていただきました。その後、『グッド・ストライプス』(2015)はシネマテークたかさきで上映しました。2021年の『あのこは貴族』は展開が大きな作品で県内のシネコンで上映されたため、シネマテークたかさきでは上映できなかったのですが、高崎映画祭で水原希子さんに最優秀助演女優賞を授与し、監督にも一緒に来ていただきました。2008年、2015年、2021年と継続的に紹介することで、映画祭や映画館の観客の皆さんに「あの監督の次の作品はこれです」「いまでも頑張ってますよ」と報告をするような気持ちで上映しています。それともうひとつ、私たちが映画を上映し続けるときには、できるだけ監督をお呼びして観客とお話していただくようにしています。それが、次の制作につながると信じています。

また、彼らの次のステップアップのときに何か役に立てないかと考える中で、“フィルムコミッション”という形で映画の制作支援事業を始めることになりました。現在も、次の高崎映画祭に向けて、ある若手監督と短編映画の制作を進めています。彼がインディーズ時代に自主制作でつくった映画をシネマテークたかさきで上映しました。そのときに監督をお呼びして「いつか何かやりましょう」と言っていたことが、7、8年経って実現することになり、来月クランクインします。先日脚本の読み合わせがあり、監督がキャストの皆さんの前で挨拶をされたのですが、その中で「高校生のときにシネマテークたかさきによく映画を見に行きました。ここは何とか少し変で、自主映画と言われる低予算の映画とか、とにかく上映している作品が変なんですよ。外国の映画もたくさん見ました。その中で、こんな映画を撮りたいと思うこともあり、特に様々な自主映画を見たときに、これなら自分でも撮れると思って、いつの間にか映画監督を目指していました」とおっしゃいました。これまで何度も監督とお話をしているのですが、まさかそのように思われていたとは全く思いませんでした。たまたま先日、そんな話をされて、この場でお話しするにはもってこいだと思いました。そんなことを言ってくれる人が育っている、20年間続けてきたことの意味を強く感じました。このお二人の監督のエピソードが、我々の理念と活動をお伝えするのに一番伝わりやすいと思い、お話しさせていただきました。

とちぎ:

高崎映画祭では、志尾さんが司会役で監督とトークをされるのですが、観客と監督の距離が非常に近いところでトークが行われている。双方をうまく繋ぐ役割として、映画祭のプログラマーとしての志尾さんの存在があるのだということを強く感じます。ミニシアターや映画祭という存在が、観客とクリエイターを近づけて、お互いに感じあいながら育ていくという環境がつくられていると感じます。

経産省、文化庁の映画振興策

とちぎ:

本日、経済産業省と文化庁から映画振興の担当の方にお越しいただいておりますので、それぞれの省庁で映画振興に関して取り組まれていること、とりわけ上映や普及活動に関して取り組まれていることをお話しいたきつつ、始まったばかりの映画戦略企画委員会で、これからどのような議論が進められるのかといったあたりを聞かせていただければありがたいと思います。

青木俊介:

まずは経済産業省の施策を簡単にご紹介いたします。

経済産業省の中の文化創造産業課が、映画をはじめ、ゲームやアニメ、漫画、音楽、アート、ファッション、デザインといったコンテンツを含む分野に対する支援を行っております。今回、コンテンツ産業について政府としても取り組むべきということで“新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024年改訂版”の中に盛り込まれています。経済産業省としても、コンテンツ産業が日本の誇るべき文化であり、それに加え“稼げる力”があるという点に特に着目しています。日本発のコンテンツの海外での売上高は半導体産業の輸出額などとも肩を並べるほど大きく、重要であると考えています。

ミニシアターへの支援とは直接結びつかないかもしれませんが、実行計画では、海外市場の獲得ということが念頭に置かれ、海外展開及び世界に通用するコンテンツの制作・流通の促進、国際舞台での活躍が期待されるクリエイターやプロデューサーの国際的なネットワークの形成、作品の翻訳や吹き替え等のローカライズの支援等が記載もございます。そのほかにも、エンタメ分野のスタートアップや、日本貿易振興機構(JETRO)の海外事務所の活用といったことなども記載されています。

コンテンツ産業への支援ということでは、経済産業省では「我が国の文化芸術コンテンツ・スポーツ産業の海外展開促進事業補助金(通称: J-LOX+, Japan content Localization and business transformation (X) Plus)」を整備しています。こちらの補助金は、大きく分けると、デジタル化支援、制作やロケ誘致の支援、プロモーション等の海外展開支援という3つのメニューがあります。例えばデジタル化支援では、Web3や生成AI等の新しいデジタル技術を活用したビジネスに対する補助などがあり、制作支援では、制作費の支援とともに、海外からの資金調達を促すためのピッチ開発等への支援をしています。ロケ誘致の観点では、海外作品の製作に日本の製作会社が参加し、その作品が日本で撮影されることにより、人材の育成につながるといった側面からも支援をしています。海外展開支援では、海外向けのローカライズ&プロモーション支援として、翻訳や吹き替え、海外の展示会でのプロモーションの支援といった補助金を用意されています。このほかにも、海外展開において現地拠点での支援がほしいというお声をたくさんいただいて

おり、経団連の提言等も踏まえて、一部ジェトロ海外現地拠点にコンテンツ専門の人材を配置するなど、海外展開・ビジネスマッチングの支援をしています。

経済産業省としては、実写・アニメ問わず、波及効果ということも含めて経済的に“稼げる力”があるという側面も重要視をしていきたいと考えています。

「映画上映活動年鑑」等で、コミュニティシネマのレポートを事前に拝見させていただいており、現在DCPの更新時期であること、ミニシアターの経営自体がかなり苦しいという状況の中で、経産省で何ができるのか、是非勉強させていただきたいと思っています。文化発信の拠点としてのミニシアターという側面をどのように発展させるのか、どのようにすれば映画館の経営改善ができるのかといったことについては、経済産業省としても、ミニシアターで映画を見てきた私個人としても大変興味があり、皆さんのお話を聞かせていただきたいと思います。

文化庁の映画振興策

田村順也：

文化庁では、大きな柱としては若手映画作家等の人材育成と製作支援、海外への展開を掲げ、日本映画の創造・振興プランに取り組んでいます。映画をつくる人を育てるという観点から、大学生や専門学校の学生に映画現場を経験してもらいインターンシップのような形で映画業界への第一歩を経験する支援をしています。また、短編映画の制作を通じて技術や知識を習得する機会を提供し、プロデューサーと連携して企画や脚本開発のサポートを行う「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」も実施しています。優れた日本映画や国際共同制作の映画の製作に対する支援を行い、多様な作品の上映に寄与しています。また、日本映画の海外発信として、カンヌ国際映画祭やアムシー国際アニメーション映画祭、トロント国際映画祭にジャパンプースを出展するなどして日本映画の魅力を発信し、招待作品の渡航支援等も行っています。また、ジャパンプースを活用した海外の映画人との交流、ネットワーク構築などにも力をいれたいと考えています。

本年度からは、日本と韓国の芸術系大学を対象に映像分野におけるグローバルネットワークの構築を行っています。また、令和5年度補正予算として文化芸術活動基盤強化基金「クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業(クリエイター等育成プロジェクト支援)」も始まりました。クリエイター育成・支援は、世界に誇る我が国のマンガ、アニメ、音楽、現代アート、伝統芸能等の次代を担うクリエイター等による作品や公演の企画・交渉・制作・発表・海外展開までの一体的な活動を、5年程度の活動目的の下で、3年程度弾力的かつ継続的に支援するというものです。映画分野でも、海外の企画マーケットに参加し、国際映画祭への出品の機会や、ネットワークコミュニケーションの機会を増やし、国際的に活躍できる人材を育成したいと考えています。

こうした支援によりできた作品が、ミニシアターなどの映画館で上映さ

れることで、日本映画の文化の一層の振興をはかり、海外における日本映画に対する評価の維持向上と日本映画のブランドの確立を目指していきたいと考えています。上映や流通に関しては、海外発信力のある国際映画祭への支援、それから日本芸術文化振興会が実施している日本映画の上映活動に関する助成事業などがあります。各地のコミュニティシネマやミニシアターが行う独創的なプログラミングなど、日本映画の新たな魅力を発信する特色ある上映機会の支援を行っています。

クリエイター支援資金

とちぎ：

新しい資本主義の実行計画には、関係省庁の予算を統合する形で、いわゆる“クリエイター支援基金”をつくるということが書かれているのですが、各省庁から考えれば、いままで積み上げてきたことが、統合されることによって削られてしまうと、全然違った方向にいくのではないかと抵抗感があるのではないかと思います、いかがでしょうか。

青木：

統合されることで削られるという考えはありません。経済産業省と文化庁等の省庁が映画産業に対して支援メニューを持っていますが、支援メニューが複数の省庁に分かれていてわかりにくいということから、それぞれの予算がある程度統合されて示されることによって、どのような補助が行われているのかがわかりやすくなるのは、産業全体にとって非常に有益であると考えており、予算が削られるというような後ろ向きな考えはありません。

クリエイターの作品が上映される場としての映画館への支援の重要性

佐々木：

国の施策等では常に、クリエイター支援や海外展開に着目されます。クリエイターを育てるのが大事なことだというのはわかるのですが、ミニシアターをはじめとしたアートハウスがなければ育ったクリエイターの作品発表の場がなくなってしまいます。つまり、日本の重要な産業であるコンテンツ産業の新たな担い手が、ミニシアターがないと生まれてこないということは、割とわかりやすい文脈だと思うんです。今回も要望で入れさせていただきましたが、国のお金で育てたクリエイターの作品の発表の場に対する支援をなぜお考えいただけないのかと、いつも思います。現在も映画館では喫緊の課題として、デジタルシネマ機の買換えという大規模な設備投資が求められていることがあり、それに対する支援を要望すると、活用できる支援策として中小企業庁の持続化給付金等、既存の支援事業をご紹介いただくのですが、新たな販路拡大や経費削減というテーマがなければ、単なる機器の更新では補助をしていただけません。ミニシアターがないと、新たな日本のコンテンツの担い手が

育たないというのは明確な事実だと思いますので、ぜひそのあたりを考えていただきたいと思います。

とちぎ:

いまの佐々木さんの問いに対してはダイレクトにお応えしにくいと思いますので、少し回り道をして、林さんに配信事業者という立場から、人材を育てるということとどう結びついていくのかということについてお話いただけますでしょうか。

配信事業と人材育成

映画祭との連携

林:

U-NEXTでは、映画業界との取り組みのひとつとして、映画祭との連携を行っています。きっかけは2020年から拡大した新型コロナウイルスでした。日本全国の映画祭が開催中止となったり、規模縮小を余儀なくされたりする中で、われわれとして何かできないかと考え、“オンライン会場”としてU-NEXTを活用していただく取り組みを行いました。現地開催に合わせてTVODでオンライン配信することもできますし、映画祭が終わってしばらく経ってから見放題で配信することもできます。あるいは前年までの受賞作をU-NEXTで視聴できるようにして、最新作は映画祭に足を運んで見てもらうといった様々な方法で取り組みまして、現在、50の映画祭との連携が実現しています。各地域で映画文化を支えてこられたのが映画祭だと思いますので、そういった社会的な意義のある、若手クリエイターの育成や発掘の受け皿でもある映画祭のお手伝いができればと考えています。

また、U-NEXTの約430万人の会員のうち、約半分の200万人以上のユーザーが映画を定常的にご覧になっているのですが、アンケート調査によると、そのうちの約30万人はかなりのコアユーザーで1年間に12回以上映画館で映画をご覧になっている。ここは重要な映画コミュニティになっているのではないかと思います。U-NEXTでは、それぞれの映画祭の特集ページをつくり、その特集ページをSNSで拡散したり、その30万人の方々の目につくように、会期中はトップページに固定したりするなどして後押しをしており、監督や役者をはじめ作品に関わる方々には非常に喜ばれています。→図7

映画館との共存関係

映画館との連携という点では、U-NEXTポイントを映画館のチケットに交換できるサービスを2013年からスタートさせました。いまのところ大規模な映画館のみでミニシアターとの連携はないのですが、今後一層網羅性を高めていきたいと思っています。現時点では、80数%のスクリーンでU-NEXTポイントが利用でき、昨年は77万人の方々をU-NEXTから映画館へ送り込むことができました。これは、興行動員の約0.5%程度で、1%以上をU-NEXTから映画館に送ることができ

図7: U-NEXT映画祭応援ページ



図8: 2500スクリーン以上の映画館と連携

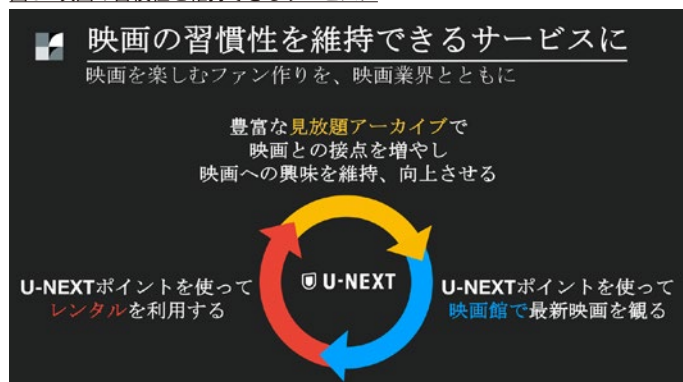


たという実績を早くつくりたいと考えています。

映画館と配信は競合関係にあるとよく言われるのですが、我々は完全に共存関係だと思っています。ただ、ここには先ほどお話しした、ウインドウと価格帯をしっかりと守れば、という注釈が付くと思います。実際、洋画大作が劇場公開からすぐに見放題配信されることが続いた結果、そのジャンルの映画興行が当たらなくなったという過去の事例もありますので、それだけはやってはならないと思っています。「映画館こそが、映画を映画たらしめている」ということを念頭に、これからも映画館と共存関係で取り組んでいきたいと考えています。→図8

最後に、U-NEXTがやりたいことのまとめです。まずアーカイブをSVODでとにかく増やして、多くの方々にアクセスしやすいようにすることで、若い人たちが新たな監督や役者、ジャンルにはまるというきっかけをつくり、その後、その監督や役者、ジャンルの新作が公開されたときにはU-NEXTポイントを使って映画館でご覧いただく。残念ながら映画館で見逃してしまったり、近くの映画館で上映されなかった場合は、TVODでご覧いただく。そしてまたアーカイブはSVODで見ていただく、という循環を生み出したいと考えています。映画は習慣性のエンタメだと思っていますので、習慣性を途絶えさせることがないように、この循環をぐるぐる回して、結果、日本の映画人口を増やしたいというのが、我々の最終目標です。→図9

図9：映画の習慣性を維持できるサービスに



映画館からクリエイターが生まれる

とちぎ：

配信側からの発言を受けて、逆に映画館の方から配信に対して何か提案ができるようになると、これから面白くなると感じます。本日の最初のセッションでもありましたが、子どもの頃から映画館に行って映画を見ることが習慣になり、映画の観客になったことによって、クリエイターが生まれるというのが当たり前のことかもしれません。クリエイターだけでなく映画を支えている人たち、上映者や配給に携わる人たちも、映画館で映画を見るところから生まれてくると考えれば、是枝監督もおっしゃっていましたが、“業界のセーフティネット”としてミニシアターを育てていかないと、人材が育たないのではないかと思います。全くその通りだと思います。岨手監督には、先ほどのお話でも少し触れていただきましたが、作り手と映画館との関係についてもう少し補っていただけますでしょうか。

岨手：

先ほど佐々木さんがおっしゃったことには私も全く同感です。映画が非常に好きで、少しやってみて自分はやっていけるかもしれないという感触がある人をフックアップして育てるだけだと裾野は広がらないと思います。

クリエイター支援は非常に重要ですが、まずは観客を育てるという視点が重要だと思います。ミニシアターなどの映画館がない状況で育った若年層には映画監督になる可能性が断たれてしまいます。映画館で映画を見て友だちと感想を語り合うようなことは、映画を見るという体験・環境の底上げをしないとできないと思います。先日、ニュースで読書離れについて取り上げられていました。私にも子どもがいて、毎日読み聞かせをします。幼いときの読み聞かせの体験がないと、小学生になって児童書を読むことはないと思います。エルマーから始まり、ハリーポッターを読んで、ライトノベルを手にとるというステップがあるから、大学生になって、自分の好きな作家の本を読むという読書体験が継続するわけですが、読み聞かせで本に出会ったことがないのに、いきなりノーベル文学賞を取れと言われても、それは無理な話だと思います。つまり、まず、映画を見るという体験自体を広く普及させる必要があって、

映画を見るという習慣を底上げすることが重要です。優れたクリエイターの卵が海外留学の機会等を通じてブラッシュアップすることを支援する制度があることは非常によいとは思いますが、卵が生まれるにはやはりミニシアター、コミュニティシネマという存在が不可欠ではないかと思っています。

とちぎ：

これまでのご議論を聞いたうえで青木さんと田村さんからコメントを頂けましたら幸いです。

青木：

まずは映画を見る、見せることで、映画監督をはじめ映画業界に入りたいという人を増やし、映画産業が大きくなっていくという点で、ミニシアターの存在が重要ということには議論の余地はないと思います。そうした中で、政府として、いかに全体として映画産業を盛り上げていくかが重要だと認識していますので、映画戦略企画委員会が始まったばかりですけれども、今後の議論も踏まえ引き続き検討してまいりたいと考えています。

田村：

私自身も大学生の頃は1年に約200本を映画館で見て、映画というのは本当にいいものだと感じてきました。日本で年間1000本を超える作品が公開される中で、その大部分をミニシアターが上映しているという現状があります。先ほど上映された監督たちのメッセージでもミニシアターへの強い思いが語られていましたが、私自身も様々な機会にクリエイターからミニシアターの重要性について伺うことが多いです。世界的に評価の高い監督たち、作り手たちが育ててきた育成の場でもあるというところで、今後様々な方にヒアリングなどをしながらにはなるとは思います。今後研究してまいりたいと考えています。

佐々木：

映画戦略企画委員会の委員の中には、是枝監督や、東宝の松岡社長が入っておられますが、日本の映画文化を支えているミニシアター関係者の意見も吸い上げていただきたいと強く思っておりますので、是非メンバーのご推薦の機会がありましたら、そういうことでお願いできればと思います。

とちぎ：

是非ご検討いただいて、そのように進めていただけたら幸いです。

最後に、志尾さんから、今回のこの議論を踏まえ、コミュニティシネマセンターの代表理事というお立場でコメントをいただければと思います。

新しい映画振興策の実現

志尾:

この会議で何をお話ししようかと考えながら、この20年を振り返ってみました。“コミュニティシネマ”という名称で私たちが進み出した大きなきっかけとなったのが、2001年の「文化芸術振興基本法」の公布でした。映画がメディア芸術のひとつに位置付けられ、国の文化施策として振興されるべき対象となったということは、私たちは国の文化施策の一翼を担っているといえるようになったということであり、私を含め、ここに集まる日々上映活動をしている皆さんにとって重要な意味もっています。大変な状況で活動する中で公的な支援を求めたいというときに、我々は文化の一翼を担っているのだから、と言えるようになった点でも非常に大きかったことを思い出しました。

2003年には文化芸術振興基本法のもとに議論された映画振興策について「12本の柱」が設定され、私たちもその中にあって、多種多様な映画を見ることができる環境を整えること、地域格差を埋めるということ在必死にやってきました。日本映画はもちろんのこと、世界各国の映画を、多様な映画を上映するために、ただ、好きだからというだけでなく、私たちが映画文化を背負ってやっているのだと自負しながら取り組んできました。

けれど、映画館をはじめとした上映の場に対する支援はなかなか実現しませんでした。映画館支援の実現のために奔走する中で、なぜこの壁を突破できないのかと考えたときに、あんなに私たちが力を込めて力説してきた文化芸術振興基本法にも、そして12本の柱の中にも、“映画館を支援する”ということが謳われていないからだと感じたときの落胆は非常に大きかったです。

「12本の柱」から20年が経過して、映画を取り巻く環境はすさまじい勢いで変わっています。日本映画の振興をどうしていくのか、いままさに、新しい振興策の立案が進められようとしています。“クリエイター支援”というキーワードのもとに、映画振興について議論が行われています。先ほど佐々木会長が言ってくださいましたが、クリエイター育成という目的達成のための手段というところに、私たち上映者が確実に関わっているのだということを強く申し上げたいと思います。これから、この議論は様々な形で進んでいくのだと思うのですが、そうした中で製作支援や海外展開はもちろん非常に大事だと思うのですが、そこにとどまることがないように、抜本的な見直しがされることを、希望を持って熱望したいと思います。

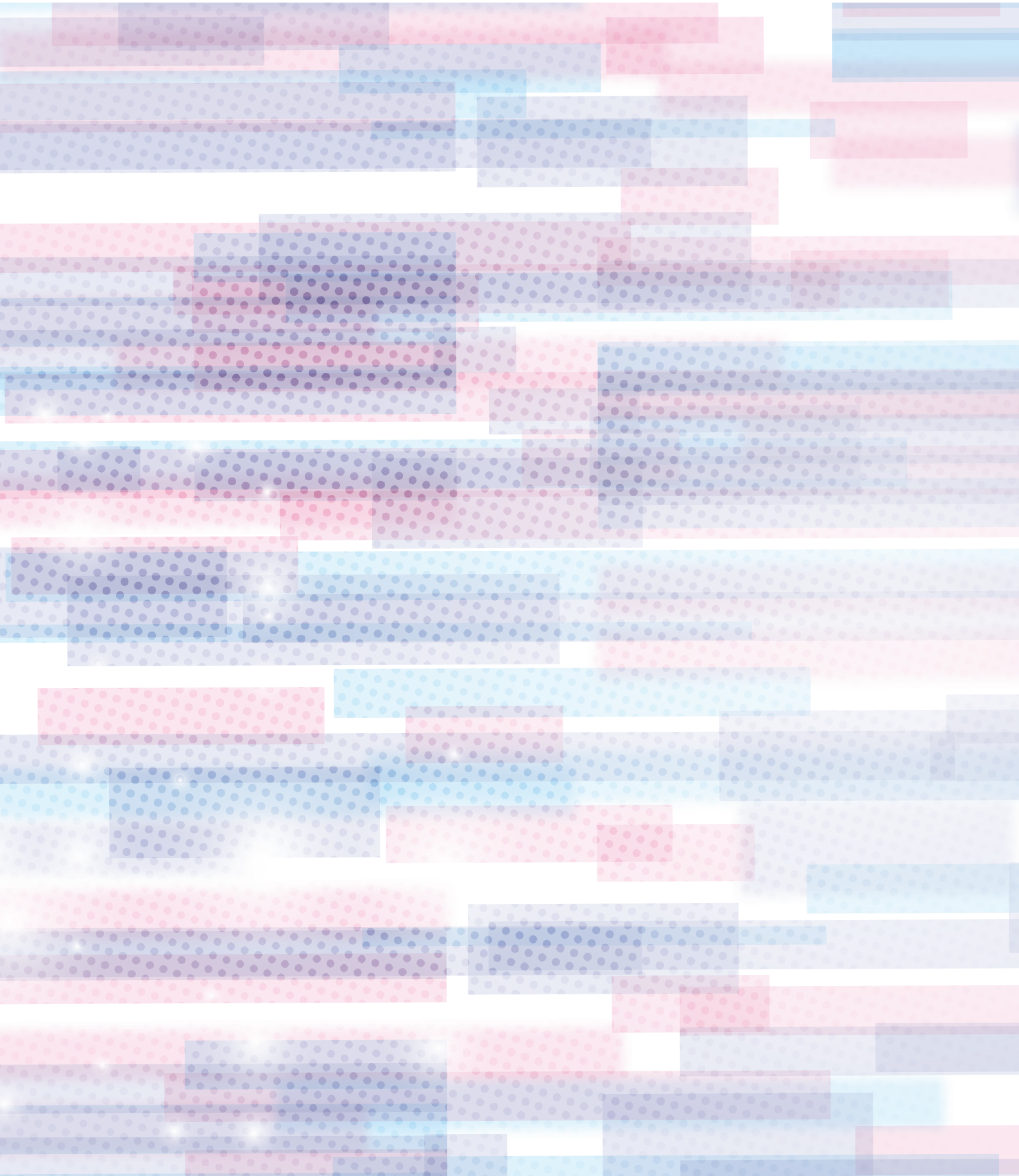
先ほど上映された監督たちのメッセージの中で、小田香監督が、映画をつくただけでは意味がなく、つくったあとに映画館で上映されたときに始まるという言葉の使い方をされていました。私自身も、人様に見てもらわなければ映画が完成したことにならないということを前代表や上映者の皆さんに教えていただきました。それは上映者や制作者を含めた多くの映画人が持っている感覚だと思います。そういう、映画を上映

する大事な場を私たちは守りたいし、その仕事に誇りを持ち続けたいと思っています。今後の映画業界に対する支援策において、映画館や映画を上映する場を守るということへの支援も是非とも取り入れていただきたいと思います。上映をする場所を守る若い人たちのためにも、その振興策の中に、映画館や映画上映の場という視点も入れていただけたら大変ありがたいと思っている次第です。(拍手)

とちぎ:

ミニシアターをはじめとした映画館は、観客に映画を届けるという社会的な責任をずっと果たしてきたことは、これまでの議論からも明らかです。その中には、新たなクリエイターを育てていくという働きもあり、それを継続させるためには、組織そのものが持続可能なものにならなくてはなりません。そのために具体的な施策として何ができるのかということに関係者の皆様、それから省庁関係の皆様と議論を続けて、具体的な成果が出るようにこれからも議論を継続させていただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。本日は誠にありがとうございました。

(2024年9月19日 全国コミュニティシネマ会議2024イン川崎)



II | 公共上映

1

全国映画祭リスト2024

2024年度(2024年4月から2025年3月まで)に開催された映画祭を掲載。
2020年以降の実施が確認できなかった映画祭も、終了が確認できないものは一部掲載している。
「映画祭」の定義については、「凡例」を参照。
国際映画祭は太字。

no.	都道府県	市区町村	映画祭名	国際 地域	第一回 開催年	開催 ペース	開催月 2024	備考
1	北海道	札幌市	札幌国際短編映画祭	国際映画祭	2006年	毎年	10月	
2	北海道	夕張市	ゆうばり国際ファンタスティック映画祭	国際映画祭	1990年	毎年	10月	
3	北海道	千歳市	新千歳空港国際アニメーション映画祭	国際映画祭	2014年	毎年	11月	
4	北海道	札幌市	HOKKAIDO FOOD FILM FESTIVAL	地域映画祭	2024年		11月	2024年第1回開催。
5	北海道	札幌市	プラザ映像祭	地域映画祭	2019年			2023年、2024年開催なし。
6	北海道	函館市	函館港イルミナシオン映画祭	地域映画祭	1995年	毎年	12月	
7	北海道	網走市	網走映画祭	地域映画祭	2007年	毎年	11月	「オホーツク網走フィルムフェスティバル」から「網走映画祭」に名称変更(2020)。
8	北海道	稚内市	わっかない白夜映画祭	地域映画祭	2014年	毎年	6月	
9	北海道	新得町	新・しんとく空想の森映画祭	地域映画祭	1995年	毎年	10月	「SHINTOKU 空想の森映画祭」から「新・しんとく空想の森映画祭」に名称変更(2022)。
10	青森県	青森市	青森インターナショナルLGBT フィルムフェスティバル	地域映画祭	2006年	毎年	7月	1日のみの開催。
11	岩手県	盛岡市	盛岡かわとみどりのほしぞら映画祭	地域映画祭	2020年	毎年	9月	1日のみの開催。
12	岩手県	宮古市	ジモトエイソウサイ	地域映画祭	2011年	毎年		2023年、2024年開催なし。
13	岩手県	花巻市	イーハトーブフェスティバル	地域映画祭	2016年	毎年	8-9月	
14	岩手県	一戸町	カシオペア映画祭	地域映画祭	1996年	毎年	10月	1日のみの開催。
15	宮城県	仙台市	ショートピース! 仙台短篇映画祭	地域映画祭	2001年	毎年	9月	
16	宮城県	仙台市	吉岡宿にしびりかの映画祭	地域映画祭	2018年	毎年	11-12月	
17	秋田県	横手市	あきた十文字映画祭	地域映画祭	1991年	毎年	2月	
18	山形県	山形市	山形国際ドキュメンタリー映画祭	国際映画祭	1989年	隔年	10月	
19	山形県	山形市	山形国際ムービーフェスティバル	地域映画祭	2005年	毎年	11月	
20	山形県	山形市	山の恵みの映画たち	地域映画祭	2014年	不定	11月	2024年4年ぶりに開催。
21	山形県	米沢市	伴淳記念映画祭	地域映画祭	2006年	毎年	10月	1日のみの開催。
22	山形県	鶴岡市	食の映画祭	地域映画祭	2016年	毎年		2023年、2024年開催なし。
23	福島県	いわき市	いわきボレ映画祭	地域映画祭	2011年	毎年		2023年度開催なし。2024年度の開催は未定。
24	福島県	本宮市	カナリヤ映画祭	地域映画祭	2013年	毎年	10月	1日のみの開催。
25	福島県	新地町	福島こどものみらい映画祭	地域映画祭	2008年	毎年		
26	茨城県	水戸市	水戸映画祭/水戸短編映像祭	地域映画祭	1985年 /1997年	毎年	10月	
27	茨城県	日立市	ひたち映画祭	地域映画祭	2023年	毎年	5月	2023年第1回開催。1日のみの開催。
28	栃木県	那須町	那須ショートフィルムフェスティバル	地域映画祭	2006年	毎年	11月	
29	群馬県	前橋市	前橋映像祭	地域映画祭	2010年	毎年	11月	1日のみの開催。
30	群馬県	高崎市	高崎映画祭	地域映画祭	1987年	毎年	3月	
31	群馬県	中之条町	伊参スタジオ映画祭	地域映画祭	2001年	毎年	11月	
32	群馬県	邑楽町	邑の映画会	地域映画祭	2008年	毎年	11月	1日のみの開催。
33	埼玉県	川口市	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭	国際映画祭	2004年	毎年	7月	
34	埼玉県	さいたま市	岩槻映画祭	地域映画祭	2014年	毎年	2月	
35	埼玉県	さいたま市	SAITAMA なんとか映画祭	地域映画祭	2021年	毎年	3月	2025年9月開催予定。
36	千葉県	千葉市	ちば映画祭	地域映画祭	2008年	毎年		「ちば映画祭」定期上映会として開催。
37	千葉県	浦安市	うらやすドキュメンタリー映画祭	地域映画祭	2011年	毎年	7月	
38	東京都	千代田区	東京国際映画祭	国際映画祭	1985年	毎年	10-11月	
39	東京都	千代田区	ラテンビート映画祭	国際映画祭	2003年	毎年	10-11月	東京国際映画祭共催+東京で特別企画上映。
40	東京都	渋谷区	イメージフォーラム・フェスティバル	国際映画祭	1987年	毎年	10月	京都・名古屋でも開催。
41	東京都	新宿区	レインボー・リール東京	国際映画祭	1992年	毎年		2025年6月頃開催予定。
42	東京都	世田谷区	キネコ国際映画祭	国際映画祭	1992年	毎年	10-11月	
43	東京都	渋谷区	ショートショートフィルムフェスティバル&アジア	国際映画祭	1999年	毎年	6月	
44	東京都	千代田区	東京フィルメックス	国際映画祭	2000年	毎年	11-12月	
45	東京都	千代田区	イタリア映画祭	国際映画祭	2001年	毎年	5月	大阪でも開催。

no.	都道府県	市区町村	映画祭名	国際 地域	第一回 開催年	開催 ペース	開催月 2024	備考
46	東京都	渋谷区	EUフィルムデーズ	国際映画祭	2003年	毎年	12月	
47	東京都	文京区	難民映画祭(元 UNHCR WILL2LIVE 映画祭)	国際映画祭	2005年	毎年	11月	1日のみの開催。
48	東京都	千代田区	日中映画祭(2024 東京・中国映画週間)	国際映画祭	2006年	毎年	10月	
49	東京都	渋谷区	映文連 国際短編映像祭	国際映画祭	2007年	毎年	11月	
50	東京都	目黒区	恵比寿映像祭	国際映画祭	2008年	毎年	1-2月	
51	東京都	千代田区	ダマー国際映画祭	国際映画祭	2009年	毎年	4月	
52	東京都	渋谷区	フィンランド映画祭	国際映画祭	2009年	毎年	11月	
53	東京都	渋谷区	トーキョーノーザンライツフェスティバル	国際映画祭	2011年	毎年		2021 年以降開催なし。
54	東京都	豊島区	東京アニメアワードフェスティバル	国際映画祭	2014年	毎年	3月	
55	東京都	渋谷区	イスラーム映画祭	国際映画祭	2016年	毎年	2月	名古屋・神戸でも開催。
56	東京都	千代田区	科学技術映像祭	地域映画祭	1960年	毎年	4月	1日のみの開催。
57	東京都	千代田区	TOHOシネマズ学生映画祭	地域映画祭	2007年	毎年	3月	1日のみの開催。
58	東京都	千代田区	秋葉原映画祭	地域映画祭	2016年	毎年		2025 年再開予定。
59	東京都	千代田区	秋葉原国際映画祭	地域映画祭	2024年	未定	11月	2024 年第 1 回開催。
60	東京都	中央区	びあフィルムフェスティバル	地域映画祭	1977年	毎年	9月	
61	東京都	港区	爆音映画祭 in ユナйтеッド・シネマ アクアシティお台場	地域映画祭	2008年	毎年	10-11月	
62	東京都	港区	みなとシネマフェスタ	地域映画祭	2021年	毎年	11-12月	
63	東京都	新宿区	ドキュメンタリー・ドリーム・ショー 山形 in 東京	地域映画祭	2002年	隔年	10-11月	隔年開催。2024 年度開催。
64	東京都	新宿区	東京ドキュメンタリー映画祭	地域映画祭	2018年	毎年	11-12月	
65	東京都	新宿区	新宿東口映画祭	地域映画祭	2021年	毎年	5-6月	
66	東京都	新宿区	東京インディペンデント映画祭	地域映画祭	2022年	毎年	5月	1日のみの開催。
67	東京都	文京区	文京映画祭	地域映画祭	2016年	毎年		
68	東京都	文京区	つながる・つなげるシネマフェスティバル	地域映画祭	2020年	毎年		2024 年開催なし。
69	東京都	江東区	江東シネマフェスティバル	地域映画祭	2007年	毎年	12月	
70	東京都	世田谷区	下北沢映画祭	地域映画祭	2009年	毎年	9月	
71	東京都	渋谷区	東京学生映画祭	地域映画祭	1991年	毎年	8月	
72	東京都	渋谷区	ラブストーリー映画祭	地域映画祭	2010年	毎年		2021 年以降開催なし。
73	東京都	渋谷区	青山フィルメイト	地域映画祭	2013年	毎年		2021 年以降開催なし。
74	東京都	渋谷区	東京国際ろう映画祭	地域映画祭	2017年	隔年		2025 年 11 月「東京国際ろう芸術祭」として開催予定。
75	東京都	中野区	高校生のための eiga worldcup	地域映画祭	2014年	毎年	12月	1日のみの開催。
76	東京都	杉並区	座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル	地域映画祭	2009年	毎年	2月	
77	東京都	杉並区	杉並ヒーロー映画祭	地域映画祭	2016年	毎年	12月	1日のみの開催。
78	東京都	豊島区	池袋みらい国際映画祭	地域映画祭	2017年	毎年	2月	
79	東京都	練馬区	被爆者の声をうけつく映画祭	地域映画祭	2007年	毎年	9月	
80	東京都	練馬区	国際有機農業映画祭	地域映画祭	2007年	毎年	12月	1日のみの開催。
81	東京都	練馬区	江古田映画祭	地域映画祭	2013年	毎年	2-3月	
82	東京都	足立区	日本芸術センター映像グランプリ	地域映画祭	2009年	毎年	10月	
83	東京都	江戸川区	メイシネマ祭	地域映画祭	1996年	毎年	5月	
84	東京都	八王子市	八王子 Short Film 映画祭	地域映画祭	2013年	毎年	12月	1日のみの開催。
85	東京都	立川市	立川名画座通り映画祭	地域映画祭	2015年	毎年	9月	
86	東京都	武蔵野市	吉祥寺国際アニメーション映画祭	地域映画祭	2006年	毎年	2月	1日のみの開催。
87	東京都	三鷹市	三鷹の森アニメフェスタ	地域映画祭	2002年	毎年	3月	
88	東京都	三鷹市	三鷹連雀映画祭	地域映画祭	2017年	毎年		2023 年、2024 年開催なし。
89	東京都	調布市	映画のまち調布シネマフェスティバル	地域映画祭	1989年	毎年	2-3月	
90	東京都	国立市	くにたち映画祭	地域映画祭	2021年	毎年	9-11月	
91	東京都	狛江市	よんたま映画祭(キタコマ沖縄映画祭)	地域映画祭	2015年	毎年		2023 年、2024 年開催なし。
92	東京都	多摩市	TAMA CINEMA FORUM	地域映画祭	1991年	毎年	11-12月	
93	東京都	西東京市	西東京市民映画祭	地域映画祭	2001年	毎年	5月	1日のみの開催。
94	神奈川県	横浜市	横浜フランス映画祭	国際映画祭	1993年	毎年	3月	
95	神奈川県	横浜市	ヨコハマ映画祭	地域映画祭	1980年	毎年	2月	1日のみの開催。
96	神奈川県	横浜市	大倉山ドキュメンタリー映画祭	地域映画祭	2008年	毎年	3月	
97	神奈川県	横浜市	よこはま若葉町多文化映画祭	地域映画祭	2009年	毎年	2月	
98	神奈川県	横浜市	横浜インディペンデント・フィルム・フェスティバル	地域映画祭	2010年	毎年	11月	1日のみの開催。
99	神奈川県	横浜市	ヨコハマ・フットボール映画祭	地域映画祭	2011年	毎年	10月	
100	神奈川県	横浜市	横浜中華街映画祭	地域映画祭	2012年	毎年	2月	1日のみの開催。
101	神奈川県	横浜市	横浜国際映画祭	地域映画祭	2023年	毎年	5月	
102	神奈川県	川崎市	KAWASAKIしんゆり映画祭	地域映画祭	1995年	毎年	10-11月	
103	神奈川県	藤沢市	予告編 ZEN 映画祭	地域映画祭	2008年	毎年	12月	
104	神奈川県	茅ヶ崎市	茅ヶ崎映画祭	地域映画祭	2012年	毎年	10-11月	

no.	都道府県	市区町村	映画祭名	国際 地域	第一回 開催年	開催 ペース	開催月 2024	備考
105	神奈川県	逗子市	逗子海岸映画祭	地域映画祭	2010年	毎年	4-5月	
106	神奈川県	大和市	YAMATO FILM FESTIVAL	地域映画祭	2011年	毎年	3月	1日のみの開催。
107	新潟県	新潟市	新潟国際アニメーション映画祭	国際映画祭	2023年	毎年	3月	
108	新潟県	新潟市	にいがたインディーズムービーフェスティバル	地域映画祭	1996年	毎年	12月	1日のみの開催。
109	新潟県	十日町市	グリーンイメージ国際環境映像祭	国際映画祭	2013年	毎年		2023年、2024年開催なし。
110	新潟県	長岡市	ながおか映画祭	地域映画祭	1996年	毎年	9月	
111	富山県	富山市	とやま映像祭	地域映画祭		毎年	3月	
112	石川県	金沢市	カナザワ映画祭	地域映画祭	2007年	毎年	9月	
113	福井県	福井市	福井駅前短編映画祭	地域映画祭	2015年	毎年	11月	1日のみの開催。
114	福井県	福井市	福井映画祭	地域映画祭	2006年	毎年	11月	
115	福井県	あわら市	あわら湯けむり芸術祭	地域映画祭	2015年	毎年	3月	
116	山梨県	富士河口湖町	湖畔の映画祭	地域映画祭	2015年	毎年		2020年以降開催なし。
117	長野県	松本市	まつもと子どもたちの映画祭	地域映画祭	2009年	毎年	5月	1日のみの開催。
118	長野県	松本市	マツモトフットボール映画祭	地域映画祭	2015年	毎年	1月	1日のみの開催。
119	長野県	上田市	うえた城下町映画祭	地域映画祭	1997年	毎年	11月	
120	長野県	飯山市	みゆき野映画祭	国際映画祭	2009年	毎年	2月	
121	長野県	茅野市	小津安二郎記念・蓼科高原映画祭	地域映画祭	1998年	毎年	9月	
122	長野県	軽井沢町	まるっとみんなで映画祭	地域映画祭	2021年	毎年	1月	2023年度は11月開催。
123	長野県	原村	星空の映画祭	地域映画祭	2010年	毎年	8月	
124	岐阜県	岐阜市	ぎふアジア映画祭	地域映画祭	2002年	毎年	9-11月	
125	岐阜県	岐阜市	MKE映画祭	地域映画祭	2012年	毎年	7月	1日のみの開催。
126	岐阜県	可児市	アーラ映画祭	地域映画祭	2006年	毎年	12月	
127	静岡県	浜松市	はままつ映画祭	地域映画祭	2001年	毎年	1月	
128	静岡県	沼津市	めぐる沼津映画祭	地域映画祭	2023年	毎年	11月	2023年は「みちくさ映画祭」として開催。
129	愛知県	名古屋市	あいち国際女性映画祭	国際映画祭	1996年	毎年	9月	
130	愛知県	名古屋市	なごや国際オーガニック映画祭	国際映画祭	2012年	毎年		2024年度開催なし。
131	愛知県	名古屋市	アートフィルム・フェスティバル	地域映画祭	1996年	毎年	11月	
132	愛知県	名古屋市	大須にじいろ映画祭	地域映画祭	2015年	毎年		2020年以降開催なし。
133	愛知県	豊橋市	とよはしまちなかスロータウン映画祭	地域映画祭	2002年	毎年	1-2月	
134	愛知県	東海市	知多半島映画祭	地域映画祭	2011年	毎年	11月	1日のみの開催。
135	愛知県	大府市	おおふ映画祭	地域映画祭	2018年	毎年	3月	2020年「大府ショートフィルムフェスティバル」から「おおふ映画祭」に移行。
136	三重県	津市	三重県内男女共同参画連携映画祭	地域映画祭	2006年	毎年	6-10月	6月～10月にかけて県内各地で開催。
137	三重県	四日市市	四日市映画祭	地域映画祭	2007年	毎年	11月	
138	三重県	志摩市	賢島映画祭	地域映画祭	2015年	毎年	9月	1日のみの開催。
139	滋賀県	東近江市	滋賀国際映画祭	地域映画祭	2018年	毎年		2023年、2024年開催なし。
140	京都府	京都市	京都国際子ども映画祭	国際映画祭	1994年	毎年	8月	
141	京都府	京都市	京都国際学生映画祭	国際映画祭	2000年	毎年	2月	
142	京都府	京都市	京都ヒストリカ国際映画祭	国際映画祭	2009年	毎年	12月	
143	京都府	京都市	京まちなか映画祭	地域映画祭	2002年	毎年	12月	
144	京都府	京都市	下鴨映画祭	地域映画祭	2023年	不定	2月	1日のみの開催。
145	大阪府	大阪市	大阪アジア映画祭	国際映画祭	2005年	毎年	3月	
146	大阪府	大阪市	関西クィア映画祭	国際映画祭	2006年	毎年		2024年開催なし。
147	大阪府	大阪市	花開くコリア・アニメーション+アジア	国際映画祭	2008年	毎年		2024年開催なし。
148	大阪府	大阪市	大阪韓国映画祭	国際映画祭	2015年	毎年	11月	
149	大阪府	大阪市	おおさかシネマフェスティバル	地域映画祭	1976年	毎年		2024年度は、各賞を2025年2月にホームページで発表。
150	大阪府	大阪市	中之島映画祭	地域映画祭	2003年	毎年	5月	
151	大阪府	大阪市	十三下町映画祭	地域映画祭	2024年	未定	11月	2024年第1回開催。
152	大阪府	泉佐野市	泉佐野フィルムフェス	地域映画祭	2025年		3月	2024年度第1回開催。
153	大阪府	門真市	門真国際映画祭	国際映画祭	2018年	毎年		2022年以降開催なし。
154	兵庫県	神戸市	神戸発掘映画祭	地域映画祭	2009年	毎年	10月	
155	兵庫県	神戸市	神戸クラシックコメディ映画祭	地域映画祭	2017年	毎年	1月	
156	兵庫県	神戸市	神戸インディペンデント映画祭	地域映画祭	2019年	毎年	11-12月	
157	兵庫県	洲本市	うみぞら映画祭	地域映画祭	2016年	毎年	4月	
158	兵庫県	相生市	相生なぎさ短編映画祭	地域映画祭	2018年	毎年	5月	
159	兵庫県	宝塚市	宝塚映画祭	地域映画祭	1999年	毎年	11月	
160	兵庫県	南あわじ市	南あわじ市子ども映画祭	地域映画祭	2006年	毎年	9月	2023年までは「アジア国際子ども映画祭」として開催。
161	奈良県	奈良市	なら国際映画祭	国際映画祭	2010年	隔年	9月	
162	和歌山県	和歌山市	Kisssh-Kissssssh映画祭	地域映画祭	2013年	毎年	10月	
163	和歌山県	田辺市	田辺・弁慶映画祭	地域映画祭	2007年	毎年	11月	

no.	都道府県	市区町村	映画祭名	国際 地域	第一回 開催年	開催 ペース	開催月 2024	備考
164	鳥取県	米子市	よなご映像フェスティバル	地域映画祭	2007年	毎年		2020年以降開催なし。
165	鳥取県	米子市	米子映画事変	地域映画祭	2011年	毎年	10月	
166	鳥取県	境港市	海とみなとの映画祭	地域映画祭	2013年	毎年		2020年以降開催なし。
167	島根県	松江市ほか	しまね映画祭	地域映画祭	1992年	毎年	9-12月	9～12月、県内各地で開催。
168	岡山県	岡山市	岡山映画祭	地域映画祭	1995年	不定	10-11月	
169	岡山県	真庭市	ニューガーデン映画祭	地域映画祭	2023年	毎年	3月	
170	岡山県	玉野市	宇野港芸術映画座	国際映画祭	2010年	隔年	1月	
171	広島県	広島市	ひろしまアニメーションシーズン	国際映画祭	2022年	隔年	8月	
172	広島県	広島市	広島国際映画祭	国際映画祭	2009年	毎年	11月	
173	広島県	広島市	食と農の映画祭 in ひろしま	地域映画祭	2009年	毎年	3月	
174	広島県	広島市	広島イラン愛と平和の映画祭	地域映画祭	2014年	毎年	8月	
175	広島県	尾道市	尾道映画祭	地域映画祭	2017年	毎年	1月	
176	山口県	周南市	周南〔絆〕映画祭	地域映画祭	2009年	毎年	11-12月	
177	徳島県	徳島市	徳島ニューノーマル映画祭（徳島国際映画祭）	地域映画祭	2016年	毎年		2024年開催なし。
178	徳島県	神山町	神山映画祭	地域映画祭	2015年	毎年	11-12月	「4K・VR徳島映画祭」から2024年「神山映画祭」に名称変更。
179	香川県	高松市	香川レインボー映画祭	地域映画祭	2005年	毎年	12月	1日のみの開催。
180	香川県	高松市	さぬき映画祭	地域映画祭	2006年	毎年	2月	
181	愛媛県	松山市	愛媛国際映画祭	国際映画祭	2020年	毎年		2024年開催なし。
182	愛媛県	松山市	松山映画祭	地域映画祭	2001年	毎年		2020年以降開催なし。
183	高知県	高知市	高知あだたん映画祭	地域映画祭	2022年	毎年	10月	
184	高知県	四万十市	四万十映画祭	地域映画祭	2013年			2019年以降開催なし。
185	福岡県	福岡市	福岡アジア映画祭	国際映画祭	1987年	毎年	9月	
186	福岡県	福岡市	Asian Film Joint	国際映画祭	2021年	毎年	11月	
187	福岡県	福岡市	福岡アジアフィルムフェスティバル	地域映画祭	1991年	毎年	9-10月	
188	福岡県	福岡市	福岡インディペンデント映画祭	地域映画祭	2009年	毎年	9月	
189	福岡県	福岡市	ふくおか国際映画祭	地域映画祭	2023年	未定	12月	2023年「福岡コ・クリエイティブ国際映画祭」としてスタート。2024年「ふくおか国際映画祭」に移行。
190	福岡県	北九州市	北九州国際映画祭	国際映画祭	2023年		11月	
191	福岡県	糸島市	糸島映画祭 いとしネマ	地域映画祭	2017年	毎年		2021年以降開催なし。
192	佐賀県	唐津市	唐津国際映画祭 KIFF	国際映画祭	2023年			2023年「唐津ライジングサン国際映画祭」として開催。2025年7月「唐津国際映画祭 KIFF」として開催予定。
193	佐賀県	佐賀市	富士町古湯映画祭	地域映画祭	1984年	毎年	9月	
194	長崎県	長崎市	国際平和映像祭 (UFPPF)	地域映画祭	2011年	毎年	9月	1日のみの開催。
195	長崎県	長崎市	ながさき・愛の映画祭	地域映画祭	2016年	毎年	1月	1日のみの開催。
196	長崎県	佐世保市	渋谷佐世保 TANPEN 映画祭	地域映画祭	2017年	毎年	11月	「渋谷 TANPEN 映画祭 CLIMAXat 佐世保」から「渋谷佐世保 TANPEN 映画祭」に名称変更。東京・渋谷でも開催。
197	熊本県	熊本市	東アジア市民共生映画祭	地域映画祭	2007年	隔年	10-1月	
198	熊本県	熊本市	くまもと復興映画祭（菊池映画祭）	地域映画祭	2017年	毎年	11-12月	
199	大分県	大分市	おおいた自主映画祭	地域映画祭	2017年	毎年		2025年9月開催予定。
200	大分県	別府市	Beppu ブルーバード映画祭	地域映画祭	2017年	毎年	4月	
201	大分県	中津市	山国映画祭	地域映画祭	2023年	毎年	3月	2023年度第1回開催。
202	大分県	由布市	湯布院映画祭	地域映画祭	1976年	毎年	8月	
203	大分県	由布市	ゆふいん文化・記録映画祭	地域映画祭	1998年	毎年	6月	
204	宮崎県	宮崎市	宮崎映画祭	地域映画祭	1995年	毎年	11月	
205	鹿児島県	鹿児島市	オーガニックな森じかん	地域映画祭	2008年	毎年	9月	2023年「国際オーガニック映画祭」から「オーガニックな森じかん」に名称変更。2024年映画の上映なし。
206	鹿児島県	指宿市	いぶすき映画祭	地域映画祭	2018年	毎年	11月	1日のみの開催。
207	沖縄県	那覇市	島でぜんぶおーきな祭 沖縄国際映画祭	国際映画祭	2009年	毎年	4月	
208	沖縄県	那覇市	沖縄環太平洋国際映画祭 Cinema at Sea	国際映画祭	2023年	毎年	2-3月	東京・大阪でも巡回予定。
209	毎年開催地を 変更して実施	埼玉県 毛呂山町	かつての水面と森の映画祭	地域映画祭	2014年	毎年	9月	「夜空と交差する森の映画祭」から「かつての水面と森の映画祭」に名称変更（2024）。
210	毎年開催地を 変更して実施		JCF 学生映画祭	地域映画祭	2003年	毎年		

II | 公共上映

2

公共の映画専門施設（シネマテーク）及び
映画資料館など

コミュニティシネマセンターが保有する公共の映画専門施設（シネマテーク）のリストに、「全国映画資料館録2020」（国立映画アーカイブ、映像産業振興機構編）の内容を合わせて作成している。
<https://www.vipo.or.jp/u/zenkokueigashiryokanroku2020.pdf>

no.	都道府県	市区町村	施設名	映画資料館	ホール数	席数	35mm 映写機	16mm 映写機	DCP対応 プロジェクター	その他 プロジェクター	上映頻度（主催事業）
1	青森県	五所川原市	五所川原市立図書館	●	－	－	－	－	－	－	
2	青森県	三沢市	三沢市寺山修司記念館	●	－	－	－	－	－	－	
3	宮城県	仙台市	せんだいメディアテーク スタジオシアター		1	180	有	有	有	有	貸館運用が中心だが、主催上映会も行っている。「ショートピース! 仙台短篇映画祭」を実行委員会と共催。
4	山形県	山形市	山形ドキュメンタリーフィルム ライブラリー		1	40	有	有	無	有	山形国際ドキュメンタリー映画祭のコンペティション部門応募作品等、多数の作品を収蔵。試写室では月に1回「金曜上映会」を開催。
5	福島県	須賀川市	須賀川市特撮アーカイブセンター	●	－	－	－	－	－	－	
6	福島県	湯川村	湯川たから館	●	－	－	－	－	－	－	
7	福島県	三春町	福島ガイナ 福島さくら遊学舎	●	－	－	－	－	－	－	
8	群馬県	太田市	太田市立新田図書館	●	－	－	－	－	－	－	
9	埼玉県	川口市	SKIPシティ彩の国ビジュアルプラザ 映像ホール		1	321	有	有	有	有	月に1,2回「ウィークエンドシアター」を実施。毎年7月に「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭」を開催。
10	千葉県	市川市	市川市文学ミュージアム	●	2	260/46	有	有	無	有	年間に約30回程度35mm/16mmフィルム、DVDの作品を中心に様々な上映会を行う。
11	東京都	中央区	国立映画アーカイブ（京橋）	●	2	310/151	有	有	有	有	国立機関で唯一のフィルムアーカイブ。特集上映を連日実施。神奈川県相模原市に収蔵庫・分館がある。
12	東京都	中央区	メゾンエルメス Le Studio		1	－				有	外国映画を中心に毎月上映会を実施。オンライン予約制。
13	東京都	千代田区	アテネ・フランセ文化センター		1	130	有	有	有	有	「古典映画の再評価と現代映画の発見」をテーマに多様な映画の特集上映を実施。
14	東京都	新宿区	東京日仏学院 エスパス・イマージュ		1	108	有	有	有	有	フランス映画を中心に特集上映を定期的に実施。監督や批評家、俳優たちとのトークも行う。
15	東京都	目黒区	東京都写真美術館ホール		1	190	有	有	有	有	2月に「恵比寿映像祭」を開催。
16	東京都	江東区	江東区古石場文化センター	●	1	240	有	有	無	有	年1回「江東シネマフェスティバル」を開催するほか、毎月上映会「江東シネマプラザ」を開催。小津安二郎関連資料を数多く所蔵。
17	東京都	千代田区	川喜多記念映画文化博物館	●	－	－	－	－	－	－	
18	東京都	中央区	松竹大谷図書館	●	－	－	－	－	－	－	
19	東京都	新宿区	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	●	－	－	－	－	－	－	
20	東京都	台東区	台東区立下町風俗資料館	●	－	－	－	－	－	－	
21	東京都	世田谷区	世田谷文学館	●	－	－	－	－	－	－	
22	東京都	渋谷区	市川崑記念室	●	－	－	－	－	－	－	
23	東京都	杉並区	杉並アニメーションミュージアム	●	－	－	－	－	－	－	
24	東京都	練馬区	日本大学芸術学部芸術資料館	●	－	－	－	－	－	－	
25	東京都	練馬区	東映アニメーションギャラリー	●	－	－	－	－	－	－	

no.	都道府県	市区町村	施設名	映画資料館	ホール数	席数	35mm映写機	16mm映写機	DCP対応プロジェクター	その他プロジェクター	上映頻度(主催事業)
26	東京都	葛飾区	葛飾柴又寅さん記念館	●	－	－	－	－	－	－	
27	東京都	三鷹市	三鷹の森ジブリ美術館	●	－	－	－	－	－	－	
28	東京都	調布市	芸能美術文庫PAL	●	－	－	－	－	－	－	
29	東京都	調布市	調布市立中央図書館映画資料室	●	－	－	－	－	－	－	
30	神奈川県	川崎市	川崎市アートセンター アルテリオ映像館		1	111	有	有	有	有	アートハウスとして週6日間上映。様々なワークショップも実施、特に若年層向けの教育プログラムに注力している。10-11月に「KAWASAKIしんゆり映画祭」を実行委員会と共催。
31	神奈川県	川崎市	川崎市市民ミュージアム 映像ホール	●	－	－	－	－	－	－	公共のフィルムアーカイブ。独立プロダクションの作品やアニメーション作品等を中心に収蔵。 2019年台風19号により大規模な浸水被害を受け、移転再建を予定。
32	神奈川県	鎌倉市	鎌倉市川喜多映画記念館	●	1	51	有	有	有	有	映画の発展に貢献した川喜多長政・かしこ夫妻の旧宅跡に2010年に開館。特集上映やトークイベント、ワークショップなどを定期的に実施。映画資料の展示も行っている。
33	山梨県	甲府市	山梨県立文学館	●	1	300					年間4.5回程度「名作映画観賞会」を実施。文芸作品が原作となった映画を上映。
34	長野県	茅野市	新・雲呼荘	●	－	－	－	－	－	－	
35	長野県	安曇野市	熊井啓記念館	●	－	－	－	－	－	－	
36	岐阜県	羽鳥市	羽鳥市映画資料館 (羽鳥市歴史民俗資料館)	●	1	－		有			羽鳥市による公立の映画資料館。毎月「映画のつどい」として上映会を実施し、旧作を16mmフィルムで上映している。
37	静岡県	浜松市	木下恵介記念館	●	1	－				有	木下恵介に関連する映画資料を数多く所蔵し、同監督作品を毎月上映している。ドキュメンタリーやアートシネマ等の上映、ワークショップも実施。
38	愛知県	名古屋市中	愛知芸術文化センター/ 愛知県立美術館		1	180	有	有		有	夏～秋に「アートフィルム・フェスティバル」を開催。毎年1本、身体をテーマに映像作品の制作を行う。「あいちトリエンナーレ」映像プログラムの拠点会場。
39	愛知県	豊田市	豊田郷土資料館	●	－	－	－	－	－	－	2022年閉館後、2024年4月「豊田市博物館」に統合。
40	三重県	亀山市	亀山市歴史博物館	●	－	－	－	－	－	－	
41	京都府	京都市	京都文化博物館 フィルムシアター	●	1	172	有	有		有	公共のフィルムアーカイブ。京都で製作された作品を中心に収集。毎週末、収蔵作品と外部借用作品による特集上映を実施。ワークショップ等も行っている。「京都ヒストリカ国際映画祭」「京都国際子ども映画祭」等会場。
42	京都府	京都市	おもちゃ映画ミュージアム	●	1	25					フィルムで撮影されたサイレント映画やアニメーション等の玩具映画を中心に定期的に上映会を行う。2025年4月、移転。
43	京都府	京都市	京都府立図書館	●	－	－	－	－	－	－	
44	京都府	京都市	立命館大学アート・リサーチセンター	●	－	－	－	－	－	－	
45	京都府	京都市	東映太秦映画村 映画図書室	●	－	－	－	－	－	－	
46	大阪府	大阪市	プラネット映画資料図書館 プラネットプラスワン	●	1	25	有	有	無	有	映画フィルム、資料の収集を行うとともに、外国映画の旧作を中心に週5回上映。サイレント映画の生演奏付上映を月3回程度のペースで行う。(一神戸映画資料館)
47	大阪府	吹田市	国立民族学博物館 みんぱくインテリジェントホール(講堂)		1	450	無	有	無	有	「みんぱく映画会」として、上映される機会の少ない文化人類学・民族学に関する貴重な映像資料などを、研究者の解説を交えて定期的に上映。
48	大阪府	池田市	阪急文化財団池田文庫	●	－	－	－	－	－	－	
49	大阪府	河南町	大阪芸術大学博物館	●	－	－	－	－	－	－	

no.	都道府県	市区町村	施設名	映画資料館	ホール数	席数	35mm映写機	16mm映写機	DCP対応プロジェクター	その他プロジェクター	上映頻度（主催事業）
50	兵庫県	神戸市	神戸映画資料館	●	1	38	有	有	無	有	公共のフィルムアーカイブ。毎週末、収蔵する古典映画等のフィルムによる特集上映や、先鋭的な現代映画の上映を実施。 「神戸発掘映画祭」「神戸クラシックコメディ映画祭」会場。
51	兵庫県	市川町	橋本忍記念館	●	－	－	－	－	－	－	
52	鳥取県	智頭町	西河克己映画記念館	●	－	－	－	－	－	－	
53	島根県	安来市	足立美術館（映画資料）	●	－	－	－	－	－	－	
54	広島県	広島市	広島市映像文化ライブラリー		1	169	有	有	無	有	公共のフィルムアーカイブ。広島に関係する作品や、原爆や戦争をテーマにした作品等を中心にフィルムを収集。収蔵フィルム作品と外部借用作品による特集上映を連日開催。 サイレント映画の伴奏付上映等のイベントやワークショップも開催。 「ひろしまアニメーションシーズン」「広島国際映画祭」会場。
55	広島県	尾道市	おのみち映画資料館	●	－	－	－	－	－	－	
56	山口県	山口市	山口情報芸術センター〔YCAM〕		1	100	有	有	有	有	山口市内唯一の常設の上映施設として、新作を含めアート系作品を中心に上映。特集上映やゲストトーク、野外上映等のイベントも実施。
57	山口県	下関市	下関市立近代先人顕彰館 （田中絹代ぶんか館）	●	1	40				有	毎月「名画劇場」を開催。田中絹代に関する常設展示を行う。
58	香川県	小豆島町	二十四の瞳映画村 ギャラリー松竹座映画館	●	1	40				有	
59	高知県	高知市	高知県立美術館		1	399	有	有	無	有	春夏秋冬の年4回、特集上映を開催。
60	高知県	高知市	高知県立文学館	●	－	－	－	－	－	－	
61	福岡県	福岡市	福岡市総合図書館 映像ホール〔シネラ〕	●	1	246	有	有	有	有	公共のフィルムアーカイブ。アジア広域の映画を多数収蔵する他、地域の郷土映像の収集にも取り組む。映像ホールでは、収蔵フィルム作品と外部借用作品による特集上映を連日開催。
62	福岡県	北九州市	松永文庫	●	－	－	－	－	－	－	
63	沖縄県	那覇市	沖縄県立博物館・美術館	●	－	－	－	－	－	－	

映画館以外で行われる上映活動

自主上映団体、公共文化施設による上映については、概ね過去1-2年の活動実績をネット上で確認し、定期的な活動が確認された団体や会場を掲載している。

移動上映事業者による上映については、主要な移動上映事業者のサイトを確認することに加え、近年ヒット作品を上映した公共文化施設を検索するなどして適宜追加した。

上映会(上映団体)名

上映会や上映団体の名称。

上映活動分類

自主上映団体(会場借用)

地域のホール等を借りて行われる自主上映団体による上映活動

自主上映団体(自館)

上映団体自らがつくった上映のための場所で行われる自主上映団体による上映活動

自主上映団体(カフェ等)

カフェ等の飲食店や書店、商業施設の一部などを利用して行われる自主上映団体による上映活動

公共文化施設

公共文化施設の運営団体が主催し、自らが管理する公共ホール等で行う上映活動

移動上映・移動興行

移動上映事業者が公共施設等の会場を借りて行う上映活動

会場

上映活動が行われる会場。会場が不明の場合は「-」としている。移動上映事業者が主催者であることが確認できる場合、事業者名を()内に記載している。

周辺環境

上映会が行われている市町村から30キロ圏内に映画館がない場合、「*」を入れている。

上映頻度

上映頻度が明らかな場合のみ記載している。

映画館以外で行われる上映活動一覧

no.	都道府県	市区町村	上映会（上映団体）名	上映活動分類	会場	周辺環境	上映頻度
1	北海道	札幌市	札幌映画サークル	自主上映団体（会場借用）	札幌市教育文化会館ほか		年6回以上
2	北海道	札幌市	クリエイティブスタジオシネマシリーズ	公共文化施設	札幌文化芸術劇場hikaru （札幌市民交流プラザ／クリエイティブスタジオ）		年1-2回
3	北海道	札幌市	映画の空気	自主上映団体（カフェ等）	札幌市内のホールや商業施設など		
4	北海道	札幌市	キノマド	自主上映団体（カフェ等）	札幌市内の商業施設や寺院など		
5	北海道	函館市	函館映画鑑賞協会	自主上映団体（会場借用）	函館市民会館ほか		
6	北海道	旭川市	まちなかぶんか小屋 映画部	自主上映団体（会場借用）	まちなかぶんか小屋		
7	北海道	帯広市	おびひろ自主上映の会	自主上映団体（会場借用）	上士幌町生涯学習センターほか		年6回以上
8	北海道	滝川市	滝川映画サークル	自主上映団体（会場借用）	滝川市音楽公民館ほか	*	年4回
9	北海道	砂川市	優秀映画鑑賞推進事業／ゆうシアター	公共文化施設	砂川市地域交流センターゆう	*	
10	北海道	厚岸町	名作鑑賞会	公共文化施設	本の森 厚岸情報館	*	毎月
11	青森県	青森市	カダール映画の日	公共文化施設	青森市男女共同参画プラザ カダール		年5-6回
12	青森県	青森市	優秀映画鑑賞推進事業／映画上映会	公共文化施設	青森県立美術館		年1-2回
13	青森県	弘前市	harappa映画館	自主上映団体（会場借用）	スペースアストロ弘前ほか		
14	青森県	八戸市	白マドの灯	自主上映団体（会場借用）	八戸市美術館ほか		
15	青森県	むつ市	新作シネマ上映会	移動上映・移動興行	下北文化会館（オカダプランニング）	*	年3-4回
16	岩手県	盛岡市	岩手県立美術館（アート・シネマ上映会）	公共文化施設	岩手県立美術館		毎月
17	岩手県	盛岡市	〈映画の力〉プロジェクト	自主上映団体（会場借用）	盛岡市内各所		
18	岩手県	盛岡市	素敵なまちの映画会	公共文化施設	盛岡という星で BASE STATIONほか		年2回
19	岩手県	宮古市	シネマリーン上映会（元映画館）	自主上映団体（会場借用）	DORA ホール（旧シネマリーン）（みやこ映画生協）	*	毎月
20	岩手県	宮古市	シネマ・デ・アエル プロジェクト	自主上映団体（自館）	シネマ・デ・アエル	*	毎月
21	岩手県	大船渡市	新作シネマ上映会	移動上映・移動興行	大船渡市民文化会館 リアスホール（オカダプランニング）	*	
22	岩手県	久慈市	久慈新作シネマ上映会	移動上映・移動興行	久慈市文化会館 アンバーホール（オカダプランニング）	*	
23	岩手県	遠野市	ねこぜでキネマ	自主上映団体（会場借用）	遠野市立図書館 視聴覚ホール	*	
24	岩手県	釜石市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	釜石市民ホール TETTO		
25	岩手県	釜石市	新作映画会	移動上映・移動興行	釜石市民ホール TETTO（オカダプランニング）		
26	岩手県	釜石市	CINEPIT	公共文化施設	釜石情報交流センター 釜石PIT	*	
27	岩手県	二戸市	新作映画会	移動上映・移動興行	二戸市民文化会館（オカダプランニング）	*	
28	岩手県	奥州市	ティータイムシネマ倶楽部	公共文化施設	胆沢文化創造センター		
29	岩手県	奥州市	シネマささら座	公共文化施設	江刺体育文化会館 ささらホール		
30	岩手県	奥州市	ワンコインシネマ	公共文化施設	前沢ふれあいセンター		年2回
31	岩手県	紫波町	シワキネマ上映会ほか	自主上映団体（会場借用）	オガールプラザほか		年4-5回
32	岩手県	洋野町	善映館（元映画館）	その他	善映館		
33	岩手県	一戸町	萬代館（元映画館）	公共文化施設	萬代館		
34	宮城県	石巻市	シアターキネマティカ / 石巻名画座	自主上映団体（自館）	シアターキネマティカ		
35	宮城県	塩釜市	遊遊シアターフレンズ	自主上映団体（会場借用）	塩釜市遊ホール		
36	宮城県	気仙沼市	新作映画会	移動上映・移動興行	気仙沼市民会館（オカダプランニング）	*	
37	宮城県	加美町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	加美町中新田文化会館 中新田パッパホール		
38	秋田県	秋田市	アウトクロップ・シネマ	自主上映団体（自館）	アウトクロップ・シネマ		毎月
39	秋田県	能代市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	能代山本広域交流センター / 能代市文化会館		
40	秋田県	横手市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	横手市ふれあいセンターかまくら館		
41	秋田県	大館市	優秀映画鑑賞推進事業 / 小中学生映画鑑賞会	公共文化施設	大館市民文化会館		
42	秋田県	男鹿市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	男鹿市民文化会館		
43	秋田県	大仙市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	大仙市中仙市民会館		
44	秋田県	北秋田市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	北秋田市文化会館 ファルコン		
45	秋田県	にかほ市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	仁賀保労青少年ホーム	*	
46	山形県	山形市	里山で映画を楽しむ会	自主上映団体（会場借用）	はらっぱ里山保育園		
47	山形県	山形市	おやこ映画の会 カンガルーのポケット	自主上映団体（会場借用）	やまぎん県民ホール / フォーラム山形ほか		
48	山形県	米沢市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	米沢市市民文化会館		
49	山形県	鶴岡市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	荘銀タクト鶴岡（鶴岡市文化会館）		
50	山形県	酒田市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	酒田市ひらたタウンセンター		
51	山形県	酒田市	平田映画サークル あるふぁ'85	自主上映団体（会場借用）	酒田市ひらたタウンセンター		
52	山形県	酒田市	庄内ドキュメンタリー映画友の会	自主上映団体（会場借用）	鶴岡まちなかキネマほか		
53	山形県	新庄市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	新庄市民プラザ	*	
54	山形県	川西町	映画上映会	公共文化施設	川西町フレンドリープラザ		年1-2回
55	福島県	福島市	映画上映会 / 優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	福島県文化センター		
56	福島県	会津若松市	会津新作シネマ上映会	移動上映・移動興行	會津風雅堂（オカダプランニング）	*	
57	福島県	会津若松市	会津シネマウィーク / 優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	会津若松市文化センター	*	

no.	都道府県	市区町村	上映会(上映団体)名	上映活動分類	会場	周辺環境	上映頻度
58	福島県	いわき市	小名浜座を楽しむ会	その他	小名浜座(元映画館)		
59	福島県	白河市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	白河市東文化センター	*	
60	福島県	喜多方市	喜多方ブラザ名画座	公共文化施設	喜多方プラザ	*	
61	福島県	南相馬市	映画上映会	その他	朝日座(元映画館)		
62	福島県	会津美里町	会津新富座とともに歩む会	その他	会津新富座(元映画館)		
63	福島県	本宮市	本宮映画劇場	その他	本宮映画劇場(元映画館)		
64	福島県	川内村	かわうちCINEMO	自主上映団体(カフェ等)	Café Amazon(カフェ・アメイゾン)川内村店 ((株)サンアメニティ)		
65	福島県	大熊町	おおくまCINEMO	公共文化施設	大熊町交流施設linkる大熊 多目的ホール ((株)サンアメニティ)		
66	福島県	双葉町	ふたばCINEMO	公共文化施設	双葉町産業交流センター((株)サンアメニティ)		
67	福島県	浪江町	なみえコミュニティシネマ	自主上映団体(会場借用)	請戸漁港ほか		
68	茨城県	水戸市	310+1 cinema project	自主上映団体(会場借用)	Café + zakka + gallery Minerva ほか		毎月
69	茨城県	水戸市	映画上映会	移動上映・移動興行	県民文化センター ザ・ヒロサワ・シティ会館 (茨城映画センター)		毎月
70	茨城県	水戸市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	水戸芸術館ACM劇場		
71	茨城県	水戸市	悠悠映画塾	移動上映・移動興行	茨城県立県民文化センターほか(茨城映画センター)		毎月
72	茨城県	日立市	映画上映会	公共文化施設	日立市民会館		
73	茨城県	土浦市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	土浦市民会館 クラフトシビックホール土浦		
74	茨城県	結城市	アクロス映画上映会	公共文化施設	結城市民文化センターアクロス		
75	茨城県	笠間市	トモア駅前シネマ	公共文化施設	笠間市地域交流センターともべTomoa(茨城映画センター)		毎月
76	茨城県	取手市	映画上映会	公共文化施設	取手市立市民会館		年1-2回
77	茨城県	牛久市	エスカードシネマクラブ	自主上映団体(会場借用)	牛久市中央生涯学習センター (ゆめまちネット 牛久市ボランティア市民活動ネットワーク)		毎月
78	茨城県	常陸大宮市	映画上映会	公共文化施設	常陸大宮市文化センター		
79	茨城県	神栖市	新作上映会	公共文化施設	神栖市文化センター		
80	栃木県	鹿沼市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	鹿沼市民文化センター		
81	栃木県	真岡市	真岡市芸術鑑賞会映画会	公共文化施設	真岡市民会館		年7回
82	栃木県	野木町	エニスホール映画会/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	野木町文化会館		年1-2回
83	群馬県	桐生市	きりゅうシネクラブ	自主上映団体(会場借用)	桐生市内各所		毎月
84	群馬県	桐生市	るうふ倶楽部名画鑑賞会(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	桐生市市民文化会館		
85	群馬県	富岡市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	群馬県立自然史博物館		
86	群馬県	甘楽町	かんらシネマ(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	甘楽町文化会館		
87	埼玉県	さいたま市	彩の国シネマスタジオ	自主上映団体(会場借用)	彩の国さいたま芸術劇場/埼玉会館ほか (埼玉映画ネットワーク)		月2回程度
88	埼玉県	秩父市	名もなき名画館プロジェクト	自主上映団体(会場借用)	珈琲 千茶古 別館コンチェルトほか県内各所		
89	埼玉県	所沢市	所沢ミューズ シネマ・セレクション	公共文化施設	所沢市民文化センターミューズ		年1回
90	埼玉県	本庄市	本庄シネマクラブ	自主上映団体(会場借用)	はにぼんプラザ		年6回
91	埼玉県	春日部市	春日部よい映画をみる会	自主上映団体(会場借用)	春日部市中央公民館		年1回
92	埼玉県	深谷市	親子映画上映会	自主上映団体(会場借用)	深谷市民文化会館		
93	埼玉県	上尾市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	上尾市コミュニティセンター		
94	埼玉県	越谷市	サンシティ名画劇場	公共文化施設	越谷サンシティ		毎月
95	埼玉県	和光市	シネサロン・和光	自主上映団体(会場借用)	和光市民文化センター		年2回
96	埼玉県	桶川市	映画上映会	公共文化施設	桶川市民ホール		
97	千葉県	千葉市	ちしろだい映画会	公共文化施設	千城台コミュニティセンター		年6回
98	千葉県	千葉市	月曜名画座/木曜名画座	公共文化施設	千葉市生涯学習センター		毎月
99	千葉県	佐倉市	旅するシネマ	公共文化施設	西志津ふれあいセンター		
100	千葉県	東金市	映画上映会/ TOGANE シネマ	公共文化施設	東金文化会館	*	年6回
101	千葉県	勝浦市	Küste de シネマ	移動上映・移動興行	勝浦市芸術文化交流センター Küste(イウォレ京成)	*	毎月
102	千葉県	市原市	映画名作劇場	公共文化施設	市原市市民会館		
103	千葉県	鎌ヶ谷市	きらりシネマ	公共文化施設	きらり鎌ヶ谷市民会館		年3-4回
104	千葉県	君津市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	君津市民文化ホール		
105	千葉県	君津市	きみぶんシネマ	移動上映・移動興行	君津市民文化ホール(どこでもシネマ/東映エージェンシー)		毎月
106	千葉県	浦安市	うらやすドキュメンタリーテーク	自主上映団体(会場借用)	J:COM 浦安音楽ホール		
107	千葉県	浦安市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	浦安市文化会館		
108	千葉県	印西市	文化ホール映画会	公共文化施設	印西市文化ホール		
109	千葉県	匝瑳市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	匝瑳市市民ふれあいセンター		
110	千葉県	山武市	優秀映画鑑賞推進事業/シネフィルのぎく	公共文化施設	成東文化会館 のぎくプラザ		

no.	都道府県	市区町村	上映会（上映団体）名	上映活動分類	会場	周辺環境	上映頻度
111	東京都	文京区	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	響きの森文京公会堂		
112	東京都	江東区	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	江東区古石場文化センター		
113	東京都	目黒区	C/NE 名画座	自主上映団体（カフェ等）	C/NE 路地裏文化会館（レストラン）		
114	東京都	渋谷区	サム・フリークス	自主上映団体（会場借用）	ユーロライブ		年3-4回
115	東京都	渋谷区ほか	旅する映画館 café de cinéma	自主上映団体（カフェ等）	都内のカフェやバーなど		
116	東京都	杉並区	シアターパッカス	自主上映団体（自館）	シアターパッカス		毎月
117	東京都	豊島区	シネマハウス大塚	自主上映団体（自館）	シネマハウス大塚		毎月
118	東京都	板橋区	高島平ドキュメンタリー映画を見る会	自主上映団体（会場借用）	高島平図書館		年2-3回
119	東京都	板橋区	おおやまレトロシネマ	公共文化施設	板橋区立文化会館		年3回
120	東京都	府中市	TUFS Cinema	公共文化施設	東京外国語大学 プロメテウスホール		毎月
121	東京都	調布市	調布シネサロン	公共文化施設	調布グリーンホール		毎月
122	東京都	調布市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	調布市文化会館たづくり		
123	東京都	町田市	映画上映会	公共文化施設	和光大学ボプリホール鶴川		年1-2回
124	東京都	町田市	ほんわかシネマ	公共文化施設	町田市民フォーラム		
125	東京都	町田市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	町田市民ホール		
126	東京都	小平市	ルネこだいら市民名画座	公共文化施設	小平市民文化会館 ルネこだいら		
127	東京都	日野市	ななおシネマ倶楽部	公共文化施設	七生公会堂		年2回
128	東京都	国立市	くにたち映画館	自主上映団体（カフェ等）	アグレアブル・ミュゼ（ギャラリー）ほか		毎月
129	東京都	多摩市	キノコヤ	自主上映団体（カフェ等）	キノコヤ		月1-2回
130	東京都	多摩市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	多摩市立永山公民館 ベルブ永山		
131	神奈川県	横浜市	映画上映会	公共文化施設	神奈川近代文学館		年4-5回
132	神奈川県	横浜市	横浜キネマ倶楽部	自主上映団体（会場借用）	横浜市旭公会堂		年4-5回
133	神奈川県	横浜市	シネマトツカ	自主上映団体（カフェ等）	こまちカフェ		
134	神奈川県	相模原市	ここ de シネマ	自主上映団体（会場借用）	相模原南市民ホール（ここずっと）		年2-3回
135	神奈川県	相模原市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	相模原南市民ホール		
136	神奈川県	相模原市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	相模原市立労働者総合福祉センター サン・エールさがみはら		年1回
137	神奈川県	鎌倉市	鎌倉で映画と共に歩む会	自主上映団体（会場借用）	鎌倉生涯学習センター		
138	神奈川県	鎌倉市	グリーンシネマかまくら	自主上映団体（自館）	グリーンシネマかまくら		毎月4日間
139	神奈川県	鎌倉市	かまくら銀幕上映会	移動上映・移動興行	鎌倉芸術館（ドリーム・アーツ）		毎月
140	神奈川県	茅ヶ崎市	シネマテーク茅ヶ崎	自主上映団体（会場借用）	茅ヶ崎市立図書館		年2-3回
141	神奈川県	茅ヶ崎市	茅ヶ崎良い映画を観る会	自主上映団体（会場借用）	茅ヶ崎市民文化会館		毎月
142	神奈川県	座間市	県央シネマ／優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	座間市立市民文化会館 ハーモニーホール座間		毎月
143	神奈川県	南足柄市	あしからシネマ	公共文化施設	南足柄市文化会館		毎月
144	新潟県	上越市	上越映画鑑賞会	自主上映団体（会場借用）	高田世界館		年5回
145	新潟県	魚沼市	魚沼映画の専門店／優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	魚沼市響きの森文化会館（←魚沼市小出郷文化会館）	*	毎月
146	新潟県	南魚沼市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	南魚沼市民会館	*	年1-2回
147	新潟県	胎内市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	胎内市産業文化会館		
148	富山県	富山市	富山映画サークル協議会	自主上映団体（会場借用）	—		
149	富山県	富山市	とやま映像祭／おやこシアター	公共文化施設	富山県映像センター		
150	富山県	高岡市	Uホール上映会	公共文化施設	ふくおか総合文化センター Uホール		年1-2回
151	富山県	魚津市	映画上映会	公共文化施設	新川文化ホール	*	
152	富山県	黒部市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	黒部市国際文化センター		
153	富山県	南砺市	メモリアシアター倶楽部	公共文化施設	南砺市井波総合文化センター	*	
154	富山県	南砺市	じょうはな名画座	公共文化施設	南砺市城端伝統芸能会館	*	年6回
155	富山県	南砺市	ホールシネマ・イン・富山	公共文化施設	南砺市井波総合文化センター		年2回
156	石川県	金沢市	広坂シネマクラブ 映画上映会ほか	公共文化施設	金沢 21 世紀美術館		
157	石川県	小松市	ウィークエンドシアター in うらら／優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	石川県小松市團十郎芸術劇場うらら		毎月
158	石川県	加賀市	みに・キネマ加賀／加賀市映画を観る会	自主上映団体（会場借用）	加賀市文化会館		
159	福井県	福井市	みに・キネマ福井上映会	自主上映団体（会場借用）	テアトルサンク		年2-3回
160	福井県	福井市	ゆうあいシアター／夏休みこどもシアター	公共文化施設	福井県生活学習館 ユー・アイふくい		年4回
161	福井県	越前市	映画上映会	公共文化施設	越前市文化センター		年2-3回
162	福井県	越前市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	越前市いまだて芸術館		
163	福井県	美浜町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	美浜町生涯学習センターなびあす		
164	福井県	若狭町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	パレア若狭音楽ホール		
165	山梨県	都留市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	都の杜うぐいすホール	*	
166	山梨県	北杜市	北杜自主上映会	自主上映団体（会場借用）	八ヶ岳やまびこホール／須玉ふれあい館ほか		年3-4回
167	山梨県	身延町	身延シネマ鑑賞会	公共文化施設	身延町総合文化会館		

no.	都道府県	市区町村	上映会(上映団体)名	上映活動分類	会場	周辺環境	上映頻度
168	山梨県	富士川町	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	富士川町ますほ文化ホール		
169	長野県	松本市	松本CINEMAセレクト	自主上映団体(会場借用)	まつもと市民芸術館/松本市中央公民館ほか		毎週末
170	長野県	松本市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	松本市波田文化センター		年2-3回
171	長野県	上田市	うえだ子どもシネマクラブ	自主上映団体(自館)	上田映劇		月2回
172	長野県	伊那市	赤石商店シネマスタジオ	自主上映団体(自館)	赤石商店		毎月5日程度
173	長野県	下諏訪町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	下諏訪総合文化センター		
174	長野県	木曽町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	木曽文化公園文化ホール	*	
175	岐阜県	高山市	ワンコインシネマ	公共文化施設	高山市民文化会館	*	毎月
176	岐阜県	高山市	モンデウスシアター	公共文化施設	高山市位山交流広場モンデウスパーク		毎週末
177	岐阜県	羽鳥市	夏休み子ども映画会	公共文化施設	不二羽鳥文化センター		
178	岐阜県	可児市	アーラキネマ倶楽部/アーラ映画祭ほか	公共文化施設	可児市文化創造センター アーラ		毎月
179	静岡県	静岡市	夢町座	自主上映団体(自館)	夢町座		年4-6回
180	静岡県	静岡市	清水映画サークル協議会	自主上映団体(会場借用)	はーとびあ清水/岡生涯学習交流館ほか		
181	静岡県	浜松市	新作映画上映	移動上映・移動興行	みをつくし文化センター(天竜光明会館)		
182	静岡県	浜松市	新作映画上映	移動上映・移動興行	なゆた浜北(天竜光明会館)		
183	静岡県	浜松市	新作映画上映	移動上映・移動興行	雄踏文化センター(天竜光明会館)		
184	静岡県	沼津市	スキマcinema	自主上映団体(会場借用)	沼津市内各所		
185	静岡県	掛川市	新作映画上映	移動上映・移動興行	掛川市生涯学習センター(天竜光明会館)		
186	静岡県	下田市	映画上映会	公共文化施設	下田市民文化会館	*	年6回
187	静岡県	御前崎市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	御前崎市民会館	*	
188	愛知県	名古屋市	シアター・カフェ	自主上映団体(自館)	シアター・カフェ		毎月10日程度
189	愛知県	春日井市	かすがい日曜シネマ	公共文化施設	文化フォーラム春日井/春日井市東部市民センター		年10回
190	三重県	伊勢市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	伊勢市生涯学習センター いせトピア		
191	三重県	松阪市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	農業屋コミュニティ文化センター		
192	三重県	尾鷲市	せぎやまロードショー	公共文化施設	尾鷲市民文化会館	*	
193	三重県	亀山市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	亀山市文化会館		
194	滋賀県	大津市	子ども映画会	公共文化施設	大津市生涯学習センター		毎月
195	滋賀県	長浜市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	木之本スティックホール	*	
196	滋賀県	長浜市	宮前シネマ	自主上映団体(カフェ等)	宮前舎(cinema)		毎月
197	滋賀県	近江八幡市	G-NETシネマ	公共文化施設	男女共同参画センター G-NETしが		年6回
198	滋賀県	甲賀市	碧水ホール	公共文化施設	碧水ホール		
199	滋賀県	東近江市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	東近江市立八日市文化芸術会館		
200	京都府	京都市	京都国立近代美術館	公共文化施設	京都国立近代美術館		
201	京都府	京都市	京都映画サークル協議会	自主上映団体(会場借用)	京都教育文化センター		毎月
202	京都府	京都市	ビースムービーメント実行委員会	自主上映団体(会場借用)	ひと・まち交流館 京都		
203	京都府	京都市	WOT(ワット=What's On Thursday)	公共文化施設	同志社大学寒梅館 ハーディーホール		年10回以上
204	京都府	京都市	映画上映会	移動上映・移動興行	京都市北文化会館(京都映画センター)		
205	京都府	綾部市	中丹映画大好き劇場	公共文化施設	中丹文化会館		毎月
206	京都府	宇治市	宇治セレクトシネマ	公共文化施設	宇治市文化センター(京都映画センター)		毎月
207	京都府	宮津市	みやづシネマ劇場	公共文化施設	宮津会館・みやづ歴史の館	*	年6回
208	京都府	城陽市	ハルクシネマ	公共文化施設	文化パルク城陽		年5-6回
209	京都府	長岡京市	映画上映会	公共文化施設	長岡京記念文化会館		年6回
210	京都府	八幡市	シネマin八幡	公共文化施設	八幡市文化センター		年4回
211	京都府	京丹後市	丹後映画大好き劇場ほか	公共文化施設	京都府丹後文化会館	*	年3-4回
212	京都府	木津川市	あじさいシアター	公共文化施設	木津川市加茂文化センター		
213	京都府	久御山町	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	久御山町ふれあい交流館 ゆうホール		
214	京都府	精華町	けいはんな映画劇場	公共文化施設	けいはんなプラザ		年6回
215	大阪府	大阪市	つるみヒューマンシアター	公共文化施設	鶴見区民センター		
216	大阪府	大阪市	あべのコミュニティシネマ	公共文化施設	阿倍野区民センター		
217	大阪府	大阪市	ウィークエンドシネマ	公共文化施設	大阪平和センター ビースおおさか		毎週末
218	大阪府	堺市	東文化名画座/子ども映画会	公共文化施設	堺市東文化会館		年3-4回
219	大阪府	堺市	名画鑑賞会	公共文化施設	堺市梅文化会館		年3-4回
220	大阪府	豊中市	とよキネマ	公共文化施設	豊中市文化芸術センター		毎月
221	大阪府	豊中市	すてっぷ映画上映会	公共文化施設	とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ		年6回
222	大阪府	枚方市	映画上映会	公共文化施設	枚方市総合文化芸術センター		
223	大阪府	茨木市	話題の映画@茨木	公共文化施設	茨木市市民総合センター(大阪映画センター)		年6回
224	大阪府	茨木市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	茨木市市民総合センター		
225	大阪府	富田林市	すばる映画祭 ~Film Collection	公共文化施設	すばるホール		年4回

no.	都道府県	市区町村	上映会（上映団体）名	上映活動分類	会場	周辺環境	上映頻度
226	大阪府	富田林市	とんだばやしシネマプラス	自主上映団体（カフェ等）	じないまち Lab.（貸しスペース）		
227	大阪府	寝屋川市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	寝屋川市立地域交流センター		
228	大阪府	河内長野市	シネマ de ラブリー	公共文化施設	河内長野市立文化会館 ラブリーホール		年6回
229	大阪府	大東市	日曜フィルム	公共文化施設	大東市立文化情報センター		
230	大阪府	大東市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	大東市立文化ホール		
231	大阪府	和泉市	弥生の風名作シネマ劇場	公共文化施設	和泉シティプラザ弥生の風ホール		
232	大阪府	柏原市	リビエール映画上映会	公共文化施設	柏原市民文化会館		年2-3回
233	大阪府	東大阪市	いこうらむシネマ	公共文化施設	東大阪男女共同参画センター		年4回
234	兵庫県	神戸市	神戸映画サークル協議会	自主上映団体（会場借用）	神戸朝日ホール		毎月
235	兵庫県	神戸市	KEN-Vi名画サロン/県美シネマクラシックほか	公共文化施設	兵庫県立美術館 ミュージアムホール（兵庫県映画センター）		毎月
236	兵庫県	神戸市	なでしこ月曜シネマ	公共文化施設	神戸市立西区文化センター なでしこホール		年6回
237	兵庫県	神戸市	映画上映会	公共文化施設	神戸市立北区文化センター すずらんホール		
238	兵庫県	神戸市	心かよわす親子映画大会	公共文化施設	神戸文化ホール		年1回
239	兵庫県	神戸市	アムスタ!神戸	その他	アムスタ!神戸		毎週末
240	兵庫県	姫路市	姫路シネマクラブ	自主上映団体（会場借用）	姫路キャスパホール		年6回
241	兵庫県	明石市	明石シネマクラブ	自主上映団体（会場借用）	明石市生涯学習センター		年6回
242	兵庫県	西宮市	フレンテ映画サロン	公共文化施設	西宮市フレンテホール		年10回
243	兵庫県	西宮市	名画鑑賞会	公共文化施設	西宮市民会館		年2-3回
244	兵庫県	芦屋市	いきいきシネマサロン	公共文化施設	芦屋市ルナ・ホール		年6回
245	兵庫県	芦屋市	多文化共生映画上映会/ヒューマンライツシアターほか	公共文化施設	芦屋市上宮川文化センター		年6回以上
246	兵庫県	伊丹市	伊丹ラスタ映画倶楽部	公共文化施設	伊丹市ラスタホール		
247	兵庫県	相生市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	相生市文化会館		
248	兵庫県	豊岡市	豊岡映画センター定期上映会	自主上映団体（会場借用）	豊岡劇場ほか		毎月
249	兵庫県	加古川市	加古川シネマクラブ	自主上映団体（会場借用）	加古川総合文化センター		年6回
250	兵庫県	宝塚市	シネマ イン ソリオ	公共文化施設	宝塚ソリオホール		年2-3回
251	兵庫県	川西市	みつなか名画シアター（優秀映画鑑賞推進事業）	公共文化施設	川西市みつなかホール		
252	兵庫県	小野市	小野名画劇場	公共文化施設	うるおい交流館 エクラホール		年10回
253	兵庫県	朝来市	映画上映会	公共文化施設	生野マインホール		
254	兵庫県	宍粟市	映画上映会	公共文化施設	山崎文化会館	*	
255	兵庫県	加東市	かとうきらめきシネマ	公共文化施設	加東市滝野文化会館	*	年3-4回
256	兵庫県	たつの市	サタデーシネマ	公共文化施設	たつの市総合文化会館 赤とんぼ文化ホール		毎月
257	兵庫県	市川町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	市川町文化センター		
258	奈良県	奈良市	ならシネマテーク/なら国際映画祭	自主上映団体（会場借用）	奈良市ならまちセンター市民ホールほか		毎月
259	奈良県	奈良市	奈良シネマクラブ	自主上映団体（会場借用）	奈良市西部会館		毎月
260	奈良県	大和郡山市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	やまと郡山城ホール		
261	奈良県	生駒市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	南コミュニティセンターせせらぎ		
262	和歌山県	和歌山市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	和歌山県民文化会館		
263	和歌山県	有田市	紀文ホール映画会	公共文化施設	有田市民会館紀文ホール	*	年6回
264	和歌山県	田辺市	キノクマ座（旧「ふたかわ超学校 音楽室シネマ」）	自主上映団体（カフェ等）	クリシュナカフェなど		毎月
265	和歌山県	かつらぎ町	映画上映会	公共文化施設	かつらぎ総合文化会館 あじさいホール	*	
266	和歌山県	那智勝浦町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	那智勝浦町体育文化会館		年1回
267	鳥取県	鳥取市	えいがの時間	公共文化施設	わらべ館		
268	鳥取県	鳥取市	映画上映会	公共文化施設	鳥取県立博物館		
269	鳥取県	鳥取市	映画上映会	公共文化施設	鳥取市文化ホール		
270	鳥取県	米子市	米子シネマクラブ	自主上映団体（会場借用）	米子コンベンションセンター		年6回
271	鳥取県	米子市	米子名画シアター（優秀映画鑑賞推進事業）	公共文化施設	米子市公会堂		
272	鳥取県	境港市	シンフォニー・ムービー・シアター	公共文化施設	境港市文化ホール		年2回
273	鳥取県	大山町	ええがな大山	自主上映団体（会場借用）	なかやま温泉館内 生活想像館わくわくホール		毎月
274	島根県	松江市	松江キネマ倶楽部	自主上映団体（会場借用）	松江市市民活動センター		年4-6回
275	島根県	松江市	クララとクロダのひょっこりシネマ	自主上映団体（会場借用）	島根県民会館ほか		年4-5回
276	島根県	松江市	さんびるシアター	公共文化施設	松江テルサ		毎月
277	島根県	松江市	島根県民会館名画劇場	公共文化施設	島根県民会館		毎月
278	島根県	松江市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	松江市美保閨海の学苑ふるさと創生館		
279	島根県	益田市	グラントワシアター	公共文化施設	島根県芸術文化センター グラントワ		毎月
280	島根県	安来市	映画上映会	公共文化施設	安来市民会館		
281	島根県	雲南市	映画上映会	公共文化施設	雲南市木次経済文化会館 チェリヴァーホール		
282	島根県	川本町	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	悠邑ふるさと会館	*	
283	島根県	津和野町	ミニ上映会	公共文化施設	日原にぎわい創出拠点かわべ	*	

no.	都道府県	市区町村	上映会(上映団体)名	上映活動分類	会場	周辺環境	上映頻度
284	岡山県	岡山市	岡山映画鑑賞会	自主上映団体(会場借用)	岡山県天神山文化プラザ		年2-4回
285	岡山県	岡山市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	岡山県天神山文化プラザ		年1-2回
286	岡山県	倉敷市	湊シネマ	公共文化施設	倉敷市玉島市民交流センター		毎月
287	岡山県	津山市	ベルフォーレシアター「まちなかシネマ」	公共文化施設	ベルフォーレ津山	*	毎月
288	岡山県	笠岡市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	笠岡市保健センター		年1-2回
289	岡山県	新見市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	新見市新見文化交流館	*	
290	岡山県	真庭市	中央図書館シアター月イチ映画会ほか	公共文化施設	真庭市立中央図書館 映像シアター	*	毎月
291	岡山県	真庭市	ビクトリシシアター	自主上映団体(自館)	ビクトリシシアター	*	
292	岡山県	早島町	ハヤシネマ	公共文化施設	早島町 ゆるびの舎		毎月
293	広島県	広島市	広島映画サークル協議会	自主上映団体(会場借用)	広島県立美術館		年6回
294	広島県	広島市	Social Book Cafe ハチドリ舎	自主上映団体(カフェ等)	Social Book Cafe ハチドリ舎		毎月
295	広島県	広島市	1日映画館	公共文化施設	安芸区民文化センター		年1-2回
296	広島県	広島市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	安佐南区民文化センター		年1回
297	広島県	呉市	呉映画サークル	自主上映団体(会場借用)	呉ボロボロシアター		年6回
298	広島県	三原市	リージョン映画のつどい/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	三原リージョンプラザ		毎月
299	広島県	福山市	福山映画サークル	自主上映団体(会場借用)	ー		
300	広島県	三次市	きりりんシネマ倶楽部	公共文化施設	三次市民ホール きりり((株)フューレック)	*	毎月
301	広島県	東広島市	くららシネマ	公共文化施設	東広島芸術文化ホール くらら		
302	広島県	廿日市市	ウッドワンさくらびあシネマ	公共文化施設	ウッドワンさくらびあ		年6回
303	山口県	下関市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	下関市民会館		
304	山口県	山口市	西京シネクラブ	自主上映団体(会場借用)	山口市民会館		毎月
305	山口県	岩国市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	岩国市周東文化会館	*	
306	山口県	光市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	光市民ホール		
307	山口県	長門市	ルネッサシネマ～市民名画劇場/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	ルネッサながと		年3-4回
308	徳島県	徳島市	徳島でみれない映画をみる会	自主上映団体(会場借用)	徳島市シビックセンター		毎月
309	徳島県	徳島市	土曜映画会/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	徳島県立21世紀館		毎月
310	徳島県	鳴門市	なるとDeシネマ	公共文化施設	鳴門市うずしお会館		年2回
311	徳島県	小松島市	映画上映会	公共文化施設	ミリカホール		年6回以上
312	徳島県	阿南市	あなんで映画をみよう会	自主上映団体(会場借用)	阿南市文化会館		年4回
313	徳島県	吉野川市	映画上映会	公共文化施設	吉野川市アメニティセンター		
314	徳島県	美馬市	ミライズ映画祭	公共文化施設	美馬市地域交流センター ミライズ	*	毎月
315	香川県	高松市	映画の楽校	自主上映団体(会場借用)	香川県民ホール		
316	香川県	高松市	高松シネマクラブ	自主上映団体(会場借用)	高松国分寺ホールほか(香川映画センター)		毎月
317	香川県	善通寺市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	善通寺市民会館		
318	愛媛県	松山市	マネキネマ	自主上映団体(会場借用)	松山市男女共同参画推進センター コムズ		年4-5回
319	愛媛県	松山市	iDo(アイドゥ)	自主上映団体(会場借用)	宇和島市生涯学習センターほか県内各所		
320	愛媛県	松山市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	松山市総合福祉センター		
321	愛媛県	松山市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	松山市総合コミュニティセンター		
322	愛媛県	今治市	今治映画鑑賞会	自主上映団体(会場借用)	ー		
323	愛媛県	宇和島市	美沼名画座	公共文化施設	宇和島市立コスモスホール三間	*	毎月
324	愛媛県	宇和島市	パフィオ上映会/名作劇場(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	宇和島市生涯学習センター	*	
325	愛媛県	八幡浜市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	八幡浜市民文化活動センター	*	
326	愛媛県	新居浜市	モモンガ映写室	自主上映団体(会場借用)	あかがねミュージアム		
327	愛媛県	新居浜市	あかがねシネマ	公共文化施設	あかがねミュージアム		
328	愛媛県	四国中央市	観音寺映画観賞会	公共文化施設	観音寺市民会館	*	年5-6回
329	愛媛県	四国中央市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	四国中央市市民文化ホール	*	
330	愛媛県	内子町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	森文旭館		
331	高知県	高知市	市民映画会	公共文化施設	高知市文化プラザ/高知県立美術館		年2回
332	高知県	高知市	県文シネマ日和/優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	高知県立県民文化ホール(シネマ四国)		毎月
333	高知県	高知市	とさびくシアター/シネマ四国	自主上映団体(自館)	とさびくシアター/シネマ四国		
334	高知県	高知市	ゴトゴトシネマ	自主上映団体(カフェ等)	喫茶メフィストフェレスほか		毎月5日程度
335	高知県	土佐市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	土佐市複合文化施設		年1回
336	高知県	宿毛市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	宿毛市立中央公民館		
337	高知県	土佐清水市	昭和シネマ劇場(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	土佐清水市立市民文化会館	*	
338	高知県	香南市	映画上映会	公共文化施設	香南市弁天座		年1-2回
339	高知県	田野町	懐かし映画劇場(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	田野町ふれあいセンター		
340	高知県	四万十町	映画上映会	公共文化施設	窪川四万十会館		

no.	都道府県	市区町村	上映会（上映団体）名	上映活動分類	会場	周辺環境	上映頻度
341	福岡県	福岡市	福岡映画サークル協議会	自主上映団体（会場借用）	福岡市総合図書館/ 福岡市男女共同参画推進センターアミカス		年5-6回
342	福岡県	福岡市	九州日仏学館シネクラブ	公共文化施設	九州日仏学館		毎月
343	福岡県	北九州市	北九州映画サークル協議会	自主上映団体（会場借用）	小倉昭和館/小倉コロナシネマワールド/戸畑市民会館		毎月
344	福岡県	北九州市	門司シネマフェスタ（優秀映画鑑賞推進事業）	公共文化施設	北九州市立門司市民会館		
345	福岡県	八女市	おりなすシアター	公共文化施設	八女市民会館　はちひめホール		年1-2回
346	福岡県	小郡市	小郡名画座（優秀映画鑑賞推進事業）	公共文化施設	小郡市文化会館		
347	福岡県	春日市	ふれぶんシネマ倶楽部	公共文化施設	春日市ふれあい文化センター		毎月
348	福岡県	大野城市	まどかぴあシネマランド/キッズシネマ	公共文化施設	大野城まどかぴあ		毎月
349	福岡県	宗像市	ユリックス名画シアター	公共文化施設	宗像ユリックス		毎月
350	福岡県	那珂川市	リバーサイド0円シアター	公共文化施設	中ノ島公園四季彩館		毎月
351	佐賀県	佐賀市	教育会館映画上映会	公共文化施設	佐賀県教育会館		年2回
352	佐賀県	鳥栖市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	鳥栖市民文化会館		
353	佐賀県	武雄市	たけお映画まつり/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	武雄市文化会館	*	
354	佐賀県	鹿島市	映画上映会/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	鹿島市生涯学習センター　エイブル	*	年1-2回
355	佐賀県	基山町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	基山町民会館		
356	長崎県	長崎市	映画上映会	公共文化施設	長崎市チトセビアホール		
357	長崎県	佐世保市	映画上映会	公共文化施設	アルカスSASEBO		
358	長崎県	大村市	シーハットシネマ	公共文化施設	大村市体育文化センター　シーハットおおむら	*	年2回
359	長崎県	川棚町	映画上映会/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	川棚町公会堂		年1-2回
360	熊本県	荒尾市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	荒尾総合文化センター		
361	熊本県	玉名市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	玉名市民会館		
362	熊本県	山鹿市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	八千代座	*	
363	熊本県	長洲町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	ながす未来館		
364	熊本県	山都町	山都町よい映画を観る会	自主上映団体（会場借用）	山都町立図書館	*	毎月
365	大分県	大分市	コンパルホール映画上映会（優秀映画鑑賞推進事業）	公共文化施設	コンパルホール		
366	大分県	中津市	月イチ映画館コアシネマ/山国で映画を観る会ほか	公共文化施設	コアやまくに		毎月
367	大分県	中津市	なつかしの映画観賞会（優秀映画鑑賞推進事業）ほか	公共文化施設	中津文化会館		
368	大分県	日田市	なつかしの映画観賞会（優秀映画鑑賞推進事業）	公共文化施設	日田市民文化会館		
369	大分県	佐伯市	ツキイチ映画	公共文化施設	さいき城山桜ホール	*	毎月
370	大分県	竹田市	グランツ映画館“玉洗劇場”	公共文化施設	竹田市総合文化ホール	*	年6回
371	大分県	豊後大野市	エイトピア映画上映会	公共文化施設	豊後大野市総合文化センター　エイトピアおおの	*	年2-4回
372	大分県	国東市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	くにさき総合文化センター		
373	大分県	九重町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	九重文化センター		
374	宮崎県	門川町	映画上映会/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	門川町総合文化会館		
375	宮崎県	美郷町	美郷キネマ（優秀映画鑑賞推進事業）	公共文化施設	美郷町北郷総合交流センター		
376	鹿児島県	阿久根市	映画上映会	公共文化施設	阿久根市民交流センター（風テラスあくね）	*	
377	沖縄県	名護市	やんばるシネマ	自主上映団体（会場借用）	名護市立中央図書館	*	毎月

IV 資料 | 都道府県別上映施設一覧

地方別上映施設地図

都道府県別上映施設一覧

北海道・東北
関東
中部
近畿
中国・四国
九州・沖縄

本年鑑のデータ作成にあたっては、以下の資料を参照した。

人口

各都道府県が発表している「人口推計」を参照。(各年10月1日現在)
*北海道のみ「人口推計」が毎月末であるため、9月30日現在のデータを使用している。

スクリーン数及び映画館数

『映画上映活動年鑑』(コミュニティシネマセンター刊)
『日本映画産業統計』(日本映画製作者連盟) <http://www.eiren.org/toukei/data.html>
『映画年鑑』別冊「映画館名簿」[1993～2023] (時事映画通信社刊/キネマ旬報社刊)
*各年の1月1日から12月31日まで営業があった映画館をスクリーン数及び映画館数の対象としている。
「映画館名簿」に掲載されていない映画館でも、恒常的な上映を行っている場合は加え、また、掲載されている上映施設でも上映実績が確認できなかった場合は載せていないものがある。

観客数、興行収入、都道府県別観客数

『日本映画産業統計』(日本映画製作者連盟) <http://www.eiren.org/toukei/data.html>
「特定サービス産業実態調査報告書 映画館編」(経済産業省) <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/tokusabizi/>
「経済センサス 活動調査」(総務省・経済産業省 5年ごとに実施) 令和3年経済センサス活動調査サービス関連産業に関する集計
『日本映画産業統計』における観客数には都道府県別の内訳は示されていないが、2019年まで公表されていた「特定サービス産業実態調査報告書 映画館編」及び「経済センサス 活動調査」には、都道府県別観客数が記載されている。
2023年のデータでは、2015～2023年に発表された「特定サービス産業実態調査報告書」及び「経済センサス 活動調査」における、各年の観客数計に対して各都道府県の観客数が占める割合の平均値を使用。これを「日本映画産業統計」に乗じることによって各都道府県の観客数の概算値を算出した。

映画祭

コミュニティシネマセンターが独自に調査したリストを毎年更新している。

公共の映画専門施設(シネマテーク)及び映画資料館など

コミュニティシネマセンターが独自に調査したリストに、「全国映画資料館録2020」(国立映画アーカイブ、映像産業振興機構編)をあわせて作成している。

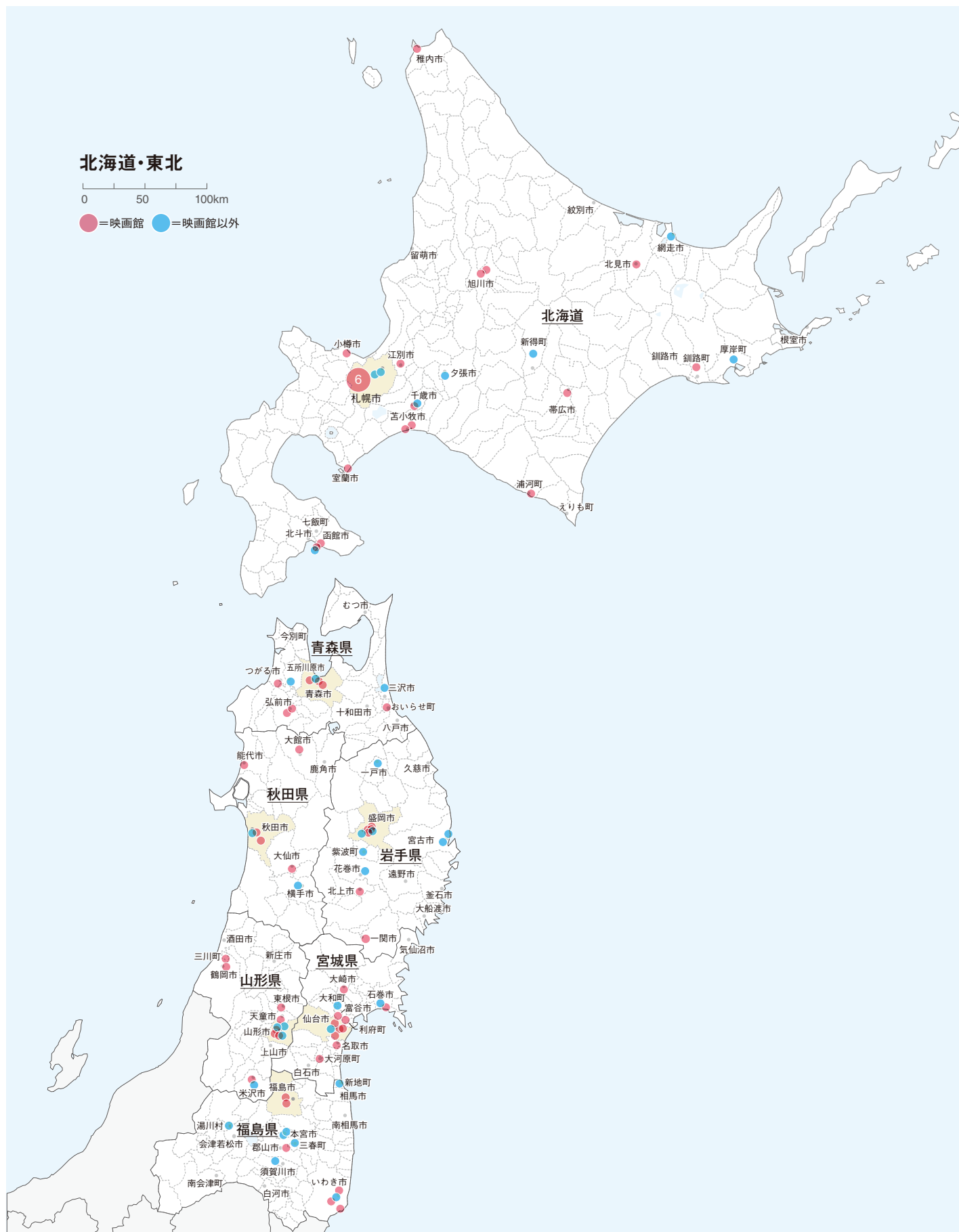
映画館以外で行われる上映活動

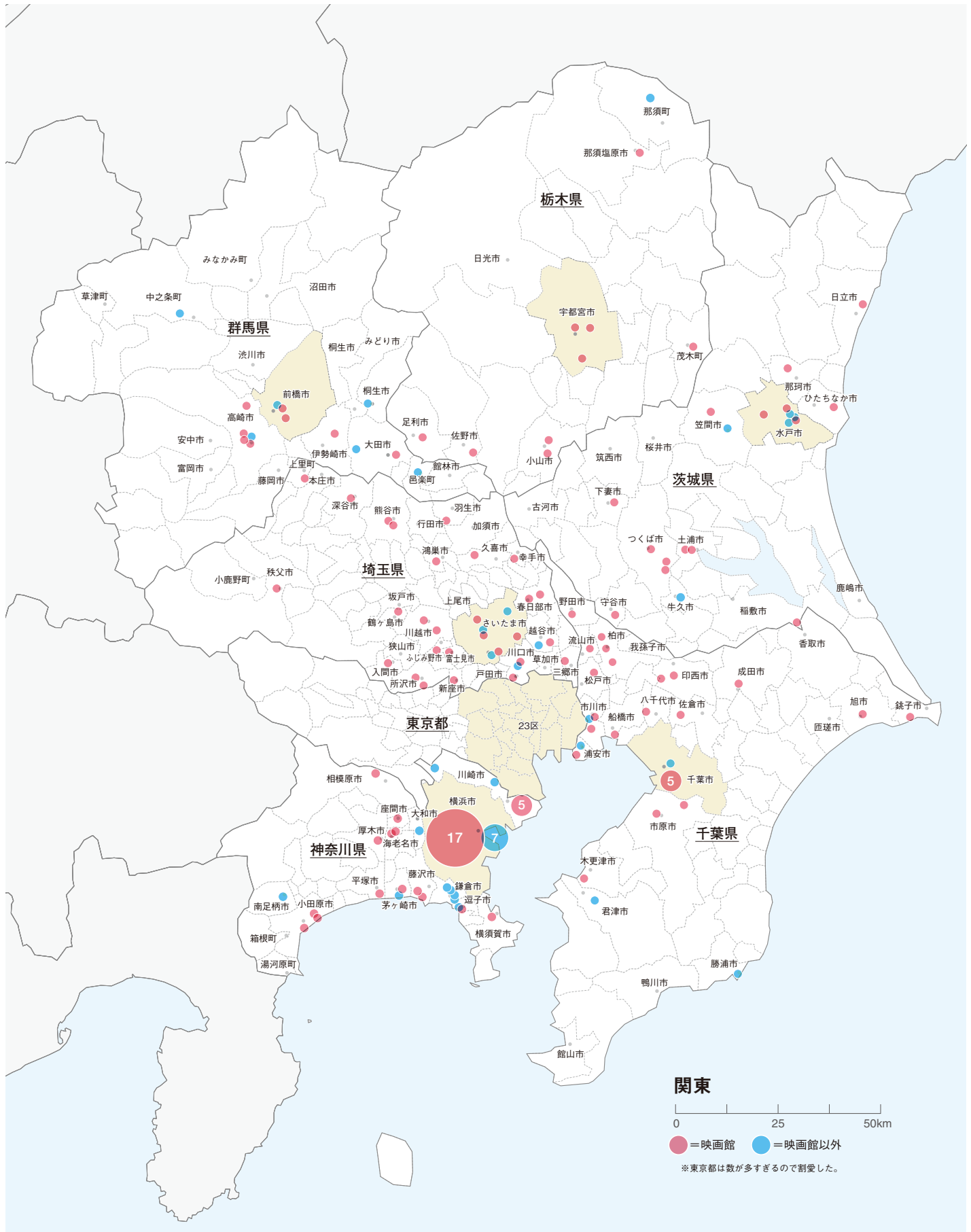
コミュニティシネマセンターが独自に調査したリストに新たに確認できた定期的に活動を行う上映団体・上映活動を追加している。
さらに、同一会場における月1回以上程度の活動が確認できた上映団体・活動をA、その他をBと分類している。

北海道・東北

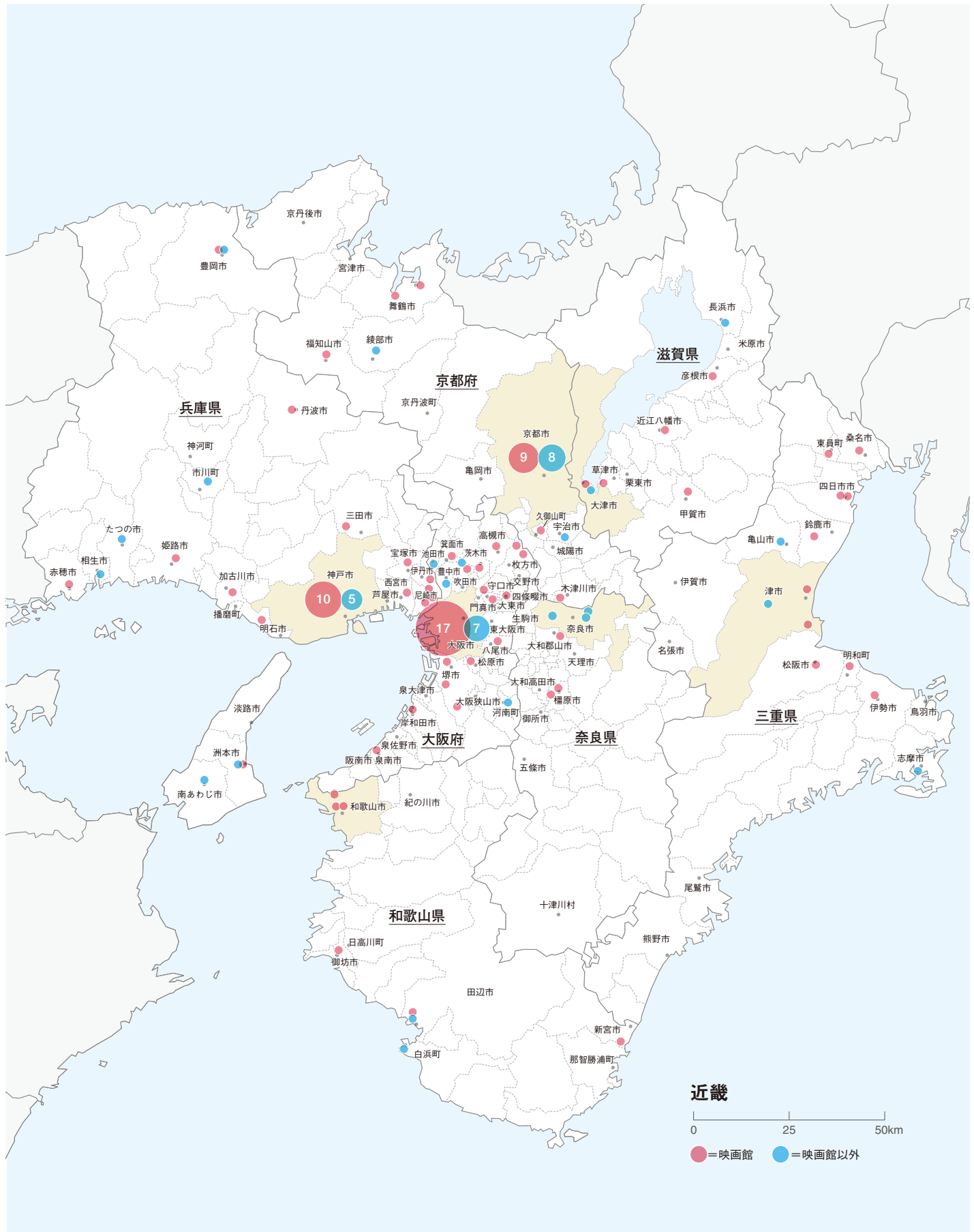
0 50 100km

●=映画館 ●=映画館以外

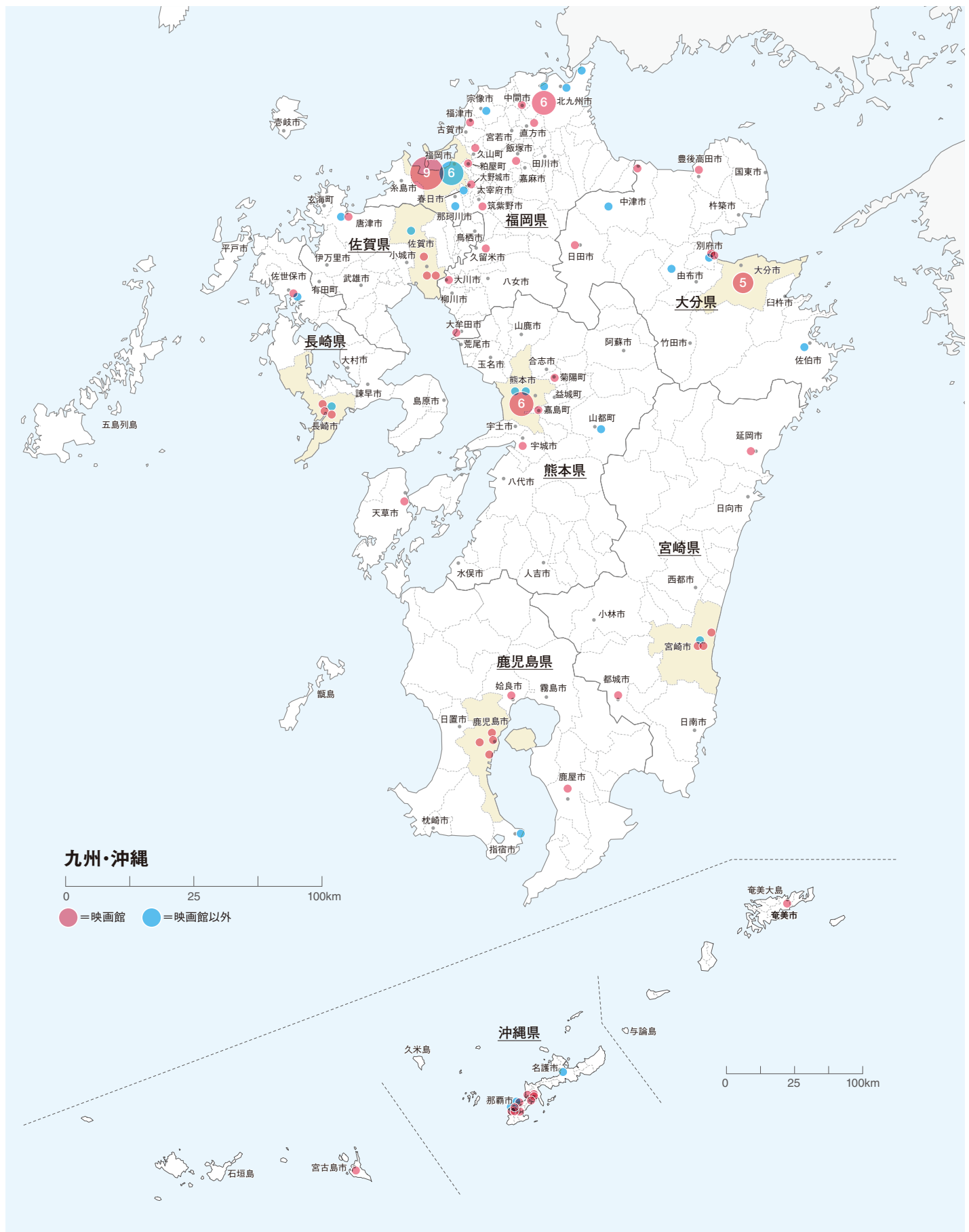












北海道

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
北海道人口	5,054,468	5,104,657	5,406,862	-352,394
札幌市(県庁所在地)人口	1,956,543	1,958,200	1,941,055	15,488
北海道のスクリーン数	114	115	122	-8
1スクリーン当り人口	44,337	44,388	44,319	
映画館年間観客数(概算)	3,670,000	4,040,000	2,950,000	
年間映画鑑賞回数	0.7	0.8	0.5	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		
札幌市	ユナイテッド・シネマ札幌	1	11	1	11	ユナイテッド・シネマ札幌	1	11
	札幌シネマフロンティア	1	12	1	12	札幌シネマフロンティア	1	12
	TOHOシネマズすすきの ^{※1}	1	10	1	10			
						ディノスシネマズ札幌劇場 ^{※2}	1	5
小樽市	イオンシネマ小樽	1	7	1	7	イオンシネマ小樽	1	7
旭川市	シネプレックス旭川	1	7	1	7	シネプレックス旭川	1	7
						ディノスシネマズ旭川 ^{※3}	1	7
	イオンシネマ旭川駅前	1	8	1	8	イオンシネマ旭川駅前 ^{※4}	1	8
帯広市	シネマ太陽帯広	1	5	1	5	シネマ太陽帯広	1	5
北見市	イオンシネマ北見	1	7	1	7	イオンシネマ北見	1	7
苫小牧市	ディノスシネマズ苫小牧	1	7	1	7	ディノスシネマズ苫小牧	1	7
江別市	イオンシネマ江別	1	8	1	8	イオンシネマ江別	1	8
恵庭市						恵庭・東宝シネマ8 ^{※5}	1	8
釧路町	イオンシネマ釧路	1	8	1	8	イオンシネマ釧路	1	8
	シネマコンプレックス 合計	11	90	11	90	合計	13	100

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン			
札幌市	シアターキノ	ミ	1	2	1	2	シアターキノ	1	2
	サツゲギ※6	元既	1	4	1	4			
函館市	シネマアイリス	ミ	1	1	1	1	シネマアイリス	1	1
苫小牧市	シネマ・トールス	ミ	1	1	1	1	シネマ・トールス	1	1
浦河町	浦河大黒座※7	元既	1	1					
ミニシアター/名画座 合計			5	9	4	8	合計	3	4

既存興行館		2024 映画館 スクリーン			2023 映画館 スクリーン			2015 映画館 スクリーン		
函館市	シネマ太陽函館	既	1	4	1	4	シネマ太陽函館	1	4	
室蘭市	ディノスシネマズ室蘭	既	1	4	1	4	ディノスシネマズ室蘭	1	4	
夕張市							アディーレ会館ゆうばり※8	1	1	
稚内市	T・ジョイ稚内	新既	1	3	1	3	T・ジョイ稚内	1	3	
千歳市	新千歳空港シアター※9	新既	1	3	1	3	じゃがボックルシアター※9	1	3	
浦河町	浦河大黒座※7	既			1	1	浦河大黒座	1	1	
既存興行館 合計			4	14	5	15	合計	6	16	

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		
札幌市	マッシュシアター※10	1	1	1	1	札幌有楽シネマ※11	1	1
	札東劇場※12			1	1	札東劇場	1	1
	成人映画館 合計	1	1	2	2	合計	2	2
	シネマコンプレックス以外 合計	10	24	11	25	合計	11	22

		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		11	90	11	90	13	100	-2	-10
ミニシアター/名画座 合計		5	9	4	8	3	4	2	5
既存興行館 合計		4	14	5	15	6	16	-2	-2
成人映画館 合計		1	1	2	2	2	2	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計		10	24	11	25	11	22	-1	2
北海道合計		21	114	22	115	24	122	-3	-8

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
札幌市	札幌国際短編映画祭	国際映画祭	2006年	2024年10月11日～14日(会場)	サツゲキ	
	HOKKAIDO FOOD FILM FESTIVAL	地域映画祭	2024年	2024年11月22日～24日	東1丁目劇場施設 / サツゲキ / TOHO シネマズすすきのほか	2024年第1回開催。
	プラザ映像祭	地域映画祭	2019年	—	—	2023年、2024年開催なし。
函館市	函館港イルミネーション映画祭	地域映画祭	1995年	2024年12月6日～8日	函館市公民館 / クレモナホール	
夕張市	ゆうばり国際ファンタスティック映画祭	国際映画祭	1990年	2024年10月24日～27日	合宿の宿ひまわり	
網走市	網走映画祭	地域映画祭	2007年	2024年11月9日～10日	エコーセンター 2000	「オホーツク網走フィルムフェスティバル」から「網走映画祭」に名称変更(2020)。
稚内市	わっかない白夜映画祭	地域映画祭	2014年	2024年6月15日～16日	T・ジョイ稚内	
千歳市	新千歳空港国際アニメーション映画祭	国際映画祭	2014年	2024年11月1日～5日	新千歳空港ターミナルビル	
新得町	新・しんとく空想の森映画祭	地域映画祭	1995年	2024年10月12日～14日	新内ホール	「SHINTOKU 空想の森映画祭」から「新・しんとく空想の森映画祭」に名称変更(2022)。

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
—	—	—

映画館以外で行われる上映活動 A	会場
厚岸町 名作鑑賞会	本の森 厚岸情報館

映画館以外で行われる上映活動B		会場
札幌市	札幌映画サークル	札幌市教育文化会館ほか
	クリエイティブスタジオシネマシリーズ	札幌文化芸術劇場 hikaru(札幌市民交流プラザ/クリエイティブスタジオ)
	映画の空気	札幌市内のホールや商業施設など
	キノマド	札幌市内の商業施設や寺院など
函館市	函館映画鑑賞協会	函館市民会館ほか
旭川市	まちなかぶんか小屋 映画部	まちなかぶんか小屋
帯広市	おびひろ自主上映の会	上土幌町生涯学習センターほか
滝川市	滝川映画サークル	滝川市音楽公民館ほか
砂川市	優秀映画鑑賞推進事業 / ゆうシアター	砂川市地域交流センターゆう

※1
2023年11月閉館

※2
2019年6月閉館

※3
2022年9月(株)スガイディノスが民事再生法の適用を受け、同社が運営していた映画館4館のうち「ディノスシネマズ旭川」が閉館。

※4
2015年3月閉館

※5
2015年5月閉館

※6
「札幌東宝プラザ」(2スクリーン)→「札幌プラザ2・5」(貸ホール / 2スクリーン / 2011年8月～2020年3月)→「サツゲキ」2020年7月閉館

※7
2024年より既存興行館からミニシアターに移行。

※8
2015年5月閉館

※9
「じゃがポックルシアター」(2011～2016)「ソラシネマちとせ」(2016～2019)「新千歳空港シアター」(2019～)

※10
2016年5月閉館 「札幌有楽シアター」(～2021)「マッシュシアター」(2021～) 2024年3月閉館

※11
2016年5月「札幌有楽シネマ」閉館、「札幌有楽シアター」に移転。

※12
2023年3月閉館

青森県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
青森県人口	1,164,752	1,184,558	1,308,265	-143,513
青森市(県庁所在地)人口	260,554	264,428	287,648	-27,094
青森県のスクリーン数	35	36	44	-9
1スクリーン当り人口	33,279	32,904	29,733	
映画館年間観客数(概算)	780,000	880,000	600,000	
年間映画鑑賞回数	0.7	0.7	0.5	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
青森市	イオンシネマ新青森 ^{※1}	1	8				
						青森コロナワールド ^{※1}	1
弘前市	イオンシネマ弘前	1	6	1	6	イオンシネマ弘前	1
八戸市	フォーラム八戸 ^{※2}			1	9	フォーラム八戸	1
つがる市	シネマヴィレッジ8・イオン柏	1	8	1	8	シネマヴィレッジ8・イオン柏	1
おいらせ町	TOHOシネマズおいらせ下田	1	7	1	7	TOHOシネマズおいらせ下田	1
シネマコンプレックス 合計		4	29	4	30	合計	5
							38

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター / 名:名画座 / 元既:元・既存館 / 既:既存館 / 新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

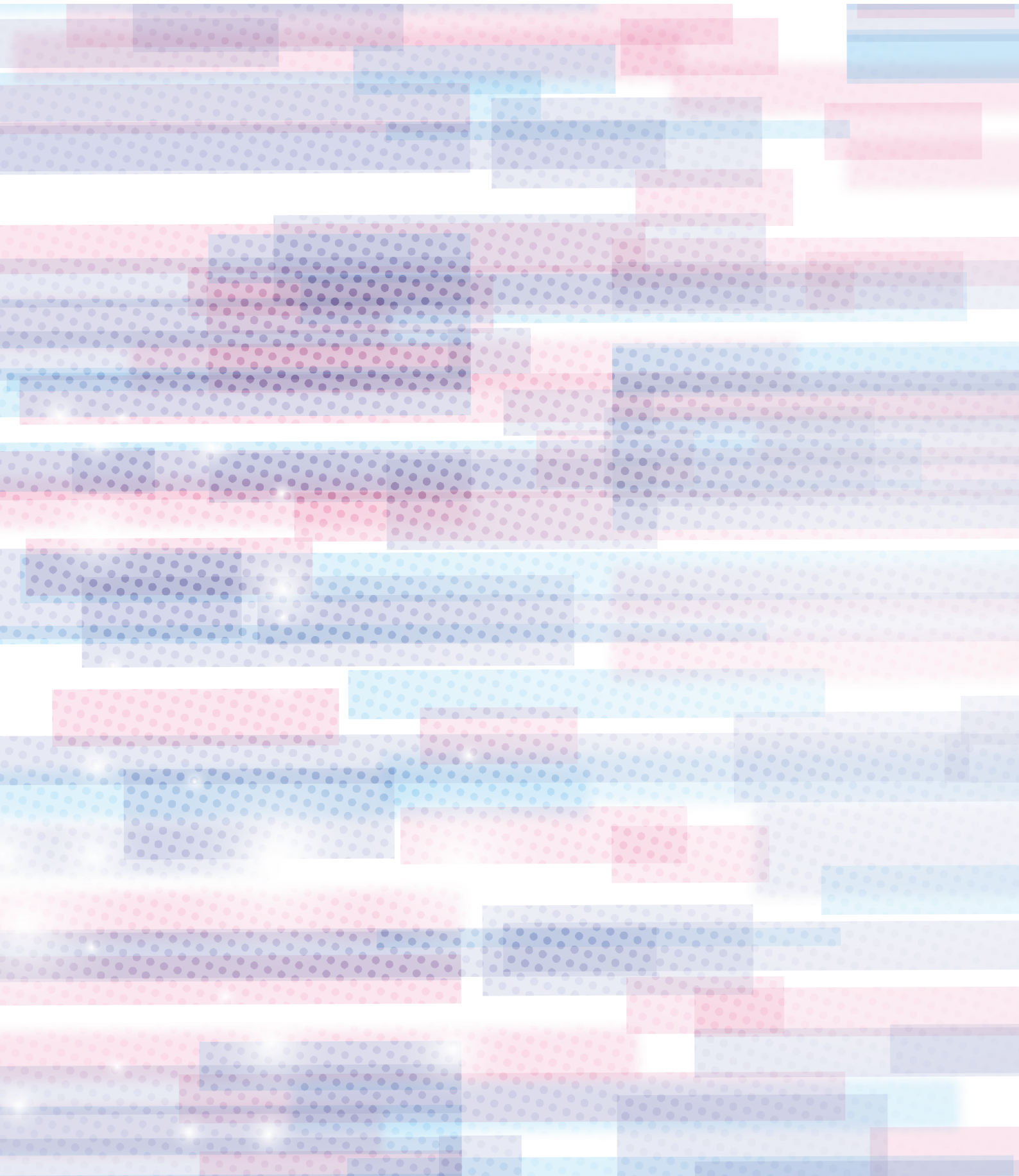
ミニシアター / 名画座		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
青森市	シネマディクト	元既	1	1	2	シネマディクト	1
			2				2
ミニシアター / 名画座 合計		1	2	1	2	合計	1
							2
既存興行館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
青森市	青森松竹アムゼ	既	1	1	3	青森松竹アムゼ	1
			3				3
既存興行館 合計		1	3	1	3	合計	1
							3
成人映画館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
弘前市	テアトル弘前 ^{※3}		1	1	1	テアトル弘前	1
			1				1
成人映画館 合計		1	1	1	1	合計	1
							1
シネマコンプレックス以外 合計		3	6	3	6	合計	3
							6

		2024	2023	2015	増減(2015→2024)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
シネマコンプレックス 合計		4	29	4	30	5 38 -1 -9
ミニシアター / 名画座 合計		1	2	1	2	1 2 0 0
既存興行館 合計		1	3	1	3	1 3 0 0
成人映画館 合計		1	1	1	1	1 1 0 0
シネマコンプレックス以外 合計		3	6	3	6	3 6 0 0
青森県 合計		7	35	7	36	8 44 -1 -9

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
青森市	青森インターナショナルLGBTフィルムフェスティバル	地域映画祭	2006年	2024年7月6日	青森市男女共同参画プラザ カダール	1日のみの開催。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
五所川原市	五所川原市立図書館		—	—		
三沢市	三沢市寺山修司記念館		—	—		
映画館以外で行われる上映活動A			会場			
青森市	カダール映画の日		青森市男女共同参画プラザ	カダール		
映画館以外で行われる上映活動B			会場			
青森市	優秀映画鑑賞推進事業 / 映画上映会		青森県立美術館			
弘前市	harappa映画館		スペースアストロ弘前ほか			
八戸市	白マドの灯		八戸市美術館ほか			
むつ市	新作シネマ上映会		下北文化会館(オカダプランニング)			

※1
2021年8月「青森コロナワールド」閉館、2024年3月跡地に「イオンシネマ新青森」開館。
※2
2023年1月閉館
※3
2024年3月閉館



岩手県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
岩手県人口	1,144,407	1,163,024	1,279,594	-135,187
盛岡市(県庁所在地)人口	280,902	283,674	297,631	-16,729
岩手県のスクリーン数	21	23	25	-4
1スクリーン当り人口	54,496	50,566	51,184	
映画館年間観客数(概算)	480,000	570,000	390,000	
年間映画鑑賞回数	0.4	0.5	0.3	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
盛岡市	フォーラム盛岡	1	7	1	7	1	7
北上市	イオンシネマ北上	1	7	1	7	1	7
シネマコンプレックス 合計		2	14	2	14	2	14

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター / 名:名画座 / 元既:元・既存館 / 既:既存館 / 新既:新しくできた既存興行館 (2005年以降開館)

ミニシアター / 名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		
盛岡市	アート・フォーラム※ ¹	ミ		1	2	アート・フォーラム	1	2
	盛岡中央映画劇場※ ²	元既	－	1				
	盛岡ルミエール※ ³	元既	－	1		盛岡ルミエール※ ³	－	1
	ミニシアター / 名画座 合計		0	2	1	3	合計	1

既存興行館		2024		2023		2015			
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
盛岡市	盛岡中央映画劇場※2	既	1	1	1	2	盛岡中央映画劇場	1	2
	盛岡ルミエール※3	既	1	1	1	1	盛岡ルミエール※3	1	1
	盛岡ピカデリー	既	1	1	1	1	盛岡ピカデリー	1	1
宮古市							みやこシネマリー※4	1	2
一関市	一関シネプラザ	既	1	2	1	2	一関シネプラザ	1	2
	既存興行館 合計		4	5	4	6	合計	5	8

成人映画館	2024		2023		2015		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	4	7	5	9	合計	6	11

	2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	増減(2015⇒2024)	
シネマコンプレックス 合計	2	14	2	14	2	14	0	0
ミニシアター / 名画座 合計	0	2	1	3	1	3	-1	-1
既存興行館 合計	4	5	4	6	5	8	-1	-3
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	4	7	5	9	6	11	-2	-4
岩手県 合計	6	21	7	23	8	25	-2	-4

※1
2023年4月「アートフォーラム」閉館。2025年に後継館開館予定。

※2
2スクリーンのうち1スクリーンをミニシアター、1スクリーンを既存興行館としてカウント。

※3
2スクリーンのうち1スクリーンをミニシアター、1スクリーンを既存興行館としてカウント。

※4
2016年9月閉館。閉館後はDORAホールとして貸館上映を継続。

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
盛岡市	盛岡かわとみどりのほしぞら映画祭	地域映画祭	2020 年	2024 年 9 月 7 日	なかのはし 1-1 ひろば	1 日のみの開催。
宮古市	ジモトエイゾウサイ	地域映画祭	2011 年	—	—	2023 年、2024 年 開催なし。
花巻市	イーハトーブフェスティバル	地域映画祭	2016 年	2024 年 8 月 31 日～9 月 1 日	宮沢賢治童話村	
一戸町	カシオペア映画祭	地域映画祭	1996 年	2024 年 10 月 13 日	萬代館	1 日のみの開催。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
—			—	—		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
盛岡市	岩手県立美術館（アート・シネマ上映会）	岩手県立美術館				
	〈映画の力〉プロジェクト	盛岡市内各所				
宮古市	シネマリーン上映会（元映画館）	DORA ホール（旧シネマリーン）（みやこ映画生協）				
	シネマ・デ・アエル プロジェクト	シネマ・デ・アエル				
紫波町	シワキネマ上映会ほか	オガールプラザほか				
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
盛岡市	素敵なまちの映画会	盛岡という星で BASE STATION ほか				
大船渡市	新作シネマ上映会	大船渡市民文化会館 リアスホール（オカダプランニング）				
久慈市	久慈新作シネマ上映会	久慈市文化会館 アンバーホール（オカダプランニング）				
遠野市	ねこぜでキネマ	遠野市立図書館 視聴覚ホール				
釜石市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	釜石市民ホール TETTO				
	CINEPIT	釜石情報交流センター 釜石 PIT				
二戸市	新作映画会	二戸市民文化会館（オカダプランニング）				
奥州市	ティータイムシネマ倶楽部	胆沢文化創造センター				
	シネマささら座	江刺体育文化会館 ささらホール				
	ワンコインシネマ	前沢ふれあいセンター				
洋野町	善映館（元映画館）	善映館				
一戸町	萬代館（元映画館）	萬代館				

宮城県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
宮城県人口	2,247,139	2,263,552	2,333,899	-86,760
仙台市(県庁所在地)人口	1,096,168	1,097,814	1,082,159	14,009
宮城県のスクリーン数	77	77	64	13
1スクリーン当り人口	29,184	29,397	36,467	
映画館年間観客数(概算)	2,390,000	2,550,000	2,450,000	
年間映画鑑賞回数	1.1	1.1	1.0	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
仙台市	TOHOシネマズ仙台 ^{※1}	1	9	1	9		
	MOVIX仙台	1	10	1	10	1	10
石巻市	イオンシネマ石巻	1	8	1	8	1	8
名取市	イオンシネマ名取	1	10	1	10	1	10
大崎市	シネマ・リオネ古川	1	6	1	6	1	6
富谷市	109シネマズ富谷	1	10	1	10	1	10
大河原町	ユナイテッド・シネマ フォルテ宮城大河原 ^{※2}	1	7	1	7		
利府町	イオンシネマ新利府 ^{※3}	1	11	1	11		
						MOVIX利府 ^{※4}	1 12
シネマコンプレックス 合計		8	71	8	71	6	56

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター / 名画座		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン		
仙台市	フォーラム仙台	ミ	1	3	1	3	フォーラム仙台	1	3
							桜井薬局セントラルホール※5	1	1
ミニシアター / 名画座 合計			1	3	1	3	合計	2	4

既存興行館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
仙台市	チネ・ラヴィータ※6	既	1 3	1 3	チネ・ラヴィータ	1 3	
既存興行館 合計			1 3	1 3	合計	1 3	

成人映画館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
石巻市					石巻日活パールシネマ※7	1	1
成人映画館 合計		0	0	0	合計	1	1
シネマコンプレックス以外 合計		2	6	2	合計	4	8

		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		8	71	8	71	6	56	2	15
ミニシアター/名画座 合計		1	3	1	3	2	4	-1	-1
既存興行館 合計		1	3	1	3	1	3	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	1	1	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計		2	6	2	6	4	8	-2	-2
宮城県 合計		10	77	10	77	10	64	0	13

※1
2016年7月開館

※2
2011年に閉館した「シアターフォルテ」跡に、2018年7月「ユナイテッド・シネマフォルテ宮城大河原」開館。

※3
2021年3月開館

※4
2020年10月閉館

※5
2018年6月閉館

※6
2024年3月閉館

※7
2017年6月閉館

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
仙台市	ショートピース! 仙台短篇映画祭	地域映画祭	2001 年	2024 年 9 月 21 日～23 日	せんだいメディアテーク	
	吉岡宿にしびりかの映画祭	地域映画祭	2018 年	2024 年 11 月 30 日～12 月 1 日	にしびりかの美術館	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
仙台市	せんだいメディアテーク		1	180		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
石巻市	シアターキネマティカ / 石巻名画座		シアターキネマティカ			
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
塩釜市	遊遊シアターフレンズ		塩竈市遊ホール			
気仙沼市	新作映画会		気仙沼市民会館(オカダプランニング)			
加美町	優秀映画鑑賞推進事業		加美町中新田文化会館 中新田パッパホール			

秋田県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
秋田県人口	896,225	913,514	1,023,151	-126,926
秋田市(県庁所在地)人口	296,286	300,096	316,808	-20,522
秋田県のスクリーン数	18	18	22	-4
1スクリーン当り人口	49,790	50,751	46,507	
映画館年間観客数(概算)	590,000	640,000	680,000	
年間映画鑑賞回数	0.7	0.7	0.7	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
秋田市	TOHOシネマズ秋田	1	8	1	8	1	8
大仙市	イオンシネマ大曲	1	5	1	5	1	5
シネマコンプレックス 合計		2	13	2	13	3	18

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター / 名:名画座 / 元既:元・既存館 / 既:既存館 / 新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター / 名画座		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
秋田市							
大館市	御成座 ^{※3}	元既	1	1	1	1	1
ミニシアター / 名画座 合計		1	1	1	1	2	3

既存興行館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
秋田市	アルヴェシアター ^{※1}	新既	1	3	1	3	
能代市	イオンファミリーシアター能代	既	1	1	1	1	1
既存興行館 合計		2	4	2	4	1	1

成人映画館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		3	5	3	5	3	4

	2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	増減(2015→2024) 映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	2	13	2	13	3	18	-1	-5
ミニシアター / 名画座 合計	1	1	1	1	2	3	-1	-2
既存興行館 合計	2	4	2	4	1	1	1	3
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	3	5	3	5	3	4	0	1
秋田県 合計	5	18	5	18	6	22	-1	-4

※1
2020年5月「ルミエール秋田」閉館、同年12月「アルヴェシアター」開館。スクリーン数5→3。

※2
2017年2月閉館

※3
2005年に閉館後、2014年に運営会社を変えて開館。

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
横手市	あきた十文字映画祭	地域映画祭	1991 年	2025 年 2 月 8 日～9 日	横手市十文字コミュニティセンター	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
—			—	—		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
秋田市	アウトクropp・シネマ	アウトクropp・シネマ				
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
能代市	優秀映画鑑賞推進事業	能代山本広域交流センター / 能代市文化会館				
横手市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	横手市ふれあいセンターかまくら館				
大館市	優秀映画鑑賞推進事業 / 小中学生映画鑑賞会	大館市民文化会館				
男鹿市	優秀映画鑑賞推進事業	男鹿市民文化会館				
大仙市	優秀映画鑑賞推進事業	大仙市中仙市民会館				
北秋田市	優秀映画鑑賞推進事業	北秋田市文化会館 ファルコン				
にかほ市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	仁賀保勤労青少年ホーム				

山形県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
山形県人口	1,010,776	1,026,228	1,123,891	-113,115
山形市(県庁所在地)人口	239,986	242,260	253,832	-13,846
山形県のスクリーン数	54	54	56	-2
1スクリーン当り人口	18,718	19,004	20,069	
映画館年間観客数(概算)	1,850,000	1,900,000	2,740,000	
年間映画鑑賞回数	1.8	1.9	2.4	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
山形市	フォーラム山形※1	1	4	1	4	1	4
	ソラリス	1	6	1	6	1	6
	MOVIE ON やまがた	1	10	1	10	1	10
米沢市	イオンシネマ米沢	1	7	1	7	1	7
天童市	イオンシネマ天童	1	9	1	9	1	9
東根市	フォーラム東根	1	8	1	8	1	8
三川町	イオンシネマ三川	1	7	1	7	1	7
シネマコンプレックス 合計		7	51	7	51	7	51

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター / 名:名画座 / 元既:元・既存館 / 既:既存館 / 新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター / 名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン			
山形市	フォーラム山形※1	ミ	－	1	－	1	フォーラム山形※1	－	1
鶴岡市	鶴岡まちなかキネマ※2	ミ	－	1	－	1	鶴岡まちなかキネマ※2	－	2
ミニシアター / 名画座 合計			0	2	0	2	合計	0	3

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
鶴岡市	鶴岡まちなかキネマ ^{※2}	新既	1 1	1 1	鶴岡まちなかキネマ ^{※2}	1 2	
既存興行館 合計			1 1	1 1	合計	1 2	

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		
成人映画館 合計		0	0	0	0	合計	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		1	3	1	3	合計	1	5

		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		7	51	7	51	7	51	0	0
ミニシアター / 名画座 合計		0	2	0	2	0	3	0	-1
既存興行館 合計		1	1	1	1	1	2	0	-1
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		1	3	1	3	1	5	0	-2
山形県 合計		8	54	8	54	8	56	0	-2

※1
5スクリーンのうち4スクリーンをシネマコンプレックス、1スクリーンをミニシアターとしてカウント。

※2
2010年開館、2020年5月閉館したが、運営母体を変え、スクリーン数を4→2に減らして2023年3月再開。1スクリーンずつミニシアター、既存興行館としてカウント。

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
山形市	山形国際ドキュメンタリー映画祭	国際映画祭	1989年	－	－	
	山形国際ムービーフェスティバル	地域映画祭	2005年	2024年11月8日～10日	MOVIE ON やまがた	
	山の恵みの映画たち	地域映画祭	2014年	2024年11月22日～24日	フォーラム山形	2024年4年ぶりに開催。
米沢市	伴淳記念映画祭	地域映画祭	2006年	2024年10月26日	米沢市民文化会館 大ホール	1日のみの開催。
鶴岡市	食の映画祭	地域映画祭	2016年	－	－	2023年、2024年開催なし。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
山形市	山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー		1	40		
映画館以外で行われる上映活動A			会場			
－			－			
映画館以外で行われる上映活動B			会場			
山形市	里山で映画を楽しむ会		はらっぱ里山保育園			
	おやこ映画の会 カンガルーのポケット		やまぎん県民ホール / フォーラム山形ほか			
米沢市	優秀映画鑑賞推進事業ほか		米沢市市民文化会館			
鶴岡市	優秀映画鑑賞推進事業ほか		荘銀タクト鶴岡(鶴岡市文化会館)			
酒田市	優秀映画鑑賞推進事業		酒田市ひらたタウンセンター			
	平田映画サークル あるふあ'85		酒田市ひらたタウンセンター			
	庄内ドキュメンタリー映画友の会		鶴岡まちなかキネマほか			
新庄市	優秀映画鑑賞推進事業ほか		新庄市民プラザ			
川西町	映画上映会		川西町フレンドリープラザ			

福島県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
福島県人口	1,743,199	1,766,912	1,914,039	-170,840
福島市(県庁所在地)人口	272,163	275,414	294,247	-22,084
福島県のスクリーン数	33	33	26	7
1スクリーン当り人口	52,824	53,543	73,617	
映画館年間観客数(概算)	930,000	1,060,000	630,000	
年間映画鑑賞回数	0.5	0.6	0.3	

映画館の状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
福島市	フォーラム福島 ^{※1}	1	5	1	5	1	5
	イオンシネマ福島 ^{※2}	1	9	1	9	1	7
郡山市	郡山テアトル	1	6	1	6	1	6
いわき市	ボレボレシネマズいわき小名浜 ^{※3}	1	9	1	9		
						ボレボレいわき ^{※3}	1 7
シネマコンプレックス 合計		4	29	4	29	4	25

シネマコンプレックス以外 ミ：ミニシアター / 名：名画座 / 元既：元・既存館 / 既：既存館 / 新既：新しくできた既存興行館（2005年以降開館）

ミニシアター / 名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン			
福島市	フォーラム福島 ^{※1}	ミ	—	1	—	1	フォーラム福島 ^{※1}	—	1
いわき市	湯本駅前ミニシアター Kuramoto ^{※4}	ミ	1	1	1	1			
ミニシアター / 名画座 合計			1	2	1	2	合計	0	1

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
いわき市	まちボレいわき※ ³	新既	1	2	1	2	
	既存興行館 合計		1	2	1	2	合計 0 0

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
成人映画館 合計		0	0	0	0	合計	0 0
シネマコンプレックス以外 合計		2	4	2	4	合計	0 1

		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		4	29	4	29	4	25	0	4
ミニシアター / 名画座 合計		1	2	1	2	0	1	1	1
既存興行館 合計		1	2	1	2	0	0	1	2
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		2	4	2	4	0	1	2	3
福島県 合計		6	33	6	33	4	26	2	7

※1
6スクリーンのうち5スクリーンをシネマコンプレックス、1スクリーンをミニシアターとしてカウント。

※2
2018年3月スクリーン数7→9

※3
2018年6月「ボレボレシネマズいわき小名浜」開館と同時に、2010年開館の「ボレボレいわき」がスクリーン数を7→2に減らし、「まちボレいわき」として開館。

※4
2019年4月開館、1ヶ月に2週間程度上映。

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
いわき市	いわきボレボレ映画祭	地域映画祭	2011年	－	ボレボレシネマズいわき小名浜 / いわき芸術文化交流会館アリオスほか	
本宮市	カナリヤ映画祭	地域映画祭	2013年	2024年10月6日	サンライズもとみや	1日のみの開催。
新地町	福島こどものみらい映画祭	地域映画祭	2008年	－	新地町文化交流センター 観海ホール	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
須賀川市	須賀川市特撮アーカイブセンター		－	－		
湯川村	湯川たから館		－	－		
三春町	福島ガイナ 福島さくら遊学舎		－	－		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
本宮市	本宮映画劇場 (元映画館)	本宮映画劇場				
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
福島市	映画上映会 / 優秀映画鑑賞推進事業	福島県文化センター				
会津若松市	会津新作シネマ上映会	會津風雅堂 (オカダプランニング)				
	会津シネマウィーク / 優秀映画鑑賞推進事業	会津若松市文化センター				
いわき市	小名浜座を楽しむ会	小名浜座 (元映画館)				
白河市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	白河市東文化センター				
喜多方市	喜多方プラザ名画座	喜多方プラザ				
南相馬市	映画上映会	朝日座 (元映画館)				
会津美里町	会津新富座とともに歩む会	会津新富座 (元映画館)				
川内村	かわうち CINEMO	Café Amazon (カフェ・アメイゾン) 川内村店 ((株) サンアメニティ)				
大熊町	おおくま CINEMO	大熊町交流施設 link の大熊 多目的ホール ((株) サンアメニティ)				
双葉町	ふたば CINEMO	双葉町産業交流センター ((株) サンアメニティ)				
浪江町	なみえコミュニティシネマ	請戸漁港ほか				

茨城県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
茨城県人口	2,810,049	2,826,047	2,916,976	-106,927
水戸市（県庁所在地）人口	266,965	268,231	270,783	-3,818
茨城県のスクリーン数	91	91	89	2
1スクリーン当り人口	30,880	31,055	32,775	
映画館年間観客数(概算)	2,770,000	3,030,000	3,290,000	
年間映画鑑賞回数	1.0	1.1	1.1	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
水戸市	TOHOシネマズ水戸内原	1	8	1	8	1	8
	ユナイテッド・シネマ水戸 ^{※1}	1	8	1	8	1	8
土浦市	シネマサンシャイン土浦	1	9	1	9	1	9
下妻市	イオンシネマ下妻	1	5	1	5	1	5
つくば市	シネプレックスつくば	1	8	1	8	1	8
	MOVIXつくば	1	9	1	9	1	9
	USシネマつくば	1	10	1	10	1	10
ひたちなか市	TOHOシネマズひたちなか	1	10	1	10	1	10
守谷市	イオンシネマ守谷	1	10	1	10	1	10
稲敷市	USシネマバルナ稲敷	1	7	1	7	1	7
シネマコンプレックス 合計		10	84	10	84	10	84

シネマコンプレックス以外 ミ：ミニシアター / 名：名画座 / 元既：元・既存館 / 既：既存館 / 新既：新しくできた既存興行館（2005年以降開館）

ミニシアター / 名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
土浦市	土浦セントラルシネマズ ^{※4}	元既	－	1			
那珂市	あまや座 ^{※5}	ミ	1	1	1	1	
ミニシアター / 名画座 合計			1	2	1	1	合計 0 0

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
日立市	シネマサンライズ ^{※6}	新既	1	1	1		
土浦市	土浦セントラルシネマズ ^{※4}	既	1	1	2	土浦セントラルシネマズ	1 2
笠間市	笠間ボレボレホール	既	1	2	2	笠間ボレボレホール	1 2
既存興行館 合計			3	4	3 5	合計	2 4

成人映画館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
水戸市	水戸銀星映画劇場	1	1	1	1	1	1
成人映画館 合計		1	1	1	1	1	1
シネマコンプレックス以外 合計		5	7	5	7	3	5

		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		10	84	10	84	10	84	0	0
ミニシアター / 名画座 合計		1	2	1	1	0	0	1	2
既存興行館 合計		3	4	3	5	2	4	1	0
成人映画館 合計		1	1	1	1	1	1	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		5	7	5	7	3	5	2	2
茨城県 合計		15	91	15	91	13	89	2	2

※1
2017年8月運営会社が変わり「シネプレックス水戸」→「ユナイテッド・シネマ水戸」。

※2
2015年11月運営会社が変わり「シネマックスつくば」→「USシネマつくば」。

※3
2015年11月運営会社が変わり「シネマックスバルナ稲敷」→「USシネマバルナ稲敷」。

※4
2スクリーンのうち1スクリーンをミニシアター、1スクリーンを既存興行館としてカウント。

※5
2017年10月開館

※6
2020年3月開館

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
水戸市	水戸映画祭 / 水戸短編映像祭	地域映画祭	1985 年 / 1997 年	2024 年 10 月 5 日～6 日	水戸芸術館 ACM 劇場	
日立市	ひたち映画祭	地域映画祭	2023 年	2024 年 5 月 26 日	シネマサンライズ	2023 年第 1 回開催。 1 日のみの開催。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
-			-	-		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
水戸市	310+1 cinema project	Café+ zakka+ gallery Minerva ほか				
	映画上映会	県民文化センター ザ・ヒロサワ・シティ会館(茨城映画センター)				
	悠悠映画塾	茨城県立県民文化センターほか(茨城映画センター)				
笠間市	トモア駅前シネマ	笠間市地域交流センターともべ Tomoa(茨城映画センター)				
牛久市	エスカードシネマクラブ	牛久市中央生涯学習センター(ゆめまちネット 牛久市ボランティア市民活動ネットワーク)				
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
水戸市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	水戸芸術館 ACM 劇場				
日立市	映画上映会	日立市民会館				
土浦市	優秀映画鑑賞推進事業	土浦市民会館 クラフトシビックホール土浦				
結城市	アクロス映画上映会	結城市民文化センターアクロス				
取手市	映画上映会	取手市立市民会館				
常陸大宮市	映画上映会	常陸大宮市文化センター				
神栖市	新作上映会	神栖市文化センター				

栃木県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
栃木県人口	1,882,342	1,895,031	1,974,255	-91,913
宇都宮市(県庁所在地)人口	511,852	513,257	518,594	-6,742
栃木県のスクリーン数	64	64	56	8
1スクリーン当り人口	29,412	29,610	35,255	
映画館年間観客数(概算)	2,010,000	2,240,000	1,840,000	
年間映画鑑賞回数	1.1	1.2	0.9	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
宇都宮市	MOVIX宇都宮	1	10	1	10	MOVIX宇都宮	1 10
	TOHOシネマズ宇都宮	1	10	1	10	TOHOシネマズ宇都宮	1 10
足利市	ユナイテッド・シネマ アシコタウンあしかが※1	1	8	1	8		
佐野市	109シネマズ佐野	1	10	1	10	109シネマズ佐野	1 10
小山市	小山シネマロブレ	1	5	1	5	小山シネマロブレ	1 5
	シネマハーヴェスト	1	8	1	8	シネマハーヴェスト	1 8
那須塩原市	フォーラム那須塩原	1	9	1	9	フォーラム那須塩原	1 9
シネマコンプレックス 合計		7	60	7	60	合計	6 52

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター / 名:名画座 / 元既:元・既存館 / 既:既存館 / 新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター / 名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
宇都宮市	宇都宮ヒカリ座 元既	1	3	1	3	宇都宮ヒカリ座	1 3
ミニシアター / 名画座 合計		1	3	1	3	合計	1 3

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
茂木町	もびあホール※2 既	1	1	1	1	もびあホール	1 1
既存興行館 合計		1	1	1	1	合計	1 1

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
成人映画館 合計		0	0	0	0	合計	0 0
シネマコンプレックス以外 合計		2	4	2	4	合計	2 4

		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		7	60	7	60	6	52	1	8
ミニシアター / 名画座 合計		1	3	1	3	1	3	0	0
既存興行館 合計		1	1	1	1	1	1	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		2	4	2	4	2	4	0	0
栃木県 合計		9	64	9	64	8	56	1	8

※1
2016年3月開館

※2
現在は定期的な上映を行っていない。

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
那須町	那須ショートフィルムフェスティバル		地域映画祭	2006年	2024年11月9日～17日	南ヶ丘牧場
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
-	-		-	-		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
-	-		-			
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
鹿沼市	優秀映画鑑賞推進事業		鹿沼市民文化センター			
真岡市	真岡市芸術鑑賞会映画会		真岡市民会館			
野木町	エニスホール映画会 / 優秀映画鑑賞推進事業		野木町文化会館			

群馬県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
群馬県人口	1,889,425	1,900,840	1,973,115	-83,690
前橋市(県庁所在地)人口	326,271	326,904	336,154	-9,883
群馬県のスクリーン数	52	52	61	-9
1スクリーン当り人口	36,335	36,555	32,346	
映画館年間観客数(概算)	1,980,000	2,200,000	2,160,000	
年間映画鑑賞回数	1.0	1.2	1.1	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
前橋市	ユナイテッド・シネマ前橋	1	9	1	9	1	9
高崎市	109シネマズ高崎	1	8	1	8	1	8
	イオンシネマ高崎	1	10	1	10	1	10
伊勢崎市	MOVIX伊勢崎※1	1	10	1	10	1	11
						1	10
太田市	イオンシネマ太田	1	10	1	10	1	10
シネマコンプレックス 合計		5	47	5	47	6	58

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
前橋市	前橋シネマハウス※3	ミ	1 2	1 2			
高崎市	シネマテークたかさき	ミ	1 2	1 2	シネマテークたかさき	1	2
	高崎電気館※4	元既	1 1	1 1	高崎電気館※4	1	1
ミニシアター/名画座 合計		3	5	3	5	2	3

既存興行館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
既存興行館 合計		0	0	0	0	0	0

成人映画館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		3	5	3	5	2	3

		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		5	47	5	47	6	58	-1	-11
ミニシアター/名画座 合計		3	5	3	5	2	3	1	2
既存興行館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		3	5	3	5	2	3	1	2
群馬県 合計		8	52	8	52	8	61	0	-9

※1
2019年3月「プレビ劇場ISESAKI」へ移転、スクリーン数11→10。

※2
2019年1月閉館

※3
「前橋テアトル西友」(～2006)「シネマまえばし」(2009～2013)「前橋シネマハウス」(2018.3～)

※4
2001年休館。2014年所有者が「高崎電気館」を高崎市へ寄付し、上映活動を再開。地域活性化センターとして運用。

公共上映の
状況

映画祭		地域・国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
前橋市	前橋映像祭	地域映画祭	2010年	2024年11月2日	裏の間(re/noma)	1日のみの開催。
高崎市	高崎映画祭	地域映画祭	1987年	2025年3月20日～30日	高崎芸術劇場/高崎電気館 /シネマテークたかさき	
中之条町	伊参スタジオ映画祭	地域映画祭	2001年	2024年11月16日～17日	伊参スタジオ公園体育館	
邑楽町	邑の映画会	地域映画祭	2008年	2024年11月2日	邑楽町中央公民館	1日のみの開催。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
太田市	太田市立新田図書館		－	－		
映画館以外で行われる上映活動A			会場			
桐生市	きりゆうシネクラブ		桐生市内各所			
映画館以外で行われる上映活動B			会場			
桐生市	ろうふ倶楽部名画鑑賞会（優秀映画鑑賞推進事業）		桐生市市民文化会館			
富岡市	優秀映画鑑賞推進事業		群馬県立自然史博物館			
甘楽町	かんらシネマ（優秀映画鑑賞推進事業）		甘楽町文化会館			

埼玉県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
埼玉県人口	7,329,258	7,331,296	7,266,534	62,724
さいたま市(県庁所在地)人口	1,351,136	1,344,850	1,263,979	87,157
埼玉県のスクリーン数	238	226	209	29
1スクリーン当り人口	30,795	32,439	34,768	
映画館年間観客数(概算)	9,010,000	9,600,000	10,720,000	
年間映画鑑賞回数	1.2	1.3	1.5	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
さいたま市	イオンシネマ大宮	1	8	1	8	1	8
	MOVIXさいたま	1	12	1	12	1	12
	イオンシネマ浦和美園	1	11	1	11	1	11
	ユナイテッド・シネマ浦和	1	9	1	9	1	9
川越市	ユナイテッド・シネマ ウニクス南古谷	1	9	1	9	1	9
熊谷市	イオンシネマ熊谷	1	8	1	8	1	8
	シネティアラ21	1	8	1	8	1	8
川口市	MOVIX川口	1	9	1	9	1	9
	イオンシネマ川口 ^{※1}	1	10	1	10		
秩父市	ユナイテッド・シネマ ウニクス秩父 ^{※2}	1	7	1	7		
所沢市	T・ジョイ エミテラス所沢 ^{※3}	1	12				
春日部市	ユナイテッド・シネマ春日部	1	9	1	9	1	9
	イオンシネマ春日部	1	10	1	10	1	10
羽生市	イオンシネマ羽生	1	9	1	9	1	9
鴻巣市	こうのすシネマ	1	8	1	8	1	8
越谷市	イオンシネマ越谷レイクタウン	1	10	1	10	1	10
入間市	ユナイテッド・シネマ入間	1	9	1	9	1	9
新座市	ユナイテッド・シネマ新座 ^{※4}	1	9	1	9	1	9
久喜市	109シネマズ菫蒲	1	11	1	11	1	11
富士見市	TOHOシネマズ ららぽーと富士見	1	9	1	9	1	9
三郷市	MOVIX三郷 ^{※6}	1	12	1	12	1	12
幸手市	シネプレックス幸手	1	9	1	9	1	9
鶴ヶ島市	ユナイテッド・シネマわかば ^{※7}	1	9	1	9	1	9
ふじみ野市	イオンシネマ大井	1	7	1	7	1	7
上里町	ユナイテッド・シネマ ウニクス上里	1	9	1	9	1	9
シネマコンプレックス 合計		25	233	24	221	22	204

シネマコンプレックス以外 ミ：ミニシアター / 名：名画座 / 元既：元・既存館 / 既：既存館 / 新既：新しくできた既存興行館（2005年以降開館）

ミニシアター / 名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
川越市	川越スカラ座	元既	1 1	1 1	川越スカラ座	1 1	
深谷市	深谷シネマ	ミ	1 1	1 1	深谷シネマ	1 1	
ミニシアター / 名画座 合計			2 2	2 2	合計	2 2	

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
所沢市	新所沢 Let'sシネパーク※8	既	1 3	1 3	新所沢 Let'sシネパーク	1 3	
既存興行館 合計			1 3	1 3	合計	1 3	

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
成人映画館 合計		0	0	0	0	合計	0 0
シネマコンプレックス以外 合計		3	5	3	5	合計	3 5

	2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	25	233	24	221	22	204	3	29
ミニシアター / 名画座 合計	2	2	2	2	2	2	0	0
既存興行館 合計	1	3	1	3	1	3	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	3	5	3	5	3	5	0	0
埼玉県 合計	28	238	27	226	25	209	3	29

公共上映の
状況

映画祭		地域・国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
川口市	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭	国際映画祭	2004年	2024年7月13日～21日(会場)	SKIPシティ	
さいたま市	岩槻映画祭	地域映画祭	2014年	2025年2月8日～9日	市民会館いわつき	
	SAITAMA なんとか映画祭	地域映画祭	2021年	2024年3月2日～3日	レインボックホール (市民会館おおみや)	2025年9月開催予定。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
川口市	SKIPシティ	彩の国ビジュアルプラザ	1	321		
映画館以外で行われる上映活動A			会場			
さいたま市	彩の国シネマスタジオ		彩の国さいたま芸術劇場 / 埼玉会館ほか(埼玉映画ネットワーク)			
越谷市	サンシティ名画劇場		越谷サンシティ			
映画館以外で行われる上映活動B			会場			
秩父市	名もなき名画館プロジェクト		珈琲 千茶古 別館コンチェルトほか県内各所			
所沢市	所沢ミューズ シネマ・セレクション		所沢市民文化センターミューズ			
本庄市	本庄シネマクラブ		はにぼんプラザ			
春日部市	春日部よい映画をみる会		春日部市中央公民館			
深谷市	親子映画上映会		深谷市民文化会館			
上尾市	優秀映画鑑賞推進事業		上尾市コミュニティセンター			
和光市	シネサロン・和光		和光市民文化センター			
桶川市	映画上映会		桶川市民ホール			

※1
2021年6月開館

※2
2022年7月開館

※3
2024年9月開館

※4
2016年12月運営会社が変わり「シネプレックス新座」→「ユナイテッド・シネマ新座」。

※5
2015年4月開館

※6
2024年11月閉館

※7
2016年7月運営会社が変わり「シネプレックスわかば」→「ユナイテッド・シネマわかば」。

※8
2024年2月閉館

千葉県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
千葉県人口	6,275,423	6,273,530	6,222,666	52,757
千葉市(県庁所在地)人口	984,598	979,532	971,882	12,716
千葉県のスクリーン数	220	220	199	21
1スクリーン当り人口	28,525	28,516	31,270	
映画館年間観客数(概算)	8,140,000	8,670,000	9,230,000	
年間映画鑑賞回数	1.3	1.4	1.5	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
千葉市	京成ローザ	1	10	1	10	1	10
	ユナイテッド・シネマ幕張※1	1	10	1	10	1	10
	T・ジョイ蘇我	1	12	1	12	1	12
	イオンシネマ幕張新都心	1	10	1	10	1	10
	イオンシネマ銚子	1	5	1	5	1	5
銚子市	イオンシネマ銚子	1	5	1	5	1	5
	イオンシネマ市川コルトンプラザ	1	9	1	9	1	9
市川市	イオンシネマ市川妙典	1	9	1	9	1	9
	TOHOシネマズららぽーと船橋	1	10	1	10	1	10
船橋市	TOHOシネマズららぽーと船橋	1	10	1	10	1	10
木更津市	USシネマ木更津	1	10	1	10	1	10
松戸市	ユナイテッド・シネマ テラスモール松戸※2	1	11	1	11		
成田市	成田HUMAXシネマズ※3	1	10	1	10	1	9
佐倉市	シネマサンシャインユーカリが丘※4	1	8	1	8	1	8
旭市	旭サンモールシネマ	1	6	1	6	1	6
柏市	MOVIX 柏の葉	1	10	1	10	1	10
	TOHOシネマズ柏※5	1	9	1	9		
市原市	USシネマちはら台	1	10	1	10	1	10
	TOHOシネマズ市原	1	10	1	10	1	10
流山市	TOHOシネマズ流山おおたかの森	1	11	1	11	1	11
八千代市	TOHOシネマズ八千代緑が丘	1	10	1	10	1	10
浦安市	シネマイクスピアリ	1	16	1	16	1	16
印西市	イオンシネマ千葉ニュータウン	1	8	1	8	1	8
	USシネマ千葉ニュータウン	1	10	1	10	1	10
シネマコンプレックス 合計		22	214	22	214	20	193

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター / 名:名画座 / 元既:元・既存館 / 既:既存館 / 新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター / 名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
千葉市	千葉劇場 元既	1	1	1	1	1	1
柏市	キネマ旬報シアター※8 ミ	1	3	1	3	1	3
ミニシアター / 名画座 合計		2	4	2	4	2	4

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
野田市	イオンスペースシネマ野田 既	1	2	1	2	1	2
既存興行館 合計		1	2	1	2	1	2

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		3	6	3	6	3	6

2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	22 214	22 214		20 193		2 21	
ミニシアター / 名画座 合計	2 4	2 4		2 4		0 0	
既存興行館 合計	1 2	1 2		1 2		0 0	
成人映画館 合計	0 0	0 0		0 0		0 0	
シネマコンプレックス以外 合計	3 6	3 6		3 6		0 0	
千葉県 合計	25 220	25 220		23 199		2 21	

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
千葉市	ちば映画祭	地域映画祭	2008 年	－	－	「ちば映画祭」定期上映会として開催。
浦安市	うらやすドキュメンタリー映画祭	地域映画祭	2011 年	2024 年7月13日～15日	浦安市文化会館	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
市川市	市川市文学ミュージアム		2	260/46		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
千葉市	月曜名画座 / 木曜名画座		千葉市生涯学習センター			
勝浦市	Küste de シネマ		勝浦市芸術文化交流センター Küste(イウォレ京成)			
君津市	きみぶんシネマ		君津市民文化ホール(どこでもシネマ / 東映エージェンシー)			
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
千葉市	しろろだい映画会		千城台コミュニティセンター			
佐倉市	旅するシネマ		西志津ふれあいセンター			
東金市	映画上映会 / TOGANE シネマ		東金文化会館			
市原市	映画名作劇場		市原市市民会館			
鎌ヶ谷市	きらりシネマ		きらり鎌ヶ谷市民会館			
君津市	優秀映画鑑賞推進事業		君津市民文化ホール			
浦安市	うらやすドキュメンタリーテーク		J:COM浦安音楽ホール			
	優秀映画鑑賞推進事業		浦安市文化会館			
印西市	文化ホール映画会		印西市文化ホール			
匝瑳市	優秀映画鑑賞推進事業		匝瑳市市民ふれあいセンター			
山武市	優秀映画鑑賞推進事業 / シネフィルのぞく		成東文化会館 のぞくプラザ			

※1
2021 年 12 月運営会社が変わり「シネプレックス幕張」→「ユナイテッド・シネマ幕張」。

※2
2019 年 10 月開館

※3
2017 年 4 月スクリーン数 9 → 10

※4
2018 年 5 月「イオンシネマユーカリが丘」閉館、同年 6 月「シネマサンシャインユーカリが丘」開館。

※5
2016 年 4 月開館

※6
2015 年 11 月運営会社が変わり「シネマックスちはら台」→「US シネマちはら台」。

※7
2015 年 11 月運営会社が変わり「シネマックス千葉ニュータウン」→「US シネマ千葉ニュータウン」。

※8
「柏ステーションシアター」(～2012)「TKP シアター柏」(2013～14)「キネマ旬報シアター」(2014.6～)

神奈川県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
神奈川県人口	9,223,695	9,229,713	9,126,214	97,481
横浜市(県庁所在地)人口	3,771,063	3,771,766	3,724,844	46,219
神奈川県のスクリーン数	246	223	219	27
1スクリーン当り人口	37,495	41,389	41,672	
映画館年間観客数(概算)	12,530,000	13,410,000	14,720,000	
年間映画鑑賞回数	1.4	1.5	1.6	

映画館の 状況	シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
横浜市	ムービル		1	5	1	5	ムービル	1 5
	109シネマズ港北		1	7	1	7	109シネマズ港北	1 7
	イオンシネマみなとみらい		1	8	1	8	イオンシネマみなとみらい	1 8
							109シネマズMM横浜 ^{*1}	1 11
	TOHOシネマズららぽーと横浜		1	13	1	13	TOHOシネマズららぽーと横浜	1 13
	イオンシネマ港北ニュータウン		1	12	1	12	イオンシネマ港北ニュータウン	1 12
	横浜ブルク13		1	13	1	13	横浜ブルク13	1 13
	TOHOシネマズ上大岡		1	9	1	9	TOHOシネマズ上大岡	1 9
	T・ジョイ横浜 ^{*2}		1	9	1	9		
	ローソン・ユナイテッドシネマ STYLE-Sみなとみらい ^{*3}		1	12				
川崎市	109シネマズゆめが丘 ^{*4}		1	10				
	チネチッタ		1	12	1	12	チネチッタ	1 12
	イオンシネマ新百合ヶ丘		1	9	1	9	イオンシネマ新百合ヶ丘	1 9
	TOHOシネマズ川崎		1	9	1	9	TOHOシネマズ川崎	1 9
	109シネマズ川崎		1	10	1	10	109シネマズ川崎	1 10
相模原市	MOVIX橋本		1	9	1	9	MOVIX橋本	1 9
横須賀市	横須賀HUMAXシネマズ ^{*5}		1	10	1	10	横須賀HUMAXシネマズ ^{*5}	1 8
平塚市	シネプレックス平塚		1	8	1	8	シネプレックス平塚	1 8
藤沢市	109シネマズ湘南		1	10	1	10	109シネマズ湘南	1 10
小田原市	TOHOシネマズ小田原		1	9	1	9	TOHOシネマズ小田原	1 9
	小田原コロナシネマワールド		1	10	1	10	小田原コロナシネマワールド	1 10
茅ヶ崎市	イオンシネマ茅ヶ崎		1	6	1	6	イオンシネマ茅ヶ崎	1 6
大和市							イオンシネマつきみ野 ^{*6}	1 9
海老名市	イオンシネマ海老名 ^{*7}		1	7	1	7	イオンシネマ海老名 ^{*7}	1 7
	TOHOシネマズ海老名		1	10	1	10	TOHOシネマズ海老名	1 10
座間市	イオンシネマ座間 ^{*8}		1	10	1	10		
	シネマコンプレックス 合計		24	227	22	205	合計	22 204

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター / 名:名画座 / 元既:元・既存館 / 既:既存館 / 新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター / 名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
横浜市	シネマ・ジャック&ベティ	ミ	1 2	1 2	シネマ・ジャック&ベティ	1 2	
					ブリリアショートショートシアター ^{※9}	1 1	
	横浜シネマリン ^{※10}	元既	1 1	1 1	横浜シネマリン ^{※10}	1 1	
	シネマノヴェチェント	ミ	1 1	1 1	シネマノヴェチェント ^{※11}	1 1	
	キノシネマ横浜みなとみらい ^{※12}	ミ	1 3	1 3			
川崎市	川崎市アートセンター アルテリオ映像館	ミ	1 1	1 1	川崎市アートセンター アルテリオ映像館	1 1	
藤沢市	シネコヤ ^{※13}	ミ	1 1	1 1			
小田原市	小田原シネマ館 ^{※14}	ミ	1 1				
逗子市	シネマ・アミーゴ	ミ	1 1	1 1	シネマ・アミーゴ	1 1	
厚木市	あつぎのえいがかんkiki ^{※15}	ミ	1 3	1 3	アミューあつぎ映画 .com シネマ ^{※15}	1 2	
ミニシアター / 名画座 合計			9 14	8 13	合計	7 9	

既存興行館		2024		2023		2015			
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
横浜市	県民共済シネマホール	既	1	1	1	1	県民共済シネマホール	1	1
	港南台シネサロン	既	1	2	1	2	港南台シネサロン	1	2
							横浜ニューテアトル ^{*16}	1	1
	既存興行館 合計		2	3	2	3	合計	3	4

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		
横浜市	横浜光音座	1	2	1	2	横浜光音座	1	2
	成人映画館 合計	1	2	1	2	合計	1	2
	シネマコンプレックス以外 合計	12	19	11	18	合計	11	15

	2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	24	227	22	205	22	204	2	23
ミニシアター / 名画座 合計	9	14	8	13	7	9	2	5
既存興行館 合計	2	3	2	3	3	4	-1	-1
成人映画館 合計	1	2	1	2	1	2	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	12	19	11	18	11	15	1	4
神奈川県 合計	36	246	33	223	33	219	3	27

公共上映の
状況

映画祭		地域・国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
横浜市	横浜フランス映画祭	国際映画祭	1993 年	2025 年 3 月 20 日～23 日	横浜ブルク 13	
	ヨコハマ映画祭	地域映画祭	1980 年	2025 年 2 月 2 日	横浜市民市民文化会館	1 日のみの開催。
	大倉山ドキュメンタリー映画祭	地域映画祭	2008 年	2025 年 3 月 15 日～16 日	横浜市中大倉山記念館	
	よこはま若葉町多文化映画祭	地域映画祭	2009 年	2025 年 2 月 15 日～21 日	シネマ・ジャック&ベティ / 横浜パラダイス会館	
	横浜インディペンデント・フィルム・フェスティバル	地域映画祭	2010 年	2024 年 11 月 9 日	シネマ・ジャック & ベティ	1 日のみの開催。
	ヨコハマ・フットボール映画祭	地域映画祭	2011 年	2024 年 10 月 12 日～18 日	かなつくホール / シネマ・ジャック&ベティ	
	横浜中華街映画祭	地域映画祭	2012 年	2025 年 2 月 15 日	横浜中華学院	1 日のみの開催。
	横浜国際映画祭	地域映画祭	2023 年	2024 年 5 月 4 日～6 日	赤レンガパーク / イオンシネマみなとみらいほか	
川崎市	KAWASAKI しんゆり映画祭	地域映画祭	1995 年	2024 年 10 月 26 日～27 日・31 日～11 月 4 日	川崎市アートセンター	
藤沢市	予告編 ZEN 映画祭	地域映画祭	2008 年	2024 年 12 月 14 日～15 日	浄智寺ほか	
茅ヶ崎市	茅ヶ崎映画祭	地域映画祭	2012 年	2024 年 10 月 27 日～11 月 16 日	イオンシネマ茅ヶ崎 / CREATIVE SPACE HAYASHI ほか	
逗子市	逗子海岸映画祭	地域映画祭	2010 年	2024 年 4 月 26 日～5 月 6 日	逗子海岸	
大和市	YAMATO FILM FESTIVAL	地域映画祭	2011 年	2025 年 3 月 16 日	大和市文化創造拠点シリウス	1 日のみの開催。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
川崎市	川崎市アートセンター(アルテリオ映像館)		1	111		
	川崎市市民ミュージアム(台風被害により移転再建予定)		－	－		
鎌倉市	鎌倉市川喜多映画記念館		1	51		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
鎌倉市	グリーンシネマかまくら		グリーンシネマかまくら			
	かまくら銀幕上映会		鎌倉芸術館(ドリーム・アーツ)			
南足柄市	あしがらシネマ		南足柄市文化会館			
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
横浜市	映画上映会		神奈川近代文学館			
	横浜キネマ倶楽部		横浜市旭公会堂			
	シネマトツカ		こまちカフェ			
相模原市	ここ de シネマ		相模原南市民ホール(ここずっと)			
	優秀映画鑑賞推進事業ほか		相模原南市民ホール			
	優秀映画鑑賞推進事業		相模原市立勤労者総合福祉センター サン・エールさがみはら			
鎌倉市	鎌倉で映画と共に歩む会		鎌倉生涯学習センター			
茅ヶ崎市	シネマテーク茅ヶ崎		茅ヶ崎市立図書館			
	茅ヶ崎良い映画を観る会		茅ヶ崎市民文化会館			
座間市	県央シネマ / 優秀映画鑑賞推進事業		座間市立市民文化会館 ハーモニーホール座間			

※1
2015 年 1 月閉館

※2
2020 年 9 月閉館

※3
2024 年 4 月閉館

※4
2024 年 7 月閉館

※5
2020 年 6 月スクリーン数 8→10

※6
2018 年 2 月閉館

※7
日本初のシネコンとして開館(「ワーナー・マイカル・シネマズ海老名」)。

※8
2020 年 3 月閉館

※9
2017 年 12 月閉館

※10
2014 年 3 月閉館、運営者が変わり同年 12 月閉館。

※11
2015 年 2 月閉館

※12
2019 年 4 月閉館

※13
2017 年 4 月閉館

※14
2024 年 3 月閉館

※15
「厚木テアトルシネパーク」(～2008.3)「アミューあつぎ映画.com シネマ」(2014～2018.11/2016.4 1 スクリーン増)「あつぎのえいがかん kiki」(2018.12～)

※16
2018 年 6 月閉館

東京都

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
東京都人口	14,192,184	14,099,993	13,515,271	676,913
特別区部人口	9,873,999	9,783,988	9,272,740	601,259
東京都のスクリーン数	415	415	365	50
1スクリーン当り人口	34,198	33,976	37,028	
映画館年間観客数(概算)	26,710,000	27,960,000	37,210,000	
年間映画鑑賞回数	1.9	2.0	2.8	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
千代田区	TOHOシネマズ日比谷 ^{※1}	1	13	1	13		
中央区	TOHOシネマズ日本橋	1	9	1	9	1	9
港区	ユナイテッド・シネマ アクアシティお台場 ^{※2}	1	13	1	13	1	13
	T・ジョイPRINCE品川 ^{※3}	1	11	1	11	1	11
	TOHOシネマズ六本木ヒルズ	1	9	1	9	1	9
	新宿バルト9	1	9	1	9	1	9
新宿区	新宿ピカデリー	1	10	1	10	1	10
	TOHOシネマズ新宿	1	12	1	12	1	12
	109シネマズプレミアム新宿 ^{※5}	1	8	1	8		
	TOHOシネマズ上野 ^{※6}	1	8	1	8		
台東区	TOHOシネマズ錦糸町オリナス ^{※7}	1	12	1	12	1	8
墨田区	109シネマズ本場	1	8	1	8	1	8
江東区	ユナイテッド・シネマ豊洲	1	12	1	12	1	12
大田区	シネマサンシャイン平和島	1	7	1	7	1	7
世田谷区	109シネマズ二子玉川	1	10	1	10	1	10
渋谷区	TOHOシネマズ渋谷	1	6	1	6	1	6
豊島区	グランドシネマサンシャイン池袋 ^{※9}	1	12	1	12	1	6
	TOHOシネマズ池袋 ^{※11}	1	10	1	10		
板橋区	イオンシネマ板橋	1	12	1	12	1	12
練馬区	T・ジョイSEIBU大泉 ^{※12}	1	9	1	9	1	9
	ユナイテッド・シネマとしまえん	1	9	1	9	1	9
足立区	TOHOシネマズ西新井	1	10	1	10	1	10
葛飾区	MOVIX亀有	1	10	1	10	1	10
八王子市	TOHOシネマズ南大沢	1	9	1	9	1	9
立川市	シネマシティ	1	6	1	6	1	6
	シネマ・ツー	1	5	1	5	1	5
	TOHOシネマズ立川立飛 ^{※13}	1	9	1	9		
府中市	TOHOシネマズ府中	1	9	1	9	1	9
昭島市	MOVIX昭島	1	12	1	12	1	12
調布市	イオンシネマ シアタス調布 ^{※14}	1	11	1	11		
町田市	109シネマズグランベリーパーク ^{※15}	1	10	1	10	1	10
武蔵村山市	イオンシネマむさし村山	1	12	1	12	1	12
多摩市	イオンシネマ多摩センター	1	8	1	8	1	8
日の出町	イオンシネマ日の出	1	9	1	9	1	9
シネマコンプレックス 合計		34	329	34	329	28	260

シネマコンプレックス以外 ミ：ミニシアター / 名：名画座 / 元既：元・既存館 / 既：既存館 / 新既：新しくできた既存興行館（2005年以降開館）

ミニシアター / 名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
千代田区	TOHOシネマズシャンテ	ミ	1 3	1 3	TOHOシネマズシャンテ	1 3	
	ヒューマントラストシネマ有楽町	ミ	1 2	1 2	ヒューマントラストシネマ有楽町	1 2	
	角川シネマ有楽町	ミ	1 1	1 1	角川シネマ有楽町	1 1	
	神保町シアター	名	1 1	1 1	神保町シアター	1 1	
					岩波ホール ^{※16}	1 1	
中央区	シネスイッチ銀座	ミ	1 2	1 2	シネスイッチ銀座	1 2	
港区					シネマート六本木 ^{※17}	1 4	
新宿区	テアトル新宿	ミ	1 1	1 1	テアトル新宿	1 1	
	新宿武蔵野館	ミ	1 3	1 3	新宿武蔵野館	1 3	
	シネマカリテ	ミ	1 2	1 2	シネマカリテ	1 2	
	ケイズシネマ	ミ	1 1	1 1	ケイズシネマ	1 1	
	シネマート新宿	ミ	1 2	1 2	シネマート新宿	1 2	
	キノシネマ新宿 ^{※18}	ミ	1 2	1 2	角川シネマ新宿 (EJ アニメシアター) ^{※18}	1 2	
	早稲田松竹	名	1 1	1 1	早稲田松竹	1 1	
					ギンレイホール ^{※19}	1 1	

シネマコンプレックス以外 ミ：ミニシアター / 名：名画座 / 元既：元・既存館 / 既：既存館 / 新既：新しくできた既存興行館（2005年以降開館）

ミニシアター / 名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
墨田区	ストレンジジャー※20	ミ	1	1	1	1	
品川区	目黒シネマ	名	1	1	1	1	目黒シネマ
	キネカ大森	ミ	1	3	1	3	キネカ大森
目黒区	東京都写真美術館ホール	ミ	1	1	1	1	東京都写真美術館ホール
世田谷区	下高井戸シネマ	ミ	1	1	1	1	下高井戸シネマ
	下北沢トリウッド	ミ	1	1	1	1	下北沢トリウッド
	シモキタ・エキマエ・シネマ K2※21	ミ	1	1	1	1	
渋谷区	ユーロスペース	ミ	1	2	1	2	ユーロスペース
	ユーロライブ	ミ	1	1	1	1	ユーロライブ※22
	シネマヴェーラ渋谷	名	1	1	1	1	シネマヴェーラ渋谷
	ル・シネマ 渋谷宮下※23	ミ	1	2	1	2	ル・シネマ※23
	恵比寿ガーデンシネマ	ミ	1	2	1	2	恵比寿ガーデンシネマ※24
							アップリンク渋谷※25
	シネクイント※26	ミ	1	2	1	2	シネクイント※26
	ホワイト シネクイント※27	ミ	1	1	1	1	
	シアター・イメージフォーラム	ミ	1	2	1	2	シアター・イメージフォーラム
	ヒューマントラストシネマ渋谷	ミ	1	3	1	3	ヒューマントラストシネマ渋谷
							シネマライズ※28
中野区	ボレボレ東中野	ミ	1	1	1	1	ボレボレ東中野
杉並区	ラビュタ阿佐ヶ谷	名	1	1	1	1	ラビュタ阿佐ヶ谷
	モーク阿佐ヶ谷※29	ミ	1	1	1	1	ユジク阿佐ヶ谷※29
豊島区	シネ・リーブル池袋	ミ	1	2	1	2	シネ・リーブル池袋
	新文芸坐	名	1	1	1	1	新文芸坐
	シネマ・ロサ	元既	1	2	1	2	シネマ・ロサ
北区	シネマ・チュブキ・タバタ※30	ミ	1	1	1	1	
足立区	シネマブルーススタジオ	名	1	1	1	1	シネマブルーススタジオ
立川市	キノシネマ立川高島屋S.C.館※31	ミ	1	3	1	3	
武蔵野市	アップリンク吉祥寺※32	ミ	1	5	1	5	
青梅市	シネマネコ※33	ミ	1	1	1	1	
ミニシアター / 名画座 合計			39	65	39	65	合計
							37 60

※1

2018年3月「TOHOシネマズ日比谷」開館、「TOHOシネマズスカラ座／みゆき座」が12,13スクリーンとなる。

※2

2017年2月「お台場シネマメディアージュ」開館、4月同地に「ユナイテッド・シネマアクアシティお台場」開館。

※3

2016年4月「品川プリンスシネマ」→「T・ジョイPRINCE品川」に改称。

※4

2015年7月開館

※5

2023年4月開館

※6

2017年11月開館

※7

2018年11月「TOHOシネマズ錦糸町」「楽天地シネマズ錦糸町」統合→「TOHOシネマズ錦糸町オリナス」開館。

※8

2015年4月開館

※9

2019年7月開館

※10

2019年7月開館

※11

2020年7月開館

※12

2016年4月「T・ジョイ大泉」→「T・ジョイSEIBU大泉」に改称。

※13

2020年9月開館

※14

2017年9月開館

※15

2017年2月～2019年11月休館後、「109シネマズグランベリーパーク」に改称し再開。

※16

2022年7月開館

※17

2015年6月開館

※18

「角川シネマ新宿」(2スクリーン)が2018年2月「Eアニメシアター」(1スクリーン)に。→2023年8月休館。2023年11月同地に「キノシネマ新宿」(2スクリーン)開館。

※19

2022年11月休館

※20

2022年9月休館。2024年2月運営会社がアート&サイエンス株式会社→ナカチカ株式会社へ。

※21

2022年1月休館

※22

2010年9月「渋谷シアター TSUTAYA」閉館後、地階スクリーンは「映画美学校試写室」(2010～)、2階スクリーンは「オーディトリウム渋谷」(2011～2014)「ユーロライブ」(2015～)となる。

※23

2023年6月「ル・シネマ」はBunkamuraの長期休館に伴い「渋谷TOEI」跡地に移転、「ル・シネマ渋谷宮下」に。

※24

2011年1月～2015年3月、2021年2月～2022年11月休館

※25

2021年5月休館

※26

パルコが運営する映画館。「渋谷PARCO Part3」8Fにあったが、2016年8月建て替えのため休館。2018年5月休館した「渋谷シネパレス」跡に再開。

※27

パルコが運営する映画館。2019年11月新生「渋谷PARCO」8Fに開館。

※28

2016年7月休館

※29

2015年4月「ユジク阿佐ヶ谷」(～2020.12)開館、2021年7月同地に「モーク阿佐ヶ谷」開館。

※30

2016年9月休館

※31

2019年6月休館

※32

2018年12月休館

※33

2021年6月休館

既存興行館	2024			2023			2015		
	映画館	スクリーン		映画館	スクリーン		映画館	スクリーン	
千代田区	丸の内ピカデリー	既	1	3	1	3	丸の内ピカデリー	1	3
							TOHOシネマズ スカラ座 / みゆき座 ^{※1}	1	2
							TOHOシネマズ有楽座 ^{※34}	1	1
							TOHOシネマズ 日劇 ^{※35}	1	3
							有楽町スバル座 ^{※36}	1	1
中央区	丸の内TOEI ^{※37}	既	1	2	1	2	丸の内TOEI	1	2
	東劇	既	1	1	1	1	東劇	1	1
墨田区							楽天地シネマズ錦糸町 ^{※7}	1	4
大田区							テアトル蒲田 / 蒲田宝塚 ^{※38}	1	2
渋谷区	渋谷HUMAXシネマ	既	1	1	1	1	渋谷HUMAXシネマ	1	1
							渋谷シネパレス ^{※26}	1	2
							渋谷TOEI ^{※39}	1	2
豊島区	池袋HUMAXシネマズ ^{※40}	既	1	4	1	4	池袋HUMAXシネマズ ^{※40}	1	6
江戸川区	船堀シネパル	既	1	2	1	2	船堀シネパル	1	2
八王子市							ニュー八王子シネマ ^{※41}	1	4
武蔵野市	吉祥寺オデオン	既	1	3	1	3	吉祥寺オデオン	1	3
	吉祥寺プラザ ^{※42}	既	1	1	1	1	吉祥寺プラザ	1	1
	既存興行館 合計		8	17	8	17	合計	17	40
成人映画館	2024			2023			2015		
	映画館	スクリーン		映画館	スクリーン		映画館	スクリーン	
新宿区							飯田橋くらら劇場 ^{※43}	1	1
台東区	上野オークラ劇場 / 上野特選劇場		1	3	1	3	上野オークラ劇場 / 上野特選劇場	1	3
豊島区	シネロマン池袋		1	1	1	1	シネロマン池袋	1	1
	成人映画館 合計		2	4	2	4	合計	3	5
	シネマコンプレックス以外 合計		49	86	49	86	合計	57	105

	2024			2023			2015		増減(2015→2024)	
	映画館	スクリーン		映画館	スクリーン		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	34	329		34	329		28	260	6	69
ミニシアター / 名画座 合計	39	65		39	65		37	60	2	5
既存興行館 合計	8	17		8	17		17	40	-9	-23
成人映画館 合計	2	4		2	4		3	5	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計	49	86		49	86		57	105	-8	-19
東京都 合計	83	415		83	415		85	365	-2	50

※34
2015年2月閉館

※35
2018年2月閉館

※36
2019年10月閉館

※37
2025年夏に閉館することが発表されている。

※38
2019年8月「蒲田宝塚」閉館、9月「テアトル蒲田」閉館

※39
2022年12月閉館

※40
2023年1月スクリーン数6→4

※41
2017年1月閉館

※42
2024年1月閉館

※43
2016年5月閉館

公共上映の
状況

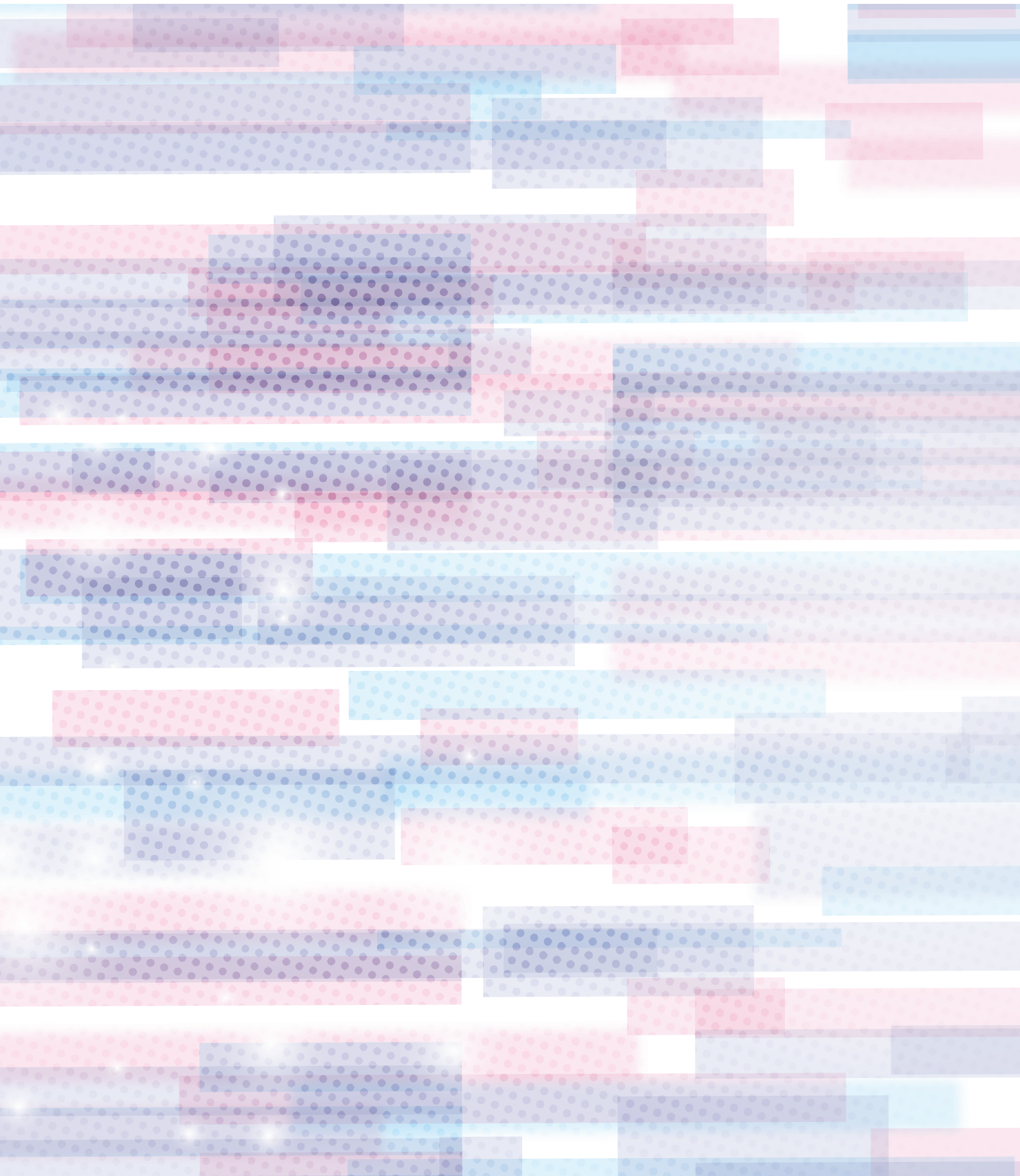
映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
千代田区	東京国際映画祭	国際映画祭	1985 年	2024 年 10 月 28 日～11 月 6 日	東京ミッドタウン日比谷 / 角川シネマ有楽町 / シネスイツチ銀座 / 丸の内 TOEI ほか	
	ラテンビート映画祭	国際映画祭	2003 年	2024 年 10 月 28 日～11 月 6 日	丸の内 TOEI / シネスイツチ銀座ほか	東京国際映画祭共催 + 東京で特別企画上映。
渋谷区	イメージフォーラム・フェスティバル	国際映画祭	1987 年	2024 年 10 月 4 日～18 日 (東京)	シアター・イメージフォーラムほか	京都・名古屋でも開催。
新宿区	レインボー・リール東京	国際映画祭	1992 年	—	—	2025 年 6 月 頃 開催 予定。
世田谷区	キネコ国際映画祭	国際映画祭	1992 年	2024 年 10 月 31 日～11 月 5 日	二子玉川ライズ / 109 シネマズ二子玉川ほか	
渋谷区	ショートショートフィルムフェスティバル & アジア	国際映画祭	1999 年	2024 年 6 月 4 日～17 日 (会場)	表参道ヒルズ スペースオー / ユーロライブほか	
千代田区	東京フィルメックス	国際映画祭	2000 年	2024 年 11 月 23 日～12 月 1 日	有楽町朝日ホール / ヒューマントラストシネマ有楽町	
	イタリア映画祭	国際映画祭	2001 年	2024 年 5 月 1 日～6 日 (東京)	有楽町朝日ホール (東京)	大阪でも開催。
渋谷区	EU フィルムデーズ	国際映画祭	2003 年	2024 年 12 月 14 日～27 日	シアター・イメージフォーラム	
文京区	難民映画祭 (元 UNHCR WILL2LIVE 映画祭)	国際映画祭	2005 年	2024 年 11 月 7 日 (会場)	TOHO シネマズ 六本木	1 日のみの開催。
千代田区	日中映画祭 (2024 東京・中国映画週間)	国際映画祭	2006 年	2024 年 10 月 22 日～29 日	TOHO シネマズ 日本橋 / 有楽町朝日ホール	
渋谷区	映文連 国際短編映像祭	国際映画祭	2007 年	2024 年 11 月 28 日～29 日	ユーロライブ	
目黒区	恵比寿映像祭	国際映画祭	2008 年	2025 年 1 月 31 日～2 月 16 日	東京都写真美術館	
千代田区	ダマール国際映画祭	国際映画祭	2009 年	2024 年 4 月 13 日～14 日	日比谷コンベンションホール	
渋谷区	フィンランド映画祭	国際映画祭	2009 年	2024 年 11 月 23 日～29 日	ユーロスペース	
	トーキョーノーザンライツフェスティバル	国際映画祭	2011 年	—	—	2021 年以降開催なし。
豊島区	東京アニメアワードフェスティバル	国際映画祭	2014 年	2025 年 3 月 7 日～10 日	池袋シネマ・ロサほか	
渋谷区	イスラーム映画祭	国際映画祭	2016 年	2025 年 2 月 20 日～24 日 (東京)	ユーロライブ	名古屋・神戸でも開催。
千代田区	科学技術映像祭	地域映画祭	1960 年	2024 年 4 月 19 日	科学技術館	1 日のみの開催。
	TOHO シネマズ学生映画祭	地域映画祭	2007 年	2025 年 3 月 27 日	TOHO シネマズ日比谷	1 日のみの開催。
	秋葉原映画祭	地域映画祭	2016 年	—	—	2025 年に再開予定。
	秋葉原国際映画祭	地域映画祭	2024 年	2024 年 11 月 9 日～11 日	秋葉原エリア	2024 年第 1 回開催。
	ぴあフィルムフェスティバル	地域映画祭	1977 年	2024 年 9 月 7 日～21 日	国立映画アーカイブ	
中央区	爆音映画祭 in ユナイテッド・シネマ アクアシティお台場	地域映画祭	2008 年	2024 年 10 月 26 日～11 月 4 日	ユナイテッド・シネマ アクアシティお台場	
港区	みなとシネマフェスタ	地域映画祭	2021 年	2024 年 11 月 24 日～12 月 1 日	赤坂区民センター / 台場区民センターほか	
新宿区	ドキュメンタリー・ドリーム・ショー 山形 in 東京	地域映画祭	2002 年	2024 年 10 月 19 日～11 月 20 日	ケイズシネマ / アテネ・フランセ文化センター	隔年開催。2024 年度開催。
	東京ドキュメンタリー映画祭	地域映画祭	2018 年	2024 年 11 月 30 日～12 月 13 日	ケイズシネマ	
	新宿東口映画祭	地域映画祭	2021 年	2024 年 5 月 24 日～6 月 6 日	新宿武蔵野館ほか	
	東京インディペンデント映画祭	地域映画祭	2022 年	2024 年 5 月 21 日	テアトル新宿	1 日のみの開催。
文京区	文京映画祭	地域映画祭	2016 年	—	—	
	つながる・つなげるシネマフェスティバル	地域映画祭	2020 年	—	アートギャラリー 884	2024 年開催なし。
江東区	江東シネマフェスティバル	地域映画祭	2007 年	2024 年 12 月 13 日～15 日	江東区古石場文化センター	
世田谷区	下北沢映画祭	地域映画祭	2009 年	2024 年 9 月 21 日～23 日	北沢タウンホール / 下北沢トリウッド ほか	
渋谷区	東京学生映画祭	地域映画祭	1991 年	2024 年 8 月 16 日～18 日	ユーロライブ	
	ラブストーリー映画祭	地域映画祭	2010 年	—	—	2021 年以降開催なし。
	青山フィルメイト	地域映画祭	2013 年	—	—	2021 年以降開催なし。
	東京国際ろう映画祭	地域映画祭	2017 年	—	—	2025 年 11 月に「東京国際ろう芸術祭」として開催予定。
中野区	高校生のための eiga worldcup	地域映画祭	2014 年	2024 年 12 月 8 日	東京富士大学	1 日のみの開催。
杉並区	座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル	地域映画祭	2009 年	2025 年 2 月 7 日～11 日	座・高円寺2	
	杉並ヒーロー映画祭	地域映画祭	2016 年	2024 年 12 月 22 日	座・高円寺2	1 日のみの開催。
豊島区	池袋みらい国際映画祭	地域映画祭	2017 年	2025 年 2 月 8 日～11 日	みらい館大明	
練馬区	被爆者の声をうけつぐ映画祭	地域映画祭	2007 年	2024 年 9 月 21 日・22 日	武蔵大学江古田キャンパス	
	国際有機農業映画祭	地域映画祭	2007 年	2024 年 12 月 7 日	武蔵大学	1 日のみの開催。
	江古田映画祭	地域映画祭	2013 年	2025 年 2 月 22 日～3 月 6 日	武蔵大学 / ギャラリー古藤	
足立区	日本芸術センター映像グランプリ	地域映画祭	2009 年	2024 年 10 月 19 日～27 日	シネマブルーススタジオ	
江戸川区	メイシネマ祭	地域映画祭	1996 年	2024 年 5 月 4 日～5 日	小松川区民館ホール	
八王子市	八王子 Short Film 映画祭	地域映画祭	2013 年	2024 年 12 月 15 日	Royal Garden Palace 八王子日本閣	1 日のみの開催。

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
立川市	立川名画座通り映画祭	地域映画祭	2015年	2024年9月14日～15日	立川市柴崎学習館	
武蔵野市	吉祥寺国際アニメーション映画祭	地域映画祭	2006年	2025年2月23日	武蔵野公会堂	1日のみの開催。
三鷹市	三鷹の森アニメフェスタ	地域映画祭	2002年	2025年3月1日～2日	三鷹市芸術文化センター	
	三鷹連雀映画祭	地域映画祭	2017年	－	－	2023年、2024年開催なし。
調布市	映画のまち調布シネマフェスティバル	地域映画祭	1989年	2025年2月7日～3月2日	調布市文化会館たづくりほか	
国立市	くにたち映画祭	地域映画祭	2021年	2024年9月16日～11月10日	KFまちかどホールほか	
狛江市	よんたま映画祭(キタコマ沖縄映画祭)	地域映画祭	2015年	－	－	2023年、2024年開催なし。
多摩市	TAMA CINEMA FORUM	地域映画祭	1991年	2024年11月16日～12月1日	パルテノン多摩 / ヴィータホール / ベルブホール	
西東京市	西東京市民映画祭	地域映画祭	2001年	2024年5月25日	保谷こもれびホール	1日のみの開催。

シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
中央区	国立映画アーカイブ	2	310/151
	メゾンエルメス Le Studio	1	
千代田区	アテネ・フランセ文化センター	1	130
新宿区	東京日仏学院 エスパス・イマージュ	1	108
目黒区	東京都写真美術館	1	190
江東区	江東区古石場文化センター	1	240
千代田区	川喜多記念映画文化博物館	－	－
中央区	松竹大谷図書館	－	－
新宿区	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	－	－
台東区	台東区立下町風俗資料館	－	－
世田谷区	世田谷文学館	－	－
渋谷区	市川崑記念室	－	－
杉並区	杉並アニメーションミュージアム	－	－
練馬区	日本大学芸術学部芸術資料館	－	－
	東映アニメーションギャラリー	－	－
葛飾区	葛飾柴又寅さん記念館	－	－
三鷹市	三鷹の森ジブリ美術館	－	－
調布市	芸能美術文庫 PAL	－	－
	調布市立中央図書館映画資料室		

映画館以外で行われる上映活動A		会場
杉並区	シアターバックス	シアターバックス
豊島区	シネマハウス大塚	シネマハウス大塚
府中市	TUFS Cinema	東京外国語大学 プロメテウスホール
調布市	調布シネサロン	調布グリーンホール
国立市	くにたち映画館	アグレابل・ミュゼ(ギャラリー)ほか

映画館以外で行われる上映活動B		会場
文京区	優秀映画鑑賞推進事業	響きの森文京公会堂
江東区	優秀映画鑑賞推進事業	江東区古石場文化センター
目黒区	C/NE名画座	C/NE 路地裏文化会館(レストラン)
渋谷区	サム・フリークス	ユーロライブ
渋谷区ほか	旅する映画館 café de cinéma	都内のカフェやバーなど
板橋区	高島平ドキュメンタリー映画を見る会	高島平図書館
	おおやまレトロシネマ	板橋区立文化会館
調布市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	調布市文化会館たづくり
町田市	映画上映会	和光大学ボリホール 鶴川
	ほんわかシネマ	町田市民フォーラム
	優秀映画鑑賞推進事業ほか	町田市民ホール
小平市	ルネこだいら市民名画座	小平市民文化会館 ルネこだいら
日野市	ななおシネマ倶楽部	七生公会堂
多摩市	キノコヤ	キノコヤ
	優秀映画鑑賞推進事業ほか	多摩市立永山公民館 ベルブ永山



新潟県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
新潟県人口	2,098,804	2,126,276	2,304,264	-205,460
新潟市(県庁所在地)人口	766,259	772,388	810,157	-43,898
新潟県のスクリーン数	64	64	64	0
1スクリーン当り人口	32,794	33,223	36,004	
映画館年間観客数(概算)	2,220,000	2,360,000	2,470,000	
年間映画鑑賞回数	1.1	1.1	1.1	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
新潟市	ユナイテッド・シネマ新潟	1	10	1	10	1	10
	イオンシネマ新潟西	1	9	1	9	1	9
	T・ジョイ新潟万代	1	8	1	8	1	8
	イオンシネマ新潟南	1	9	1	9	1	9
長岡市	T・ジョイ長岡	1	10	1	10	1	10
燕市	イオンシネマ県央	1	7	1	7	1	7
上越市	J-MAXシアター	1	8	1	8	1	8
シネマコンプレックス 合計		7	61	7	61	7	61

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
新潟市	新潟シネ・ウインド [※]	ミ	1 1	1 1	新潟シネ・ウインド [※]	1 1	1 1
十日町市					十日町シネマパラダイス ^{※1}	1 1	1 1
上越市	高田世界館 ^{※2}	元既	1 1	1 1	高田世界館 ^{※2}	1 1	1 1
佐渡市	ガシマシネマ ^{※3}	ミ	1 1	1 1			
ミニシアター/名画座 合計			3 3	3 3	合計	3 3	3 3

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
既存興行館 合計		0 0	0 0	0 0	合計	0 0	0 0

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
新潟市					映劇大要 ^{※4}	0 0	0 0
	成人映画館 合計	0 0	0 0	0 0	合計	0 0	0 0
	シネマコンプレックス以外 合計	3 3	3 3	3 3	合計	3 3	3 3

		2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計		7	61	7	61	7	61	0	0
ミニシアター/名画座 合計		3	3	3	3	3	3	0	0
既存興行館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		3	3	3	3	3	3	0	0
新潟県 合計		10	64	10	64	10	64	0	0

※1
2018年3月閉館

※2
2009年「高田日活」(～2007)から運営者を変えて「高田世界館」開館。

※3
2017年4月開館

※4
2019年8月閉館

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
新潟市	新潟国際アニメーション映画祭		国際映画祭	2023 年	2025 年 3 月 15 日～20 日	新潟市民プラザ / 新潟シネ・ウインド / 開志専門職大学ほか
新潟市	にいがたインディーズムービーフェスティバル		地域映画祭	1996 年	2024 年 12 月 8 日	新潟シネ・ウインド
十日町市	グリーンイメージ国際環境映像祭		国際映画祭	2013 年	－	－
長岡市	ながおか映画祭		地域映画祭	1996 年	2024 年 9 月 13 日～16 日	長岡リリックホール
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
－			－	－		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
魚沼市	魚沼映画の専門店 / 優秀映画鑑賞推進事業		魚沼市響きの森文化会館（←魚沼市小出郷文化会館）			
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
上越市	上越映画鑑賞会		高田世界館			
南魚沼市	優秀映画鑑賞推進事業ほか		南魚沼市民会館			
胎内市	優秀映画鑑賞推進事業		胎内市産業文化会館			

富山県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
富山県人口	995,955	1,006,367	1,066,328	-70,373
富山市(県庁所在地)人口	403,869	406,547	418,686	-14,817
富山県のスクリーン数	33	33	24	9
1スクリーン当り人口	30,180	30,496	44,430	
映画館年間観客数(概算)	1,040,000	1,100,000	1,110,000	
年間映画鑑賞回数	1.0	1.1	1.0	

映画館の状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
富山市	TOHOシネマズファボーレ富山	1	10	1	10	TOHOシネマズファボーレ富山	1 10
	J-MAXシアターとやま※1	1	8	1	8		
						富山シアター大都会※2	1 5
高岡市	TOHOシネマズ高岡	1	8	1	8	TOHOシネマズ高岡	1 8
砺波市	イオンシネマとなみ※3	1	5	1	5		
シネマコンプレックス 合計		4	31	4	31	合計	3 23

シネマコンプレックス以外 ミ：ミニシアター／名：名画座／元既：元・既存館／既：既存館／新既：新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター／名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
富山市	ほとり座※4 ミ	1	1	1	1	フォルツァ総曲輪※4	1 1
高岡市	御旅屋座(ダフレンズ)※5 ミ	1	1	1	1		
ミニシアター／名画座 合計		2	2	2	2	合計	1 1

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
既存興行館 合計		0	0	0	0	合計	0 0

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
成人映画館 合計		0	0	0	0	合計	0 0
シネマコンプレックス以外 合計		2	2	2	2	合計	1 1

		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		4	31	4	31	3	23	1	8
ミニシアター／名画座 合計		2	2	2	2	1	1	1	1
既存興行館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		2	2	2	2	1	1	1	1
富山県 合計		6	33	6	33	4	24	2	9

公共上映の状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
富山市	とやま映像祭	地域映画祭	2025年3月8日～9日	富山県教育文化会館	

シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
—		—	—

映画館以外で行われる上映活動A		会場
—		—

映画館以外で行われる上映活動B		会場
富山市	富山映画サークル協議会	—
	とやま映像祭 / おやこシアター	富山県映像センター
高岡市	Uホール上映会	ふくおか総合文化センター[Uホール]
魚津市	映画上映会	新川文化ホール
黒部市	優秀映画鑑賞推進事業	黒部市国際文化センター
南砺市	メモリアシアター倶楽部	南砺市井波総合文化センター
	じょうはな名画座	南砺市城端伝統芸能会館
	ホールシネマ・イン・富山	南砺市井波総合文化センター

※1 2016年6月開館 ※4 2016年9月「フォルツァ総曲輪」開館、11月シネマカフェ「ほとり座」開館。2020年6月旧「フォルツァ総曲輪」に移転。
 ※2 2018年9月開館 ※5 2020年7月開館
 ※3 2023年7月開館

石川県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
石川県人口	1,098,531	1,109,574	1,154,343	-55,812
金沢市(県庁所在地)人口	455,759	457,717	465,810	-10,051
石川県のスクリーン数	62	62	54	8
1スクリーン当り人口	17,718	17,896	21,377	
映画館年間観客数(概算)	1,210,000	1,350,000	1,310,000	
年間映画鑑賞回数	1.1	1.2	1.1	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
金沢市	ユナイテッド・シネマ金沢	1	9	1	9	ユナイテッド・シネマ金沢	1 9
	イオンシネマ金沢	1	8	1	8	イオンシネマ金沢	1 8
	イオンシネマ金沢フォーラス	1	9	1	9	イオンシネマ金沢フォーラス	1 9
	金沢コロナシネマワールド	1	10	1	10	金沢コロナシネマワールド	1 10
小松市	イオンシネマ新小松 ^{※1}	1	7	1	7		
かほく市	シネマサンシャインかほく	1	8	1	8	シネマサンシャインかほく	1 8
白山市	イオンシネマ白山 ^{※2}	1	10	1	10		
野々市市						イオンシネマ御経塚 ^{※3}	1 8
シネマコンプレックス 合計		7	61	7	61	合計	6 52

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
金沢市	シネモンド ^ミ	1	1	1	1	シネモンド ^ミ	1 1
	ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	合計	1 1

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
既存興行館 合計		0	0	0	0	合計	0 0

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
金沢市						金沢駅前シネマ ^{※4}	1 1
	成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	1 1
	シネマコンプレックス以外 合計	1	1	1	1	合計	2 2

		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		7	61	7	61	6	52	1	9
ミニシアター/名画座 合計		1	1	1	1	1	1	0	0
既存興行館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	1	1	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計		1	1	1	1	2	2	-1	-1
石川県 合計		8	62	8	62	8	54	0	8

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
金沢市	カナザワ映画祭	地域映画祭	2007年 2024年9月4日～8日	金沢21世紀美術館 シアター 21	

シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
-		-	-

映画館以外で行われる上映活動 A				会場
金沢市	広坂シネマクラブ	映画上映会	ほか	金沢21世紀美術館
小松市	ウィークエンドシアター in うらら	優秀映画鑑賞推進事業		石川県小松市團十郎芸術劇場うらら

映画館以外で行われる上映活動 B				会場
加賀市	みに・キネマ加賀	加賀市映画を観る会		加賀市文化会館

※1
2017年3月開館
※2
2021年7月開館
※3
2021年5月開館
※4
2020年3月開館

福井県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
福井県人口	738,691	744,568	786,740	-48,049
福井市（県庁所在地）人口	254,776	256,706	265,904	-11,128
福井県のスクリーン数	27	27	31	-4
1スクリーン当り人口	27,359	27,577	25,379	
映画館年間観客数(概算)	590,000	670,000	430,000	
年間映画鑑賞回数	0.8	0.9	0.5	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
福井市	テアトルサンク	1	5	1	5	1	5
	福井コロナシネマワールド	1	10	1	10	1	10
鯖江市	鯖江アレックスシネマ	1	7	1	7	1	7
シネマコンプレックス 合計		3	22	3	22	3	22

シネマコンプレックス以外 ミ：ミニシアター／名：名画座／元既：元・既存館／既：既存館／新既：新しくできた既存興行館（2005年以降開館）

ミニシアター／名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
福井市	福井メトロ劇場 元既	1	1	1	1	福井メトロ劇場	1 1
ミニシアター／名画座 合計		1	1	1	1	合計	1 1

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
福井市						福井シネマ*	1 4
敦賀市	敦賀アレックスシネマ 既	1	4	1	4	敦賀アレックスシネマ	1 4
既存興行館 合計		1	4	1	4	合計	2 8

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
成人映画館 合計		0	0	0	0	合計	0 0
シネマコンプレックス以外 合計		2	5	2	5	合計	3 9

		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		3	22	3	22	3	22	0	0
ミニシアター／名画座 合計		1	1	1	1	1	1	0	0
既存興行館 合計		1	4	1	4	2	8	-1	-4
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		2	5	2	5	3	9	-1	-4
福井県 合計		5	27	5	27	6	31	-1	-4

公共上映の
状況

映画祭		地域／国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
福井市	福井駅前短編映画祭	地域映画祭	2015年	2024年11月30日	テアトルサンク	1日のみの開催。
	福井映画祭	地域映画祭	2006年	2024年11月2日～3日	福井メトロ劇場	
あわら市	あわら湯けむり芸術祭	地域映画祭	2015年	2025年3月1日～8日	あわら温泉街及び市内各所	

シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数
－			－	－

映画館以外で行われる上映活動A		会場
－		－

映画館以外で行われる上映活動B		会場
福井市	みに・キネマ福井上映会	テアトルサンク
	ゆうあいシアター／夏休みこどもシアター	福井県生活学習館 ユー・アイふくい
越前市	映画上映会	越前市文化センター
	優秀映画鑑賞推進事業	越前市いまだて芸術館
美浜町	優秀映画鑑賞推進事業	美浜町生涯学習センターなびあす
若狭町	優秀映画鑑賞推進事業	パレア若狭音楽ホール

※
2018年9月閉館

山梨県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
山梨県人口	790,215	795,544	834,930	-44,715
甲府市(県庁所在地)人口	186,063	187,457	193,125	-7,062
山梨県のスクリーン数	12	12	14	-2
1スクリーン当り人口	65,851	66,295	59,638	
映画館年間観客数(概算)	500,000	570,000	10,000	
年間映画鑑賞回数	0.6	0.7	0.0	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
昭和町	TOHOシネマズ甲府	1	9	1	9	1	9
シネマコンプレックス 合計		1	9	1	9	1	9

シネマコンプレックス以外 ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座 合計		0	0	0	0	0	0

既存興行館	2024				2023				2015			
	映画館		スクリーン		映画館		スクリーン		映画館		スクリーン	
甲府市	シアターセントラル Be 館 ^{※1}	既	1	2	1	2	シアターセントラル Be 館		1	2		
笛吹市							テアトル石和 ^{※2}		1	1		
甲州市	塩山シネマ ^{※3}	既	1	1	1	1	塩山シネマ		1	1		
既存興行館 合計			2	3	2	3	合計		3	4		

成人映画館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
甲府市					甲南劇場 ^{※4}	1	1
成人映画館 合計		0	0	0	0 合計	1	1
シネマコンプレックス以外 合計		2	3	2	3 合計	4	5

		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		1	9	1	9	1	9	0	0
ミニシアター/名画座 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
既存興行館 合計		2	3	2	3	3	4	-1	-1
成人映画館 合計		0	0	0	0	1	1	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計		2	3	2	3	4	5	-2	-2
山梨県 合計		3	12	3	12	5	14	-2	-2

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
富士河口湖町	湖畔の映画祭	地域映画祭	2015年	—	—	2020年以降開催なし。

シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
甲府市	山梨県立文学館	1	300

映画館以外で行われる上映活動 A		会場
—		—

映画館以外で行われる上映活動 B		会場
都留市	優秀映画鑑賞推進事業	都の杜うぐいすホール
北杜市	北杜自主上映会	八ヶ岳やまびこホール / 須玉ふれあい館ほか
身延町	身延シネマ鑑賞会	身延町総合文化会館
富士川町	優秀映画鑑賞推進事業ほか	富士川町ますほ文化ホール

※1
2023年12月休館、休館中は貸館や出張上映を行う。

※2
2018年2月閉館

※3
2020年以降不定期営業。

※4
2021年11月閉館

長野県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
長野県人口	1,989,104	2,005,274	2,098,804	-109,700
長野市(県庁所在地)人口	361,626	364,712	377,598	-15,972
長野県のスクリーン数	64	72	63	1
1スクリーン当り人口	31,080	27,851	33,314	
映画館年間観客数(概算)	1,390,000	1,490,000	1,670,000	
年間映画鑑賞回数	0.7	0.7	0.8	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
長野市	長野グランドシネマズ	1	8	1	8	1	8
松本市	松本シネマライツ	1	8	1	8	1	8
	イオンシネマ松本※1	1	8	1	8		
上田市	TOHOシネマズ上田	1	8	1	8	1	8
岡谷市	岡谷スカラ座	1	7	1	7	1	7
佐久市	佐久アムシネマ※2			1	8	1	8
山形村	アイシティシネマ	1	6	1	6	1	6
シネマコンプレックス 合計		6	45	7	53	6	45

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
長野市	長野ロキシー / 松竹相生座	元既	1 3	1 3	長野ロキシー / 松竹相生座	1	3
上田市	上田映劇 / トラウム・ライゼ※3	元既	2 2	1 2			
塩尻市	塩尻東座1号館	元既	1 1	1 1	塩尻東座1号館	1	1
ミニシアター/名画座 合計			4 6	3 6	合計	2	4

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
長野市	長野千石劇場	既	1 3	1 3	長野千石劇場	1	3
					シネマポイント※4	1	1
飯田市	飯田常磐劇場	既	1 3	1 3	飯田常磐劇場	1	3
	飯田セングキシネマズ	既	1 4	1 4	飯田セングキシネマズ	1	4
伊那市	伊那旭座	既	1 2	1 2	伊那旭座	1	2
既存興行館 合計			4 12	4 12	合計	5	13

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
塩尻市	塩尻東座2号館		1 1	1 1	塩尻東座2号館	1	1
成人映画館 合計			1 1	1 1	合計	1	1
シネマコンプレックス以外 合計			9 19	8 19	合計	8	18

		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		6	45	7	53	6	45	0	0
ミニシアター/名画座 合計		4	6	3	6	2	4	2	2
既存興行館 合計		4	12	4	12	5	13	-1	-1
成人映画館 合計		1	1	1	1	1	1	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		9	19	8	19	8	18	1	1
長野県 合計		15	64	15	72	14	63	1	1

※1
2017年9月開館

※2
2023年9月閉館

※3
2011年「上田映劇」閉館、2017年4月運営者を変え再開。2020年7月近隣の「上田でんき館」跡地を「トラウム・ライゼ」として再開。それぞれを1館としてカウントする。

※4
2020年6月閉館

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
松本市	まつもと子どもたちの映画祭	地域映画祭	2009年	2024年5月5日	まつもと市民芸術館	1日のみの開催。
	マツモトフットボール映画祭	地域映画祭	2015年	2025年1月11日	まつもと市民芸術館	1日のみの開催。
上田市	うえだ城下町映画祭	地域映画祭	1997年	2024年11月15日～17日	上田映劇 / 犀の角ほか	
飯山市	みゆき野映画祭	国際映画祭	2009年	2025年2月13日～15日	斑尾高原スキー場ほか	
茅野市	小津安二郎記念・蓼科高原映画祭	地域映画祭	1998年	2024年9月23日～29日	茅野市民館 / 新星劇場	
軽井沢町	まるっとみんなで映画祭	地域映画祭	2021年	2025年1月17日～20日	軽井沢町中央公民館 / 上田映劇	
原村	星空の映画祭	地域映画祭	2010年	2024年8月4日～18日	原村八ヶ岳自然文化園	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
茅野市	新・雲呼荘		－	－		
安曇野市	熊井啓記念館		－	－		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
松本市	松本 CINEMA セレクト	まつもと市民芸術館 / 松本市中央公民館ほか				
上田市	うえだ子どもシネマクラブ	上田映劇				
伊那市	赤石商店シネマスタジオ	赤石商店				
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
松本市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	松本市波田文化センター				
下諏訪町	優秀映画鑑賞推進事業	下諏訪総合文化センター				
木曽町	優秀映画鑑賞推進事業	木曽文化公園文化ホール				

岐阜県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
岐阜県人口	1,913,076	1,929,669	2,031,903	-118,827
岐阜市(県庁所在地)人口	394,133	396,130	406,735	-12,602
岐阜県のスクリーン数	55	56	56	-1
1スクリーン当り人口	34,783	34,458	36,284	
映画館年間観客数(概算)	1,720,000	1,900,000	1,980,000	
年間映画鑑賞回数	0.9	1.0	1.0	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
岐阜市	TOHOシネマズ岐阜	1	10	1	10	1	10
大垣市	大垣コロナシネマワールド	1	10	1	10	1	10
関市	関シネックスマーゴ	1	8	1	8	1	8
各務原市	イオンシネマ各務原	1	10	1	10	1	10
本巣市	TOHOシネマズモレラ岐阜	1	12	1	12	1	12
シネマコンプレックス 合計		5	50	5	50	5	50

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
岐阜市	CINEX※1	元既	1 3	—	2		
	ロイヤル劇場※2	名	1 1	1	1		
	ミニシアター/名画座 合計		2 4	1 3	合計	0 0	

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
岐阜市	CINEX※1	既		1	2	CINEX※1	1 4
						ロイヤル劇場※2	1 1
	既存興行館 合計		0 0	1 2	合計	2 5	

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
岐阜市	岐阜朝日劇場	1	1	1	1	岐阜朝日劇場	1 1
	成人映画館 合計	1	1	1	1	合計	1 1
	シネマコンプレックス以外 合計	3	5	3	6	合計	3 6

		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		5	50	5	50	5	50	0	0
ミニシアター/名画座 合計		2	4	1	3	0	0	2	4
既存興行館 合計		0	0	1	2	2	5	-2	-5
成人映画館 合計		1	1	1	1	1	1	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		3	5	3	6	3	6	0	-1
岐阜県 合計		8	55	8	56	8	56	0	-1

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
岐阜市	ぎふアジア映画祭	地域映画祭	2002年 2024年9月20日～11月4日	岐阜文化センター / 岐阜市民会館/CINEX	
	MKE映画祭	地域映画祭	2012年 2024年7月13日	岐阜県図書館	1日のみの開催。
可児市	アール映画祭	地域映画祭	2006年 2024年12月6日～8日	可児市文化センター	

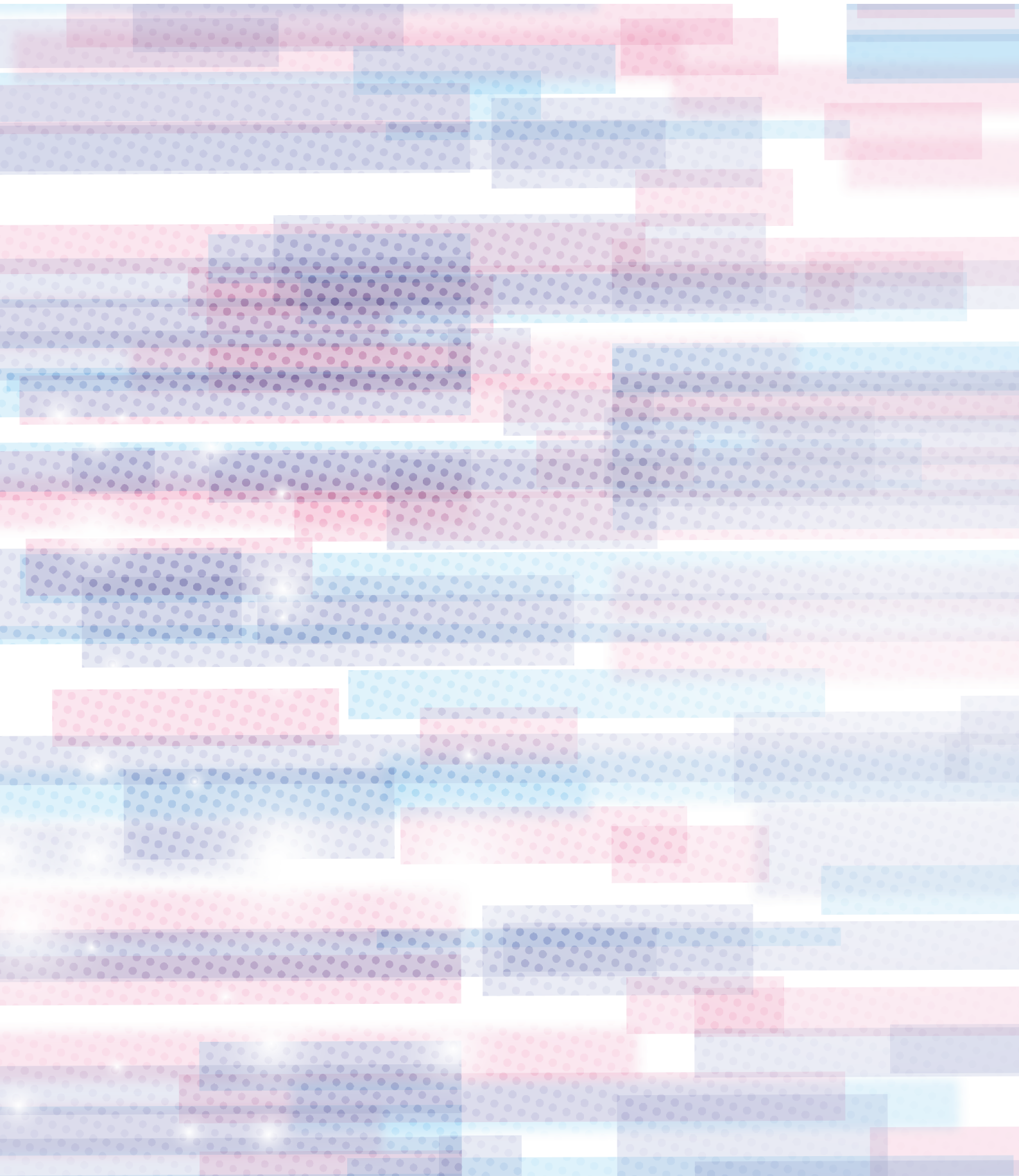
シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
羽鳥市	羽鳥市映画資料館(羽鳥市歴史民俗資料館)	1	—

映画館以外で行われる上映活動A		会場
高山市	ワンコインシネマ	高山市民文化会館
	モンデウスシアター	高山市位山交流広場モンデウスパーク
可児市	アールキネマ倶楽部 / アール映画祭ほか	可児市文化創造センター ala

映画館以外で行われる上映活動B		会場
羽鳥市	夏休み子ども映画会	不二羽鳥文化センター

※1
2020～2023年4スクリーンのうち既存興行館2スクリーン、ミニシアター2スクリーンにカウント。2024年スクリーン数4→3、全スクリーンをミニシアターとしてカウント。

※2
2020年より既存興行館からミニシアター / 名画座に移行。



静岡県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
静岡県人口	3,524,160	3,553,518	3,700,305	-176,145
静岡市(県庁所在地)人口	672,291	677,286	704,989	-32,698
静岡県のスクリーン数	106	105	97	9
1スクリーン当り人口	33,247	33,843	38,147	
映画館年間観客数(概算)	3,820,000	4,140,000	4,430,000	
年間映画鑑賞回数	1.1	1.2	1.2	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
静岡市	MOVIX 清水	1	9	1	9	1	9
	シネシティザート	1	10	1	10	1	10
浜松市	TOHO シネマズ浜松	1	9	1	9	1	9
	TOHO シネマズサンストリート浜北	1	9	1	9	1	9
沼津市	シネマサンシャイン沼津	1	8	1	8	1	8
	シネマサンシャインららぽーと沼津※1	1	10	1	10		
三島市	ジョイランドみしま	1	6	1	6	1	6
富士宮市	イオンシネマ富士宮	1	6	1	6	1	6
磐田市	TOHO シネマズららぽーと磐田	1	10	1	10	1	10
藤枝市	藤枝シネ・プレーゴ	1	7	1	7	1	7
清水町	シネプラザサントムーン	1	12	1	12	1	12
シネマコンプレックス 合計		11	96	11	96	10	86

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
静岡市	静岡シネ・ギャラリー	ミ	1 2	1 2	静岡シネ・ギャラリー	1	2
浜松市	シネマイーラ	ミ	1 1	1 1	シネマイーラ	1	1
伊東市	金星シネマ※2	ミ	1 1				
ミニシアター/名画座 合計		3	4	2 3	合計	2	3

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
静岡市	静岡東宝会館	既	1 5	1 5	静岡東宝会館	1	5
沼津市					ジョイランドシネマ沼津※3	1	1
既存興行館 合計		1	5	1 5	合計	2	6

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
浜松市	シネマハウス新映	1	1	1 1	シネマハウス新映	1	1
沼津市					沼津シネマ10※4	1	1
成人映画館 合計		1	1	1 1	合計	2	2
シネマコンプレックス以外 合計		5	10	4 9	合計	6	11

	2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	11	96	11	96	10	86	1	10
ミニシアター/名画座 合計	3	4	2	3	2	3	1	1
既存興行館 合計	1	5	1	5	2	6	-1	-1
成人映画館 合計	1	1	1	1	2	2	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計	5	10	4	9	6	11	-1	-1
静岡県 合計	16	106	15	105	16	97	0	9

※1
2019年6月開館

※2
2024年9月開館

※3
2014年「沼津宝塚」「沼津有楽座」が「ジョイランドシネマ沼津」に。2015年2月閉館。

※4
2020年12月閉館

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
浜松市	はままつ映画祭	地域映画祭	2001年	2025年1月25日～26日	木下恵介記念館	2023年は「みちくさ映画祭」として開催。
沼津市	めぐる沼津映画祭	地域映画祭	2023年	2024年11月4日	沼津ラクーンほか	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
浜松市	木下恵介記念館		1	－		
映画館以外で行われる上映活動A			会場			
沼津市	スキマcinema		沼津市内各所			
映画館以外で行われる上映活動B			会場			
静岡市	夢町座		夢町座			
	清水映画サークル協議会		はーとびあ清水 / 岡生涯学習交流館ほか			
浜松市	新作映画上映		みをつくし文化センター（天竜光明会館）			
	新作映画上映		なゆた浜北（天竜光明会館）			
	新作映画上映		雄踏文化センター（天竜光明会館）			
掛川市	新作映画上映		掛川市生涯学習センター（天竜光明会館）			
下田市	映画上映会		下田市民文化会館			
御前崎市	優秀映画鑑賞推進事業		御前崎市民会館			

愛知県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
愛知県人口	7,465,250	7,480,897	7,483,128	-17,878
名古屋市(県庁所在地)人口	2,331,264	2,326,683	2,295,638	35,626
愛知県のスクリーン数	266	268	258	8
1スクリーン当り人口	28,065	27,914	29,004	
映画館年間観客数(概算)	9,130,000	10,190,000	10,000,000	
年間映画鑑賞回数	1.2	1.4	1.3	

映画館の 状況	シネマコンプレックス			2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
名古屋市	中川コロナシネマワールド	1	12	1	12	中川コロナシネマワールド	1	12	
	イオンシネマ ワンダー	1	10	1	10	イオンシネマ ワンダー	1	10	
	109シネマズ名古屋	1	10	1	10	109シネマズ名古屋	1	10	
	ミッドランドスクエア シネマ ^{※1}	1	14	1	14	ミッドランドスクエア シネマ ^{※1}	1	7	
	イオンシネマ大高	1	10	1	10	イオンシネマ大高	1	10	
	イオンシネマ名古屋茶屋	1	12	1	12	イオンシネマ名古屋茶屋	1	12	
						TOHOシネマズ名古屋ベイシティ ^{※2}	1	12	
豊橋市	ユナイテッド・シネマ豊橋 18	1	18	1	18	ユナイテッド・シネマ豊橋 18	1	18	
岡崎市	ユナイテッド・シネマ岡崎 ^{※3}	1	9	1	9	シネプレックス岡崎 ^{※3}	1	9	
	イオンシネマ岡崎	1	10	1	10	イオンシネマ岡崎	1	10	
一宮市	TOHOシネマズ木曽川	1	10	1	10	TOHOシネマズ木曽川	1	10	
半田市						半田コロナシネマワールド ^{※4}	1	11	
春日井市						春日井コロナシネマワールド ^{※5}	1	8	
豊川市	豊川コロナシネマワールド	1	10	1	10	豊川コロナシネマワールド	1	10	
	イオンシネマ豊川	1	7	1	7	イオンシネマ豊川	1	7	
津島市	TOHOシネマズ津島	1	10	1	10	TOHOシネマズ津島	1	10	
豊田市	イオンシネマ豊田KiTARA ^{※6}	1	9	1	9				
安城市	安城コロナシネマワールド	1	10	1	10	安城コロナシネマワールド	1	10	
常滑市	イオンシネマ常滑 ^{※7}	1	9	1	9				
小牧市	小牧コロナシネマワールド	1	10	1	10	小牧コロナシネマワールド	1	10	
稲沢市	ユナイテッド・シネマ稲沢	1	9	1	9	ユナイテッド・シネマ稲沢	1	9	
日進市	TOHOシネマズ赤池 ^{※8}	1	10	1	10				
みよし市	MOVIX 三好	1	12	1	12	MOVIX 三好	1	12	
長久手市	イオンシネマ長久手 ^{※9}	1	10	1	10				
豊山町	ミッドランドシネマ名古屋空港	1	12	1	12	ミッドランドシネマ名古屋空港	1	12	
阿久比町	ユナイテッド・シネマ阿久比	1	9	1	9	ユナイテッド・シネマ阿久比	1	9	
東浦町	TOHOシネマズ東浦	1	9	1	9	TOHOシネマズ東浦	1	9	
	シネマコンプレックス 合計	24	251	24	251	合計	23	237	

シネマコンプレックス以外 ミ：ミニシアター／名：名画座／元既：元・既存館／既：既存館／新既：新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター／名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
名古屋市	ナゴヤキネマ・ノイ ^{※10}	ミ	1	1			
	名古屋シネマテーク ^{※10}	ミ		1	1	名古屋シネマテーク	1
	名演小劇場 ^{※11}	ミ		1	2	名演小劇場	1
	シネマスコーレ	ミ	1	1	1	シネマスコーレ	1
	センチュリーシネマ	ミ	1	1	2	センチュリーシネマ	1
	伏見ミリオン座 ^{※12}	ミ	1	1	4	伏見ミリオン座 ^{※12}	1
	大須シネマ ^{※13}	ミ	1	1	1		
	三越映画劇場 ^{※14}	ミ	1	1	1	三越映画劇場	1
刈谷市	刈谷日劇 ^{※16}	元既	1	1	2	キノシタホール ^{※15}	1
	ミニシアター／名画座 合計		7	8	14	合計	7

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
名古屋市						ピカデリー ^{※17}	1
刈谷市						刈谷日劇 ^{※16}	1
豊田市						トヨタグランド ^ト ※18	1
	既存興行館 合計	0	0	0	0	合計	3

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		
名古屋市	中村映劇	1	1	1	1	中村映劇	1	1
一宮市						尾西シネラマパワー※19	1	1
春日井市	春日井ユニオン劇場	1	1	1	1	春日井ユニオン劇場	1	1
西尾市	鶴城映劇	1	1	1	1	鶴城映劇	1	1
成人映画館 合計		3	3	3	3	合計	4	4
シネマコンプレックス以外 合計		10	15	11	17	合計	14	21

	2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	24	251	24	251	23	237	1	14
ミニシアター/名画座 合計	7	12	8	14	7	11	0	1
既存興行館 合計	0	0	0	0	3	6	-3	-6
成人映画館 合計	3	3	3	3	4	4	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計	10	15	11	17	14	21	-4	-6
愛知県 合計	34	266	35	268	37	258	-3	8

公共上映の
状況

映画祭		地域・国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
名古屋市	あいち国際女性映画祭	国際映画祭	1996年	2024年9月5日～8日	ウィルあいち/ ミッドランドスクエアシネマ	
	なごや国際オーガニック映画祭	国際映画祭	2012年	—	—	2024年度開催なし。
	アートフィルム・フェスティバル	地域映画祭	1996年	2024年11月23日～24日	愛知芸術文化センター	
	大須にじいろ映画祭	地域映画祭	2015年	—	—	2020年以降開催なし。
豊橋市	とよはしまちなかスロータウン映画祭	地域映画祭	2002年	2025年1月25日～2月22日 (土日のみ)	穂の国とよはし芸術劇場 PLAT	
東海市	知多半島映画祭	地域映画祭	2011年	2024年11月16日	アイブラザ半田	1日のみの開催。
大府市	おおぶ映画祭	地域映画祭	2018年	2025年3月15日～16日	愛三文化会館	2020年「大府ショートフィルムフェスティバル」から「おおぶ映画祭」に移行。

シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
名古屋市	愛知芸術文化センター	1	180
豊田市	豊田市博物館(豊田郷土資料館)	—	—

映画館以外で行われる上映活動 A		会場
名古屋市	シアター・カフェ	シアター・カフェ

映画館以外で行われる上映活動 B		会場
春日井市	かすがい日曜シネマ	文化フォーラム春日井/春日井市東部市民センター

※1
2016年7月スクリーン数7→14

※2
2020年11月閉館

※3
2018年2月運営会社が変わり「シネプレックス岡崎」→「ユナイテッド・シネマ岡崎」。

※4
2019年5月閉館

※5
2017年2月閉館

※6
2017年11月閉館

※7
2017年7月閉館

※8
2017年11月閉館

※9
2016年12月閉館

※10
2023年7月「名古屋シネマテーク」閉館、2024年3月「ナゴヤキネマ・ノイ」閉館。

※11
2023年3月休館後、11月閉館。

※12
2019年4月移転、スクリーン数3→4。

※13
2019年4月閉館

※14
2020年10月休館、運営母体を変え2023年3月再開。

※15
2019年4月閉館

※16
2020年より既存興行館からミニシアターに移行。

※17
2016年6月閉館

※18
2019年4月閉館

※19
2020年12月閉館

三重県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
三重県人口	1,711,370	1,727,503	1,815,865	-104,495
津市(県庁所在地)人口	267,001	269,645	279,886	-12,885
三重県のスクリーン数	63	63	58	5
1スクリーン当り人口	27,165	27,421	31,308	
映画館年間観客数(概算)	1,840,000	2,000,000	2,170,000	
年間映画鑑賞回数	1.1	1.2	1.2	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
津市	イオンシネマ津	1	7	1	7	1	7
	イオンシネマ津南※1	1	9	1	9		
四日市市	109シネマズ四日市	1	9	1	9	1	9
桑名市	イオンシネマ桑名	1	8	1	8	1	8
鈴鹿市	イオンシネマ鈴鹿	1	8	1	8	1	8
東員町	イオンシネマ東員	1	10	1	10	1	10
明和町	109シネマズ明和	1	8	1	8	1	8
シネマコンプレックス 合計		7	59	7	59	6	50

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
伊勢市	進富座 ミ	1	2	1	2	1	2
ミニシアター/名画座 合計		1	2	1	2	1	2

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
伊賀市						1	4
既存興行館 合計		0	0	0	0	1	4
						ジストシネマ伊賀上野※2	
						合計	4

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
四日市市	ロッポニカ四日市	1	1	1	1	1	1
松阪市	松阪大映劇場	1	1	1	1	1	1
成人映画館 合計		2	2	2	2	2	2
シネマコンプレックス以外 合計		3	4	3	4	4	8

		2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計		7	59	7	59	6	50	1	9
ミニシアター/名画座 合計		1	2	1	2	1	2	0	0
既存興行館 合計		0	0	0	0	1	4	-1	-4
成人映画館 合計		2	2	2	2	2	2	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		3	4	3	4	4	8	-1	-4
三重県 合計		10	63	10	63	10	58	0	5

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024 年の開催	主な会場	備考
津市	三重県内男女共同参画連携映画祭	地域映画祭	2006 年	2024 年 6 月～10 月	県内各会場	6 月～10 月にかけて 県内各地で開催。
四日市市	四日市映画祭	地域映画祭	2007 年	2024 年 11 月 23 日・24 日	近鉄アートホール	
志摩市	賢島映画祭	地域映画祭	2015 年	2024 年 9 月 8 日	賢島宝生苑	1 日のみの開催。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
亀山市	亀山市歴史博物館		－	－		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
－			－	－		
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
伊勢市	優秀映画鑑賞推進事業		伊勢市生涯学習センター いせトピア			
松阪市	優秀映画鑑賞推進事業		農業屋コミュニティ文化センター			
尾鷲市	せぎやまロードショー		尾鷲市民文化会館			
亀山市	優秀映画鑑賞推進事業		亀山市文化会館			

※1
2018年11月開館

※2
2018年2月開館

滋賀県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
滋賀県人口	1,400,812	1,406,103	1,412,916	-12,104
大津市(県庁所在地)人口	344,659	345,050	340,973	3,686
滋賀県のスクリーン数	33	33	38	-5
1スクリーン当り人口	42,449	42,609	37,182	
映画館年間観客数(概算)	1,230,000	1,370,000	1,220,000	
年間映画鑑賞回数	0.9	1.0	0.9	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
大津市	ユナイテッド・シネマ大津	1	7	1	7	1	7
						大津アレックスシネマ※	1 5
近江八幡市	イオンシネマ近江八幡	1	8	1	8	イオンシネマ近江八幡	1 8
草津市	イオンシネマ草津	1	9	1	9	イオンシネマ草津	1 9
甲賀市	水口アレックスシネマ	1	5	1	5	水口アレックスシネマ	1 5
	シネマコンプレックス 合計	4	29	4	29		5 34

シネマコンプレックス以外 ミニシアター/名：名画座/元既：元・既存館/既：既存館/新既：新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
	ミニシアター/名画座 合計	0	0	0	0	合計	0 0

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
彦根市	彦根ビバシティシネマ	既	1 4	1 4	彦根ビバシティシネマ	1 4	
	既存興行館 合計	1	4	1	4	合計	1 4

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
	成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	0 0
	シネマコンプレックス以外 合計	1	4	1	4	合計	1 4

		2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
	シネマコンプレックス 合計	4	29	4	29	5	34	-1	-5
	ミニシアター/名画座 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
	既存興行館 合計	1	4	1	4	1	4	0	0
	成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
	シネマコンプレックス以外 合計	1	4	1	4	1	4	0	0
	滋賀県 合計	5	33	5	33	6	38	-1	-5

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
東近江市	滋賀国際映画祭	地域映画祭	2018年	－	－	2023年、2024年開催なし。

シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
－		－	－

映画館以外で行われる上映活動A		会場
大津市	子ども映画会	大津市生涯学習センター
長浜市	宮前シネマ	宮前舎(cinema)

映画館以外で行われる上映活動B		会場
長浜市	優秀映画鑑賞推進事業	木之本スティックホール
近江八幡市	G-NETシネマ	男女共同参画センター G-NETしが
甲賀市	碧水ホール	碧水ホール
東近江市	優秀映画鑑賞推進事業	東近江市立八日市文化芸術会館

※
2022年3月閉館

京都府

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
京都府人口	2,521,262	2,536,995	2,610,353	-89,091
京都市(県庁所在地)人口	1,437,377	1,443,486	1,475,183	-37,806
京都府のスクリーン数	82	85	75	7
1スクリーン当り人口	30,747	29,847	34,805	
映画館年間観客数(概算)	3,680,000	3,940,000	3,760,000	
年間映画鑑賞回数	1.5	1.6	1.4	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
京都市	MOVIX 京都	1	12	1	12	1	12
	TOHOシネマズ二条	1	11	1	11	1	11
	T・ジョイ京都	1	12	1	12	1	12
	イオンシネマ京都桂川	1	12	1	12	1	12
木津川市	イオンシネマ高の原	1	9	1	9	1	9
久御山町	イオンシネマ久御山	1	8	1	8	1	8
シネマコンプレックス 合計		6	64	6	64	6	64

シネマコンプレックス以外 ミ：ミニシアター／名：名画座／元既：元・既存館／既：既存館／新既：新しくできた既存興行館（2005年以降開館）

ミニシアター／名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
京都市	京都シネマ	≡	1 3	1 3	京都シネマ	1 3	
	出町座※1	≡	1 2	1 2			
	アップリンク京都※2	≡	1 4	1 4			
	京都みなみ会館※3	≡		1 3	京都みなみ会館※3	1 1	
舞鶴市	シネ・グルージャ〔カフェシネマ〕※4	≡	1 1	1 1			
	ミニシアター／名画座 合計		4 10	5 13	合計	2 4	

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
福知山市	福知山シネマ※5	既	1 3	1 3	福知山シネマ※5	1 2	
舞鶴市	舞鶴八千代	既	1 3	1 3	舞鶴八千代	1 3	
既存興行館 合計			2 6	2 6	合計	2 5	

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		
京都市	本町館	1	1	1	1	本町館	1	1
	千本日活	1	1	1	1	千本日活	1	1
	成人映画館 合計	2	2	2	2	合計	2	2
	シネマコンプレックス以外 合計	8	18	9	21	合計	6	11

		2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計		6	64	6	64	6	64	0	0
ミニシアター／名画座 合計		4	10	5	13	2	4	2	6
既存興行館 合計		2	6	2	6	2	5	0	1
成人映画館 合計		2	2	2	2	2	2	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		8	18	9	21	6	11	2	7
京都府 合計		14	82	15	85	12	75	2	7

※1
2017年12月開館

※2
2020年6月開館

※3
2018年3月休館、2019年8月新館開館（スクリーン数1→3）。2023年9月閉館。

※4
2019年7月開館

※5
2017年頃スクリーン数2→3

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
京都市	京都国際子ども映画祭	国際映画祭	1994年	2024年8月2日～4日	京都文化博物館	
	京都国際学生映画祭	国際映画祭	2000年	2025年2月6日～9日	京都文化博物館	
	京都ヒストリカ国際映画祭	国際映画祭	2009年	2024年12月3日～8日	京都文化博物館	
	京まちなか映画祭	地域映画祭	2002年	2024年12月13日～15日	京都文化博物館	
	下鴨映画祭	地域映画祭	2023年	2025年2月16日	京都府立文化芸術会館	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
京都市	京都府京都文化博物館		1	172		
	おもちゃ映画ミュージアム		1	25		
	京都府立図書館		－	－		
	立命館大学アート・リサーチセンター		－	－		
	東映太秦映画村 映画図書室		－	－		
映画館以外で行われる上映活動A			会場			
京都市	京都国立近代美術館	京都国立近代美術館				
	京都映画サークル協議会	京都教育文化センター				
	WOT (ワット= What's On Thursday)	同志社大学寒梅館 ハーディーホール				
綾部市	中丹映画大好き劇場	中丹文化会館				
宇治市	宇治セレクトシネマ	宇治市文化センター(京都映画センター)				
映画館以外で行われる上映活動B			会場			
京都市	ピースムービーメント実行委員会	ひと・まち交流館 京都				
	映画上映会	京都市北文化会館(京都映画センター)				
宮津市	みやづシネマ劇場	宮津会館・みやづ歴史の館				
城陽市	パルクシネマ	文化パルク城陽				
長岡京市	映画上映会	長岡京記念文化会館				
八幡市	シネマ in 八幡	八幡市文化センター				
京丹後市	丹後映画大好き劇場ほか	京都府丹後文化会館				
木津川市	あじさいシアター	木津川市加茂文化センター				
久御山町	優秀映画鑑賞推進事業ほか	久御山町ふれあい交流館 ゆうホール				
精華町	けいはんな映画劇場	けいはんなプラザ				

大阪府

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
大阪府人口	8,770,315	8,774,574	8,839,469	-69,154
大阪市(県庁所在地)人口	2,791,907	2,770,520	2,691,185	100,722
大阪府のスクリーン数	241	241	227	14
1スクリーン当り人口	36,391	36,409	38,940	
映画館年間観客数(概算)	11,990,000	13,000,000	13,880,000	
年間映画鑑賞回数	1.4	1.5	1.6	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		
大阪市	なんばパークスシネマ	1	11	1	11	なんばパークスシネマ	1	11
	あべのアポロシネマ ^{*1}	1	9	1	9	あべのアポロシネマ ^{*1}	1	8
	TOHOシネマズ梅田	1	10	1	10	TOHOシネマズ梅田	1	10
	T・ジョイ梅田 ^{*2}	1	7	1	7	梅田ブルク7 ^{*2}	1	7
	大阪ステーションシティシネマ	1	12	1	12	大阪ステーションシティシネマ	1	12
	TOHOシネマズなんば	1	12	1	12	TOHOシネマズなんば	1	12
	イオンシネマシアタス心斎橋 ^{*3}	1	7	1	7			
堺市	MOVIX堺	1	12	1	12	MOVIX堺	1	12
	TOHOシネマズ鳳	1	10	1	10	TOHOシネマズ鳳	1	10
	TOHOシネマズ泉北	1	9	1	9	TOHOシネマズ泉北	1	9
岸和田市	ユナイテッド・シネマ岸和田	1	9	1	9	ユナイテッド・シネマ岸和田	1	9
吹田市	109シネマズ大阪エキスポシティ	1	11	1	11	109シネマズ大阪エキスポシティ ^{*4}	1	11
高槻市	高槻アレックスシネマ	1	9	1	9	高槻アレックスシネマ	1	9
守口市	イオンシネマ大日	1	8	1	8	イオンシネマ大日	1	8
枚方市	ユナイテッド・シネマ枚方 ^{*5}	1	9	1	9	シネプレックス枚方 ^{*5}	1	9
	TOHOシネマズくずはモール	1	10	1	10	TOHOシネマズくずはモール	1	10
茨木市	イオンシネマ茨木	1	10	1	10	イオンシネマ茨木	1	10
八尾市	MOVIX八尾 ^{*6}	1	12	1	12	MOVIX八尾	1	12
松原市	TOHOシネマズ セブンパーク天美 ^{*7}	1	10	1	10			
箕面市	109シネマズ箕面	1	9	1	9	109シネマズ箕面	1	9
門真市	TOHOシネマズららぽーと門真 ^{*8}	1	9	1	9			
東大阪市						布施ラインシネマ ^{*9}	1	7
泉南市	イオンシネマりんくう泉南	1	8	1	8	イオンシネマりんくう泉南	1	8
四條畷市	イオンシネマ四条畷	1	11	1	11	イオンシネマ四条畷 ^{*10}	1	11
	シネマコンプレックス 合計	23	224	23	224	合計	21	204

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024		2023		2015	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
大阪市	シネ・ヌーヴォ / シネ・ヌーヴォ X	ミ	1	2	シネ・ヌーヴォ / シネ・ヌーヴォ X	1	2
	第七藝術劇場 ^{*11}	ミ	1	1	第七藝術劇場 ^{*11}	1	1
	シアターセブン ^{*11}	ミ	—	1	シアターセブン ^{*11}	—	1
	テアトル梅田(←シネ・リーブル梅田) ^{*12}	ミ	1	4	シネ・リーブル梅田 ^{*12}	1	4
					テアトル梅田 ^{*13}	1	2
	扇町キネマ ^{*14}	ミ	1	1			
	キノシネマ心斎橋 ^{*15}	ミ	1	2			
	シネマート心斎橋 ^{*15}	ミ	—	—	シネマート心斎橋	1	2
	新世界国際劇場	名	1	1	新世界国際劇場	1	1
	新世界東映	名	1	1	新世界東映	1	1
ミニシアター/名画座 合計			7	13	合計	8	16

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
大阪市				淡路東宝 ^{*17}		1	1
既存興行館 合計		0	0	0	0	合計	1 1

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		
大阪市	日劇シネマ／ローズ	1	2	1	2	日劇シネマ／ローズ	1	2
	上六シネマ	1	1	1	1	上六シネマ	1	1
	新世界国際地下劇場	1	1	1	1	新世界国際地下劇場	1	1
						新世界日活劇場※18	1	1
						国名小劇※19	1	1
	成人映画館 合計	3	4	3	4	合計	5	6
	シネマコンプレックス以外 合計	10	17	10	17	合計	14	23

	2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	23	224	23	224	21	204	2	20
ミニシアター/名画座 合計	7	13	7	13	8	16	-1	-3
既存興行館 合計	0	0	0	0	1	1	-1	-1
成人映画館 合計	3	4	3	4	5	6	-2	-2
シネマコンプレックス以外 合計	10	17	10	17	14	23	-4	-6
大阪府 合計	33	241	33	241	35	227	-2	14

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
大阪市	大阪アジア映画祭	国際映画祭	2005 年	2025 年 3 月 14 日～23 日	ABCホール/ 大阪中之島美術館ほか	
	関西クィア映画祭	国際映画祭	2006 年	－	－	2024 年開催なし。
	花開くコリア・アニメーション+アジア	国際映画祭	2008 年	－	－	2024 年開催なし。
	大阪韓国映画祭	国際映画祭	2015 年	2024 年 11 月 22 日～30 日	大坂韓国文化院	
	おおさかシネマフェスティバル	地域映画祭	1976 年	－	－	2024 年度は各賞を 2025 年 2 月にホーム ページで発表。
	中之島映画祭	地域映画祭	2003 年	2024 年 5 月 3 日～5 日	大阪市中央公会堂	
	十三下町映画祭	地域映画祭	2024 年	2024 年 11 月 15 日～17 日	シアターセブン/ 第七藝術劇場	2024 年第 1 回開催。
泉佐野市	泉佐野フィルムフェス	地域映画祭	2025 年	2025 年 3 月 21 日～23 日	エブノ泉の森ホール	2024 年度第 1 回 開催。
門真市	門真国際映画祭	国際映画祭	2018 年	－	－	2022 年以降開催 なし。

シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
大阪市	プラネット映画資料図書館(プラネットプラスワン)	1	25
吹田市	国立民族学博物館	1	450
池田市	阪急文化財団池田文庫	－	－
河南町	大阪芸術大学博物館	－	－

映画館以外で行われる上映活動 A		会場
大阪市	ウィークエンドシネマ	大阪平和センター ビースおおさか
豊中市	とよキネマ	豊中市文化芸術センター

映画館以外で行われる上映活動 B		会場
大阪市	つるみヒューマンシアター	鶴見区民センター
	あべのコミュニティシネマ	阿倍野区民センター
堺市	東文化名画座/子ども映画会	堺市東文化会館
	名画鑑賞会	堺市梅文化会館
豊中市	すてっふ映画上映会	とよなか男女共同参画推進センターすてっふ
枚方市	映画上映会	枚方市総合文化芸術センター
茨木市	話題の映画@茨木	茨木市市民総合センター(大阪映画センター)
	優秀映画鑑賞推進事業	茨木市市民総合センター
富田林市	すばる映画祭 -Film Collection	すばるホール
	とんだばやしシネマプラス	じないまち Lab.(貸しスペース)
寝屋川市	優秀映画鑑賞推進事業	寝屋川市立地域交流センター
河内長野市	シネマ de ラブリー	河内長野市立文化会館[ラブリーホール]
大東市	日曜フィルム	大東市立文化情報センター
	優秀映画鑑賞推進事業	大東市立文化ホール
和泉市	弥生の風名作シネマ劇場	和泉シティプラザ弥生の風ホール
柏原市	リビエール映画上映会	柏原市民文化会館
東大阪市	いこう! らむシネマ	東大阪男女共同参画センター

※1
2017 年 3 月スクリーン数 8→9

※2
2023 年 4 月「梅田ブルク7」→「T・ジョイ梅田」に改称。

※3
2021 年 3 月開館

※4
2015 年 11 月開館

※5
2017 年 2 月運営会社が変わり「シネプレックス枚方」→「ユナイテッド・シネマ枚方」。2025 年 2 月閉館。

※6
2023 年 8 月～2024 年 11 月休館

※7
2021 年 11 月開館

※8
2023 年 4 月開館

※9
2020 年 2 月閉館

※10
2015 年 10 月開館

※11
「第七藝術劇場」「シアターセブン」を合わせて 1 館としてカウント。

※12
2024 年 4 月「シネ・リーブル梅田」→「テアトル梅田」に改称。

※13
2022 年 9 月閉館

※14
2023 年 10 月開館

※15
2024 年 10 月「シネマート心齋橋」閉館、12 月同地に「キノシネマ心齋橋」開館。

※16
2015 年 3 月閉館

※17
2017 年 5 月閉館

※18
2015 年 9 月閉館

※19
2021 年 12 月閉館

兵庫県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
兵庫県人口	5,336,665	5,369,834	5,534,800	-198,135
神戸市(県庁所在地)人口	1,492,282	1,499,887	1,537,272	-44,990
兵庫県のスクリーン数	120	120	127	-7
1スクリーン当り人口	44,472	44,749	43,241	
映画館年間観客数(概算)	4,230,000	4,810,000	3,590,000	
年間映画鑑賞回数	0.8	0.9	0.6	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
神戸市	109シネマズHAT神戸	1	10	1	10	1	10
	OSシネマズミント神戸	1	8	1	8	1	8
	OSシネマズ神戸ハーバーランド※1	1	10	1	10	1	9
姫路市	アースシネマズ姫路	1	12	1	12	1	12
尼崎市	MOVIXあまがさき	1	11	1	11	1	11
明石市	イオンシネマ明石	1	7	1	7	1	7
西宮市	TOHOシネマズ西宮OS	1	12	1	12	1	12
伊丹市	TOHOシネマズ伊丹	1	8	1	8	1	8
加古川市	イオンシネマ加古川	1	8	1	8	1	8
三田市	イオンシネマ三田ウッディタウン	1	7	1	7	1	7
シネマコンプレックス 合計		10	93	10	93	10	92

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024		2023		2015			
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
神戸市	シネ・リーブル神戸※3	ミ	1	3	1	3	シネ・リーブル神戸※3	1	3
	元町映画館	ミ	1	1	1	1	元町映画館	1	1
	キノシネマ神戸国際※4	元既	1	4	1	4			
	シネマ神戸※5	名	1	2	1	2	シネマ神戸※5	1	1
	バルシネマしんこうえん	名	1	1	1	1	バルシネマしんこうえん	1	1
尼崎市	塚口サンサン劇場※6	元既	—	2					
豊岡市	豊岡劇場※7	元既	—	1	—	1	豊岡劇場※7	—	1
宝塚市	シネ・ビビア	ミ	1	2	1	2	シネ・ビビア	1	2
丹波市	エビスシネマ※8	ミ	1	1	1	1			
ミニシアター/名画座 合計			7	17	7	15	合計	5	9

既存興行館		2024		2023		2015			
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
神戸市	カナートホール	既	1	1	1	1	カナートホール	1	1
							神戸国際松竹 ^{※4}	1	4
姫路市							シネパレス山陽座 ^{※9}	1	4
							姫路・大劇シネマ ^{※10}	1	3
							姫路OS ^{※11}	1	3
尼崎市	塚口サンサン劇場 ^{※6}	既	1	2	1	4	塚口サンサン劇場	1	4
洲本市	洲本オリオン	既	1	1	1	1	洲本オリオン ^{※12}	0	0
豊岡市	豊岡劇場 ^{※7}	新既	1	1	1	1	豊岡劇場 ^{※7}	1	1
赤穂市	プラット赤穂シネマ	既	1	3	1	3	プラット赤穂シネマ	1	3
既存興行館 合計			5	8	5	10	合計	8	23

成人映画館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	
神戸市	福原国際東映	1	1	1	1	福原国際東映	1	1
						シネマ神戸2※5	1	1
尼崎市	尼崎パレス	1	1	1	1	尼崎パレス	1	1
	成人映画館 合計	2	2	2	2	合計	3	3
	シネマコンプレックス以外 合計	14	27	14	27	合計	16	35

		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		10	93	10	93	10	92	0	1
ミニシアター/名画座 合計		7	17	7	15	5	9	2	8
既存興行館 合計		5	8	5	10	8	23	-3	-15
成人映画館 合計		2	2	2	2	3	3	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計		14	27	14	27	16	35	-2	-8
兵庫県 合計		24	120	24	120	26	127	-2	-7

公共上映の
状況

映画祭	地域・国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
神戸市	神戸発掘映画祭	2009年	2024年10月19日～20日・25日～27日	神戸映画資料館	
	神戸クラシックコメディ映画祭	2017年	2025年1月11日～13日	神戸映画資料館 / 旧グッゲンハイム邸	
	神戸インディペンデント映画祭	2019年	2024年11月30日～12月1日	新開地アートひろば	
洲本市	うみぞら映画祭	2016年	2024年4月27日～29日	大浜海水浴場	
相生市	相生なぎさ短編映画祭	2018年	2024年5月25日～26日	相生市文化会館	
宝塚市	宝塚映画祭	1999年	2024年11月1日～7日	宝塚シネ・ビシア	
南あわじ市	南あわじ市子ども映画祭	2006年	2024年9月28日	南あわじ市市地区公民館	2023年までは「アジア国際子ども映画祭」として開催。

シネマテーク及び映画資料館等

	ホール数	席数
神戸市	神戸映画資料館	1 38
市川町	橋本忍記念館	- -

映画館以外で行われる上映活動 A

	会場
神戸市	神戸映画サークル協議会
	KEN-Vi名画サロン / 県美シネマクラシックほか
	アムスタ! 神戸
豊岡市	豊岡映画センター定期上映会
たつの市	サタデーシネマ

映画館以外で行われる上映活動 B

	会場
神戸市	なでしこ月曜シネマ
	映画上映会
	心かよわす親子映画大会
姫路市	姫路シネマクラブ
明石市	明石シネマクラブ
西宮市	フレンテ映画サロン
芦屋市	名画鑑賞会
	いきいきシネマサロン
	多文化共生映画上映会 / ヒューマンライツシアターほか
伊丹市	伊丹ラスト映画倶楽部
相生市	優秀映画鑑賞推進事業
加古川市	加古川シネマクラブ
宝塚市	シネマ イン ソリオ
川西市	みつなか名画シアター（優秀映画鑑賞推進事業）
小野市	小野名画劇場
朝来市	映画上映会
六甲市	映画上映会
加東市	かとうきらめきシネマ
市川町	優秀映画鑑賞推進事業

※1

2018年2月スクリーン数9→10

※2

2015年7月開館

※3

2017年11月～2020年10月スクリーン数4

※4

2022年3月「神戸国際松竹」開館、同年4月「キノシネマ神戸国際」開館。

※5

2021年3月より成人映画館だった「シネマ神戸2」もミニシアターの編成に変更。

※6

4スクリーンのうち2スクリーンを既存興行館、2スクリーンをミニシアターとしてカウント。

※7

2011年閉館、2014年～2022年8月は(有)石橋設計により運営。閉館後、2023年3月以降一般社団法人により運営。1スクリーンを既存興行館、1スクリーンをミニシアターとしてカウント。

※8

2021年7月開館

※9

2016年1月閉館

※10

2015年11月閉館

※11

2016年1月閉館

※12

2015年休館中

奈良県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
奈良県人口	1,285,094	1,295,681	1,364,316	-79,222
奈良市(県庁所在地)人口	347,557	349,774	360,310	-12,753
奈良県のスクリーン数	27	27	34	-7
1スクリーン当り人口	47,596	47,988	40,127	
映画館年間観客数(概算)	1,330,000	1,390,000	1,990,000	
年間映画鑑賞回数	1.0	1.1	1.5	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
大和郡山市	シネマサンシャイン大和郡山	1	9	1	9	1	9
橿原市	TOHOシネマズ橿原	1	9	1	9	1	9
	ユナイテッド・シネマ橿原	1	9	1	9	1	9
河合町						1	7
シネマコンプレックス 合計		3	27	3	27	4	34

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座	2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座 合計	0	0	0	0	0	0

既存興行館	2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
既存興行館 合計	0	0	0	0	0	0

成人映画館	2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	0	0	0	0	0	0

	2024	2023	2015	増減(2015→2024)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
シネマコンプレックス 合計	3	27	3	27	4 34 -1 -7
ミニシアター/名画座 合計	0	0	0	0	0 0 0 0
既存興行館 合計	0	0	0	0	0 0 0 0
成人映画館 合計	0	0	0	0	0 0 0 0
シネマコンプレックス以外 合計	0	0	0	0	0 0 0 0
奈良県 合計	3	27	3	27	4 34 -1 -7

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
奈良市	なら国際映画祭	国際映画祭	2010年 2024年9月20日～23日	東大寺 総合文化センター / 春日大社	隔年開催

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
-	-	-

映画館以外で行われる上映活動A	会場
奈良市	ならシネマテーク / なら国際映画祭
	奈良市ならまちセンター市民ホールほか
	奈良シネマクラブ
	奈良市西部会館

映画館以外で行われる上映活動B	会場
大和郡山市	優秀映画鑑賞推進事業
	やまと郡山城ホール
生駒市	優秀映画鑑賞推進事業
	南コミュニティセンターせせらぎ

※1
2014年8月「MOVIX橿原」閉館、2015年12月「ユナイテッド・シネマ橿原」開館。
※2
2022年8月閉館

和歌山県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
和歌山県人口	879,617	891,620	963,579	-83,962
和歌山市(県庁所在地)人口	344,941	348,446	364,154	-19,213
和歌山県のスクリーン数	31	31	30	1
1スクリーン当り人口	28,375	28,762	32,119	
映画館年間観客数(概算)	830,000	910,000	1,020,000	
年間映画鑑賞回数	0.9	1.0	1.1	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
和歌山市	ジストシネマ和歌山	1	10	1	10	1	10
	イオンシネマ和歌山	1	10	1	10	1	10
	シネマコンプレックス 合計	2	20	2	20	2	20

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター／名:名画座／元既:元・既存館／既:既存館／新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
和歌山市	シネマ203※	ミ	1 1	1 1			
	ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	0	0

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
御坊市	ジストシネマ御坊	既	1 3	1 3	ジストシネマ御坊	1 3	
田辺市	ジストシネマ田辺	既	1 3	1 3	ジストシネマ田辺	1 3	
新宮市	ジストシネマ南紀	新既	1 4	1 4	ジストシネマ南紀	1 4	
既存興行館 合計			3 10	3 10	合計	3 10	

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		4	11	4	11	3	10

		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		2	20	2	20	2	20	0	0
ミニシアター/名画座 合計		1	1	1	1	0	0	1	1
既存興行館 合計		3	10	3	10	3	10	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		4	11	4	11	3	10	1	1
和歌山県 合計		6	31	6	31	5	30	1	1

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
和歌山市	Kisssh-Kisssssh映画祭	地域映画祭	2013年	2024年10月12日～13日	北ぶらくり丁商店街/ 本町公園	
田辺市	田辺・弁慶映画祭	地域映画祭	2007年	2024年11月8日～10日	紀南文化会館	

シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
-		-	-

映画館以外で行われる上映活動A		会場
田辺市	キノクマ座(旧「ふたかわ超学校 音楽室シネマ」)	クリシュナカフェなど

映画館以外で行われる上映活動B		会場
和歌山市	優秀映画鑑賞推進事業	和歌山県民文化会館
有田市	紀文ホール映画会	有田市民会館紀文ホール
かつらぎ町	映画上映会	かつらぎ総合文化会館 あじさいホール
那智勝浦町	優秀映画鑑賞推進事業	那智勝浦町体育文化会館

※
2023年10月開館

鳥取県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
鳥取県人口	531,085	537,318	570,188	-39,103
鳥取市(県庁所在地)人口	182,207	184,132	192,507	-10,300
鳥取県のスクリーン数	12	12	11	1
1スクリーン当り人口	44,257	44,777	51,835	
映画館年間観客数(概算)	490,000	530,000	420,000	
年間映画鑑賞回数	0.9	1.0	0.7	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
日吉津村	MOVIX日吉津	1	6	1	6	1	6
シネマコンプレックス 合計		1	6	1	6	1	6

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
湯梨浜町	ジグシアター*	ミ	1 1	1 1			
ミニシアター/名画座 合計		1	1	1	1	0	0

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
鳥取市	鳥取シネマ	既	1 2	1 2	鳥取シネマ	1	2
倉吉市	倉吉パープルタウン シネマエボック	既	1 3	1 3	倉吉パープルタウン シネマエボック	1	3
既存興行館 合計		2	5	2	5	2	5

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		3	6	3	6	2	5

		2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計		1	6	1	6	1	6	0	0
ミニシアター/名画座 合計		1	1	1	1	0	0	1	1
既存興行館 合計		2	5	2	5	2	5	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		3	6	3	6	2	5	1	1
鳥取県 合計		4	12	4	12	3	11	1	1

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
米子市	よなご映像フェスティバル	地域映画祭	2007年	—	—	2020年以降開催なし。
	米子映画事変	地域映画祭	2011年	2024年10月5日～6日	米子市公会堂	
境港市	海とみなとの映画祭	地域映画祭	2013年	—	—	2020年以降開催なし。

シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
智頭町	西河克己映画記念館	—	—

映画館以外で行われる上映活動A		会場
大山町	ええがな大山	なかやま温泉館内 生活想像館わくわくホール

映画館以外で行われる上映活動B		会場
鳥取市	えいがの時間	わらべ館
	映画上映会	鳥取県立博物館
	映画上映会	鳥取市文化ホール
米子市	米子シネマクラブ	米子コンベンションセンター
	米子名画シアター(優秀映画鑑賞推進事業)	米子市公会堂
境港市	シンフォニー・ムービー・シアター	境港市文化ホール

※
2021年7月開館、1ヶ月に1週間程度上映。

島根県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
島根県人口	641,396	649,235	694,352	-52,956
松江市(県庁所在地)人口	197,280	199,023	206,230	-8,950
島根県のスクリーン数	16	16	15	1
1スクリーン当り人口	40,087	40,577	46,290	
映画館年間観客数(概算)	490,000	530,000	420,000	
年間映画鑑賞回数	0.8	0.8	0.6	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
松江市	松江東宝 5 ^{※1}	1	5	1	5	1	5
出雲市	T・ジョイ出雲	1	10	1	10	1	10
シネマコンプレックス 合計		2	15	2	15	合計	2 15

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
益田市	小野沢シネマ ^{※2}	ミ	1 1	1 1			
ミニシアター/名画座 合計			1 1	1 1	合計	0	0

既存興行館	2024		2023		2015		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
既存興行館 合計	0	0	0	0	合計	0	0

成人映画館	2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン			2015 映画館 スクリーン	
成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	1	1	1	1	合計	0	0

	2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	2	15	2	15	2	15	0	0
ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	0	0	1	1
既存興行館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	1	1	1	1	0	0	1	1
島根県 合計	3	16	3	16	2	15	1	1

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
松江市ほか	しまね映画祭	地域映画祭	1992年	2024年9月～12月	島根県民会館/松江テルサ ほか県内各所で開催

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
安来市 足立美術館(映画資料)	－	－

映画館以外で行われる上映活動A		会場
松江市	さんびるシアター	松江テルサ
	島根県民会館名画劇場	島根県民会館
益田市	グラントワシアター	島根県芸術文化センター〔グラントワ〕

映画館以外で行われる上映活動B		会場
松江市	松江キネマ倶楽部	松江市市民活動センター
	クララとクロダのひょっこりシネマ	島根県民会館ほか
	優秀映画鑑賞推進事業	松江市美保関海の学苑ふるさと創生館
安来市	映画上映会	安来市民会館
雲南市	映画上映会	雲南市木次経済文化会館 チェリヴァホール
川本町	優秀映画鑑賞推進事業ほか	悠邑ふるさと会館
津和野町	ミニ上映会	日原にぎわい創出拠点かわべ

※1
2025年1月閉館、同年夏に後継館開館予定。

※2
2008年に閉館した「デジタルシアター益田中央」跡に2022年1月開館。

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
岡山市	岡山映画祭	地域映画祭	1995 年	2024 年 10 月 12 日～11 月 10 日	岡山県天神山文化プラザ / 岡山市立オリエント美術館	
真庭市	ニューガーデン映画祭	地域映画祭	2023 年	2025 年 3 月 21 日～23 日	ビクトリシアター / 真庭市立中央図書館	
玉野市	宇野港芸術映画座	国際映画祭	2010 年	2025 年 1 月 10 日～13 日(会場)	奉還町 4 丁目ラウンジ・カド	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
-			-	-		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
倉敷市	湊シネマ	倉敷市玉島市民交流センター				
津山市	ベルフォーレシアター「まちなかシネマ」	ベルフォーレ津山				
真庭市	中央図書館シアター月イチ映画会ほか	真庭市立中央図書館 映像シアター				
	ビクトリシアター	ビクトリシアター				
早島町	ハヤシネマ	早島町 ゆるびの舎				
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
岡山市	岡山映画鑑賞会	岡山県天神山文化プラザ				
	優秀映画鑑賞推進事業ほか	岡山県天神山文化プラザ				
笠岡市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	笠岡市保健センター				
新見市	優秀映画鑑賞推進事業	新見市新見文化交流館				

広島県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
広島県人口	2,716,733	2,739,446	2,827,389	-110,656
広島市(県庁所在地)人口	1,179,915	1,185,505	1,187,970	-8,055
広島県のスクリーン数	79	79	73	6
1スクリーン当り人口	34,389	34,677	38,731	
映画館年間観客数(概算)	3,160,000	3,340,000	3,180,000	
年間映画鑑賞回数	1.2	1.2	1.1	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
広島市	イオンシネマ広島	1	7	1	7	1	7
	109シネマズ広島	1	9	1	9	1	9
	TOHOシネマズ緑井	1	8	1	8	1	8
	イオンシネマ広島西風新都※1	1	9	1	9		
福山市	福山エーガル8シネマズ	1	8	1	8	1	8
	福山コロナシネマワールド	1	10	1	10	1	10
東広島市	T・ジョイ東広島	1	6	1	6	1	6
府中町	広島バルト11	1	11	1	11	1	11
シネマコンプレックス 合計		8	68	8	68	7	59

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	
広島市	八丁座	ミ	1	2	1	2	1	2
	サロンシネマ※2	ミ	1	2	1	2	1	2
						広島シネ・ツイン本通り※3	1	1
	広島横川シネマ	ミ	1	1	1	1	1	1
呉市	呉ポポロ※4	元既	－	1				
尾道市	シネマ尾道	ミ	1	1	1	1	1	1
福山市	シネマモード	元既	1	2	1	2	1	2
ミニシアター/名画座 合計			5	9	5	8	6	9

既存興行館			2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン		2015 映画館	スクリーン
呉市	呉ポポロ※4	新既	1	1	1	2	呉ポポロ	1	2
	既存興行館 合計		1	1	1	2	合計	1	2

成人映画館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	
広島市	横川有楽座※5	1	1	1	1			
						広島劇場シネマ/有楽座※5	1	2
						広島横川銀映※6	1	1
	成人映画館 合計	1	1	1	1	合計	2	3
	シネマコンプレックス以外 合計	7	11	7	11	合計	9	14

	2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	8	68	8	68	7	59	1	9
ミニシアター/名画座 合計	5	9	5	8	6	9	-1	0
既存興行館 合計	1	1	1	2	1	2	0	-1
成人映画館 合計	1	1	1	1	2	3	-1	-2
シネマコンプレックス以外 合計	7	11	7	11	9	14	-2	-3
広島県 合計	15	79	15	79	16	73	-1	6

※1
2018年4月開館

※2
2014年9月大手町から八丁堀「広島ループル」「広島東映」跡へ移転。

※3
2016年10月閉館

※4
2スクリーンのうち1スクリーンを既存興行館、1スクリーンをミニシアターとしてカウント。

※5
2018年9月「広島劇場シネマ/有楽座」閉館。11月「広島横川銀映」跡に後継館「横川有楽座」開館。

※6
2018年9月閉館

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
広島市	ひろしまアニメーションシーズン	国際映画祭	2022年	2024年8月14日～21日	JMSアステールプラザ	
	広島国際映画祭	国際映画祭	2009年	2024年11月22日～24日	NTTクレドホール / 広島市映像文化ライブラリー / 八丁座 / 横川シネマ	
	食と農の映画祭 in ひろしま	地域映画祭	2009年	2025年3月21日～27日	サロンシネマ	
	広島イラン愛と平和の映画祭	地域映画祭	2014年	2024年8月3日～6日	横川シネマ	
尾道市	尾道映画祭	地域映画祭	2017年	2025年1月24日～26日	しまなみ交流館 / シネマ尾道	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
広島市	広島市映像文化ライブラリー		1	169		
尾道市	おのみち映画資料館		－	－		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
広島市	Social Book Cafe ハチドリ舎		Social Book Cafe ハチドリ舎			
三原市	リージョン映画のつどい / 優秀映画鑑賞推進事業		三原リージョンプラザ			
三次市	きりりシネマ倶楽部		三次市民ホール きりり((株)フューレック)			
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
広島市	広島映画サークル協議会		広島県立美術館			
	1日映画館		安芸区民文化センター			
	優秀映画鑑賞推進事業		安佐南区民文化センター			
呉市	呉映画サークル		呉ボボロシアター			
福山市	福山映画サークル		－			
東広島市	くららシネマ		東広島芸術文化ホール くらら			
廿日市市	ウッドワンさくらびあシネマ		ウッドワンさくらびあ			

山口県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
山口県人口	1,279,601	1,296,593	1,404,729	-125,128
山口市(県庁所在地)人口	189,547	191,033	197,422	-7,875
山口県のスクリーン数	32	32	31	1
1スクリーン当り人口	39,988	40,519	45,314	
映画館年間観客数(概算)	1,020,000	1,100,000	940,000	
年間映画鑑賞回数	0.8	0.8	0.7	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
下関市	シネマサンシャイン下関	1	8	1	8	1	8
宇部市	シネマスクエア7	1	7	1	7	1	7
防府市	イオンシネマ防府	1	7	1	7	1	7
下松市	MOVIX周南	1	7	1	7	1	7
シネマコンプレックス 合計		4	29	4	29	4	29

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
下関市	シネマポスト*	ミ	1 1	1 1			
萩市	萩ツインシネマ	ミ	1 2	1 2	萩ツインシネマ	1 2	
ミニシアター/名画座 合計			2 3	2 3	合計	1 2	

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
既存興行館 合計		0	0	0	0	合計	0 0

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
成人映画館 合計		0	0	0	0	合計	0 0
シネマコンプレックス以外 合計		2	3	2	3	合計	1 2

		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		4	29	4	29	4	29	0	0
ミニシアター/名画座 合計		2	3	2	3	1	2	1	1
既存興行館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		2	3	2	3	1	2	1	1
山口県 合計		6	32	6	32	5	31	1	1

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
周南市	周南〔絆〕映画祭	地域映画祭	2009年	2024年11月30日～12月1日	テアトル徳山/ シネマ・ヌーヴェル	

シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
山口市	山口情報芸術センター〔YCAM〕	1	100
下関市	下関市立近代先人顕彰館(田中絹代ぶなか館)	1	40

映画館以外で行われる上映活動A		会場
山口市	西京シネクラブ	山口市民会館

映画館以外で行われる上映活動B		会場
下関市	優秀映画鑑賞推進事業	下関市民会館
岩国市	優秀映画鑑賞推進事業	岩国市周東文化会館
光市	優秀映画鑑賞推進事業	光市民ホール
長門市	ルネッサシネマ～市民名画劇場 / 優秀映画鑑賞推進事業	ルネッサながと

※
2023年10月開館、1ヶ月に2週間程度上映。

徳島県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
徳島県人口	685,357	694,841	755,733	-70,376
徳島市(県庁所在地)人口	245,349	247,441	258,554	-13,205
徳島県のスクリーン数	19	19	10	9
1スクリーン当り人口	36,071	36,571	75,573	
映画館年間観客数(概算)	350,000	350,000	420,000	
年間映画鑑賞回数	0.5	0.5	0.6	

映画館の
状況

シネマコンプレックス	2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
徳島市	イオンシネマ徳島 ^{※1}	1	9	1	9	
北島町	シネマサンシャイン北島	1	8		1	8
シネマコンプレックス 合計	2	17	2	17	1	8

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座	2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
徳島市	ufotable CINEMA ^{※2}	元既 1	2	1	2	
ミニシアター/名画座 合計	1	2	1	2	0	0

既存興行館	2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
徳島市				ufotable CINEMA ^{※2}	1	2
既存興行館 合計	0	0	0	0	1	2

成人映画館	2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	1	2	1	2	1	2

	2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	増減(2015→2024) 映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	2	17	2	17	1	8	1	9
ミニシアター/名画座 合計	1	2	1	2	0	0	1	2
既存興行館 合計	0	0	0	0	1	2	-1	-2
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	1	2	1	2	1	2	0	0
徳島県 合計	3	19	3	19	2	10	1	9

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
徳島市	徳島ニューノーマル映画祭(徳島国際映画祭)	地域映画祭	2016年	－	－	2024年開催なし。
神山町	神山映画祭	地域映画祭	2015年	2024年11月30日～12月1日	神山中学校	「4K・VR徳島映画祭」から「神山映画祭」に名称変更(2024)。

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
－	－	－

映画館以外で行われる上映活動 A	会場
徳島市	徳島でみれない映画をみる会 土曜映画会 / 優秀映画鑑賞推進事業
徳島市	徳島市シビックセンター
徳島市	徳島県立21世紀館
美馬市	美馬市地域交流センター ミライズ

映画館以外で行われる上映活動 B	会場
鳴門市	鳴門市うずしお会館
小松島市	ミリカホール
阿南市	阿南市文化会館
吉野川市	吉野川市アメニティセンター

※1
2017年4月開館

※2
2019年より既存興行館からミニシアターに移行。

香川県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
香川県人口	917,058	925,408	976,756	-59,698
高松市(県庁所在地)人口	409,246	411,288	420,943	-11,697
香川県のスクリーン数	26	26	26	0
1スクリーン当り人口	35,271	35,593	37,568	
映画館年間観客数(概算)	940,000	1,130,000	1,120,000	
年間映画鑑賞回数	1.0	1.2	1.1	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
高松市	イオンシネマ高松東	1	7	1	7	1	7
宇多津町	イオンシネマ宇多津	1	7	1	7	1	7
綾川町	イオンシネマ綾川	1	9	1	9	1	9
シネマコンプレックス 合計		3	23	3	23	3	23

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
高松市	ホールソレイユ ミ	1	2	1	2	1	2
ミニシアター/名画座 合計		1	2	1	2	1	2

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
既存興行館 合計		0	0	0	0	0	0

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
高松市	ロッポニカ高松	1	1	1	1	1	1
成人映画館 合計		1	1	1	1	1	1
シネマコンプレックス以外 合計		2	3	2	3	2	3

		2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計		3	23	3	23	3	23	0	0
ミニシアター/名画座 合計		1	2	1	2	1	2	0	0
既存興行館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計		1	1	1	1	1	1	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		2	3	2	3	2	3	0	0
香川県 合計		5	26	5	26	5	26	0	0

公共上映の
状況

映画祭		地域/国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
高松市	香川レインボー映画祭	地域映画祭	2005年	2024年12月7日	高松市丸亀町レッツホール	1日のみの開催。
	さぬき映画祭	地域映画祭	2006年	2025年2月8日～9日	レクザムホール/イオンシネマ高松東/c-とびあ・かがわ	

シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
小豆島町	二十四の瞳映画村 ギャラリー松竹座映画館	1	40

映画館以外で行われる上映活動A		会場
高松市	高松シネマクラブ	高松国分寺ホールほか県内各所(香川映画センター)

映画館以外で行われる上映活動B		会場
高松市	映画の楽校	香川県民ホール
善通寺市	優秀映画鑑賞推進事業	善通寺市民会館

愛媛県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
愛媛県人口	1,275,349	1,291,198	1,385,262	-109,913
松山市(県庁所在地)人口	498,806	502,387	514,865	-16,059
愛媛県のスクリーン数	46	46	52	-6
1スクリーン当り人口	27,725	28,070	26,640	
映画館年間観客数(概算)	1,150,000	1,220,000	1,240,000	
年間映画鑑賞回数	0.9	0.9	0.9	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		
松山市	シネマサンシャイン衣山	1	9	1	9	シネマサンシャイン衣山	1	9
						シネマサンシャイン大街道※1	1	5
今治市	ユナイテッド・シネマ フジグラン今治	1	6	1	6	ユナイテッド・シネマ フジグラン今治	1	6
	イオンシネマ今治新都市※2	1	7	1	7			
新居浜市	TOHO シネマズ新居浜	1	7	1	7	TOHO シネマズ新居浜	1	7
大洲市						シネマサンシャイン大州※3	1	6
東温市	シネマサンシャイン重信	1	7	1	7	シネマサンシャイン重信	1	7
松前町	シネマサンシャインエミフル MASAKI	1	9	1	9	シネマサンシャインエミフル MASAKI	1	9
シネマコンプレックス 合計		6	45	6	45	合計	7	49

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		
松山市	シネマルナティック ミ	1	1	1	1	シネマルナティック	1	1
ミニシアター/名画座 合計		1	1	1	1	合計	1	1

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
今治市						アイシネマ今治※4	1 2
既存興行館 合計		0	0	0	0	合計	1 2

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		
成人映画館 合計		0	0	0	0	合計	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		1	1	1	1	合計	2	3

		2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計		6	45	6	45	7	49	-1	-4
ミニシアター/名画座 合計		1	1	1	1	1	1	0	0
既存興行館 合計		0	0	0	0	1	2	-1	-2
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		1	1	1	1	2	3	-1	-2
愛媛県 合計		7	46	7	46	9	52	-2	-6

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
松山市	愛媛国際映画祭	国際映画祭	2020 年	—	—	2024 年開催なし。
	松山映画祭	地域映画祭	2001 年	—	—	2020 年以降開催なし。

シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
—		—	—

映画館以外で行われる上映活動 A		会場
松山市	マネキネマ	松山市男女共同参画推進センター コムズ
	iDo(アイドゥ)	宇和島市生涯学習センターほか県内各所
宇和島市	美沼名画座	宇和島市立コスモスホール三間

映画館以外で行われる上映活動 B		会場
松山市	優秀映画鑑賞推進事業	松山市総合福祉センター
	優秀映画鑑賞推進事業	松山市総合コミュニティセンター
今治市	今治映画鑑賞会	—
宇和島市	パフィオ上映会 / 名作劇場 (優秀映画鑑賞推進事業)	宇和島市生涯学習センター
八幡浜市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	八幡浜市民文化活動センター
新居浜市	モモンガ映写室	あかがねミュージアム
	あかがねシネマ	あかがねミュージアム
四国中央市	観音寺映画観賞会	観音寺市民会館
	優秀映画鑑賞推進事業	四国中央市市民文化ホール
内子町	優秀映画鑑賞推進事業	森文旭館

※1
2021 年 1 月閉館

※2
2016 年 6 月閉館

※3
2019 年 1 月閉館

※4
2016 年 10 月休館

高知県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
高知県人口	655,698	666,293	728,276	-72,578
高知市(県庁所在地)人口	313,900	317,901	337,190	-23,290
高知県のスクリーン数	11	11	10	1
1スクリーン当り人口	59,609	60,572	72,828	
映画館年間観客数(概算)	370,000	420,000	210,000	
年間映画鑑賞回数	0.6	0.6	0.3	

映画館の状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
高知市	TOHOシネマズ高知	1	9	1	9	1	9
シネマコンプレックス 合計		1	9	1	9	1	9

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
高知市	キネマ ミュージアム ^{※1} ミ	1	1	1	1		
ミニシアター/名画座 合計		1	1	1	1	0	0

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
高知市	高知あだご劇場 ^{※2} 既	1	1	1	1	1	1
既存興行館 合計		1	1	1	1	1	1

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		2	2	2	2	1	1

		2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計		1	9	1	9	1	9	0	0
ミニシアター/名画座 合計		1	1	1	1	0	0	1	1
既存興行館 合計		1	1	1	1	1	1	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		2	2	2	2	1	1	1	1
高知県 合計		3	11	3	11	2	10	1	1

公共上映の状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
高知市	高知あだたん映画祭	地域映画祭	2022年	2024年10月19日～20日	高知県立美術館
四万十市	四万十映画祭	地域映画祭	2013年	—	2019年以降開催なし。

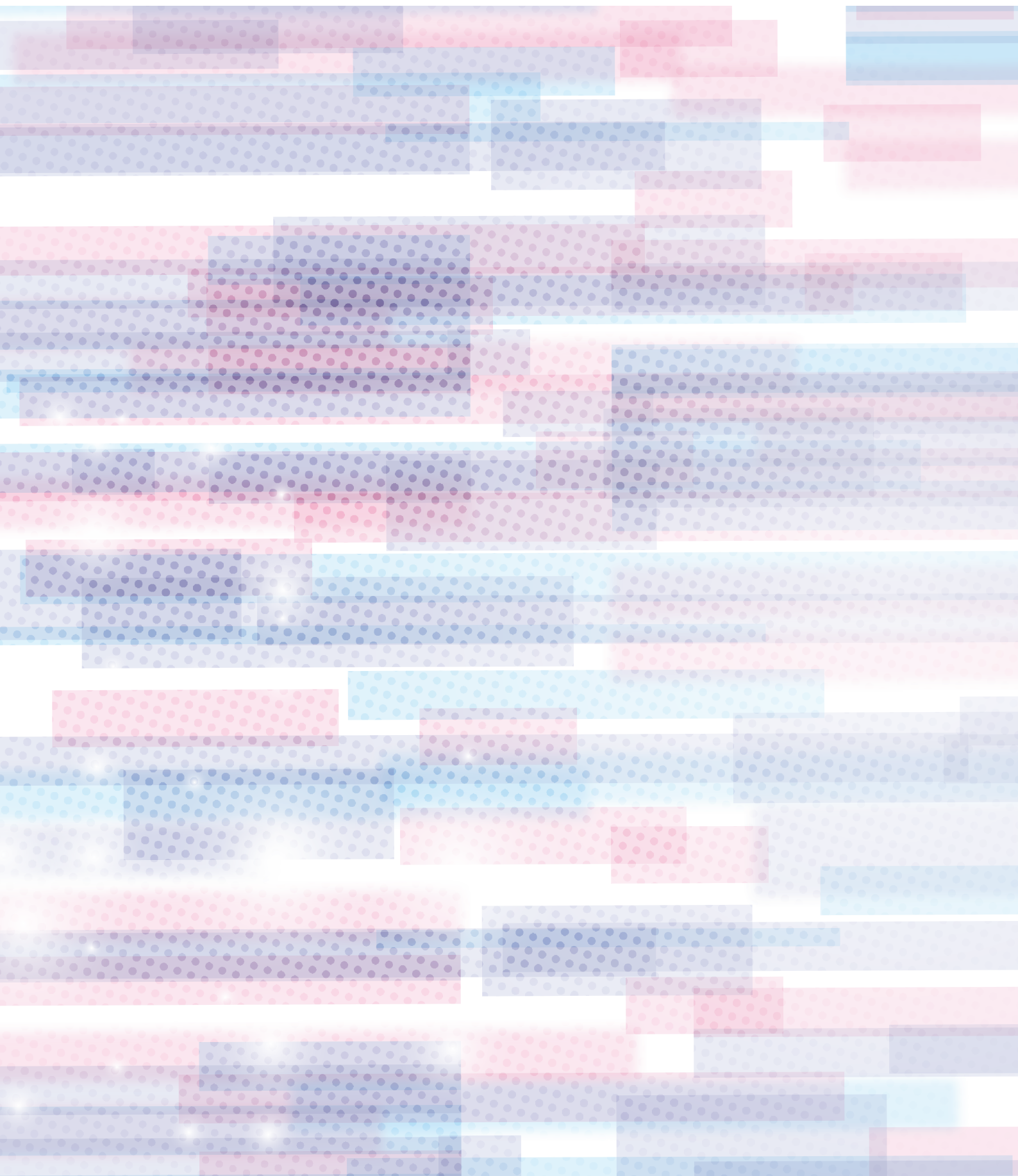
シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
高知市	高知県立美術館	1	399
	高知県立文学館	—	—

映画館以外で行われる上映活動A		会場
高知市	県立シネマ日和/優秀映画鑑賞推進事業ほか	高知県立県民文化ホール(シネマ四国)
	とさびくシアター/シネマ四国	とさびくシアター/シネマ四国
	ゴトゴトシネマ	喫茶メフィストフェレスほか

映画館以外で行われる上映活動B		会場
高知市	市民映画会	高知市文化プラザ/高知県立美術館
土佐市	優秀映画鑑賞推進事業	土佐市複合文化施設
宿毛市	優秀映画鑑賞推進事業	宿毛市立中央公民館
土佐清水市	昭和シネマ劇場(優秀映画鑑賞推進事業)	土佐清水市立市民文化会館
香南市	映画上映会	香南市弁天座
田野町	懐かし映画劇場(優秀映画鑑賞推進事業)	田野町ふれあいセンター
四万十町	映画上映会	窪川四万十会館

※1
2017年10月「ウィークエンドキネマM」開館、2019年1月休館。2023年10月「キネマ ミュージアム」開館。

※2
2024年12月休館



福岡県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
福岡県人口	5,097,710	5,106,912	5,101,556	-3,846
福岡市(県庁所在地)人口	1,656,737	1,642,571	1,538,681	118,056
福岡県のスクリーン数	194	194	185	9
1スクリーン当り人口	26,277	26,324	27,576	
映画館年間観客数(概算)	6,680,000	7,180,000	7,750,000	
年間映画鑑賞回数	1.3	1.4	1.5	

映画館の 状況	2024		2023		2015	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス	福岡市					
	ユナイテッド・シネマ キャナルシティ 13	1 13	1 13	ユナイテッド・シネマ キャナルシティ 13	1 13	
	T・ジョイ博多	1 11	1 11	T・ジョイ博多	1 11	
	TOHOシネマズ ららぽーと福岡 ^{※1}	1 9	1 9			
北九州市	ユナイテッド・シネマ福岡もち ^{※2}	1 11	1 11	ユナイテッド・シネマ福岡 ^{※2}	1 10	
				TOHOシネマズ天神 ^{※3}	1 9	
	イオンシネマ戸畑	1 8	1 8	イオンシネマ戸畑	1 8	
	シネプレックス小倉	1 10	1 10	シネプレックス小倉	1 10	
大牟田市	T・ジョイリバーウォーク北九州	1 8	1 8	T・ジョイリバーウォーク北九州	1 8	
	小倉コロナシネマワールド	1 10	1 10	小倉コロナシネマワールド	1 10	
	セントラルシネマ大牟田	1 7	1 7	セントラルシネマ大牟田	1 7	
	T・ジョイ久留米	1 10	1 10	T・ジョイ久留米	1 10	
直方市	TOHOシネマズ直方	1 9	1 9	TOHOシネマズ直方	1 9	
飯塚市	シネマサンシャイン飯塚 ^{※4}	1 9	1 9			
中間市	ユナイテッド・シネマ なかま 16	1 13	1 13	ユナイテッド・シネマ なかま 16	1 16	
筑紫野市	イオンシネマ筑紫野	1 9	1 9	イオンシネマ筑紫野	1 9	
大野城市	イオンシネマ大野城	1 8	1 8	イオンシネマ大野城	1 8	
福津市	TOHOシネマズ福津	1 10	1 10	TOHOシネマズ福津	1 10	
久山町	ユナイテッド・シネマ トリアス久山	1 12	1 12	ユナイテッド・シネマ トリアス久山	1 12	
粕屋町	イオンシネマ福岡	1 9	1 9	イオンシネマ福岡	1 9	
シネマコンプレックス 合計		18 176	18 176	合計	17 169	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024	2023	2015
		映画館	映画館	映画館
福岡市	KBCシネマ	ミ 1 2	1 2	KBCシネマ 1 2
	キノシネマ天神 ^{※5}	ミ 1 3	1 3	
北九州市	小倉昭和館 ^{※6}	名 1 1	1 1	小倉昭和館 ^{※6} 1 2
ミニシアター/名画座 合計		3 6	3 6	合計 2 4

既存興行館		2024	2023	2015
		映画館	映画館	映画館
福岡市	福岡中洲大洋 ^{※7}	既 1 4	1 4	福岡中洲大洋 1 4
	TOHOシネマズ天神・ソラリア館 ^{※3}	既 1 3	1 3	
飯塚市				飯塚シネマセントラル ^{※8} 1 2
大川市	大川シネマホール	新既 1 1	1 1	大川シネマホール ^{※9} 1 1
既存興行館 合計		3 8	3 8	合計 3 7

成人映画館		2024	2023	2015
		映画館	映画館	映画館
福岡市	駅前パレス/駅前ロマン	1 2	1 2	駅前パレス/駅前ロマン 1 2
北九州市	小倉名画座	1 2	1 2	小倉名画座 1 2
				八幡有楽劇場 ^{※10} 1 1
成人映画館 合計		2 4	2 4	合計 3 5
シネマコンプレックス以外 合計		8 18	8 18	合計 8 16

2024		2023	2015	増減(2015→2024)	
映画館	スクリーン	映画館	映画館	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	18 176	18 176	17 169	1 7	
ミニシアター/名画座 合計	3 6	3 6	2 4	1 2	
既存興行館 合計	3 8	3 8	3 7	0 1	
成人映画館 合計	2 4	2 4	3 5	-1 -1	
シネマコンプレックス以外 合計	8 18	8 18	8 16	0 2	
福岡道 合計	26 194	26 194	25 185	1 9	

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
福岡市	福岡アジア映画祭	国際映画祭	1987年	2024年9月7日～8日	九州日仏学館	
	Asian Film Joint	国際映画祭	2021年	2024年11月7日～17日	福岡市総合図書館シネラ	
	福岡アジアフィルムフェスティバル	地域映画祭	1991年	2024年9月28日・10月3日～6日	福岡市総合図書館シネラ / 福岡アジア美術館	
	福岡インディペンデント映画祭	地域映画祭	2009年	2024年9月6日～8日	福岡市美術館	
	ふくおか国際映画祭	地域映画祭	2023年	2024年12月6日～8日	明治安田ホール福岡 / アクロス福岡 / 福岡アジア美術館	2023年「福岡コ・クリエイティブ国際映画祭」としてスタート。2024年「ふくおか国際映画祭」に移行。
北九州市	北九州国際映画祭	国際映画祭	2023年	2024年11月1日～3日	小倉昭和館ほか	
糸島市	糸島映画祭 いとシネマ	地域映画祭	2017年	—	—	2021年以降開催なし。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
福岡市	福岡市総合図書館(映像ホール)		1	246		
北九州市	松永文庫		—	—		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
福岡市	九州日仏学館シネクラブ		九州日仏学館			
北九州市	北九州映画サークル協議会		小倉昭和館 / 小倉コロナシネマワールド / 戸畑市民会館			
春日市	ふれぶんシネマ倶楽部		春日市ふれあい文化センター			
大野城市	まどかぴあシネマランド / キッズシネマ		大野城まどかぴあ			
宗像市	ユリックス名画シアター		宗像ユリックス			
那珂川市	リバーサイド0円シアター		中ノ島公園四季彩館			
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
福岡市	福岡映画サークル協議会		福岡市総合図書館 / 福岡市男女共同参画推進センターアミカス			
北九州市	門司シネマフェスタ(優秀映画鑑賞推進事業)		北九州市立門司市民会館			
八女市	おりなすシアター		八女市民会館 はちひめホール			
小郡市	小郡名画座(優秀映画鑑賞推進事業)		小郡市文化会館			

※1
2022年4月開館

※2
2016年3月休館、2018年11月「ユナイテッド・シネマ福岡もち」として再開。スクリーン数10→11。

※3
2012年「天神東宝」「ソラリアシネマ」統合→「TOHOシネマズ天神(本館/ソラリア館)」。2017年3月「TOHOシネマズ天神本館」閉館、「TOHOシネマズ天神・ソラリア館」は存続。

※4
2023年7月開館

※5
2020年4月開館

※6
2022年夏、火事で被災。2023年12月スクリーン数を2→1に減らし再開。

※7
2024年3月休館

※8
2015年3月閉館

※9
2015年10月開館

※10
2019年6月閉館

佐賀県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
佐賀県人口	787,675	794,385	829,808	-42,133
佐賀市(県庁所在地)人口	228,293	229,840	235,059	-6,766
佐賀県のスクリーン数	21	21	20	1
1スクリーン当り人口	37,508	37,828	41,490	
映画館年間観客数(概算)	660,000	710,000	750,000	
年間映画鑑賞回数	0.8	0.9	0.9	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
佐賀市	イオンシネマ佐賀大和	1	8	1	8	1	8
	109シネマズ佐賀	1	10	1	10	1	10
シネマコンプレックス 合計		2	18	2	18	2	18

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
佐賀市	シアター・シエマ ミ	1	2	1	2	1	2
唐津市	シアターエンヤ※ ミ	1	1	1	1		
ミニシアター/名画座 合計		2	3	2	3	1	2

既存興行館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
既存興行館 合計		0	0	0	0	0	0

成人映画館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		2	3	2	3	1	2

		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	増減(2015⇒2024)	
シネマコンプレックス 合計		2	18	2	18	2	18	0	0
ミニシアター/名画座 合計		2	3	2	3	1	2	1	1
既存興行館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		2	3	2	3	1	2	1	1
佐賀県 合計		4	21	4	21	3	20	1	1

公共上映の
状況

映画祭	地域/国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
唐津市	唐津国際映画祭 KIFF	国際映画祭	2023年	—	2023年「唐津ライジングサン国際映画祭」として開催。 2025年7月に「唐津国際映画祭 KIFF」として開催予定。
佐賀市	富士町古湯映画祭	地域映画祭	1984年	2024年9月27日～29日	フォレスト富士

シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
—		—	—

映画館以外で行われる上映活動A	会場
—	—

映画館以外で行われる上映活動B		会場
佐賀市	教育会館映画上映会	佐賀県教育会館
鳥栖市	優秀映画鑑賞推進事業	鳥栖市民文化会館
武雄市	たけお映画まつり/優秀映画鑑賞推進事業	武雄市文化会館
鹿島市	映画上映会/優秀映画鑑賞推進事業	鹿島市生涯学習センター エイブル
基山町	優秀映画鑑賞推進事業	基山町民会館

※
2019年10月開館

長崎県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
長崎県人口	1,250,705	1,266,334	1,377,187	-114,214
長崎市(県庁所在地)人口	388,490	393,597	429,508	-37,193
長崎県のスクリーン数	25	25	26	-1
1スクリーン当り人口	50,028	50,653	52,969	
映画館年間観客数(概算)	980,000	1,060,000	1,190,000	
年間映画鑑賞回数	0.8	0.8	0.9	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
長崎市	ユナイテッド・シネマ長崎	1	8	1	8	1	8
	TOHOシネマズ長崎	1	9	1	9	1	9
佐世保市	佐世保シネマボックス太陽	1	7	1	7	1	7
シネマコンプレックス 合計		3	24	3	24	3	24

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
長崎市	長崎セントラル劇場 元既	1	1	1	1	1	1
	ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	1	1

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
既存興行館 合計		0	0	0	0	0	0

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
長崎市					長崎千日劇場*	1	1
	成人映画館 合計	0	0	0	合計	1	1
	シネマコンプレックス以外 合計	1	1	1	合計	2	2

		2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計		3	24	3	24	3	24	0	0
ミニシアター/名画座 合計		1	1	1	1	1	1	0	0
既存興行館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	1	1	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計		1	1	1	1	2	2	-1	-1
長崎県 合計		4	25	4	25	5	26	-1	-1

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
長崎市	国際平和映像祭(UFPFF)	地域映画祭	2011年	2024年9月16日	ヒューマントラストシネマ渋谷	1日のみの開催。
	ながさき・愛の映画祭	地域映画祭	2016年	2025年1月19日	長崎県勤労福祉会館	1日のみの開催。
佐世保市	渋谷佐世保TANPEN映画祭	地域映画祭	2017年	2024年11月24日～25日	アルカスSASEBO	「渋谷TANPEN映画祭CLIMAXat佐世保」から「渋谷佐世保TANPEN映画祭」に名称変更。東京・渋谷でも開催。

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
—	—	—

映画館以外で行われる上映活動A	会場
—	—

映画館以外で行われる上映活動B		会場
長崎市	映画上映会	長崎市チトセピアホール
佐世保市	映画上映会	アルカスSASEBO
大村市	シーハットシネマ	大村市体育文化センター シーハットおおむら
川棚町	映画上映会 / 優秀映画鑑賞推進事業	川棚町公会堂

※
2015年12月閉館

熊本県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
熊本県人口	1,696,144	1,707,747	1,786,170	-90,026
熊本市(県庁所在地)人口	737,409	738,020	740,822	-3,413
熊本県のスクリーン数	68	68	50	18
1スクリーン当り人口	24,943	25,114	35,723	
映画館年間観客数(概算)	1,330,000	1,480,000	1,410,000	
年間映画鑑賞回数	0.8	0.9	0.8	

映画館の状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
熊本市	ユナイテッド・シネマ熊本 ^{※1}	1	10	1	10	1	10
	TOHOシネマズはません	1	9	1	9	1	9
	TOHOシネマズ 熊本サクラマチ ^{※2}	1	9	1	9		
	熊本ピカデリー ^{※3}	1	10	1	10		
宇城市	TOHOシネマズ宇城	1	8	1	8	1	8
菊陽町	TOHOシネマズ光の森	1	9	1	9	1	9
嘉島町	イオンシネマ熊本	1	8	1	8	1	8
シネマコンプレックス 合計		7	63	7	63	5	44

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
熊本市	Denkikan	ミ	1 3	1 3	Denkikan	1 3	
天草市	本渡第一映劇 ^{※4}	元既	1 1	1 1			
ミニシアター/名画座 合計			2 4	2 4	合計	1 3	

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
天草市		本渡第一映劇 ^{※4}				1	1
既存興行館 合計		0	0	0	0	合計	1 1

成人映画館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	
熊本市	桃劇場	1	1	1	1	桃劇場	1	1
八代市						八代駅前東映 ^{※5}	1	1
成人映画館 合計		1	1	1	1	合計	2	2
シネマコンプレックス以外 合計		3	5	3	5	合計	4	6

		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		7	63	7	63	5	44	2	19
ミニシアター/名画座 合計		2	4	2	4	1	3	1	1
既存興行館 合計		0	0	0	0	1	1	-1	-1
成人映画館 合計		1	1	1	1	2	2	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計		3	5	3	5	4	6	-1	-1
熊本県 合計		10	68	10	68	9	50	1	18

※1
2016年4月運営会社が変わり「シネプレックス熊本」→「ユナイテッド・シネマ熊本」。2025年3月閉館

※2
2019年9月開館

※3
2021年4月開館

※4
2020年より既存興行館からミニシアターに移行。

※5
2015年閉館

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
熊本市	東アジア市民共生映画祭	地域映画祭	2007年	10月・12月・1月	熊本学園大学 / 肥後銀行	
	くまもと復興映画祭(菊池映画祭)	地域映画祭	2017年	2024年11月30日～12月1日	熊本城ホール / 菊陽町図書館ホール	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
-			-	-		
映画館以外で行われる上映活動A			会場			
山都町	山都町よい映画を観る会		山都町立図書館			
映画館以外で行われる上映活動B			会場			
荒尾市	優秀映画鑑賞推進事業		荒尾総合文化センター			
玉名市	優秀映画鑑賞推進事業		玉名市民会館			
山鹿市	優秀映画鑑賞推進事業		八千代座			
長洲町	優秀映画鑑賞推進事業		ながす未来館			

大分県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
大分県人口	1,085,198	1,096,235	1,164,703	-79,505
大分市(県庁所在地)人口	470,818	472,606	478,151	-7,333
大分県のスクリーン数	44	44	35	9
1スクリーン当り人口	24,664	24,914	33,277	
映画館年間観客数(概算)	1,120,000	1,160,000	1,200,000	
年間映画鑑賞回数	1.0	1.1	1.0	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
大分市	TOHOシネマズ大分わさだ	1	11	1	11	1	11
	T・ジョイパークプレイス大分	1	9	1	9	1	9
	TOHOシネマズアミュプラザおおいた	1	10	1	10	1	10
中津市	セントラルシネマ三光 ^{※2}	1	8	1	8		
	シネマコンプレックス 合計	4	38	4	38	3	30

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
大分市	大分シネマ5	ミ	1	1	1	1	1
	大分シネマ5 bis ^{※3}	ミ	1	1	1	1	1
別府市	別府ブルーバード劇場	元既	1	1	1	1	1
日田市	日田シネマテーク・リベルテ	元既	1	1	1	1	1
豊後高田市	玉津東天紅 ^{※4}	ミ	1	1	1		
ミニシアター/名画座 合計			5	5	5	5	4

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
既存興行館 合計		0	0	0	0	0	0

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
別府市	別府南映劇場	1	1	1	1	1	1
	成人映画館 合計	1	1	1	1	1	1
	シネマコンプレックス以外 合計	6	6	6	6	5	5

	2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	4	38	4	38	3	30	1	8
ミニシアター/名画座 合計	5	5	5	5	4	4	1	1
既存興行館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計	1	1	1	1	1	1	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	6	6	6	6	5	5	1	1
大分県 合計	10	44	10	44	8	35	2	9

※1
2015年4月開館

※2
2020年3月開館

※3
2009年12月「セントラルシネマ」閉館後、2011年3月1スクリーンが「シネマ5bis」に。

※4
2017年4月開館

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
大分市	おおいた自主映画祭	地域映画祭	2017年	－	－	2025年9月開催予定。
別府市	Beppu ブルーバード映画祭	地域映画祭	2017年	2024年4月12日～14日	別府ブルーバード劇場	2023年度第1回開催。
中津市	山国映画祭	地域映画祭	2023年	2025年3月21日～24日	コアやまくに	
由布市	湯布院映画祭	地域映画祭	1976年	2024年8月22日～25日	ゆふいんラックホール	
	ゆふいん文化・記録映画祭	地域映画祭	1998年	2024年6月7日～9日	ゆふいんラックホール	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
－			－	－		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
中津市	月イチ映画館コアシネマ / 山国で映画を観る会ほか		コアやまくに			
佐伯市	ツキイチ映画		さいき城山桜ホール			
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
大分市	コンパルホール映画上映会（優秀映画鑑賞推進事業）		コンパルホール			
中津市	なつかしの映画観賞会（優秀映画鑑賞推進事業）ほか		中津文化会館			
日田市	なつかしの映画観賞会（優秀映画鑑賞推進事業）		日田市民文化会館			
竹田市	グランツ映画館“玉洗劇場”		竹田市総合文化ホール			
豊後大野市	エイトピア映画上映会		豊後大野市総合文化センター エイトピアおおの			
国東市	優秀映画鑑賞推進事業		くにさき総合文化センター			
九重町	優秀映画鑑賞推進事業		九重文化センター			

宮崎県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
宮崎県人口	1,030,361	1,040,711	1,104,069	-73,708
宮崎市(県庁所在地)人口	394,448	397,258	401,138	-6,690
宮崎県のスクリーン数	26	26	18	8
1スクリーン当り人口	39,629	40,027	61,337	
映画館年間観客数(概算)	680,000	730,000	790,000	
年間映画鑑賞回数	0.7	0.7	0.7	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
宮崎市	セントラルシネマ宮崎	1	9	1	9	1	9
	ワンダーアティックシネマ※1	1	7	1	7		
	シネマコンプレックス 合計	2	16	2	16	1	9

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
宮崎市	宮崎キネマ館※2	ミ	1 4	1 4	宮崎キネマ館※2	1	2
	ミニシアター/名画座 合計		1 4	1 4	合計	1	2

既存興行館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
都城市	シネポート	既	1 3	1 3	シネポート	1	3
延岡市	延岡シネマ	既	1 3	1 3	延岡シネマ	1	3
既存興行館 合計			2 6	2 6	合計	2	6

成人映画館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
宮崎市					宮崎ロマン※3	1	1
	成人映画館 合計	0	0	0	0	1	1
	シネマコンプレックス以外 合計	3	10	3	10	4	9

		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		2	16	2	16	1	9	1	7
ミニシアター/名画座 合計		1	4	1	4	1	2	0	2
既存興行館 合計		2	6	2	6	2	6	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	1	1	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計		3	10	3	10	4	9	-1	1
宮崎県 合計		5	26	5	26	5	18	0	8

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024 年の開催	主な会場	備考
宮崎市	宮崎映画祭	地域映画祭	1995 年	2024 年 11 月 2 日～7 日	宮崎キネマ館	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
-		-	-	-		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
-		-	-			
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
門川町	映画上映会 / 優秀映画鑑賞推進事業		門川町総合文化会館			
美郷町	美郷キネマ (優秀映画鑑賞推進事業)		美郷町北郷総合交流センター			

※1
2020年11月開館

※2
2021年4月移転、スクリーン数2→4。

※3
2020年4月休館、7月閉館

鹿児島県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
鹿児島県人口	1,531,712	1,548,684	1,648,177	-116,465
鹿児島市(県庁所在地)人口	583,061	587,049	599,814	-16,753
鹿児島県のスクリーン数	39	39	31	8
1スクリーン当り人口	39,275	39,710	53,167	
映画館年間観客数(概算)	1,220,000	1,290,000	1,190,000	
年間映画鑑賞回数	0.8	0.8	0.7	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
鹿児島市	鹿児島ミッテ10	1	10	1	10	1	10
	TOHOシネマズ与次郎	1	10	1	10	1	10
	天文館シネマパラダイス	1	7	1	7	1	7
始良市	シネマサンシャイン始良※1	1	9	1	9		
シネマコンプレックス 合計		4	36	4	36	3	27

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
鹿児島市	ガーデンズシネマ ミ	1	1	1	1	1	1
ミニシアター/名画座 合計		1	1	1	1	1	1

既存興行館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
鹿屋市	リナシアター※2 新既	1	1	1	1	1	1
奄美市	シネマパニック 既	1	1	1	1	1	1
既存興行館 合計		2	2	2	2	2	2

成人映画館		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
鹿児島市						鹿児島旭シネマ※3	1
成人映画館 合計		0	0	0	0	合計	1
シネマコンプレックス以外 合計		3	3	3	3	合計	4

		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン	増減(2015→2024)	
シネマコンプレックス 合計		4	36	4	36	3	27	1	9
ミニシアター/名画座 合計		1	1	1	1	1	1	0	0
既存興行館 合計		2	2	2	2	2	2	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	1	1	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計		3	3	3	3	4	4	-1	-1
鹿児島県 合計		7	39	7	39	7	31	0	8

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
鹿児島市	オーガニックな森じかん	地域映画祭	2008年	－	－	2023年「国際オーガニック映画祭」から「オーガニックな森じかん」に名称変更。2024年映画の上映なし。
指宿市	いぶすき映画祭	地域映画祭	2018年	2024年11月6日	指宿市民会館	1日のみの開催。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
－			－	－		
映画館以外で行われる上映活動A			会場			
－			－			
映画館以外で行われる上映活動B			会場			
阿久根市	映画上映会	阿久根市民交流センター（風テラスあくね）				

※1
2017年4月開館

※2
2010年5月開館、2014年頃より定期的な上映を行っている。

※3
2017年9月開館

沖縄県

	2024	2023	2015	増減(2015⇒2024)
沖縄県人口	1,467,065	1,468,375	1,429,529	37,536
那覇市(県庁所在地)人口	310,353	312,433	321,560	-11,207
沖縄県のスクリーン数	53	53	42	11
1スクリーン当り人口	27,680	27,705	34,036	
映画館年間観客数(概算)	1,540,000	1,560,000	1,640,000	
年間映画鑑賞回数	1.0	1.1	1.1	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2024 映画館	スクリーン	2023 映画館	スクリーン	2015 映画館	スクリーン
那覇市	シネマQ	1	9	1	9	1	9
浦添市	ユナイテッド・シネマ PARCO CITY 浦添 ^{※1}	1	11	1	11		
北谷町	ミハマ7プレックス	1	8	1	8	1	8
北中城村	シネマライカム	1	9	1	9	1	9
南風原町	サザンプレックス	1	7	1	7	1	7
シネマコンプレックス 合計		5	44	5	44	4	33

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン			
那覇市	桜坂劇場	ミ	1	3	1	3	桜坂劇場	1	3
	シネマバレット	元既	1	2	1	2	シネマバレット	1	2
沖縄市	シアタードーナツ	ミ	1	1	1	1	シアタードーナツ※3	1	1
	シネマプラザハウス1954※4	ミ	1	2	1	2			
	ミニシアター/名画座 合計		4	8	4	8	合計	3	6

既存興行館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン	
宮古島市	よしもと南の島パニパニシネマ	新既	1 1	1 1	よしもと南の島パニパニシネマ	1 1	
既存興行館 合計			1 1	1 1	合計	1 1	

成人映画館		2024 映画館 スクリーン		2023 映画館 スクリーン		2015 映画館 スクリーン		
那覇市					首里劇場 ^{※5}	1	1	
沖縄市					コザ琉映 ^{※6}	1	1	
成人映画館 合計		0	0	0	0	合計	2	2
シネマコンプレックス以外 合計		5	9	5	9	合計	6	9

	2024		2023		2015		増減(2015→2024)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	5	44	5	44	4	33	1	11
ミニシアター/名画座 合計	4	8	4	8	3	6	1	2
既存興行館 合計	1	1	1	1	1	1	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	2	2	-2	-2
シネマコンプレックス以外 合計	5	9	5	9	6	9	-1	0
沖縄県 合計	10	53	10	53	10	42	0	11

公共上映の
状況

映画祭			地域 国際	開催開始年	2024年の開催	主な会場	備考
那覇市	島でぜんぶおーきな祭	沖縄国際映画祭	国際映画祭	2009年	2024年4月20日～21日	那覇市 / 北中城村 / 沖縄市	東京・大阪でも巡回予定。
	沖縄環太平洋国際映画祭 Cinema at Sea		国際映画祭	2023年	2025年2月22日～3月2日	那覇市内を中心とした会場	
シネマテーク及び映画資料館等				ホール数	席数		
那覇市	沖縄県立博物館・美術館			－	－		
映画館以外で行われる上映活動A				会場			
名護市	やんばるシネマ			名護市立中央図書館			
映画館以外で行われる上映活動B				会場			

※1

2019年6月開館

※2

2015年4月開館

※3

2015年4月開館

※4

2019年11月開館

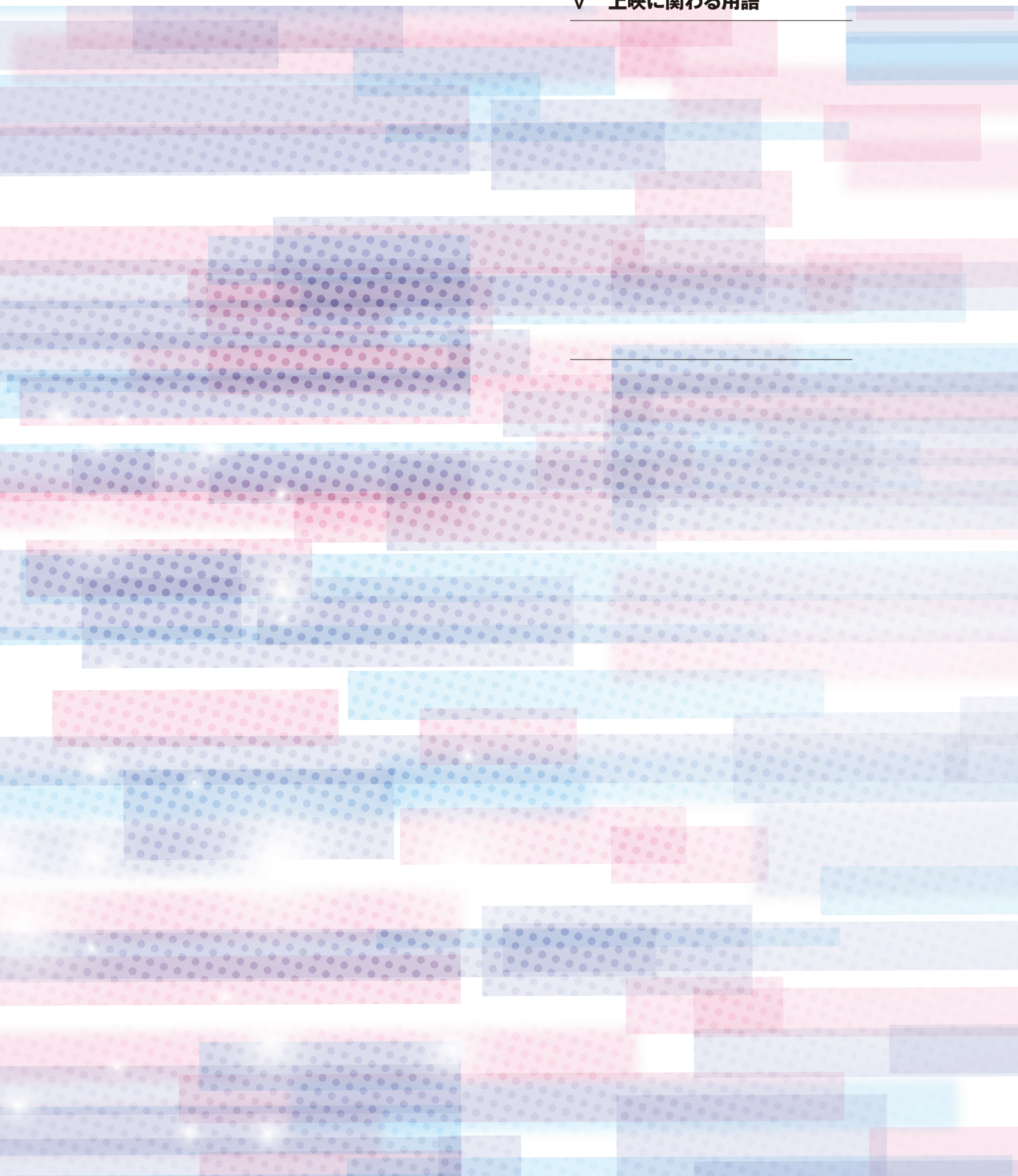
※5

2022年4月閉館

※6

2016年7月閉館

V 上映に関わる用語



映画館

不特定多数の観客に対して、映画を専門的に上映する施設のこと。「劇場」ともいう。

日本では、厚生労働省が監督官庁となっている。映画館の設置に際しては、「興行場法」に基づき、都道府県知事の許可が必要である。多くの映画館が、都道府県ごとに、生活衛生関係営業の運営適正化及び振興に関する法律に基づき、興行生活衛生同業組合（興行組合）へ任意に加盟している。近年では、上記の枠組みとは異なる形で、カフェやミニ図書館、ライブハウス等と合わせて映画上映の場をつくる「準映画館」ともいうべき場所も増えつつある。

本年鑑では、スクリーン数や上映プログラムによって、映画館を「シネマコンプレックス（シネコン）」、「ミニシアター／名画座」、「既存興行館」、「成人映画館」の4つに分類している。

シネマコンプレックス（シネコン）

マルチプレックス、複合型映画館とも呼ばれる。

同一の運営組織が、同一の所在地に名称の統一された複数のスクリーンを設置し、かつ、出入口、入場券売場、ロビー・売店、映写室等を集約化して共有する映画館のこと。「2020年経済構造実態調査報告書二次集計結果乙調査篇 映画館」（総務省・経済産業省）によれば「6スクリーン以上」、日本映画製作者連盟の定義によれば「5スクリーン以上」をひとつの建物・施設（サイト）に有する映画館を示す。本年鑑では原則として「5スクリーン以上」をシネマコンプレックスとしている。

既存興行館（既存館）

興行会社が経営する従来型の映画館を指す。かつてはその多くが大手映画製作・配給会社の直営・系列館として運営されてきた。シネマコンプレックスの展開により急速に減少、現在では、ほとんどの既存興行館が「フリー・ブッキング」で自ら番組編成を行っており、ミニシアターのような番組編成に変える映画館も増えている。

本年鑑では、新たに開館した映画館であっても、大手映画製作・配給会社の作品を中心に番組編成を行うものは「既存興行館」としている。

ミニシアター

大手映画製作・配給会社の直接の影響下でない独立した経営を行い、単館ないしは数館による公開を前提とした作品を中心に番組編成を行う小規模映画館。「前衛的なテーマなどの演劇公演・映画上映を企画」（『広辞苑』）する傾向が強いことから、「アートシアター」「アートハウス」「アートシネマ」と呼ばれることもある。

席数20席以下から200席程度の劇場まで規模は様々だが、全国生活衛生営業指導センター「生活衛生関係営業実態調査（映画館）」（2006年）では、「観客席数が300席以下の映画館で、芸術性などに特化した作品を上映する」とされている。

近年では、「シネマコンプレックス以外の映画館」として、既存興行館、ミニシアターを総称して「ミニシアター」としている例も散見される。

名画座

旧作及び封切館での上映が終了した新作で番組編成をしている映画館。

かつては、ある作品を封切り公開終了後の一週から二週以上後に上映する映画館を「二番館」とし、以下「三番館」「四番館」があり、三番館以降を名画座と呼んだ。約7500館の映画館が存在していた1950～60年代、作品数が現在と比べて少なかったため、こうした「下番線劇場」と呼ばれる映画館へ番数順に映画が上映されていく仕組みが存在した。こういった劇場では、二本立てや三本立てで、複数の映画製作会社の作品を折り混ぜて上映した。また、上映回数がかさむほどフィルムに傷が付き、映画の鮮度、話題性も時間経過とともに落ちるため、入場料を安くし、「入替なし」という形式で上映していた。現在では、「二番館」「名画座」という言葉は明確に区別されることなく使われており、「名画座」が一般的である。

本年鑑では、映画館の分類を「ミニシアター／名画座」としている。

アートハウス

1940年代後半から50年代初頭にかけて、アメリカのニューヨークをはじめとする都市や学園都市に生まれた小規模な映画館を示す言葉として用いられた。これらの映画館では、主に非ハリウッド的な前衛性の強い作品やヨーロッパ映画、自主映画、ドキュメンタリー映画が上映された。現在では同様の上映の場を示す言葉として広く用いられている。

我が国では、「ミニシアター」と同様、大手映画製作・配給会社の直接の影響下にはない独立した経営を行い、単館ないしは数館による公開を前提とした作品を中心に番組編成を行う映画館を指す。「ミニシアター」が、施設や展開数が大規模なかつての直営・系列館や現在のシネマコンプレックスのような映画館と差別化するための和製英語であるのに対して、「アートハウス」は、上映する作品の芸術的・実験的・社会的な側面をより意識して用いられる。公共の映画専門施設(シネマテーク)やカフェ型の上映施設やホール等を活用して定期的に行われる上映会などが含まれる場合もある。

成人映画館

映画倫理委員会(映倫)によって、18歳未満の者の鑑賞には不適当であると指定された成人映画、ポルノ映画、ピンク映画等を上映する映画館。「ポルノ映画館」「ピンク映画館」等の呼称も「成人映画館」を示すものとして用いられる。基本的には独立経営であるが、ピンク映画の製作配給会社による直営館も存在する。

公開

広く一般の人々の入場・鑑賞を前提として、映画を上映すること。興行として映画館で上映する場合に使用することが多い。

江戸時代に新刊本が袋に入れて発売され、その封を切って読むことに由来して「封切り」ともいう。かつては地方に先行して作品を公開する都市部の映画館を「封切館」と呼んだ。

日本映画製作者連盟は毎年1月に前年の日本映画／外国映画の公開本数を発表しているが、「公開」の定義は明示されていない。2019年まで『キネマ旬報』決算特別号に毎年掲載されていた「封切映画一覧表」では「東京都内にある商業映画劇場、ホール及びそれに準ずる施設において、スクリーン上で7日間以上、1日1回以上、有料上映された初公開作品」を封切映画としている。

興行

一般的には、観客を集め、その多くは料金を取って、演劇(芸能)、音楽、映画、スポーツなどの催しを行うことを意味する。

日本においては、「日本標準産業分類」(総務省統計局、2024年4月)に基づき、大分類「生活関連サービス業、娯楽業」の中分類80「娯楽業」として分類される事業が具体的に相当する。上記の催しものを反復的かつ継続的に行う施設を興行場といい、「興行場法」の規制の対象となる。

映画においては、映画館や上映施設をマネジメントすること、ないしはその営業のスタイルを「興行」という。作品を映画館等で上映し、入場料金を徴収し、投下した資本の回収を行うことを示す。映画館の運営・経営業務に携わる者を「興行者」、組織としては「興行会社」と呼称する。本来、「興行」と「配給」は作品の「買い手」と「売り手」の関係に相応し、異なる立場を表す言葉であるが、日本の映画産業においては、大手映画会社が、「製作」「配給」「興行」を一貫して経営してきたため、映画の流通業務を幅広く示す言葉として用いられる場合もある。

公共上映

地域における上映作品の多様化に貢献し、興行的に主流でない映画(非主流映画)を鑑賞する機会を、広く観客に提供することを目的とした上映活動を指す。その運営が営利的(有料上映)であるか、非営利的(無料上映)であるかを問わない。

非主流映画には、先進的独創的な映画、古典的歴史的な映画、紹介される機会が比較的少ない国の映画、インディペンデント映画、ドキュメンタリー、実験映画などが含まれるが、これらの種別はしばしば互いに重なり合っている。

こうした上映活動が行われる場所としては、系列化されていない小規模な映画館(ミニシアター、アートハウス)、映画アーカイブ・シネマテーク、美術館・博物館、図書館、公共ホール、アートセンターなどの公共文化施設があり、このような場所で映画祭や自主上映等の活動も展開され、地域の上映環境に多様性をもたらしている。

また、主流の映画を含んでいても、映画館が存在しない地域で、公共文化施設などを活用して映画を上映する活動や特別なプログラムとして上映する活動などは公共上映に含まれる。

こうした活動は、社会を構成する様々なコミュニティに対して映画へのアクセシビリティを高めることで、他の芸術と同様、文化の次世代への継承、社会包摂、地域活性化、人材育成などの公共的課題に効果をもたらすポテンシャルを有している。

コミュニティシネマ

地域における多様な映画受容の促進に貢献する上映組織及びその活動を意味する。具体的には、公共上映に携わる映画館、映画アーカイブ・シネマテーク、映画祭、自主上映団体(シネクラブや映画サークル)、移動上映団体、美術館・博物館、図書館、公共ホール、アートセンター、学校などを指す。

コミュニティシネマという語が初めて登場したのは、2003年3月に発行された「21世紀の芸術振興策を考える～芸術振興のための法と制度 最終報告書 アメリカ、韓国の映画振興を中心に」(財団法人国際文化交流推進協会[エース・ジャパン]編集・発行)の末尾に掲げられた「芸術振興策に関する提言～公共上映の振興を中心に～」においてである。この後、2003年の映画上映ネットワーク会議(のちの全国コミュニティシネマ会議)において「コミュニティシネマ憲章」が採択され、コミュニティシネマの理念の本格導入が始まる。本憲章では、「上映環境の地域格差の是正と上映作品の多様性の確保」、「多様なコミュニティに対する多様な上映機会の提供」、「メディアリテラシーの向上など教育的使命を実

現すること」、「地域に対する貢献」をコミュニティシネマの使命として掲げている。地域の文化拠点として、そこに住む様々な人々が多様な映画を体験する場を構築し、これを継続的に運用していくことがコミュニティシネマの目的である。

シネマテーク

本来は映画の収蔵施設を意味する(-thequeは、収納箱、墓を意味するギリシャ語のthēkēに由来する)。しかし、今日では、映画芸術の普及を目的に、古典映画を軸としたプログラムを展開する上映活動あるいは上映施設へと、その意味を転用させている。これは、アンリ・ラングロワが自らの映画コレクションをもとに1936年に設立した「シネマテーク・フランセーズ」が、先鋭的なプログラミング(特集上映の編成)によって、トリュフォーやゴダールといった映画作家に多大な影響を与えたことを範としたためであろう。本年鑑においては「映画を定期的に上映する映画アーカイブや美術館等の文化施設、公立映画館など、公共的な映画上映のための専門施設」をシネマテークとしている。

フィルム(映画)アーカイブ

映画フィルム及び映画関連資料の保存を行う施設の総称である。施設の種別は、博物館・美術館、文書館、資料館、図書館など多様であるが、いずれもフィルム(映画)の保存に携わっている点で共通している。その活動には、低温低湿管理が施された収蔵庫でのフィルム保存、写真化学あるいはデジタル技術を活用したフィルム復元、収蔵フィルムの物理的特性からスタッフ・キャストのクレジット表記に至るまでの緻密な目録化、制作当時の社会的文化的技術的文脈を重視したオーセンティックなプログラミング(上映)に加え、ノン・フィルムマテリアルと呼ばれる映画関連資料(ポスター、チラシ、スチール、シナリオ、セット、衣装、予算書、機材、雑誌、書籍など)を収集・保存し、その目録化を行うドキュメンテーションの作業が含まれる。

フィルムアーカイブの第一世代に属するのは、ドイツ国立フィルムアルヒーフ(1934年設立)、英国映画協会(BFI)フィルムライブラリー(1935年設立)、ニューヨーク近代美術館(MoMA)フィルムライブラリー(1935年設立)、シネマテーク・フランセーズ(1936年設立)であり、これら4機関が1937年に国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)を結成した。FIAFは、2022年6月現在、79ヶ国173団体(94の正会員、79の準会員)を擁しており、日本では国立映画アーカイブ、福岡市総合図書館がFIAFに加盟している。この他、国内の主要な公共のフィルムアーカイブとして、広島市映像文化ライブラリー、京都府京都文化博物館、川崎市市民ミュージアム、神戸映画資料館がある。他にも、映画に関する資料を収蔵している施設(映画資料館等)は多数存在する。

映画祭

一般的に、特定の場所で期間を限定してコンペティション形式ないしは特集形式で複数の映画・映像作品を集め、上映するイベントを示す。

コミュニティシネマセンターでは、芸術文化振興基金の「国内映画祭等の活動」に対する助成条件等に鑑みて、映画祭を以下の条件を満たすものとしてきた。

- 1…定期的に開催される(毎年／隔年など)。
- 2…映画祭として3日以上継続して行われる。
- 3…広く内外の映画作品が参加できる途が開かれている。
- 4…商業的、宗教的または政治的な宣伝意図を有さない。

上記の条件にあてはまる映画祭は、日本国内において約200存在する(2024年)。近年では、1日ないしは2日間で実施される上映イベントも増加し、映画祭として認知されるようになっている。

映画祭には商業的なサイクルには入らない作品も含め、興行とは異なる形式で多くの作品を紹介し、映画に対する新たな観客を生むという点で、文化的・芸術的な側面がある。また、まちおこし等の地域活性化事業として、あるいは様々なコミュニティの結節点として、その社会的な側面を指摘することもできる。大規模な国際映画祭においては、作品の買い付け、企画開発・資金調達といったビジネス機会をマーケットにおいて創出する経済的な側面も存在する。

国際映画祭と地域映画祭

本年鑑では、映画祭を「国際映画祭」と「地域映画祭」に分類し、「国際映画祭」を以下の通りに規定している。

- 1…映画祭のために独自に未公開作品のフィルムを輸入している。
- 2…日本語字幕(及び英語字幕)を作成している。
- 3…海外ゲストを招聘している。
- 4…公式プログラムを作成している(二ヶ国語)。

上記に該当しない映画祭を「地域映画祭」としている。

日本国内において、「国際映画祭」の規定にのっとった映画祭は約50ほどである(2024年)。なお、この中には、日本未公開作品を2-3本しか上映しない映画祭、ゲストの招聘がなく、公式プログラムを作っていない小さな国際映画祭も一部含まれている。

映画館以外で行われる上映活動/自主上映

映画館での興行とは異なる形態で実施される上映活動。公共ホール、大学、アートスペースなどでの上映の他、映画館を借りて行われる上映もある。多くは映画の鑑賞そのものを目的としているが、歴史的には教育や政治などにおける啓発を目的とした自主上映事業も盛んに行われてきた。近年では、デジタル化の進行により、DVDやブルーレイ、配信等での上映も可能となり、小規模なコミュニティのための自主上映が増加している。

運営の方法は多様だが、概ね二つの形態に区分できる。

- 1…各地域の自主的な団体が、映画会社や製作・配給団体から作品を借りてプログラムを編成し、これを各地域の会場で上映するもの。自主上映と呼ばれる。自主的な団体には、シネクラブ、映画サークルのような民間の団体も、自治体の教育委員会や文化振興課、公共ホールやコミュニティセンター等の公共的な団体も含まれる。
- 2…移動上映事業者が、自ら製作した作品や当該地域における配給権を取得した作品を、地域の会場を借りて実施する移動上映・移動興行。主に、映画館のない地域で、映写機などの機材一式を持ち込んで行われる。

特集上映

監督や俳優、製作者、脚本家やカメラマン等の回顧上映や、ある国や地域の映画、あるいは一定の「テーマ」に基づいて作品を集め、上映することをいう。特集上映を「〇〇映画祭」と称する場合もあるが、上記で定義している「映画祭」とは異なる。

日本映画(邦画)と外国映画(洋画)

一般的に、「日本映画」とは、日本国内の映画館などで公開されることを前提として、日本国籍を持つ者や日本の国内法に基づく法人が製作・出資をしている映画を示す。「邦画」ともいう。一方で、日本国籍を持たない個人ないしは日本国内に登記のない法人によって出資がなされて製作された映画を「外国映画」という。「洋画」は、アジア地域をも含む、日本映画以外の外国映画すべてを総称する言葉として用いられることもある。

映画の国籍は、製作に対する出資者／出資社の国籍に依拠する。日本人キャストを用い、日本国内ですべての撮影が行われている場合でも、アメリカ資本のみで製作されていれば「アメリカ映画」、日本資本とフランス資本の両者が出資をしていれば「日仏合作」となる。フランスのように、自国の映画文化や産業の振興に熱心な国では、スタッフやキャストの国籍、会社の登記などの細かな要素を考慮して、欧州あるいはフランスの関与の度合いがどの程度高いかを点数化し、それに応じて助成対象の認定を行っている。

旧作と新作

一般的に、映画興行において初めて公開(封切り)を迎える作品を「新作」と呼ぶ。その作品は、公開を終了した後に「旧作」となる。地域や映画館によって公開の時期が異なることもあり、「新作」と称する期間を厳密に規定することは難しい。

自主映画

日本における自主映画または自主制作映画は、映画製作において、個人資本もしくは個人で製作費を調達して制作された映画を示す。また、制作者による分類として、(映画制作により定期的な収入を得る)プロフェッショナルと区別した「アマチュア映画」や、高校生や大学生が制作した「学生映画」も自主映画のなかに含まれる。

明治・大正期から個人でカメラを所有し、日常生活や風景を撮影する映画愛好家が存在した。大正末期になり9.5ミリフィルムが登場し、昭和に入ってから8ミリフィルムが登場すると、個人による映画撮影が手軽なものとなり、16ミリや35ミリフィルムで制作された劇映画やニュース映画のような商業映画と区別して、「小型映画」「家庭映画」とも呼ばれる自主映画の概念が明確化していった。

1960年代後半から70年代にかけて、シングル8、スーパー8といったフィルムの規格が開発・提供されるようになると、ホームムービーだけでなく自主映画を制作する個人やグループが全国的に現れ、作品が次々に発表されるようになった。雑誌『ぴあ』や、1977年から開催された「ぴあフィルムフェスティバル」が、こうした自主映画の制作や公開の増加に果たした役割は大きい。自主映画を制作し、映画祭等で評価を得た人々が映画・映像業界へ進み、日本映画の担い手として活躍している。

今日では、自主映画が制作者自身の自主配給によって映画館で公開されるケースも増えており、商業映画との境界は曖昧となっている。また、大手映画製作会社やその配給網に頼らない映画作品や制作者に対して「インディーズ」という呼称が用いられている。

映画上映活動年鑑 | 2024

独立行政法人日本芸術文化振興会委託事業

「令和6年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業」

調査及び報告書原稿作成・編集

一般社団法人コミュニティシネマセンター

岩崎ゆう子／遠藤文乃／小川茉侑／稲田悠斗

発行日

2025年3月10日

発行

一般社団法人コミュニティシネマセンター

〒150-0044 東京都渋谷区円山町1-5-5F

TEL : 050-3535-1573

デザイン・印刷

朝日メディアインターナショナル株式会社

